# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

| 建築図 | |
|---|---|
| 図番 | 図面名称 |
| A-01 | 特記仕様書（１） |
| A-02 | 特記仕様書（２） |
| A-03 | 特記仕様書（３） |
| A-04 | 特記仕様書（４） |
| A-05 | 特記仕様書（５） |
| A-06 | 特記仕様書（６） |
| A-07 | 付近見取図・配置図 |
| A-08 | 外部仕上表 |
| A-09 | 内部仕上表 |
| A-10 | 1階平面図(改修前) |
| A-11 | 1階平面図(改修後) |
| A-12 | 2階平面図(改修前) |
| A-13 | 2階平面図(改修後) |
| A-14 | 3階平面図(改修前) |
| A-15 | 3階平面図(改修後) |
| A-16 | 4階平面図(改修前) |
| A-17 | 4階平面図(改修後) |
| A-18 | R階平面図(改修前・改修後) |
| A-19 | 立面図(1)(改修前・改修後) |
| A-20 | 立面図(2)(改修前・改修後) |
| A-21 | 断面図(改修前・改修後) |
| A-22 | 矩計図(1)(改修前・改修後) |
| A-23 | 矩計図(2)(改修前・改修後) |
| A-24 | 矩計図(3)(改修前・改修後) |
| A-25 | 1階天井伏図(改修前・改修後) |
| A-26 | 2階天井伏図(改修前・改修後) |
| A-27 | 3階天井伏図(改修前・改修後) |
| A-28 | 4,PH階天井伏図(改修前・改修後) |
| A-29 | 1階職員便所 平面詳細図・展開図(改修前) |
| A-30 | 1階職員便所 平面詳細図・展開図(改修後) |
| A-31 | 2階生徒用便所(北) 平面詳細図・展開図(改修前) |
| A-32 | 3階生徒用便所(北) 平面詳細図・展開図(改修前) |
| A-33 | 4階生徒用便所(北) 平面詳細図・展開図(改修前) |
| A-34 | 2,3階生徒用便所(北) 平面詳細図・展開図(改修後) |
| A-35 | 4階生徒用便所(北) 平面詳細図・展開図(改修後) |

| 建築図 | |
|---|---|
| 図番 | 図面名称 |
| A-36 | 1階建具配置図(改修前・改修後) |
| A-37 | 2階建具配置図(改修前・改修後) |
| A-38 | 3階建具配置図(改修前・改修後) |
| A-39 | 4,PH階建具配置図(改修前・改修後) |
| A-40 | 建具表(1)(改修前) |
| A-41 | 建具表(2)(改修前) |
| A-42 | 建具表(3)(改修前) |
| A-43 | 建具表(4)(改修後) |
| A-44 | 断面詳細図(1) |
| A-45 | 断面詳細図(2) |
| A-46 | 断面詳細図(3) |
| A-47 | 断面詳細図(4) |
| A-48 | 断面詳細図(5) |
| A-49 | 断面詳細図(6) |
| A-50 | 部分詳細図(1) |
| A-51 | 部分詳細図(2) |
| A-52 | 仮設計画図(外部) |
| A-53 | 仮設計画図(内部) |

| 電気設備図 | |
|---|---|
| 図番 | 図面名称 |
| E-01 | 特記仕様書　建築電気設備１ |
| E-02 | 特記仕様書　建築電気設備２ |
| E-03 | 電気設備　電灯盤図　1L-1 |
| E-04 | 電気設備　電灯盤図　2L-1 |
| E-05 | 電気設備　電灯盤図　3L-1 |
| E-06 | 電気設備　電灯盤図　4L-1 |
| E-07 | 電気設備　電灯コンセント設備　改修　1階　平面図 |
| E-08 | 電気設備　電灯コンセント設備　改修　2階　平面図 |
| E-09 | 電気設備　電灯コンセント設備　改修　3階　平面図 |
| E-10 | 電気設備　電灯コンセント設備　改修　4階　平面図 |
| E-11 | 電気設備　照明器具姿図、弱電機器姿図 |
| E-12 | 電気設備　1階職員便所　改修　撤去　平面詳細図 |
| E-13 | 電気設備　コンセント設備　2～4階生徒用便所北、多目的便所　改修　詳細図 |
| E-14 | 電気設備　電灯設備　2～4階生徒用便所北、多目的便所　改修　詳細図 |
| E-15 | 電気設備　呼び出し設備　2～4階生徒用便所北、多目的便所　改修　詳細図 |
| E-16 | 電気設備　2～4階生徒用便所北、多目的便所　撤去　詳細図 |
| E-17 | 電気設備　放送設備　配置図、系統図 |
| E-18 | 電気設備　放送設備　1階　平面図 |
| E-19 | 電気設備　放送設備　2階　平面図 |
| E-20 | 電気設備　放送設備　3階　平面図 |
| E-21 | 電気設備　放送設備　4階　平面図 |
| E-22 | 電気設備　放送設備　R階　平面図 |
| E-23 | 電気設備　放送、ITVカメラ設備　1階　平面図 |
| E-24 | 電気設備　自動火災報知設備　系統図 |
| E-25 | 電気設備　自動火災報知設備　1階　平面図 |
| E-26 | 電気設備　自動火災報知設備　2階　平面図 |
| E-27 | 電気設備　自動火災報知設備　3階　平面図 |
| E-28 | 電気設備　自動火災報知設備　4階　平面図 |

| 機械設備図 | |
|---|---|
| 図番 | 図面名称 |
| M-01 | 特記仕様書　建築機械設備１ |
| M-02 | 特記仕様書　建築機械設備２ |
| M-03 | 管理特別教室棟　衛生器具表・換気機器表 |
| M-04 | 管理特別教室棟　１階職員用便所　衛生設備<br>平面詳細図（改修前・改修後） |
| M-05 | 管理特別教室棟　２～４階生徒用便所　衛生設備<br>平面詳細図（改修前・改修後） |
| M-06 | 管理特別教室棟　１階職員用便所　換気設備<br>平面詳細図（改修前・改修後） |
| M-07 | 管理特別教室棟　２～４階生徒用便所　換気設備<br>平面詳細図（改修前・改修後） |
| M-08 | 管理特別教室棟　１階生徒用便所・多目的便所　換気設備<br>平面詳細図（改修前・改修後）　ベンドキャップ取替工事 |
| M-09 | 管理特別教室棟　２～４階生徒用便所　換気設備<br>平面詳細図（改修前・改修後）　ベンドキャップ取替工事 |

株式会社　山田建築事務所

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事(1期工事)工事特記仕様書

総　　則

工事概要　　1．工事場所　　四日市市北浜田町＿地内＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

2．工事種目　　防水改修、外壁改修、建具改修、便所改修＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1．共通仕様

（1）図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書(令和7年版)」(以下「改修標仕」という。)による。ただし、改修標仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(令和7年版)(以下「標仕」という。)による。

2．特記仕様

（1）項目は、○印の付いたものを適用する。

（2）特記事項は、⊙印の付いたものを適用する。

⊙印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。

⊙印と※印の付いた場合は、共に適用する。

（3）特記事項に記載の［．．］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

（4）特記事項に記載の（標．．）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

部分完成　⊙無　・有（　　）

部分引渡し　⊙無　・有（　　）

1）保険及び保証
- ⊙建設工事保険　（保険証の写しを提出）
- ⊙請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出）
（⊙管理財物担保特約に加入のこと）

2）建設共済等
- ・任意にて加入
下記の制度について加入すること。
- ⊙法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出）
- ⊙建設業退職金共済制度　当初の請負金額が500万円以上の場合は、掛金収納書を提出すること。また、増額の契約変更があった場合についても、その分を提出すること。　共済証紙購入額　請負金額の 1/1000以上
なお、他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は、理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする
- ・任意にて加入

※資材の購入及び下請け業者の選定に際しての留意事項

資材の購入及び工事の一部を下請け業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、出来る限り市内業者を優先させること。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 1章 一般共通事項 | ①適用基準等 | ⊙建築工事標準詳細図　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 4 年版）<br>※工事写真撮影ガイドブック 建築工事編及び解体工事編<br>（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和 5 年版） |
| | ②工事実績情報の登録 | ※請負金額が 500万円以上の場合は、登録を行う。　[1.1.4] |
| | ③品質計画 | ※建築基準法に基づき定められる区分等の適用工事<br>※風速（Vo）＝34 m毎秒<br>地表面粗度　※Ⅲ(Zb=5 Zg=450 α=0.20)　・Ⅱ(Zb=5 Zg=350 α=0.15)<br>積雪区分　※30 cm　・40 cm |
| | ④電気保安技術者 | ・適用する。　⊙適用しない。　[1.3.3]<br>事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。<br>一般電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第一種又は第二種電気工事士の資格を有する者とする。 |
| | ⑤-1 週休2日制工事 | 「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和6年7月19日改正適用）に基づく適用は下記による。<br>⊙週休2日制工事対象<br>・週休2日制工事(受注者希望型)対象<br>・週休2日制対象外工事（・工事の実働日数が30日未満の工事　・現場閉所困難な工事）<br><br>完全週休2日制工事(受注者希望型含む)の現場閉所日については下記による。<br>※土日閉所(　　)<br>⊙土日以外閉所<br>※土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。<br>なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。 |
| | ⑤-2 施工条件 | [1.3.5]<br>・週休2日制対象外工事の現場閉所日については下記による。<br>※土日閉所　・土日以外閉所<br>⊙現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。<br>⊙工事用車両の駐車場及び資機材置場　※敷地内　・<br>⊙工事着手前に周辺住民への工事説明会が開催される場合は資料作成等に協力すること。<br>⊙施工作業時間は原則8:30～17:00とすること。清掃片付け等は18:00までとすること。<br>⊙施工に際しては、工程及び施工内容について施設管理者と綿密な調整を行うこと。<br>⊙工事に関わる法令手続きは受注者にて行うこと。手続きに係る手数料は受注者の負担（道路占用許可申請における占用料は除く）とする。<br>⊙仮囲い等について施設利用者等の安全上、使用上支障がないように計画し、維持管理に努めること。<br>⊙工程計画については、関係者等と十分に調整を行った上で進めること。 |

⊙資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
⊙大型車両通行時には、誘導員等を配置し、安全確保に努めること。
⊙高さ10mを超える足場を60日以上設置する場合は、着手の30日前までに、設置届を所管官庁へ提出すること。
⊙道路の汚損がないように努めると共に、汚損した場合は直ちに清掃を行うこと。
⊙既設構造物を汚損した場合は、受注者負担にて補修等を行うこと。
⊙工事により発生する残土や廃材、汚泥等は適切処理を行うこと。また、必要に応じて釜場を設け、敷地外への泥水の流出を防止すること。
⊙学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
⊙振動、騒音、ほこりのでる作業やその他について、事前に施設管理者及び近隣施設等と調整を行うこと。
⊙現場における施工について、騒音により授業に影響が出る作業は、事前に学校と十分打合せを行うこと。原則は、休み時間等の授業時間外に行うこと。
⊙工事期間中は、近隣住民の安全確保に努めること。
⊙同一敷地内での別途工事について、協議に応じること。
・2023/　/　～　/　/　は工事を行わないこと。
⊙工事期間はA-052による。
夏休み工事期間は、7/18(仮囲い等の設置に限り7/17午後から可能)～8/28とする。
A-052より8/28までの範囲については工事担当確認後、8/29より事前使用開始とする。
⊙高さ5mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はフルハーネス型を使用すること。

⑥発生材の処理
・引渡しを要するもの（　　）　[1.3.12]
⊙特別管理産業廃棄物　※無　・有（　　）　処理方法（　　）
⊙特定建設資材の搬出
再資源化等を行う（再資源化が困難な場合には縮減）
⊙特定建設資材以外の搬出　⊙構外搬出適正処理
※廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。ただし、電子情報処理組織に登録（電子マニフェスト）により確認を行う場合は、この限りではない。
※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。

⑦交通安全管理
交通誘導員　※配置する　1名以上（大型車の出入は必ず）　⊙配置しない　[1.3.9]
・交通誘導警備員Ａ　※交通誘導警備員Ｂ

⑧建築材料等
※本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定するもの又は同等のものとする。
ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。
・品質及び性能を試験により証明を求める材料は以下の物とする。　[1.4.5]
（　　）

⑨化学物質を発散する建築材料等
本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の 1）から 5）を満たすものとする。
1）合板、木質系フローリング、構造用パネル，集成材、単板積層材、パーティクルボード、ＭＤＦ、その他木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗料は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
2）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
3）接着剤は、フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-２-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエンキシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
4）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
5）1)及び 4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
規制対象外
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
③下記表示のあるＪＡＳ規格品
a.非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b.接着剤等不使用
c.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用
d.ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
e.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用
f.非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種
①ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆規格品
②建築基準法施行令第２０条の７第３項による国土交通大臣認定品
③旧ＪＩＳのＥo規格品
④旧ＪＡＳのＦco規格品

⑩特別な材料の工法
改修標仕、標仕に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

⑪石綿含有建材の調査
事前調査（有資格者）　※行う　・行わない　[1.5.1]
調査結果報告書等の貸与　⊙有　・無
分析調査　・行う（対象箇所：　　）　※行わない
※定性分析　・定量分析
※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について(令和3年12月22日改正)」に基づき行う。
※事前調査及び分析調査は、それぞれ厚生労働大臣が定めるものが行う。
※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

⑫技能士
※適用する　・適用しない　[1.7.2]
・鉄筋施工　・型枠施工　・鉄工　・塗装　・左官
※防水施工　・建築大工　・サッシ施工　・内装仕上げ施工

13 化学物質の濃度測定
施行完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン　[1.7.10]
エチルベンゼン、パラジクロロベンゼン、スチレンの濃度を測定し報告すること。
測定は、パッシブ型採集機器により行う。
着工前測定　・行う　・行わない
測定対象室　・図示　・
測定箇所数　・図示　・
採取方法　・文部科学省の定めるところによる。　・
報告書の様式　濃度測定記録表の記載事項は、次のとおり
1.工事名　2.測定年月日　3.天候　4.測定前の換気及び閉鎖時間
5.測定時間　6.室名と測定時間　7.測定器具
8.化学物質採取方法　9.分析装置

⑭完成図
・提出する　※提出しない　[1.9.1～3]
種類　※改修標仕 表1.9.1による　・
・配置図及び案内図　・各階平面図
・各立面図　・断面図
・仕上表　・施工図
・施工計画書　・
※ＣＡＤデータの提出　※提出する　・提出しない
・保全に関する資料　提出部数　※１部　・
・製本図面　提出部数　※1部　・2部　・3部

⑮記　録
工事記録については以下による。(A4版)
※工事着手前写真　１部
※工程写真　各工程毎　１部
※竣工写真　※内部、外部　２部
※工事の各記録写真については、デジタル画像にて整備編集を行うよう努めること。
※工事日報・納品伝票等の写しは、監督職員が提出を求めた場合は提出すること。

⑯設備工事との取合い
施工範囲　※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強
※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強

17 設計ＧＬ
※図示のベンチマーク（Ｂ.Ｍ）　mm　（現状地盤はＢ.Ｍ　mm）

⑱完成引渡し後の点検
かし期間は、別に定めた特約（責任施工による保証期間など）を除き、四日市市工事請負契約書に準拠する。
⊙工事完成引渡し後、必要に応じて一年又は二年を超えない範囲の適当な時期に、双方立ち会いで工事目的物のかし点検を実施する。

⑲随時検査
予定価格(税込)3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第8条第6項の規定により、発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受検すること

⑳施工体制台帳の提出
公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の定めにより、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、警備事業者についても記載すべき下請負の範囲に含むものとする。

㉑資源有効利用促進
※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。
・建設副産物を搬出する際の計画
1.土砂500m3以上
2.コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上
・再生資材を利用する際の計画
1.土砂500m3以上　3.加熱アスファルト200t以上
2.砕石500t以上

※産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士　登録　第　　号
四日市市諏訪町１番５号

工事名　浜田小学校管理教室棟保全改修工事(1期工事)

| 日付 | 図面名 | 縮尺 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| 年　月 | 特記仕様書（改修１）<br>令和7年11月版 | — | A-01<br>／ |

## 2章 仮設工事

① 足場その他
内部足場　種別　※きゃたつ、足場板等　・　[2.2.1]
外部足場　種別　※くさび緊結式（手すり先行工法）・　[2.2.1]
防護シートによる養生　・行わない
⊙行う　※１類　（・帆布製　※網地製）
騒音・粉じん等の対策　⊙行わない　・行う（・防音パネル　・防音シート）[2.1.3]
材料、撤去材等の運搬　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種　・Ｄ種　・Ｅ種　[2.2.1][表2.2.1]

② 養生その他
既存部分の養生　※ビニルシート、合板等　・　[2.3.1]
固定家具等の移動　※行わない　・行う(図示)

③ 仮設間仕切り
（ａ）設置箇所　※図示　・　[2.3.2][表2.3.1]

| 種別 | 下地 | 仕上材（厚さ mm） | 充てん材 | 塗装 |
|---|---|---|---|---|
| ・Ａ種 | ※軽量鉄骨 | ・合板（※9.0　・　） | | ※無し |
| ⊙Ｂ種 | ・木下地 | ※せっこうボード（※9.5　・　） | 厚さ　mm | ・片面 |
| ・Ｃ種 | 単管下地 | 防炎シート | | |
| 仮設扉 | ※木製扉 | ・合板張り程度 | | ※無し |
| | ・鋼製扉 | ・片面フラシュ程度 | | ・有り |

④ 監督職員事務所
・設ける　規模等は以下による　・既存施設の一部を使用する　※設けない　[2.4.1]
（・規模　㎡程度　・仕上げ；床　、壁　、天井　程度）

⑤ 工事用水
構内既存の施設　※利用できる（・有償 ※無償）　・利用できない

⑥ 工事用電力
構内既存の施設　※利用できる（・有償 ※無償）　・利用できない

## 3章 防水改修工事

① 既存下地の補修及び処置
※図示による　[3.2.6]
既存露出防水層表面の仕上塗装の除去　・する　・しない

2 アスファルト防水
[3.3.2～3][表3.1.1][表3.3.3～10]

| 防水改修工法の種類 | 施工箇所 | 新規防水層の種別 |
|---|---|---|
| | | |

アスファルトの種類　※3種　・　押え金物 ※アルミニウム製(L-30x15x2.0程度)
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
改修用ドレン　※設ける（　箇所）※銅製　・鉛製　・設けない　[3.2.5]
屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材
材質　※押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）
厚さ（mm）　※35
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材
材質　※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
厚さ（mm）　※35
乾式保護材　製造所の仕様による・
防水保護のれんがの種類　※市販品のレンガ又は市販品のレンガ形コンクリートブロック
保護コンクリート仕上り平たんさ種別　・ａ種　・ｂ種　・ｃ種　[3.3.5][8.1.4][表8.1.5]
仕上塗装（M4C,M3D,POD,POD1,M3D1,M4D1,工法）　※種類および使用量は製造所の仕様による
施工標識　※設ける　・設けない

③ 改質アスファルトシート防水
[表3.1.1][3.4.2～3][表3.4.1～3]

| 防水改修工法の種類 | 施工箇所 | 新規防水層の種別(厚さmm) | 仕上げ塗料等 |
|---|---|---|---|
| 図示 | R階屋根<br>2階吹抜上部<br>渡り廊下屋根 | AsI-T1 | 有(遮熱トップコート)<br>(日射反射率50%以上) |

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
脱気装置　・製造所の指定する製品　⊙ステンレス製　設置数量（ 25 ）箇所
屋根露出防水断熱工法に用いる断熱材　※製造所の指定する製品
・JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
施工標識　※設ける　・設けない

4 合成高分子系ルーフィングシート防水
[表3.1.1][3.5.2～3][表3.5.1～2]

| 防水改修工法の種類 | 施工箇所 | 新規防水層の種別(厚さmm) | 仕上げ塗料等 |
|---|---|---|---|
| | | | |

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
絶縁用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・　[3.5.2]
可塑剤移行防止用シートの材質　※発泡ポリエチレンシート　・　[3.5.2]
脱気装置　・製造所の指定する製品　・ステンレス製　設置数量（　）箇所
機械固定工法に用いる断熱材　※次のいずれかによる　・
※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
接着工法に用いる断熱材
※JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
・硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号又は2号
・ポリエチレンフォーム断熱材
改修用ドレン　※設ける（　箇所）　・設けない
※製造所の指定する製品　・銅製　・鉛製
施工標識　※設ける　・設けない

⑤ 塗膜防水
[表3.1.1][3.6.2～3][表3.6.1～表3.6.2]

| 防水改修工法の種類 | 施工箇所 | 新規防水層の種別 | 仕上げ塗料等 |
|---|---|---|---|
| 図示 | 昇降口上部 | X-2 | 有(防滑性トップコート) |
| | ベントハウス屋根 | X-2 | 有 |
| | 北側バルコニー床、屋外階段床 | X-2 | 有(防滑性トップコート) |
| | 屋根庇 | X-2 | 有 |

仕上げ塗料の使用量　※製造所の仕様による　・
既存塗膜防水層表面の仕上塗料の除去(L4X工法)　・除去する　[3.2.6]
脱気装置　⊙設けない　・設ける
施工標識　※設ける　・設けない

⑥ 保証期間
防水の保証期間は原則、表面仕上材塗替なしで10年とする。ただし、既存の劣化等の状況により保証ができない場合は、保証できない理由を明確にし、監督職員と協議を行うこと。

⑦ シーリング
⊙シーリング充填工法　⊙シーリング再充填工法　[3.1.4][表3.1.2]
・拡幅シーリング再充填工法　・ブリッジ工法
シーリング材の種類、施工箇所　[3.7.2][表3.7.1]
※下表以外は、改修標仕表 3.7.1を標準とする

| 施工箇所 | シーリング材の種類（記号） |
|---|---|
| ガラス、アルミパネル周囲、面台廻り | SR-1 |
| 建具周囲 | MS-2 |
| 打継目地、タイル目地 | PS-2 |

シーリングの試験　※行わない　・行う（※簡易接着性試験　・引張接着性試験）

⑧ とい
材質　・配管用鋼管　・硬質ﾎﾟﾘ塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VP)　⊙硬質ﾎﾟﾘ塩化ｶﾗｰﾋﾞﾆﾙ管(VP)[3.8.2(1)]
とい受け金物　※SUS製　・亜鉛メッキ製
ルーフドレン　※JCW301(日本鋳鉄ふた・排水器具工業会規格)　・図示による　[3.8.2(1)]

9 アルミニウム製笠木
表面処理　・AB-1種　※BB-1種　[3.9.2][表5.2.2]

## 4章 外壁改修工事

① 施工数量調査
調査範囲　・既存モルタル面⊙躯体コンクリート面　・図示の範囲　⊙既存タイル面　[1.6.2]
調査内容　ひび割れ（0.2mm以上）の長さを表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、
漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。
モルタルの浮き部分を表示する。また、モルタルの欠損部の形状寸法等を調査する。
コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。
調査報告書の部数　※１部

② 改修工法の種類
[4.1.4～5]

| 外壁の種類 | 種類 | 改修工法 |
|---|---|---|
| ⊙コンクリート打放し仕上げ | ⊙ひび割れ部 | ⊙樹脂注入工法⊙Ｕカットシール材充填工法・シール工法 |
| | ⊙欠損部 | ⊙充填工法 |
| ・モルタル塗り仕上げ | ・ひび割れ部 | ・樹脂注入工法・Ｕカットシール材充填工法・シール工法 |
| | ・欠損部 | ・充填工法　・モルタル塗替え工法 |
| | ・浮き部 | ・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法<br>・ |
| ⊙タイル張り仕上げ | ⊙ひび割れ部 | ⊙樹脂注入工法 |
| | ⊙欠損部 | ⊙タイル部分張替え工法　・タイル張替え工法 |
| | ⊙浮き部 | ⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 |
| | ⊙目地 | ⊙目地ひび割れ部改修工法　・伸縮調整目地改修工法 |
| ⊙塗り仕上げ | ・薄付け仕上塗材塗り　・可とう形改修用仕上塗材塗り | |
| | ・厚付け仕上塗材塗り　・マスチック塗材塗り | |
| | ⊙複層仕上塗材塗り　・外壁用塗膜防水材塗り | |

③ ひび割れ部改修工法
⊙樹脂注入工法　（・モルタル面　⊙躯体コンクリート面　⊙既存タイル面）[4.1.4][4.2.5]

| 注入工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 注入口間隔(mm) | 注入量(cc/m) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～1.0未満 | ※200～300 | ※<br>・ | |
| ・手動式エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～0.3未満 | ※50～100 | ※40　・ | |
| | 0.3以上～0.5未満 | ※100～200 | ※70　・ | |
| ・機械式エポキシ樹脂注入工法 | 0.5以上～1.0未満 | ※150～250 | ※130　・ | |

注入材料　[4.2.4]
※建築補修用注入エポキシ樹脂(JIS A 6024低粘度形又は中粘度形)
検査（コア抜取り）　⊙行わない
※行う（抜取り部の補修方法：　）
⊙Ｕカットシール材充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.6]
充填材料　※１成分形又は２成分形ポリウレタン系シーリング材
⊙可とう性エポキシ樹脂
ポリマーセメントモルタルの充填　※行う　・行わない
・シール工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.7]
シール材料　・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

④ 欠損部改修工法
※充填工法　[4.1.4][4.2.4][4.2.8]
充填材料　・ポリマーセメントモルタル（・モルタル面　・コンクリート面　・ＣＢ面）
⊙エポキシ樹脂モルタル（　）
・モルタル塗替え工法（改修標仕4.3.5(5)による）

⑤ 浮き部改修工法
[4.1.4][4.3.11～16][表4.3.5～6]

| 改修工法の種類（モルタルを撤去しない場合） | アンカーピンの本数(本/m²) 一般部 | アンカーピンの本数(本/m²) 指定部 | 注入口の箇所数(箇所/m²) 一般部 | 注入口の箇所数(箇所/m²) 指定部 | 充てん量 注入量 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 | ※ 16<br>・ | ※ 25<br>・ | | | ※25ml |
| ・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 | ※ 13<br>・ | ※ 20<br>・ | ※ 12<br>・ | ※ 20<br>・ | ※25ml |
| ・アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 | ※ 13<br>・ | ※ 20<br>・ | ※ 12<br>・ | ※ 20<br>・ | ・25ml<br>※50ml |
| ・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 | ※ 9<br>・ | ※ 16<br>・ | | | ※25ml |
| ・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法 | ※ 9<br>・ | ※ 16<br>・ | ※ 9<br>・ | ※ 16<br>・ | ※25ml |
| ・注入口付アンカーピンニング全面ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄｽﾗﾘｰ注入工法 | ※ 9<br>・ | ※ 16<br>・ | ※ 9<br>・ | ※ 16<br>・ | ※50ml |

※狭幅部におけるアンカーピン本数は、幅中央に5本/mとする
アンカーピン　[4.3.5]
材質　※ステンレス SUS304、呼び径４mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの　・
注入口付アンカーピン　[4.3.5]
材質　※ステンレス SUS304、呼び径外径６mm

⑥ 既存塗膜等の除去及び下地処理
既存塗膜劣化部の除去及び下地処理の工法　[4.5.4][表4.5.4～7]

| 工法 | 処理範囲 | 下地面の補修 |
|---|---|---|
| ・サンダー工法 | ※既存仕上面全体　・ | ・ひび割れ部改修工法 |
| ・高圧水洗工法 | ※既存仕上面全体　・ | ・浮き部改修工法 |
| ・塗膜はく離剤工法 | ※既存仕上面全体　・ | ・欠損部改修工法 |
| ⊙水洗い工法 | ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 | |

下地調整材　[4.3.5][4.5.4]
※下地調整塗材　・ポリマーセメントモルタル　・防水形仕上げ塗材主材を使用

⑦ 仕上塗材仕上げ
種類、仕上げの形状、工法　[4.5.1][4.5.2][表4.5.1～2]

| 種類 | 呼び名 | 仕上の形状 |
|---|---|---|
| ⊙薄付け仕上塗材 | ・外装薄塗材Ｅ | ・砂壁状　・着色骨材砂壁状 |
| | ・可とう形外装薄塗材Ｅ | ・砂壁状　・ゆず肌状　・ |
| | ⊙防水形外装薄塗材Ｅ | ⊙ゆず肌状　・凹凸状 |
| ・複層仕上塗材 | ・複層塗材ＣＥ | ・ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状 |
| | ・可とう形複層塗材ＣＥ | 上塗材　・水系アクリル |
| | ・複層塗材Ｅ | ・水系アクリルシリコン |
| | ・複層塗材ＲＥ | 外観　※つやあり　・つやなし |
| | ・防水形複層塗材ＣＥ | ・メタリック |
| | ・防水形複層塗材Ｅ | 防水形の増塗材　・行う |
| ・可とう形改修用仕上塗材 | ※可とう形改修塗材Ｅ | ・平たん状　・さざ波状　※ゆず肌状 |
| | ・可とう形改修塗材ＲＥ | 上塗材　・アクリル　・ウレタン |
| | | ※シリコン　・ふっ素 |
| | | 外観　・吹付　※ローラー |
| | | 仕上　※薄付け　・厚付け |

⑧ 設計数量

| 外壁部位 | 種類 | 工法 | 数量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・コンクリート打放し面 | ・ひび割れ | ※Ｕカットシール材充填工法<br>・ | <br>m | |
| | ・欠損部 | ※エポキシ樹脂モルタル充填工法<br>・ | <br>箇所 | |
| ⊙モルタル塗り仕上げ面（タイル面） | ⊙ひび割れ | ※Ｕカットシール材充填工法 | m | |
| | | ⊙自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 | 3.7 m | 50角タイル |
| | ・欠損部 | ※充填工法<br>・ | <br>m | |
| | ⊙浮き部 | ※アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法<br>・タイル部分張替え工法 | 20.2 ㎡ | 50角タイル |

※上記数量については、現場調査を行い報告書を作成し、提出する。
尚、数量の10%を越える増減が生じた場合は協議の上、契約変更を行う事ができる。

## 5章 建具改修工事

① 改修工法
⊙かぶせ工法　⊙撤去工法（・引き抜き工法　⊙はつり工法）　[5.1.3]

2 見本の製作等
・建具見本の製作　・特殊な建具の仮組　[5.1.5]

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士　登録　第　号
四日市市諏訪町１番５号

工事名
浜田小学校管理教室棟保全改修工事(1期工事)

| 日付 | 図面名 | 縮尺 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| 年　月 | 特記仕様書（改修２）<br>令和7年11月版 | — | A-02 |

## 5章 建具改修工事

### ③ アルミニウム製建具

外部に面する建具（フロントサッシは除く） [5.2.2][表5.2.1]

| 種　別 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠見込み(mm) | 施工箇所 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙A種 | S－4 | A－3 | W－4 | ※ 70 | ※図示 |
| ・B種 | S－5 | | | ⊙100 | |
| ・C種 | S－6 | A－4 | W－5 | ・70 ・100 ・ | |

表面処理 ※BB-1種 ・BB-2種(※ﾌﾞﾛﾝｽﾞ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ) [5.2.4][表5.2.2]

内部建具 [5.2.4][表5.2.2]

表面処理 ※AC-1又はBB-1種 ・AC-2又はBB-2種(※ﾌﾞﾛﾝｽﾞ系 ・ﾌﾞﾗｯｸ ・ｽﾃﾝｶﾗｰ)

### 4 網戸

防虫網 [5.2.3]

網の種別 ※ステンレス(SUS316)製 ・合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製

形　式 ※可動式 ・固定式

### 5 樹脂製建具

外部に面する建具（ﾌﾛﾝﾄｻｯｼは製造所の仕様による） [5.3.2][表5.3.1]

| 種　別 | 耐風圧性 | 気密性 | 水密性 | 枠見込み(mm) | 施工箇所 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・A種 | S－4 | A－4 | W－4 | ・ 70 | ※図示 |
| ・B種 | S－5 | | W－5 | ・100 | |
| ・C種 | S－6 | | | ・ | |

・防音ドアセット及び防音サッシの適用 種別 ・T-1種 ・T-2種 [5.3.2][表5.3.2]

・断熱ドアセット及び断熱サッシの適用 種別 ・H-4種 ・H-5種 [5.3.2][表5.3.3]

・H-6種 ・H-7種 ・H-8種

### 6 鋼製建具

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [5.4.2]

### ⑦ 鋼製軽量建具

品質規格 ※改修標仕表5.5.1による [5.5.2][5.5.4]

・製造所標準仕様による

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない

### 8 ステンレス製建具

表面仕上げ ※ＨＬ仕上げ ・鏡面仕上げ [5.6.2][5.6.4]

曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ

簡易気密型ドア ・使用する ※使用しない [表5.4.1]

### ⑨ 木製建具

材料の含水率 [5.7.2][表5.7.1]

| 種　別 | 加工及び組み立て時の含水率 |
|---|---|
| ※A種 | １５％以下 |
| ・B種 | １８％以下 |

### ⑩ 建具用金物

マスターキー ・製作する ⊙製作しない（既存マスターキーに合わせる） [5.8.4]

モノロック ゴール(　　) 美和ロック(　　)

シリンダー箱錠 ゴール(　　) 美和ロック(　　)

シリンダー本締り錠 ゴール(　　) 美和ロック(　　)

ドアクローザー 大鳥機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ

フロアヒンジ 大鳥機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ

ヒンジクローザー 大鳥機工、日本ドアチェック製造、美和ロック、リョービ

押板、取手 ユニオン、DAIKEN

### 11 自動ドア開閉装置

開閉方法 ※引き戸 ・多機能トイレ用引き戸 [5.9.2～3][表5.9.1～6]

センサーの種類 ・光線センサー ・熱線センサー ・

### 12 自閉式上吊り引戸装置

品質規格 ※改修標仕5.10.3による [5.10.3][表5.10.1]

・製造所標準仕様による

### 13 重量シャッター

種類 ・管理用シャッター ・外壁用防火シャッター [5.11.2][表5.11.1]

・屋内用防火シャッター ・屋内用防煙シャッター

開閉機能 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 [5.11.2]

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板 [5.11.3]

形状 ※インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.11.2]

シャッターケース(防火・防煙以外のもの) ・設ける ・設けない

危害防止機構 ・障害物感知装置（自動閉鎖型）

・「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」に適合するもの

耐風圧性能（　　）N/㎡（一般重量・外壁用防火のもの）

### 14 軽量シャッター

開閉形式 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) [5.12.2][表5.12.1]

スラット 材質 ※塗装溶融亜鉛めっき鋼板 ・ [5.12.3]

形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形 [5.12.4]

耐風圧性能（　　）N/㎡

### 15 その他のシャッター

・オーバーヘッドドア

・リンググリルシャッター

### ⑯ ガラス

種類・厚さ ※ 建具表による [5.14.2]

### ⑰ ガラスの留め材

種別(区分は図示による) [5.14.2]

※シーリング材(SR-1, ｼﾘｺｰﾝ系、9030G) ・ガスケット

### 18 ガラス用フィルム

品質は、JIS A5759による

※ガラス飛散防止フィルム 種類（・第２種 ・　　） 張り面（※内張 ・外張）

性能値 ※層間変位試験に適合するもの（B法）

## 6章 内装改修工事

### ① 改修範囲

既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井、壁,床の改修範囲 [6.1.3]

※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※壁面より両側600㎜程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による範囲

天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修範囲

※既存のまま ⊙図示による範囲

### ② 既存床の撤去並びに下地補修

ビニル床シート等の撤去 ※仕上げ材のみ(接着剤とも) [6.2.2]

⊙下地モルタルとも(※図示の範囲 ・除去範囲全て)

改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内 ・図示

合成樹脂塗り床の除去 ・機械的除去工法 ・目荒工法

### ③ 既存壁の撤去並びに下地補修

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修 [4.3.10][6.3.2]

※図示 ・モルタル塗り(塗り厚25㎜を超える場合の補強 ・行う ・行わない)

### ④ 木下地等

表面仕上げ程度 ※ﾌﾟﾚｰﾅｰ仕上げ ・ｻﾝﾀﾞｰ仕上げ ・超自動機械かんな仕上げ [6.5.1]

木材の含水率 ※Ａ種 ・Ｂ種 [6.5.2][表6.5.3]

木材の品質 ※改修標仕6.5.2による ・市販品 [6.5.2][表6.5.4]

樹種 構造材 ※杉 ・松 ・ひのき

造作材 ※杉 ・松 ・ひのき

防腐防蟻処理等 ※行わない ⊙行う(箇所ー　　)

木材保存(木材の防腐・防蟻処理)剤は、監督職員の承諾するものとする。

※9.0㎜未満の合板上張り留め付けはタッカー留めとする。

### 5 集成材等

集成材又は単板積層材の材質 [6.5.2]

ホルムアルデヒト放散量 ※規制対象外 ・第三種

| 品　名 | 規格・品質 | 芯材の種類 | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ・造作用集成材 | ※１等 ・２等 | ・たも ・なら ・しおじ | |
| ・化粧ばり造作用集成材 | ※１等 ・２等 | ・単一針葉樹 | |
| ・化粧ばり構造用集成材 | | | |
| ・造作用単板積層材 | | | |
| ・直交集成材 | | | |
| | | | |

### ⑥ 接着剤

※木工事に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 [6.5.3]

※壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、幅木に使用する接着剤の [6.8.2][6.14.2]

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

### ⑦ 床板張り

フローリング及び縁甲板張り床 [表6.5.8]

| | | |
|---|---|---|
| 下張り用床板 | ※無し | |
| | ・有り | ※合板張り ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・ |
| 床　板 | ※単層フローリング(改修標仕6.11.2による) | |
| | ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種 | |
| | ⊙縁甲板 | ※ひのき |

### ⑧ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 屋内（※19形 ・25形） 屋外（※25形 ・19形） [6.6.2][表6.6.1]

既存の埋込みインサート ⊙使用する ・使用しない [6.6.4]

あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う ⊙行わない

耐震補強 ・行う（図示）

屋外軒天井及びピロティ天井補強 ※図示

### ⑨ 軽量鉄骨壁下地

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

### ⑩ ビニル床シート

工法 ※熱溶接工法 ・突付け(施工箇所　　) [6.8.2～3]

| 種　類 | JISの記号 | 色　柄 | 厚さ(mm) | 備　考 |
|---|---|---|---|---|
| ※発泡層のないもの | ※ＦＳ | ・無地 ※マーブル柄 | ・2.5 ※2.0 | |
| ・発泡層のあるもの | | ※柄物 ・無地 | | |
| ⊙防汚防滑性ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ | | | | |

接着材 ※改修標仕表6.8.1による ・エポキシ樹脂系

### 11 ビニル床タイル

[6.8.2]

| 種　類 | JISの記号 | 厚さ(mm) | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ※単層ビニル床タイル | ＴＴ | ※2.0 | |
| ・複層ビニル床タイル | ＦＴ | ・ | |
| ・コンポジションビニル床タイル | ＫＴ | ・ | |

接着材 ※改修標仕表6.8.1による ・エポキシ樹脂系

### 12 帯電防止ビニル床タイル

[6.8.2]

| 種　類 | 厚さ(mm) | 性　能 |
|---|---|---|
| ※単層ビニル床タイル | ※2.0 | 体積抵抗値 1.0x10⁹ Ω以下又は |
| ・複層ビニル床タイル | ・ | 漏えい抵抗値 1.0x10¹⁰ Ω以下 |
| ・コンポジションビニル床タイル | ・ | |

### 13 誘導用及び注意喚起用床材

視覚障害者用床タイル [6.8.2]

| 種　類 | 寸法(mm) | 施工箇所 |
|---|---|---|
| ・塩化ビニル製 | ※300×300 | |
| ・レジンコンクリート製 | ・ | |
| ・磁器又はせっ器質タイル | | |

### ⑭ ビニル幅木

高さ（mm） ※60 ・75 ⊙100

### 15 カーペット敷き

・織じゅうたん [6.9.2～3][表6.9.1～2]

| 種　別 | パイル形状 | 色柄　等 | 備　考 |
|---|---|---|---|
| ・A種 | ・カットパイル | ※無地 | |
| ・B種 | ・ループパイル | ・柄物(標準品) | |
| ・C種 | ・カット、ループパイル併用 | ・ | |

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タフテッドカーペット [6.9.2～3][表6.9.2]

| パイル形状 | パイル長（mm） | 工　法 | 帯電性 |
|---|---|---|---|
| ・カットパイル | ※５～７ | ※全面接着工法 | 人体帯電圧 |
| ・ループパイル | ※４～６ | ・グリッパー工法 | ※３kv以下 |
| ・カット、ループパイル併用 | ・ | | |

耐電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・

・タイルカーペット [6.9.2～3][表6.9.2]

| パイル形状 | 種類 | 寸法（mm） | 総厚さ（mm） | 施工箇所 |
|---|---|---|---|---|
| ・ループパイル | ※第一種 | ※500×500 | ※6.5 | |
| | ・第二種 | ・ | | |
| ・カットパイル | | | | |
| ・カット、ループ併用 | | | | |

・下敷き材 種類 ※第二種二号 厚さ 8.0mm

### 16 合成樹脂塗床

[6.10.3][表6.10.4～8]

・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ

・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）

・厚膜流しのべ仕上げ（※平滑 ・防滑）

・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑）

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

### ⑰ フローリング張り

[6.11.2～7][表6.11.1～7]

| 種　別 | 樹　種 | 工　法 | 塗　装 | |
|---|---|---|---|---|
| ※天然木化粧複合フローリング・単層フローリング | ※なら・ひのき | ※釘止め工法（・A種・B種・C種）・接着剤併用釘留め | ※塗装品・無塗装品 | |
| ⊙モザイクパーケット張り | ⊙ｶﾊﾞ、ｻｸﾗ | ⊙接着工法 | ⊙塗装品 | |
| | | | | |

ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

### 18 畳敷き

種別 ・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ※Ｄ種（ＫＴ－Ⅲ） [6.12.2][表6.12.1]

### ⑲ せっこうボード その他ボード張り

[6.13.2][表6.13.1]

| 種　類 | JISの記号 | 厚さ（mm）、規格等 |
|---|---|---|
| ・硬質木毛セメント板 | HW | ・15 ・20 ・25 ・ |
| ・普通木毛セメント板 | NW | ・15 ・20 ・25 ・ |
| ・けい酸カルシウム板 | 0.8FK | 無石綿 ※6 ・8 ・ |
| ・ロックウール化粧吸音板 | DR | ※ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ（※9（不燃） ・12 ・ ） ・凹凸ﾀｲﾌﾟ（※12(不燃) ・15 ・19 ・ ） |
| ⊙せっこうボード | GB-R | ※12.5(不燃) ⊙9.5(準不燃) |
| ・不燃積層せっこうボード | GB-NC | 9.5(不燃) 化粧無（下地張り用） 化粧有（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様） |
| ・強化せっこうボード | GB-F | ・12.5(不燃) ・15.0(不燃) |
| ⊙シージング石こうボード | GB-S | ⊙12.5(不燃) |
| ⊙化粧せっこうボード | GB-D | ・12.5(不燃) ⊙9.5（準不燃） |
| ・せっこうラスボード | GB-L | ・9.5 |
| ・メラミン樹脂化粧板 | | JIS K 6903による 厚さ1.2 |
| ・パーティクルボード | | |
| ⊙化粧けい酸カルシウム板 | 0.8FK | ※6 |
| | | |
| | | |

合板類、繊維板、パーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・第三種

軽量鉄骨下地ボード遮音壁の遮音シール材 ※適用する ・適用しない

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士 登録 第　　号

四日市市諏訪町１番５号

工事名

浜田小学校管理教室棟保全改修工事(1期工事)

| 日付 | 図面名 | 縮尺 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| 年　月 | 特記仕様書（改修３） 令和7年11月版 | — | A-03 / |

## 6章 内装改修工事

### ⑳ せっこうボードの目地処理

目地処理の種類等 [6.13.3][表6.13.5]

⊙継目処理工法　施工場所（　　）

⊙突付け工法　施工場所（　　）

・目透し工法　施工場所（　　）

### 21 壁紙張り

[6.14.3]

| 施工箇所 | 壁紙の種類 | 防火性能 | 備考 |
|---|---|---|---|
| | ※量産ｸﾛｽ　・ | ・不燃　・準不燃　・難燃 | |
| | | ・不燃　・準不燃　・難燃 | |

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種　[表6.14.1]

コンクリート面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種　[表6.14.2]

せっこうボード及びその他ボード面の素地ごしらえ　・Ａ種　※Ｂ種　[表6.14.3]

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

### 22 ｾﾗﾐｯｸﾀｲﾙ張り

タイルの種類 [6.16.3]

| 施工箇所 | 形状寸法(mm) | 用途による区分 | | 耐凍害性 | | 色調 | | うわぐすり | | 役物 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 無 | 有 | 標準 | 特注 | 無釉 | 施釉 | 無 | 有 |
| | | ・屋内 ・屋外 | ・床 ・壁 | ※ | ・ | ※ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | ・屋内 ・屋外 | ・床 ・壁 | ※ | ・ | ※ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | ・屋内 ・屋外 | ・床 ・壁 | ※ | ・ | ※ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | ・屋内 ・屋外 | ・床 ・壁 | ※ | ・ | ※ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

タイルの見本焼き　※行わない　・行う（※外装タイル　・　　）

内装タイル　・改良積上げ張り [6.16.3][表6.16.4]

※壁タイル接着剤張り [6.16.4][表6.16.6]

### 23 セルフレベリング

セルフレベリング材の種類　・せっこう系　※セメント系 [6.17.2][表6.17.1]

※厚み（　　mm程度）

### 24 断熱材

(標仕19.9.2～3)

| 種類 | | 施工箇所 | 厚さ（mm） | 品質等 |
|---|---|---|---|---|
| ・押出法ポリスチレンフォーム保温板 | ※２種b | ※一般部 | ※25 | ※ノンフロンのもの<br>・特定フロンを使用しないもの |
| | ※３種b | ・接地部分 | ※25 | |
| ・現場発泡断熱材 | | ※断熱材補修部分 | | ノンフロンタイプ<br>・HFCタイプ<br>難燃性・3級　・2級<br>・難燃材料相当品 |
| | | ・一般部 | ※15 | |

ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材の

ホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

### 25 フリーアクセスフロア

(標仕20.2.2)

| 施工箇所 | 仕上り高 | 耐震性能 | 耐荷重性能 | 表面仕上げ材 |
|---|---|---|---|---|
| | | | ・3000N<br>・5000N | ・帯電防止床タイル<br>・タイルカーペット |

スロープ及びボーダー　※製造所の標準仕様　・図示

### 26 可動間仕切

(標仕20.2.3)

| 構造形式 | ﾊﾟﾈﾙ部の総厚さ(mm) | 表面材種 厚さ(mm) | 表面仕上げ |
|---|---|---|---|
| ※パネル式<br>・スタッド式<br>・スタッドパネル式 | | ※鋼板<br>(※0.6　・0.8)<br>・ | ※メラミン樹脂又は<br>アクリル樹脂焼付け<br>・ |

遮音性　・あり（　　）　・なし

### 27 移動間仕切り

操作方法　・手動式　・電動式　・部分電動式 (標仕20.2.4)

パネル表面材（・　　）　遮音性（・　　）

パネル及び圧着装置の操作方法　（・　　）

### ㉘ トイレブース

パネル表面材　※高圧メラミン樹脂系化粧板（アルミ製コナーエッジ付き） (標仕20.2.5)

・ポリエステル樹脂系化粧板(アルミ製コナーエッジ付き)

脚部　(ｽﾃﾝﾚｽ製)　※幅木タイプ　・脚金物タイプ

### 29 階段滑り止め

材種　※ステンレス製ビニルタイヤ入り　・ (標仕20.2.7)

寸法　※幅 35mm　・　取付け工法　※接着工法　・埋込み工法

### 30 黒板及びホワイトボード

(標仕20.2.9)

| 種類 | | 寸法(mm) | 色彩 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・黒板 | ※ホーロー | | ※緑　・黒 | ※平面　・曲面　・ |
| | ※焼付け | | ※緑　・黒 | |
| ・ホワイトボード | ※ホーロー | | ※白 | |

### 31 ブラインド

・既存再使用する（養生方法　） [2.3.1][5.1.6]

・新設する (標仕20.2.14)

| 形式 | 種類 | スラットの材種・幅(mm) | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ※横型 | ※ギヤ式　・コード式<br>・操作棒式 | ※アルミニウム合金 ※25<br>・ | |
| ・縦型 | ・１本操作コード<br>※２本操作コード | ・アルミスラット　・80<br>・クロススラット　・100 | |

### 32 ロールスクリーン

材種・品質（　　）(標仕20.2.15)

操作方法（　　）

### 33 カーテン

・既存再使用する（養生方法　） [2.3.1][5.1.6]

・新設する (標仕20.2.16)

| 施工箇所 | 名称・品質 | ひだの種別 | 形式 |
|---|---|---|---|
| | | ・箱ひだ等　・片ひだ | ・片引　・引分 |
| | | ・箱ひだ等　・片ひだ | ・片引　・引分 |

防炎加工　消防庁認定の ㋑ とする

カーテンレール　・アルミニウム製　※ステンレス製　※Ｃ型又はＤ型

カーテンきれ地のはぎれ　※半幅未満は使用しない　・一幅未満は使用しない

暗幕用カーテンの重なりは300mm以上とする。なお、重ねか所は下記による。

・両端　・上部　※召合わせ

### ㉞ 点検口

天井点検口　※アルミニウム製　（※額縁タイプ　・目地タイプ ）

床点検口　※アルミニウム製　・ステンレス製　受け枠（・　　）

### 35 流し台ユニット

| 種類 | 寸法 | 適用内容 | 規格・品質等 |
|---|---|---|---|
| 流し台 | ※1200　・1500　・ | トラップ付 | ※優良住宅部品 |
| コンロ台 | ※600　・700　・ | バックガード付 | |
| | | | |

## 7章 塗装改修工事

### ① 材料一般

⊙屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。 [7.1.3]

・次の箇所を除き防火材料とする。（　　）

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放散量　※規制対象外　・第三種

### ② 下地調整

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 [7.2.1]

下地調整 [表7.2.1～7]

| 下地面の種類 | 下地調整の種別 |
|---|---|
| 木部 | ・RA種 ※RB種 ・RC種 |
| 鉄鋼面 | ・RA種 ※RB種 ・RC種 |
| 亜鉛めっき面 | ・RA種 ※RB種 ・RC種 |
| モルタル、せっこうプラスター面 | ・RA種 ※RB種 ・RC種 |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ及びALCパネル面 | ・RA種 ※RB種 ・RC種 |
| せっこうボード、その他ボード面 | ・RA種 ※RB種 ⊙RC種 |

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修 [表7.2.4～6]

⊙行わない　・行う（補修範囲及び補修方法は図示）

### ③ 素地ごしらえ

素地ごしらえ [7.3.1～7]　[表7.3.1～7]

| 素地面の種類 | 種別 | 備考 |
|---|---|---|
| 木部 | ・A種 ⊙B種 | 不透明塗料塗りの場合はA種<br>透明塗料塗りの場合はB種 |
| 鉄鋼面 | ・A種 ・B種 ※C種 | 8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、B種とする |
| 亜鉛めっき面 | ・A種 ・B種 | |
| ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ面 | ・A種 ※B種 | |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ及びALCパネル面 | ・A種 ※B種 | 8節[耐候性塗料塗り(DP)]の場合は、ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出形成ｾﾒﾝﾄ版面による |
| ｺﾝｸﾘｰﾄ及び押出形成ｾﾒﾝﾄ版面 | ・A種 ・B種 | |
| せっこうﾎﾞｰﾄﾞ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面 | ・A種 ※B種 | |

### 4 錆止め塗料塗り

塗料種別 [7.4.2]

鉄鋼面　※As種（　　）　・Bs種　・Cs種　・Ds種　・Es種 [表7.4.1]

仕上げＥＰ－Ｇの場合　・As種（　　）　※Bs種

亜鉛めっき鋼面　※Az種　・Bz種 [表7.4.2]

仕上げＥＰ－Ｇの場合　・Az種（　　）　※Cz種

錆止め塗料塗り [表7.4.3～6]

鉄鋼面塗り替えの場合の種別　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種

亜鉛めっき面の塗りの種別　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種

亜鉛めっき面ＥＰ－Ｇ塗り替えの場合の種別　・Ａ種　・Ｂ種　※Ｃ種

新規鉄鋼面、亜鉛めっき面の塗りの種別　※標仕18.3.3による

### 5 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)

塗り工法 [7.5.1～4][表7.5.1～3]

| 下地の種類 | 塗料種類 | 塗り工法 |
|---|---|---|
| 木部 | ※1種　・2種 | 新規(屋外　※Ａ種・Ｂ種　屋内　Ａ種※Ｂ種)<br>塗替え(※Ｂ種　・　　) |
| 鉄鋼面 | ※1種　・2種 | ・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種 |
| 亜鉛めっき面 | ※1種　・2種 | ※改修標仕7.5.4よる　・ |

### 6 クリアラッカー塗り(CL)

塗替えの場合の下地調整　・RA種　※RB種　・RC種 [7.2.2]

塗り工法の種別　・Ａ種　※Ｂ種 [7.6.2][表7.6.1]

### ⑦ アクリル樹脂系非水分散形塗料(NAD)

塗替えの場合の下地調整　・RA種　※RB種　⊙RC種(ケイカル面) [7.2.5～6]

塗り工法の種別　・Ａ種　※Ｂ種 [7.7.2][表7.7.1]

### 8 耐候性塗料塗り(DP)

塗替えの場合の下地調整　・RA種 ※RB種　・RC種　[7.2.2][表7.2.1] ～ [7.2.7][表7.2.7]

・鉄鋼面　工法は、表7.8.1 [7.8.2][表7.8.1]

・亜鉛めっき面　工法は、表7.8.2 [7.8.3][表7.8.2]

上塗種別

・ JISK5659（１級）　ふっ素系樹脂塗料

・ JISK5659（２級）　シリコン系樹脂塗料

・ JISK5659（３級）　ポリウレタン系樹脂塗料

・コンクリート面、押出成型セメント板面 [7.8.4][表7.8.3]

工法は、表7.8.3　種別は(・A-1種　・A-2種　・B-1種　・B-2　・C-1種　・C-2種)

上塗種別

・ JISK5658　主要原料　ふっ素樹脂(1級)

・ JISK5658　主要原料　シリコーン樹脂(2級)

・ JISK5658　主要原料　ポリウレタン樹脂(3級)

### 9 つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)

[7.9.2～5][表7.9.1～4]

| 下地の種類 | 塗り工法 |
|---|---|
| ｺﾝｸﾘｰﾄ、押出成形ｾﾒﾝﾄ板、ﾓﾙﾀﾙ、せっこうﾌﾟﾗｽﾀｰ、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面 | 新規(・Ａ種　・Ｂ種)　塗替え(※Ｂ種　・　) |
| 木部 | 新規(※Ａ種　・　)　塗替え(※Ｂ種　・　) |
| 鉄鋼面 | 新規(・Ａ種　・Ｂ種)　塗替え(※Ｂ種　・　) |
| 亜鉛めっき鋼面 | 新規(※Ａ種　・　)　塗替え(※Ｂ種　・　) |

塗替えの場合のシーラー　※改修標仕 7.9.2による　・行わない

### 10 合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)

塗り工法の種別　・Ａ種　※Ｂ種　・Ｃ種 [7.10.2][表7.10.1]

### ⑪ ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)

塗り工法の種別　・Ａ種　※Ｂ種 [7.11.2][表7.11.1]

塗料の種別　※１液形　・２液形

着色剤の種別　・油性顔料着色剤　・溶剤形顔料着色剤

### 12 ピグメントステイン塗り

木部　工法は改修標仕表7.12.1による [7.12.2][表7.12.1]

### 13 木材保護塗料塗り(WP)

工法　・Ａ種　※Ｂ種 [7.13.2][表7.13.1]

## 8章 耐震改修工事

### ① 鉄筋の種類

[8.2.1][表8.2.1]

| 種類の記号 | 径 |
|---|---|
| ⊙ ＳＤ295 | ※　Ｄ16以下 |
| ・ ＳＤ345 | ※　Ｄ19以上 |

### 2 溶接金網

網目の形状　（※ 150x150　・ 100x100　・50×50　） [8.2.2]

鉄線の径（mm）（※ 6.0　・3.2　）

### ③ 鉄筋の材料試験

※JIS規格品については径の異なるごとに１ｔ未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。 [8.2.3]

四日市市都市整備部営繕工務課

一級建築士　登録　第　　号

四日市市諏訪町１番５号

工事名

浜田小学校管理教室棟保全改修工事(1期工事)

| 日付 | 図面名 | 縮尺 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| 年　月 | 特記仕様書（改修４） | — | A-04 |
| | 令和7年11月版 | | / |

## 8章 耐震改修工事

④ 継手及び定着
鉄筋の継手方法 [8.3.4][表8.3.3]
・径D19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手
・重ね継手
継手位置 ※標仕各部配筋参考図による ・図示 [8.3.4]
定着長さ ※改標仕[表8.3.4]による ・図示 [8.3.4][表8.3.4]

5 帯筋組立の形
※各部配筋参考図図1.1による ・図示 [8.3.4]

6 壁の配筋及び補強
※標仕各部配筋参考図４節による ・図示 [8.3.7]

7 ガス圧接
圧接部の確認試験 [8.3.8]
※超音波探傷試験 ・引張試験

⑧ コンクリートの種類及び強度
コンクリートの種類 ※普通コンクリート ・軽量コンクリート [8.1.3]
普通コンクリートの類別 ※I類 ・II類 [8.1.3][表8.1.1]
仕上りの平たんさ種別 ・ａ種 ・ｂ種 ・ｃ種 [8.1.4][表8.1.5]
普通コンクリートの設計基準強度 [8.1.4]

| 設計基準強度Fo | 施 工 箇 所 |
|---|---|
| ※ 21 (N/mm$^2$) | |
| ・ | |

軽量コンクリートの設計基準強度 [8.1.3～4][8.9.1～2][表8.9.1]

| 設計基準強度Fo (N/mm$^2$) | 気乾単位容積質量 (t/m$^3$) | 種 別 | 施 工 箇 所 |
|---|---|---|---|
| ※ 21 (N/mm ) | ※1.9程度 | ※１種 | |
| ・ | | | |

⑨ コンクリートの材料
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種 [8.2.5][表8.2.3]
・高炉セメントＢ種 適用箇所（ ）
・フライアッシュセメントＢ種 適用箇所（ ）
・アルカリシリカ反応による区分 ※Ａ
・フェロニッケルスラグ細骨材は使用しない

10 モルタル及びグラウト材
グラウト材 ※無収縮グラウト材 （圧縮強度 45Ｎ/mm²以上） [8.2.6][8.2.12]
太平洋プレユーロックス（太平洋マテリアル） マスターフロー540グラウト(BASFポゾリス)
ノンシュリンクライトグラウト（ＡＢＣ商会） デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

柱底等の均しモルタル ※無収縮モルタル ・モルタル
太平洋プレユーロックス(太平洋マテリアル) マスターフロー870グラウト(BASFポゾリス)
ノンシュリンクライトグラウト（ＡＢＣ商会） デンカ プレタスコン TYPE-1(電気化学工業)
社団法人 公共建築協会の評価を受けているもの

11 無筋コンクリート [8.11.1～3]

| 種 類 | 設計基準強度Fo (N/mm$^2$) | スランプ (cm) | 粗骨材の最大寸法 | 適用箇所 |
|---|---|---|---|---|
| ※普通コンクリート | ※18 | ※15又は18 | ※25 | |
| | | | | |

12 調合管理強度
構造体強度補正値（Ｓ） [8.2.5][表8.2.4]
（普通ポルトランドセメント）

| 打 設 期 間 | 補正値(N/mm$^2$) | 備 考 |
|---|---|---|
| 2/25～7/ 7 9/ 7～11/22 | 3.0 | |
| 11/23～2/24 | 6.0 | |
| 7/ 8～9/ 6 | 6.0 | 暑中コンクリート |

13 コンクリートの試験
※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。 [8.8.2～3]
20m$^3$以下の場合の試験については、監督職員の指示による。
20～50m$^3$の場合は任意の一車より試料を採取し、各３個供試体を作成する。
50m$^3$以上は 改修標仕8.8.3による。

14 型枠
打ち放し仕上げの種別 [8.7.8]

| 種 別 | 施 工 箇 所 | |
|---|---|---|
| ・Ａ 種 | | |
| ※Ｂ 種 | | |
| ・Ｃ 種 | | |

外部に面するコンクリート打ち放し仕上げの打増し ・20 ※図示 [8.7.8]

15 鉄骨製作工場
・監督職員の承諾する工場 [8.1.5]
・(社)全国鉄構工業協会、(株)日本鉄骨評価センター認定工場（下記認定グレード以上）
（・Ｓ ・Ｈ ・Ｍ ・Ｒ ・Ｊ ）
施工管理技術者 ・配置する ・配置しない [8.1.6]

16 鉄骨工作図
※高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は、国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による。 [8.13.2]

17 溶接管理技術者
・配置する ・配置しない [8.15.2]

18 鋼材
鋼材の材質、規格は下表による。 [8.2.8]

| 材 質 | 品名又は使用箇所 | 規 格 |
|---|---|---|
| | | ※JISの規格品 |
| | | ※JISの規格品 |
| | | ※JISの規格品 |

19 高力ボルト
※トルシア形高力ボルト ・JIS形高力ボルト ・溶融亜鉛めっき高力ボルト [8.2.9]
径（ ）
すべり係数試験 ・実施する ※実施しない [8.14.2]
試験方法（ ）、試験片の摩擦面の状態（ ）

20 鋼材の材料試験
※JIS規格品については種類の異なるごとに１ｔ未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。 [8.2.13]

21 溶接施工
エンドタブの種類 ※鋼製タブ [8.15.7]
代替タブを使用する場合は、セラミックスタブとし、以下の書類を提出し、監督職員の承諾を得ること。
・セラミックスタブの使用実績
・AW検定協議会の代替エンドタブ技量認定資格者または日本エンドタブ協会によるエンドタブ施工講習（溶接技能者・固形タブ・A級）修了者の資格証
・鉄骨製作工場における施工実績
エンドタブの切断 ・行う（ ） ・行わない
スカラップ ※改良型スカラップ

22 溶接部の試験
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※行う(9mm以上) ・行わない [8.15.12]
試験箇所数 耐震ブレース ※改修標仕8.15.12による ・
その他 ※標仕7.6.12(ｲ)による ・

23 錆止め塗料
・鉄骨造の鉄部錆止め塗料の種別は、下記とする。 [8.17.3]
・JIS K 5674
・DP塗装の場合 JIS K 5552 + JIS K 5551(2回)
耐火被覆材の接着する面の塗装 ・行う ※行わない

24 耐火被覆材 [8.18.2～7]

| 種 別 | | 所要性能及び適用構造部位 |
|---|---|---|
| ・耐火材吹付け | ・乾式吹付けロックウール | |
| | ・半乾式吹付けロックウール | |
| | ・湿式ロックウール | |
| ・耐火板張り | | |
| ・ラス張りモルタル塗り | | |
| ・耐火塗料 | | |

25 既存コンクリート面の目荒し
適用範囲 [8.21.3][8.22.3]
※既存コンクリートとの打継ぎ面
※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材充填部の接合面
・
目荒らしの範囲
※柱、梁面 打継ぎ面又は接合面全体の３/４以上
※壁面 打継ぎ面又は接合面全面の１/３程度
・
目荒らしの程度
※平均深さ５～１０㎜で最大深さ１５㎜程度の凹部を施す

㉖ あと施工アンカーの材料
⊙金属拡張アンカー [8.2.4]
※接着系アンカー
接着剤の材質及びカプセルの種類 （ガラス管タイプ）
日本デコラックス（株） ケミカルアンカーR、RSタイプ
旭化成ジオテック（株） ＡＲケミカルセッターＳＵＰＥＲ ＬＬ ＡＰ
日本ヒルティ(株) ＨＶＵ-Ｇ／ＥＡ もしくは同等品以上
接合筋の種類 ※鉄筋コンクリート用棒鋼（Ｄ１６以上ＳＤ３４５）
・全ねじボルト

㉗ あと施工アンカーの施工
施工管理技術者 ※置く ⊙置かない [8.12.2]

28 あと施工アンカーの穿孔
穿孔前の埋込み配管等の探査 [8.12.4]
範囲 ・あと施工アンカー施工部分全て ・図示
方法 ・探査機により探査し、配管等の位置の墨出しを行う。
・はつり出しによる
穿孔方法 ・低騒音、低振動工法とする（工法については、監督員の承諾を得ること）

㉙ あと施工アンカーの確認試験
施工確認試験 [8.12.5][8.12.7]
※全数打音試験を行う.
・引張試験は増設壁又は鉄骨ブレス1箇所あたり1本とし、引張荷重は設計強度の2/3以上とする.場所については監督職員の指示による.

30 既存構造体との取り合い
グラウト材の品質管理 [8.21.9][8.22.7]
※圧縮強度試験を行う（3日,28日、封かん養生）
※コンシステンシー試験を行う.

## 9章 環境配慮改修工事

① 一般事項
労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
⊙アスベスト除去に伴う官公署等への届出を行うこと。

石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
⊙石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
⊙事前調査結果及び特定粉塵排出等作業の掲示を行うこと。
・アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
・アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

② アスベスト含有建材の処理工事
アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理 ・行う ⊙行わない [9.1.1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理 ・行う ⊙行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ ・行う ⊙行わない
施工箇所及び工法 ※図示

③ アスベストの含有調査
分析による確認 ・行う（下表による） ⊙行わない

| 材 料 名 | 調査方法 | 1材料あたりの試料数 |
|---|---|---|
| | ※定性分析(3 ・ ) | ※定量分析(※3 ・ ) |
| | ※定性分析(3 ・ ) | ※定量分析(※3 ・ ) |
| | ※定性分析(3 ・ ) | ※定量分析(※3 ・ ) |

④ アスベスト含有吹付け材の除去
アスベスト含有吹付材の有無 ⊙有 ・無 [9.1.3]
除去吹付材（ 図示による ）含有場所（ 図示による ）
吹付けアスベストの施工数量調査 ※行う
アスベスト粉じん濃度測定 ※行う
表9.1.1 アスベスト粉じん濃度測定

| 測定時期 | 測定名称 | 測 定 場 所 | 測 定 点 （各施工箇所ごと） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 処理作業前 | 測定１ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | (注)１ |
| | 測定２ | 施行区画周辺 又は、敷地境界 | 計２点 | 大気 |
| 処理作業中 | 測定３ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | (注)１ |
| | 測定４ | ｾｷｭﾘﾃｨｰｿﾞｰﾝ入口 | 1点 | 空気の流れを確認 |
| | 測定５ | 集じん・排気装置の排出口 （処理作業室外の場合） | 1点 | (注)２ |
| | 測定６ | 施行区画周辺 又は、敷地境界 | ４方向各１点 | ― |
| 処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前） | 測定７ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | (注)１ |
| | 測定８ | 施行区画周辺 又は、敷地境界 | ４方向各１点 | 大気 |

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認

表9.1.2 アスベスト粉じん濃度測定方法

| | 測 定 3 | 測定1，2，4，6，7，8 | 測 定 5 |
|---|---|---|---|
| 計数機器 | 位相差顕微鏡 | | |
| メンブレンフィルタの直径 | 25mm | | 47mm |
| 試料の吸引流量 | 1l/min | 5l/min | 10l/min |
| 試料の吸引時間 | 5 min | 120 min | 210 min |
| 試料の透明化 | アセトントリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法 | | |
| 計数条件 | 総アスベスト繊維数 200本又は視野数50視野 | | |
| 計数アスベスト | 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上 | | |
| 定量限界 | 50 f/l | 0.5 f/l | 0.3 f/l |

作業場の負圧隔離養生 ※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。

処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

四日市市都市整備部営繕工務課
一級建築士 登録 第 号
四日市市諏訪町１番５号

工事名
浜田小学校管理教室棟保全改修工事(1期工事)

| 日付 | 図面名 | 縮尺 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| 年 月 | 特記仕様書（改修５） 令和7年11月版 | ― | A-05 / |

## 9章 環境配慮改修工事

**⑤ アスベスト含有仕上塗材の除去**

アスベスト含有仕上塗材の除去(除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等)ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。

アスベスト含有仕上塗材の有無　・有　⊙無

除去仕上塗材（　　）含有場所（　　）

撤去の範囲　　・全面撤去　・図示による

除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）

・水洗い工法　・手工具ケレン工法

・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法

・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法

**・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法**

上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。

除去工法の試験施工　・行う　※行わない

作業場の隔離及び養生

「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。

・隔離養生不要　・隔離養生必要(負圧不要)・その他（　　）

処分方法

・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。

・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

**⑥ アスベスト含有保温材等の除去**

アスベスト含有保温材の有無　・有　⊙無　[9.1.4]

除去保温材（　　）含有場所（　　）

作業場の隔離　※行う

・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。

・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

**⑦ アスベスト含有成形板の除去**

アスベスト含有成形板の有無　⊙有　・無　[9.1.5]

除去成形板（　　図示による　　）含有場所（　　図示による　　）

作業場の養生　・行う　・行わない

※石綿含有ケイカル板第一種の除去は、隔離養生（負圧不要）を行う

※その他成形板については、切断・穿孔・研磨等の作業を伴う場合は、隔離養生（負圧不要）を行う

処分方法

石綿含有石膏ボード

※管理型最終処分場で埋立処分する。

石綿含有石膏ボード以外

・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。

・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

**8 特記事項**

※本工事に配置管理させる者（有資格者）

※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）

又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

## 個人情報取扱注意事項

個人情報の取り扱いに関する事項

（基本事項）

第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。

（施工者の義務）

第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成15年法律大57号。以下「法」という。）67条に規定する義務を負う。

２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。

（秘密の保持）

第３　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。

２　乙は、この従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。

３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。

（適正な管理）

第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。

２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。

３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。

４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。

（収集の制限）

第５　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。

（再提供の禁止）

第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。

２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。

３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。

（複写、複製の禁止）

第７　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という）を複写し、又は複製してはならない。

（持ち出しの禁止）

第８　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。

２　甲及びこの、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。

３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。

（資料等の返還）

第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄、又は消去する場合を除く。

２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。

(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断

(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕

３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。

４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。

（研修・教育の実施）

第10　乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。

（苦情の処理）

第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。

（定期報告及び事故発生時における報告）

第12　乙は、甲から個人情報の取扱の状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。

２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。

（監査及び検査）

第13　甲は、この契約による業務に係る個人情報の取り扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証および確認するため、乙及び第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による業務を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。

２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による業務の処理に関して必要な指示をすることができる。

（契約解除及び損害賠償）

第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

## 暴力団等不当介入に関する事項

１．契約の解除

四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務

（１）不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。

（２）契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。

（３）(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

## 障害者差別解消に関する事項

１．対応要領に沿った対応

（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。

（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。

２．対応指針に沿った対応

上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

# 特記仕様書

| 章 | 項　　目 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 5章 鉄筋工事 | ① 鉄筋の種類 | (5.2.1)(表5.2.1) |

| 種類の記号 | 呼び名（mm） |
|---|---|
| ⊙ＳＤ295 | ※　Ｄ16以下 |
| ・ＳＤ345 | ※　Ｄ19以上 |
| | |

② 溶接金網　　網目の形状　（※正方形　　・　　）　(5.2.2)
鉄線の径　（　6Φ　）mm　寸法（　150×150　）

③ 材料試験　※JIS規格品については径の異なるごとに２ｔ未満の場合は規格証明書の提出を省略することができる。(5.2.3)

④ 継手及び定着　鉄筋の継手方法　(5.3.4)
※径Ｄ19mm以上の柱、梁の主筋はガス圧接、その他は重ね継手
⊙重ね継手
・柱、はり主筋のかさね継手長さ　（　　）
定着
※表５．３．４による。ただし、設計図書にて別記のあるものは設計図書による。

| 章 | 項　　目 | 特　　記　　事　　項 |
|---|---|---|
| 6章 コンクリート工事 | ①コンクリートの種類 | 種別<br>※Ⅰ類　・Ⅱ類　(6.2.1)(6.4.1)(6.4.3)(表6.2.1)<br>普通コンクリートの気乾単位容積質量　・2.1t/m³を超え2.5t/m³以下　・　(6.2.3)<br>仕上りの平たんさ種別　・ａ種　・ｂ種　・ｃ種　(6.2.5)(表6.2.5) |

② 設計基準強度　普通コンクリート　(6.2.2)

| 設計基準強度Fc(N/mm²) | 施　工　箇　所 |
|---|---|
| ※ 21 | 1階職員便所、2～4階便所（土間ｺﾝｸﾘｰﾄ）、 |
| ⊙ 18 | 2階設備基礎 |

③ セメントの種別　※普通ポルトランドセメント又は混合セメントのＡ種　(6.3.1)(6.13.2)(表6.3.1)
・高炉セメントＢ種　・フライアッシュセメントＢ種
・早強ポルトランドセメント　・普通エコセメント

④ 骨材の種類　アルカリシリカ反応による区分　※Ａ　(6.3.1)(6.5.4)
フェロニッケルスラグ細骨材等　※使用しない　・使用（部位：　　）

⑤ 混和材料　※混和剤は、JIS Ａ 6204（コンクリート用化学混和剤）によるＡＥ剤、ＡＥ減水剤又は高性能ＡＥ減水剤とする。(6.3.1)(6.3.2)
・混和材　※フライアッシュ(JIS Ａ 6201)

6 調合管理強度　構造体強度補正値（Ｓ）　(6.3.2)(表6.3.2)(6.12.2)
（普通ポルトランドセメント）

| 打　設　期　間 | 補正値(N/mm²) | 備　考 |
|---|---|---|
| 2/25～7/ 7　9/ 7～11/22 | 3.0 | |
| 11/23～2/24 | 6.0 | |
| 7/ 8～9/ 6 | 6.0 | 暑中コンクリート |

⑦ 型枠　外部に面するコンクリート打ち放し仕上げの打増し　・20　※図示　(6.8.1)
打ち継ぎ目地　※幅 20×深さ 10　・図示　(6.6.4)(9.7.3)
ひび割れ誘発目地　※幅 20×深さ 10　・図示　(6.8.1)(9.7.3)
せき板の種類　※厚さ 12mm　・　(6.8.2)
※下記のいずれかとする。
(1)「コンクリート型枠用合板の農林規格」による表面加工品
(2)「コンクリート型枠用合板の農林規格」によるＢ－Ｃ
(3)床型枠用鋼製デッキプレート
打ち放し仕上げの種別　(6.2.5)(表6.2.4)

| 種　　別 | 施　工　箇　所 | |
|---|---|---|
| ・Ａ 種 | | |
| ※Ｂ 種 | | |
| ・Ｃ 種 | | |

・スリーブ材料　(6.8.2)(表6.8.1)
材種　※標仕6.8.2(9)による
・鋼管　・硬質塩化ビニール管　・溶融亜鉛めっき鋼板　・つば付鋼管

⑧フレッシュコンクリート試験・強度試験　(6.9.2)(6.9.3)(表6.9.1)(表6.9.2)
※コンクリートの強度試験の試験回数は、下記による。
20m³ 以下の場合の試験については、監督職員の指示による。
20～50m³ の場合は任意の一車より試料を採取し、各３個供試体を作成する。
50m³ 以上は 標仕6.9.3(1) による。

9 軽量コンクリートの種別　設計基準強度　Ｆc (N/mm²)　・18　・21　・　(6.10.2)(表6.10.1)
種 別　※1種　・2種　施工場所(　　)
気乾単位容積重量 (t/m³)（※1.8～2.1t/m³程度　・　　）

10 マスコンクリート　・適用箇所（　　）　(6.13.1)
セメントの種類　※高炉セメントＢ種　(6.13.2)
スランプ　※15cm　(6.13.2)

⑪ 無筋コンクリート　材料・品質　(6.14.2)(6.14.3)
粗骨材の最大寸法(mm)　（捨ｺﾝｸﾘｰﾄ及び防水押えｺﾝｸﾘｰﾄの場合　※25　・　　）

| 種　　類 | スランプ | 設計基準強度 Ｆc (N/mm²) | 施　工　箇　所 |
|---|---|---|---|
| 普通コンクリート | ※15又は18 | ※18 | |
| | ・ | ・ | |

四日市市都市整備部営繕工務課

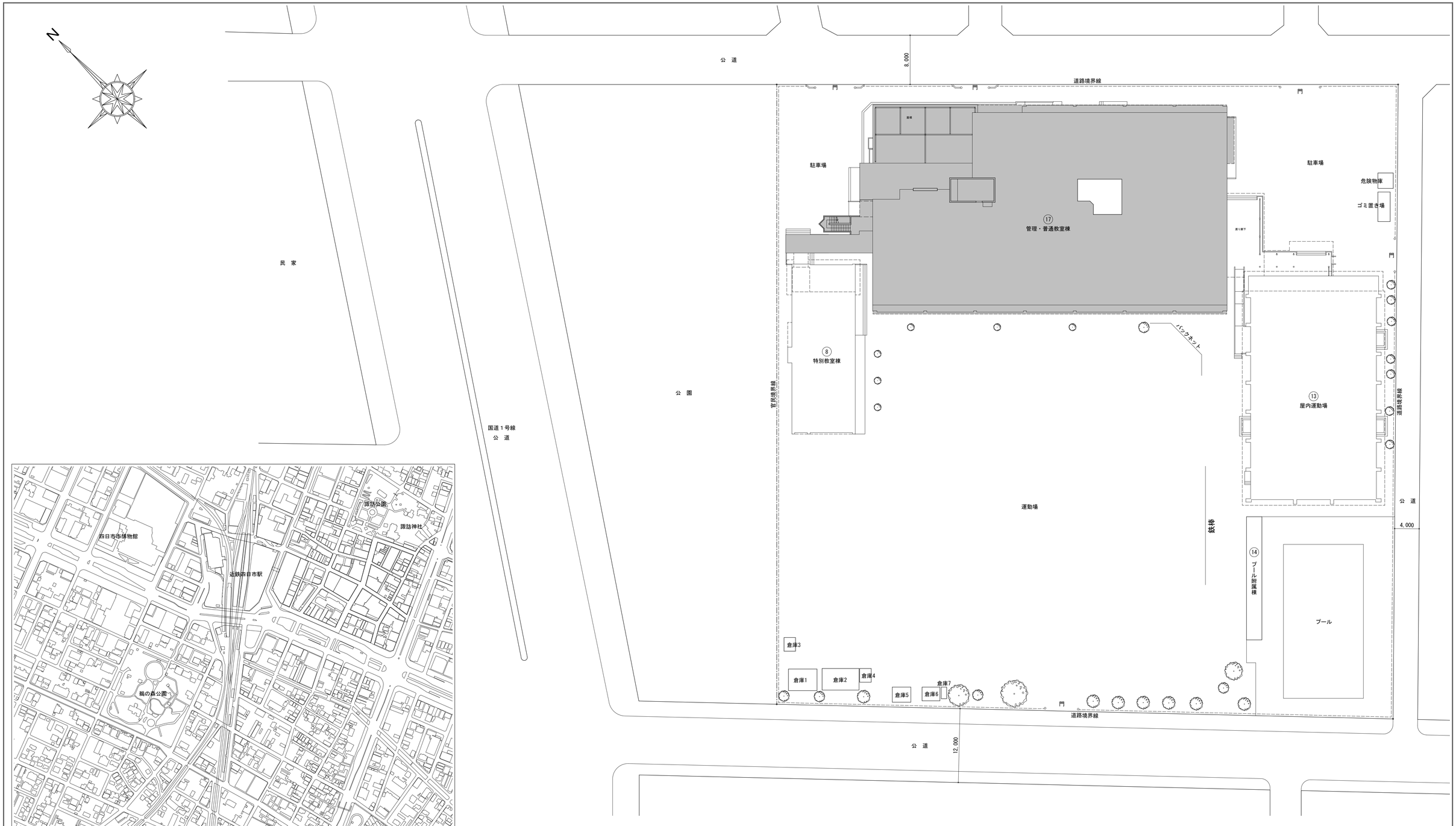
一級建築士　登録　第　　号

四日市市諏訪町１番５号

工事名

浜田小学校管理教室棟保全改修工事(1期工事)

| 日付 | 図面名 | 縮尺 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| 年　月 | 特記仕様書（改修６）<br>令和7年11月版 | — | A-06 / |




※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事 （１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟<br>付近見取図・配置図 | Scale A1：1/300, 1/4,000<br>A3：1/600, 1/8,000 | 図面番号 |
| | | 作図 令和７年９月 | A-007 |

株式会社 山田建築事務所 一級建築士７７８９０号 管理技術者 大嶽 俊和

| 凡例記号 | 部位 | | 改修前 | | | 改修後 | | | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⓐ | 屋根 | 1 | R階屋根<br>2階吹抜上部<br>渡り廊下屋根 | 平場 | コンクリート金コテ押え＋アスファルト露出防水(*2)　脱気筒　R階屋根：２０箇所<br>３階吹抜上部：３箇所<br>渡り廊下屋根：２箇所 | 防水層【残置】<br>脱気筒【撤去】 | R階屋根<br>２階吹抜上部<br>渡り廊下屋根 | 平場 | 水洗い＋断熱材 t35＋改質アスファルトシート防水(AS1-T1)【新設】<br>R階：公共建物識別番号表示（２－２）【新設】<br>脱気筒廻り：ｹﾚﾝ清掃+ポリマーセメント仮防水　脱気筒　R階屋根：２０箇所<br>３階吹抜上部：３箇所　【新設】<br>渡り廊下屋根：２箇所 | |
| | | 2 | | 立上り | アスファルト露出防水(*2)　アルミ押え金物(規格品)　アルミ水切(規格品)　シール共 | 防水層【撤去】<br>（アルミ押え金物、アルミ水切、シール共） | | 立上り | ケレン清掃＋ポリマーセメントペースト仮防水＋改質アスファルトシート防水(AS-T1：立上り仕様)【新設】 | |
| | | 3 | | 天端 | アルミ笠木(規格品) W225 | 【取外し】 | | 天端 | アルミ笠木(規格品) W225【復旧】 | |
| | | 4 | 昇降口上部<br>ペントハウス屋根 | 平場 | コンクリート金コテ押え＋ウレタン系塗膜防水(X-1)(*1)　脱気筒　昇降口上部：３箇所<br>ペントハウス屋根：１箇所 | 防水層【残置】<br>脱気筒【残置】 | 昇降口上部<br>ペントハウス屋根 | 平場 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 | |
| | | 5 | | 立上り | ウレタン系塗膜防水(X-2)(*1) | 防水層【残置】 | | 立上り | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 | |
| | | 6 | | 天端 | アルミ笠木(規格品) W225 | 【取外し】 | | 天端 | アルミ笠木(規格品) W225【復旧】 | |
| | | 7 | 屋根庇 | | 防水モルタル金コテ押え＋塗膜防水(X-2)(*1) | 防水層【残置】 | 屋根庇 | | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 | |
| Ⓑ | 軒天 | 1 | バルコニー<br>屋根庇 | | 型枠打放し＋複層模様吹付RE　化粧目地付 | | バルコニー<br>屋根庇 | | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 | |
| | | 2 | ピロティ | | けい酸カルシウム板 t6 目透し張＋複層模様吹付RE(*3) | | ピロティ | | 水洗い+下地調整＋NAD【新設】 | |
| Ⓒ | 外壁 | 1 | 壁面 | | 磁器質50角タイル張（施釉ラスター） | | 壁面 | | 水洗い | |
| | | 2 | | | 磁器質50角タイル張 | | | | 水洗い | |
| | | 3 | | | 型枠打放し＋複層模様吹付RE | | | | 水洗い＋NAD【新設】 | |
| | | 4 | | | ＡＬＣ t100＋防水形複層塗材E | | | | 【既存のまま】 | |
| | | 5 | 巾木 | | モルタル金コテ | | 巾木 | | 水洗い | |
| | | 6 | 目地 | 化粧目地 | 化粧目地棒（20×15×20） | | 目地 | 化粧目地 | 【既存のまま】 | |
| | | 7 | | 打継目地<br>タイル目地 | PS-2 | 外壁目地シーリング【撤去】 | | 打継目地<br>タイル目地 | シーリング（PS-2）【打替え】 | |
| Ⓓ | 樋 | 1 | 竪樋 | | カラーVP管φ100（掴み金物 @1,200共）<br>飾り桝 ステンレス(規格品) | 竪樋【撤去】（掴み金物共）<br>飾り桝【撤去】 | 竪樋 | | カラーVP管φ100（掴み金物 @1,200）【新設】<br>飾り桝 樹脂製(規格品)【新設】 | |
| | | 2 | ルーフドレン | 屋根<br>２階吹抜上部<br>渡り廊下 | ステンレス打込型φ100用（横引ルーフドレン）　屋根：１２箇所<br>２階吹抜け上部屋根：4箇所<br>接続管 ステンレスφ100用　渡り廊下屋根：2箇所 | 横引ルーフドレン【撤去】（ドレンキャップ共）　18箇所<br>接続管【残置】 | ルーフドレン | 屋根<br>２階吹抜上部<br>渡り廊下 | 横引用改修ドレンφ100用（ドレンキャップ共）【新設】　屋根：１２箇所<br>２階吹抜け上部屋根：4箇所<br>渡り廊下屋根：２箇所 | |
| | | 3 | | 昇降口上部 | ステンレス打込型φ100用（横引ルーフドレン）　１箇所<br>接続管 ステンレスφ100用<br>ステンレス打込型φ100用（竪型ルーフドレン）　２箇所 | 横引ルーフドレン【撤去】（ドレンキャップ共）　１箇所<br>接続管【残置】<br>竪型ルーフドレン【撤去】　２箇所 | | 昇降口上部 | 横引用改修ドレンφ100用（ドレンキャップ共）【新設】　１箇所<br>竪型用改修ドレンφ100用（ドレンキャップ共）【新設】　２箇所 | |
| | | | | 外部階段 | ステンレス打込型φ100用（横引ルーフドレン）　１箇所<br>接続管 ステンレスφ100用 | 横引ルーフドレン【撤去】（ドレンキャップ共）　１箇所<br>接続管【残置】 | | 外部階段 | ステンレス打込型φ100用（横引ルーフドレン）【新設】　１箇所 | |
| Ⓔ | 床 | 1 | バルコニー | | 防水モルタル金コテ＋ウレタン系塗膜防水(X-2)（防滑）(*1) | | バルコニー | | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)＋防滑性トップコート【新設】 | 南側は２期工事 |
| | | 2 | 犬走り・ピロティスロープ | | 磁器質150角タイル張（無釉） | | 犬走り・ピロティスロープ | | 水洗い | |
| | | 3 | 光庭 | | インターロッキング舗装（磁器質） | | 光庭 | | 【既存のまま】 | |
| Ⓕ | 屋外階段 | 1 | 壁面 | 見付 | 磁器質50角タイル張 | | 壁面 | 見付 | 水洗い | |
| | | 2 | | 巾木 | 防水モルタル金コテ | | | 巾木 | 水洗い | |
| | | 3 | | 手摺天端 | 防水モルタル金コテ | | | 手摺天端 | 水洗い | |
| | | 4 | 床 | 踊り場・踏面<br>４階通路 | 防水モルタル金コテ＋防塵塗装　段鼻：磁器ノンスリップタイル貼 | | 床 | 踊り場・踏面<br>４階通路 | 水洗い | |
| | | 5 | | 通路 | 防水モルタル金コテ＋塗膜防水(X-2)(*1) | | | 通路 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)＋防滑性トップコート【新設】 | |
| | | 6 | 上裏 | | 型枠打放し＋複層模様吹付RE | | 上裏 | | 水洗い＋NAD【新設】 | |
| Ⓖ | 外部建具 | 1 | 金属製建具（アルミ製(ガラスブロック窓)） | | | 建具【撤去】 | アルミ建具【新設】 | | | |
| | | 2 | 金属建具（アルミ製、ステンレス製、鋼製、カーテンウォール(アルミ・木複合)） | | | 建具周囲：シーリング【撤去】<br>ガラス・アルミパネル周囲：片面(外壁面)シーリング【撤去】 | 建具周囲：シーリング（MS-2）【打替え】　（四方W10、水切W15）<br>ガラス・アルミパネル周囲：片面(外壁面)シーリング（SR-1）【打替え】 | | | |
| Ⓗ | その他 | 1 | バルコニー手摺 | | ステンレス ヘアライン仕上 | | バルコニー手摺 | | 水洗い | |
| | | 2 | 設備囲い | | 鉄骨下地 ステンレスパンチングメタル貼 t2.0 | | 設備囲い | | 水洗い | |
| | | 3 | 設備基礎 | | コンクリート金コテ＋ウレタン系塗膜防水(X-2)(*1) | | 設備基礎 | | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 | |
| | | 4 | 転落防止用手すり | | ネットフェンス　H=1,200<br>基礎：アスファルト系塗膜防水 | ネットフェンス　H=1,200【残置】 | 転落防止用手すり | | ネットフェンス　H=1,200【既存のまま】<br>基礎：水洗い＋アスファルト系塗膜防水【新設】 | |

■特記事項

※ アスベスト含有建材(ウレタン塗膜防水、アスファルト露出防水)について、撤去行う際は飛散防止対策を行うこと。
(*1)　ウレタン塗膜防水の下地調整塗材にｱｽﾍﾞｽﾄ含有
(*2)　アスファルト露出防水にｱｽﾍﾞｽﾄ含有
(*3)　けい酸カルシウム板、梁下複層模様吹付REの下地調整材にｱｽﾍﾞｽﾄ含有
※ 新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。
※ 外壁面に付属する配管及びＢＯＸについて
・設備ＢＯＸ、換気フード等については、ステンレス、アルミ製は水洗い、樹脂製は　清掃の上DP塗装(下塗無し)とし、鋼板製はDP塗装(亜鉛メッキ面程度)とする。
・φ20より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。　φ20より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上DP塗装(下塗無し)とし、鉄部はDP塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
・ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。（支持金物も上記に準ずる）
・外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(MS-2 W15)を行うこと。
※ 新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　外部仕上表

Scale　A1：N/S　A3：N/S

作図　令和７年９月

図面番号　A-008

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

| 階 | 室 名 | 区 分 | 床 | | | | | 巾 木 | | | 内 壁 | | | | | | | 天井 | | | | | | 備 考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | FL | 下地 | 仕上 | 撤去 | | 仕上 | 高さ | 撤去 | 下地 | 仕上 | | 撤去 | | 下地 | 仕上 | | 撤去 | | 廻縁 | 下地 | 仕上 | | 撤去 | | 天井高 | |
| | | | | | | 下地 | 仕上 | | | | | 腰壁 (FL+1,000) | | 下地 | 仕上 | | 壁 | | 下地 | 仕上 | | | | | 廻縁 | 下地 | 仕上 | | |
| 各階便所 | １階職員手洗（男子・女子） | 改修前 | ±0 | C | ※b1＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 t2.5【撤去】 | | ○ | 木製 OSCL【一部撤去】 | 100 | ○ | W<br>W | 桧繰甲板貼 t15 OSCL【一部撤去】<br>桧繰甲板貼 t15 OSCL【残置】 | ○ | ○ | GL<br>GL | GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【一部撤去】<br>GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【残置】 | ○ | ○ | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,500 | 【撤去】：洗面ｶｳﾝﾀｰ<br>【残置】：、SUS見切<br>【設備工事】：手洗器、化粧鏡 |
| | | 改修後 | ±0 | M<br>C<br>M | ※c＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(防汚防滑性)t2.0【新設】<br>※d＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(防汚防滑性)t2.0【新設】<br>洗面ｶｳﾝﾀｰ下：※c | | | 木製 1-UC【一部新設】<br>木製 1-UC【塗替え】 | 100 | | W<br>— | 桧繰甲板貼 t15 1-UC【一部新設】<br>桧繰甲板貼 t15 1-UC【塗替え】 | | | GL<br>— | GB-S t9.5+12.5+複層模様吹付E【一部新設】<br>GB-R t9.5+12.5+複層塗材E(ﾛｰﾗｰ塗)【塗替え】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | 【新設】：SUS面台 (D=270,160)、洗面ｶｳﾝﾀｰ<br>【既存のまま】：SUS見切<br>【設備工事】：手洗器、化粧鏡 |
| | １階職員便所（男子） | 改修前 | -50 | C | 和便器撤去部：※f<br>※b2＋磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼【撤去】 | ○ | ○ | — | — | | M | — | | | M | 陶器質100角ﾀｲﾙ貼【残置】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,550 | 【撤去】：ｽﾛｰﾌﾟ(L=400)、SUS目地棒、面台（花崗岩 D=120,CB共）、AL床改め口（600角）、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br><br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型,固定,小便器)、ｱｸｾｻﾘｰ |
| | | 改修後 | ±0 | C | 開口穴埋め：※h<br>※e＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚防滑性)（2色分け）【新設】<br>※e＋汚垂れﾀｲﾙ接着貼【新設】 | | | ビニル巾木 | 100 | | LGS65 | ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：StP t24＋KFK t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)【新設】<br>※衛生機器取付補強 | | | — | 既存＋KFK t6.0(接着貼)(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)【新設】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | 【新設】：SUS面台、AL床改め口（600角）、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br>【既存のまま】：SUS三方枠(W220)<br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型,小便器)、ｱｸｾｻﾘｰ |
| | １階職員便所（女子） | 改修前 | -50 | C | 和便器撤去部：※f<br>※b1＋磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼【残置】 | ○ | ○ | — | — | | — | — | | | M | 陶器質100角ﾀｲﾙ貼【残置】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,550 | 【撤去】：ｽﾛｰﾌﾟ(L=400)、SUS目地棒、面台（花崗岩 D=120,CB共）、AL床改め口（600角）、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br>【残置】：SUS三方枠(W220)<br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型,固定)、ｱｸｾｻﾘｰ |
| | | 改修後 | ±0 | C | 開口穴埋め：※h<br>※e＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚防滑性)【新設】 | | | ビニル巾木 | 100 | | LGS65 | ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：StP t24＋KFK t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)【新設】<br>※衛生機器取付補強 | | | — | 既存＋KFK t6.0(接着貼)(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)【新設】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | 【新設】：SUS三方枠、床改め口（600角）、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br>【既存のまま】：SUS三方枠(W220)<br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型)、ｱｸｾｻﾘｰ |
| | ２～４階<br>多目的便所(北) | 改修前 | ±0 | C | ※a＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 t2.5【撤去】 | | ○ | — | — | | CB | ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：※b＋陶器質100角ﾀｲﾙ貼【撤去】 | | | M | 陶器質100角ﾀｲﾙ貼 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,500 | 【撤去】：面台（花崗岩 D=120,CB共）<br><br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型,跳ね上げ) |
| | | 改修後 | ±0 | C | ※c＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(防汚防滑性)t2.0【新設】 | | | ビニル巾木 | 100 | | C | ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：※d【新設】 | | | — | 既存＋KFK t6.0(接着貼)(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)【新設】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | <br><br>【設備工事】：樹脂製L型手摺、樹脂製可動手摺(跳ね上げﾀｲﾌﾟ)、ｱｸｾｻﾘｰ |
| | ２～４階<br>生徒用手洗(北)（男子） | 改修前 | ±0 | C | ※a＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 t2.5【撤去】 | | ○ | 木製 OSCL【一部撤去】 | 100 | ○ | W<br>W<br>C | 桧繰甲板貼 t15 OSCL【一部撤去】<br>桧繰甲板貼 t15 OSCL【残置】<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：※b＋陶器質100角ﾀｲﾙ貼【撤去】 | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | GL<br>GL<br>LGS65 | GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【一部撤去】<br>GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【残置】<br>GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【残置】 | ○ | ○ | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,500 | 【撤去】：SUS流し (L=2,085)、SUS見切<br>【残置】：SUS三方枠(W220) |
| | | 改修後 | ±0 | C<br>C | ※c＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(防汚防滑性)t2.0【新設】 | | | 木製 1-UC【一部新設】<br>木製 1-UC【塗替え】 | 100 | | W<br>W/LGS65<br>—<br>C | 桧繰甲板貼 t15 1-UC【一部新設】<br>桧繰甲板貼 t15 1-UC【一部新設】<br>桧繰甲板貼 t15 1-UC【塗替え】<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：※d＋陶器質100角ﾀｲﾙ貼【新設】 | | | GL<br>LGS65<br>—<br>— | GB-S t9.5+12.5+複層模様吹付E(ﾛｰﾗｰ塗)【一部新設】<br>GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E(ﾛｰﾗｰ塗)【一部新設】<br>GB-R t9.5+12.5+複層塗材E(ﾛｰﾗｰ塗)【塗替え】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | 【新設】：SUS流し (L=2,085)、SUS一方枠(W159)<br>【既存のまま】：SUS三方枠(W220) |
| | ２～４階<br>生徒用手洗(北)（女子） | 改修前 | ±0 | C | ※a＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ貼 t2.5【撤去】 | | ○ | 木製 OSCL【一部撤去】 | 100 | ○ | W<br>C | 桧繰甲板貼 t15 OSCL【残置】<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：※b＋陶器質100角ﾀｲﾙ貼【撤去】 | ○ | ○ | GL<br>GL | GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【一部撤去】<br>GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【残置】 | ○ | ○ | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,500 | 【撤去】：SUS流し (L=2,085)、SUS見切、SUS見切棒、SUS三方枠(W220) |
| | | 改修後 | ±0 | C<br>C | ※c＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(防汚防滑性)t2.0【新設】 | | | 木製 1-UC【一部新設】<br>木製 1-UC【塗替え】 | 100 | | —<br>C | 桧繰甲板貼 t15 1-UC【塗替え】<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：※d＋陶器質100角ﾀｲﾙ貼【新設】 | | | GL<br>— | GB-S t9.5+12.5+複層模様吹付E(ﾛｰﾗｰ塗)【一部新設】<br>GB-R t9.5+12.5+複層塗材E(ﾛｰﾗｰ塗)【塗替え】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | 【新設】：SUS流し (L=2,085)、室内用補助手摺、SUS三方枠(W220) |
| | ２～４階<br>生徒用便所(北)（男子） | 改修前 | -50 | C | 和便器撤去部：※g<br>※b2＋磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼【撤去】 | ○ | ○ | — | — | | — | — | | | M | 陶器質100角ﾀｲﾙ貼【残置】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,550 | 【撤去】：ｽﾛｰﾌﾟ(L=400)、SUS目地棒、面台（花崗岩 D=120,CB共）、小便器仕切板、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br><br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型,固定,小便器) |
| | | 改修後 | ±0 | M<br>M | 開口穴埋め：※i<br>※e＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚防滑性)【新設】<br>※e＋汚垂れﾀｲﾙ接着貼【新設】 | | | ビニル巾木 | 100 | | LGS65 | ﾗｲﾆﾝｸﾞ部：StP t24＋KFK t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)【新設】<br>※衛生機器取付補強 | | | — | 既存＋KFK t6.0(接着貼)(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)【新設】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | 【新設】：SUS面台 (D=240,110)、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br><br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型,小便器)、ｱｸｾｻﾘｰ |
| | ２～４階<br>生徒用便所(北)（女子） | 改修前 | -50 | C | 和便器撤去部：※g<br>※b1＋磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼【残置】 | ○ | ○ | — | — | | — | — | | | M | 陶器質100角ﾀｲﾙ貼【残置】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | ○ | ○ | ○ | 2,550 | 【撤去】：ｽﾛｰﾌﾟ(L=400)、面台（花崗岩 D=120,CB共）、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br><br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型,固定) |
| | | 改修後 | ±0 | M | 開口穴埋め：※i<br>※e＋ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0(防汚防滑性)【新設】 | | | 木製 1-UC【塗替え】 | 100 | | — | 桧繰甲板貼 t15 1-UC【塗替え】 | | | — | GB-R t9.5+12.5+複層塗材E(ﾛｰﾗｰ塗)【塗替え】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【新設】 | | | | 2,500 | 【新設】：SUS面台 (D=110)、ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ<br><br>【設備工事】：衛生陶器類、手摺(L型)、ｱｸｾｻﾘｰ |
| | １階職員前廊下（男子・女子） | 改修前 | ±0 | C | ※a＋ﾓｻﾞｲｸﾊﾞｰﾊｯﾄ t10（塗装品）【残置】 | | | 木製 OSCL【残置】 | 100 | | W | 桧繰甲板貼 t15 OSCL【残置】 | | | GL | GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【残置】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【撤去】 | | | | 2,700 | 【撤去】：ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ(男子、女子) |
| | | 改修後 | ±0 | | 既存のまま | | | 木製 1-UC【塗替え】 | 100 | | — | 桧繰甲板貼 t15 1-UC【塗替え】 | | | — | GB-R t9.5+12.5+複層塗材E(ﾛｰﾗｰ塗)【塗替え】 | | | | | 既存のまま | | | | 2,700 | 【新設】：ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ(男子、女子) |
| | ２～４階<br>生徒用便所<br>前廊下(北)<br>（男子・女子）<br>（多目的） | 改修前 | ±0 | C | ※a＋ﾓｻﾞｲｸﾊﾞｰﾊｯﾄ t10（塗装品）【一部撤去】 | | ○ | 木製 OSCL【残置】 | 100 | | W | 桧繰甲板貼 t15 OSCL【残置】 | | | GL | GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【残置】 | | | 塩ﾋﾞ | LGS19 | GB-D t9.5【残置】 | | | | 2,700 | 【撤去】：ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ(男子、女子、多目的) |
| | | 改修後 | ±0 | | ※c＋ﾓｻﾞｲｸﾊﾞｰﾊｯﾄ t10（塗装品）【一部新設】 | | | 木製 1-UC【一部新設】<br>木製 1-UC【塗替え】 | 100 | | W<br>— | 桧繰甲板貼 t15 1-UC【一部新設】<br>桧繰甲板貼 t15 1-UC【塗替え】 | | | GL<br>— | GB-S t9.5+12.5+複層模様吹付E【一部新設】<br>GB-R t9.5+12.5+複層塗材E(ﾛｰﾗｰ塗)【塗替え】 | | | | | 既存のまま | | | | 2,700 | 【新設】：ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ(男子、女子、多目的) |
| | 昇降口<br>職員玄関<br>ホール | 改修前 | -100～-150<br><br>±0 | M<br><br>SL | 磁器質ﾀｲﾙ貼<br><br>ﾓｻﾞｲｸﾊﾞｰﾊｯﾄ t10（塗装品）【残置】 | | | 木製 OSCL【残置】<br>花崗岩(磨き)【残置】<br>木製 OSCL【残置】 | 100<br>100<br>100 | | W | 桧繰甲板貼 t15 OSCL【残置】 | | | C<br>LGS65 | 柱型：複層模様吹付E【残置】<br>壁：GB-R t9.5+12.5+複層模様吹付E【残置】 | | | AL<br><br>塩ﾋﾞ | LGS19<br><br>LGS19 | LP t12(捨張)＋鉛木繰甲板 t12 OSCL【一部撤去】<br><br>GB-D t9.5【一部撤去】 | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | ○<br><br>○ | 2,900～2,950<br><br>2,700 | 【一部撤去】：天井見切(AL加工 H100)、木見切繰 30×30 |
| | | 改修後 | | | 既存のまま<br><br>既存のまま | | | 既存のまま | | | — | 既存のまま | | | —<br>— | 柱型：既存のまま<br>壁：既存のまま | | | LGS19<br><br>LGS19 | LP t12(捨張)＋鉛木繰甲板 t12 OSCL【一部新設】<br><br>GB-D t9.5【一部新設】 | | | | | 【一部新設】：天井見切(AL加工 H100)、木見切繰 30×30 |

## ■凡例

※a： ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞt10【残置】

※b1：ﾓﾙﾀﾙ下地【残置】

※b2：ﾓﾙﾀﾙ下地【撤去】

※c： ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄ下地処理

※d： ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ【新設】

※e： 構造用合板(1類)t=12【新設】
乾式二重床(パーティクルボードt=20共)【新設】

※f： ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞt145【撤去】
(短辺：上端筋 D10,13(交互)@200, 下端筋 D10@200)
(長辺：D10@200 ﾀﾞﾌﾞﾙ)
ﾓﾙﾀﾙ下地【撤去】
磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼【撤去】

※g： ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞt130
(短辺：D10,13(交互)@150 ﾀﾞﾌﾞﾙ)
(長辺：D10,13(交互)@200 ﾀﾞﾌﾞﾙ)
均しﾓﾙﾀﾙt15【撤去】
ｱｽﾌｧﾙﾄ防水(E-1)【撤去】
押えｺﾝｸﾘｰﾄt85【撤去】
ﾓﾙﾀﾙ下地＋磁器質50角ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ貼【撤去】

※h： ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞt145【新設】
(D10,13@150ﾀﾃﾖｺ ﾀﾞﾌﾞﾙ)
(差筋ｱﾝｶｰ(金属拡張) D13@200)

※i： ｺﾝｸﾘｰﾄｽﾗﾌﾞt230【新設】
(D10,13@150ﾀﾃﾖｺ ﾀﾞﾌﾞﾙ)
(差筋ｱﾝｶｰ(金属拡張) D13@200)

## ■特記事項

1) LGS天井下地撤去部　：ｲﾝｻｰﾄ吊ﾎﾞﾙﾄは、新設とする。ただし、再利用できる場合は再利用可とする。

2) 屋内の鉄部　：下地調整＋錆止め＋DP塗替え

3) 屋内の木部　：下地調整＋1-UC塗替え

4) ｽﾃﾝﾚｽは特記なき限りSUS304とする

5) ﾗﾜﾝ合板及びｼﾅ合板については、Ⅱ級とする。但し、ｸﾛｽ下地部については、Ⅰ級とする

6) 建具廻りの木枠については、下地調整＋1-UC塗替えとする

7) 建具、間仕切壁及び床の撤去についてはｶｯﾀｰ切りを行うこと

8) 建具撤去取合部の補修については既設同様にて復旧すること

9) 天井ﾎﾞｰﾄﾞの塗替えについて、空調機裏部分は手が届く範囲で塗替えを行うこと

## 略記号

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| C | ｺﾝｸﾘｰﾄ | StP | 構造用合板(1類) | KFK | 化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 | LGS | 軽量鉄骨下地 | AL | ｱﾙﾐ製 |
| M | ﾓﾙﾀﾙ | LP | ﾗﾜﾝ合板 | OSCL | ｵｲﾙｽﾃｲﾝｸﾘｱﾗｯｶｰ塗り | GL | GL工法 | VP管 | 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ樹脂管 |
| CB | ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ | GB-R | 石こうﾎﾞｰﾄﾞ | 1-UC | 1液形油変性ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ塗り | W | 木胴縁 | | |
| SL | ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ | GB-D | 化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ | NAD | ｱｸﾘﾙ樹脂系非水分散形塗料塗り | S | ｽﾁｰﾙ製 | | |
| | | GB-S | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石こうﾎﾞｰﾄﾞ | DP | 耐候性塗料塗り | SUS | ｽﾃﾝﾚｽ製 | | |

## 不燃材認定番号

| | | | |
|---|---|---|---|
| NM-8619 | 石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R) t=12.5 | QM-9828 | 石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R) t=9.5 |
| NM-9639 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S) t=12.5 | QM-9826 | ｼｰｼﾞﾝｸﾞ石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-S) t=9.5 |
| NM-1864 | 天井用化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC) t=9.5 | QM-0524 | 天井用化粧石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) t=9.5 |
| NM-8615 | 強化石こうﾎﾞｰﾄﾞ(GB-F) t=12.5 | | |
| NM-3073 | 0.8化粧ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板(KFK) t=6 | | |

## 基材同等

| | |
|---|---|
| NM-8585 | 塗料 |
| NM-8571 | 無機質砂状吹付材 |
| NM-8572 | 有機質砂状塗料 |
| NM-8573 | 複合型化粧用仕上塗 |
| NM-8574 | 繊維壁材塗 |

## ※注記

## 共通事項

・改修部分の内装仕上材は、低ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ材Ｆ☆☆☆☆使用（居室仕上材、天井裏、接着材、塗料共）

・改修部分は次の材料の使用なし　①吹付石綿、②吹付ﾛｯｸｳｰﾙ（含有石綿0.1%超）

・ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ(防汚防滑性)同等品　①ﾀｰﾀﾘｳﾑ　(ﾛﾝｼｰﾙ工業(株))　②ﾈｵｸﾘｰﾝ　(ﾀｷﾛﾝﾏﾃｯｸｽ(株))　③消臭NSﾄｳﾑNW　(東リ(株))

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　内部仕上表

Scale　A1：N/S
A3：N/S

作図　令和７年９月

図面番号　A-009

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前

凡例

| | |
|---|---|
| TT(**) | カラーVP管【撤去】（掴み金物共 @1,200）　(**)は種径を示す 100：φ100 75：φ75 |
| Un1 | 洗面化粧台撤去を示す |
| 0 | 断面詳細図番号を示す（図番 A-043～049を参照） |
| | 内装撤去範囲を示す（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| | 天井撤去範囲を示す（内容等は天井伏図を参照） |
| | 改修範囲外を示す（Un1は対象とする） |

1階平面図　1/150

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　１階平面図（改修前） | Scale A1：1/150 A3：1/300 |
| | | 作図　令和７年９月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号 A-010 |

改修後

## 凡例

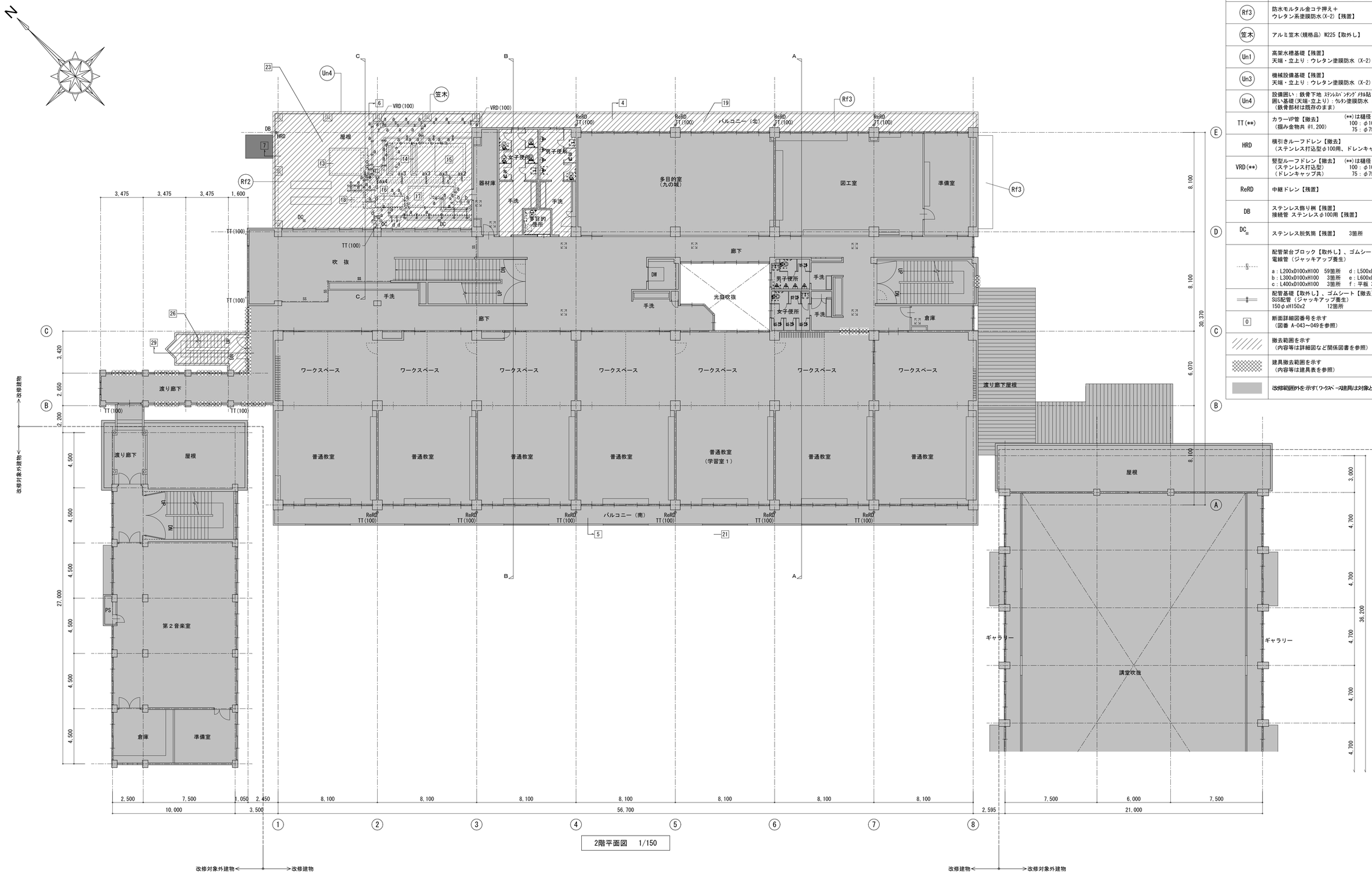
| | |
|---|---|
| TT(**) | カラーVP管【新設】（掴み金物共 @1,200）　(**)は種径を示す 100：φ100 75：φ75 |
| Un1 | 洗面化粧台新設を示す |
| 0 | 断面詳細図番号を示す（図番 A-043～049を参照） |
| | 内装新設範囲を示す（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| | 天井新設範囲を示す（内容等は天井伏図を参照） |
| | 改修範囲外を示す（Un1は対象とする） |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　１階平面図（改修後） | Scale A1：1/150 A3：1/300 |
| | | 作図　令和７年９月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号 A-011 |

改修前




2階平面図　1/150

| 凡例 | |
|---|---|
| Rf2 | 平場：コンクリート金コテ押え＋ウレタン系塗膜防水(X-1)【残置】<br>立上り：ウレタン系塗膜防水(X-2)【残置】 |
| Rf3 | 防水モルタル金コテ押え＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【残置】 |
| 笠木 | アルミ笠木(規格品) W225【取外し】 |
| Un1 | 高架水槽基礎【残置】<br>天端・立上り：ウレタン塗膜防水 (X-2) 【残置】 |
| Un3 | 機械設備基礎【残置】<br>天端・立上り：ウレタン塗膜防水 (X-2) 【残置】 |
| Un4 | 設備囲い：鉄骨下地 ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟﾝﾁﾝｸﾞﾒﾀﾙ貼 t2.0【残置】<br>囲い基礎(天端・立上り)：ｳﾚﾀﾝ塗膜防水 (X-2) 【残置】<br>（鉄骨部材は既存のまま） |
| TT(**) | カラーVP管【撤去】 (**)は径を示す<br>（掴み金物共 @1,200） 100：φ100<br>75：φ75 |
| HRD | 横引きルーフドレン【撤去】<br>（ステンレス打込型φ100用、ドレンキャップ共） |
| VRD(**) | 竪型ルーフドレン【撤去】 (**)は径を示す<br>（ステンレス打込型） 100：φ100用<br>（ドレンキャップ共） 75：φ75用 |
| ReRD | 中継ドレン【残置】 |
| DB | ステンレス飾り桝【残置】<br>接続管 ステンレスφ100用【残置】 |
| DC(S) | ステンレス脱気筒【残置】 3箇所 |
| | 配管架台ブロック【取外し】、ゴムシート【撤去】<br>電線管（ジャッキアップ養生）<br>a：L200xD100xH100 59箇所 d：L500xD100xH100 5箇所<br>b：L300xD100xH100 3箇所 e：L600xD100xH100 4箇所<br>c：L400xD100xH100 3箇所 f：平板 300角 4箇所 |
| | 配管基礎【取外し】、ゴムシート【撤去】<br>SUS配管（ジャッキアップ養生）<br>150φxH150x2 12箇所 |
| 0 | 断面詳細図番号を示す<br>（図番 A-043～049を参照） |
| | 撤去範囲を示す<br>（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| | 建具撤去範囲を示す<br>（内容等は建具表を参照） |
| | 改修範囲外を示す（ワークベース建具は対象とする(A-50)） |

※注記

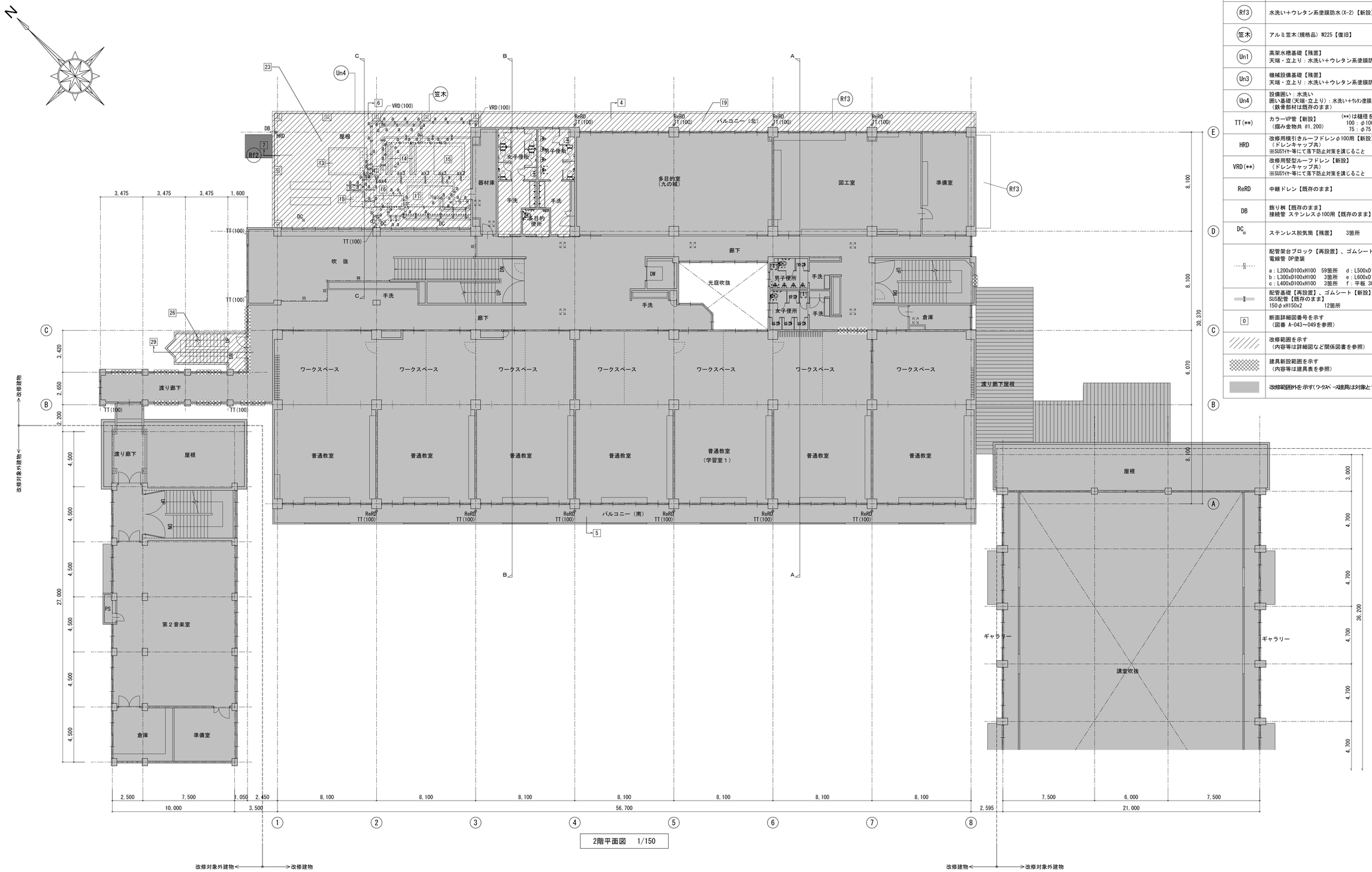
バルコニー（南）は外壁改修及び樋改修のみ行い、床防水改修は『２期工事』とする

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　２階平面図（改修前） | Scale A1：1/150 A3：1/300 |
| | | 作図　令和７年９月 |
| 図面番号 | A-012 | |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修後




2階平面図　1/150

| 凡例 | |
|---|---|
| Rf2 | 平場：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】<br>立上り：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Rf3 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| 笠木 | アルミ笠木(規格品) W225【復旧】 |
| Un1 | 高架水槽基礎【残置】<br>天端・立上り：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Un3 | 機械設備基礎【残置】<br>天端・立上り：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Un4 | 設備囲い：水洗い<br>囲い基礎(天端・立上り)：水洗い＋ｳﾚﾀﾝ塗膜防水(X-2)【新設】<br>（鉄骨部材は既存のまま） |
| TT(**) | カラーVP管【新設】　(**)は径を示す<br>（掴み金物共 @1,200）　100：φ100<br>75：φ75 |
| HRD | 改修用横引きルーフドレンφ100用【新設】<br>（ドレンキャップ共）<br>※SUS304ｲﾄ等にて落下防止対策を講じること |
| VRD(**) | 改修用竪型ルーフドレン【新設】　(**)は径を示す<br>（ドレンキャップ共）　100：φ100<br>※SUS304ｲﾄ等にて落下防止対策を講じること　75：φ75 |
| ReRD | 中継ドレン【既存のまま】 |
| DB | 飾り桝【既存のまま】<br>接続管 ステンレスφ100用【既存のまま】 |
| DC(S) | ステンレス脱気筒【残置】　3箇所 |
| | 配管架台ブロック【再設置】、ゴムシート【新設】<br>電線管 DP塗装<br>a：L200xD100xH100　59箇所　d：L500xD100xH100　5箇所<br>b：L300xD100xH100　3箇所　e：L600xD100xH100　4箇所<br>c：L400xD100xH100　3箇所　f：平板 300角　4箇所 |
| | 配管基礎【再設置】、ゴムシート【新設】<br>SUS配管【既存のまま】<br>150φxH150x2　12箇所 |
| 0 | 断面詳細図番号を示す<br>（図番 A-043～049を参照） |
| | 改修範囲を示す<br>（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| | 建具新設範囲を示す<br>（内容等は建具表を参照） |
| | 改修範囲外を示す(ﾜｰｸﾍﾞｰｽ建具は対象とする(A-50)) |

※注記

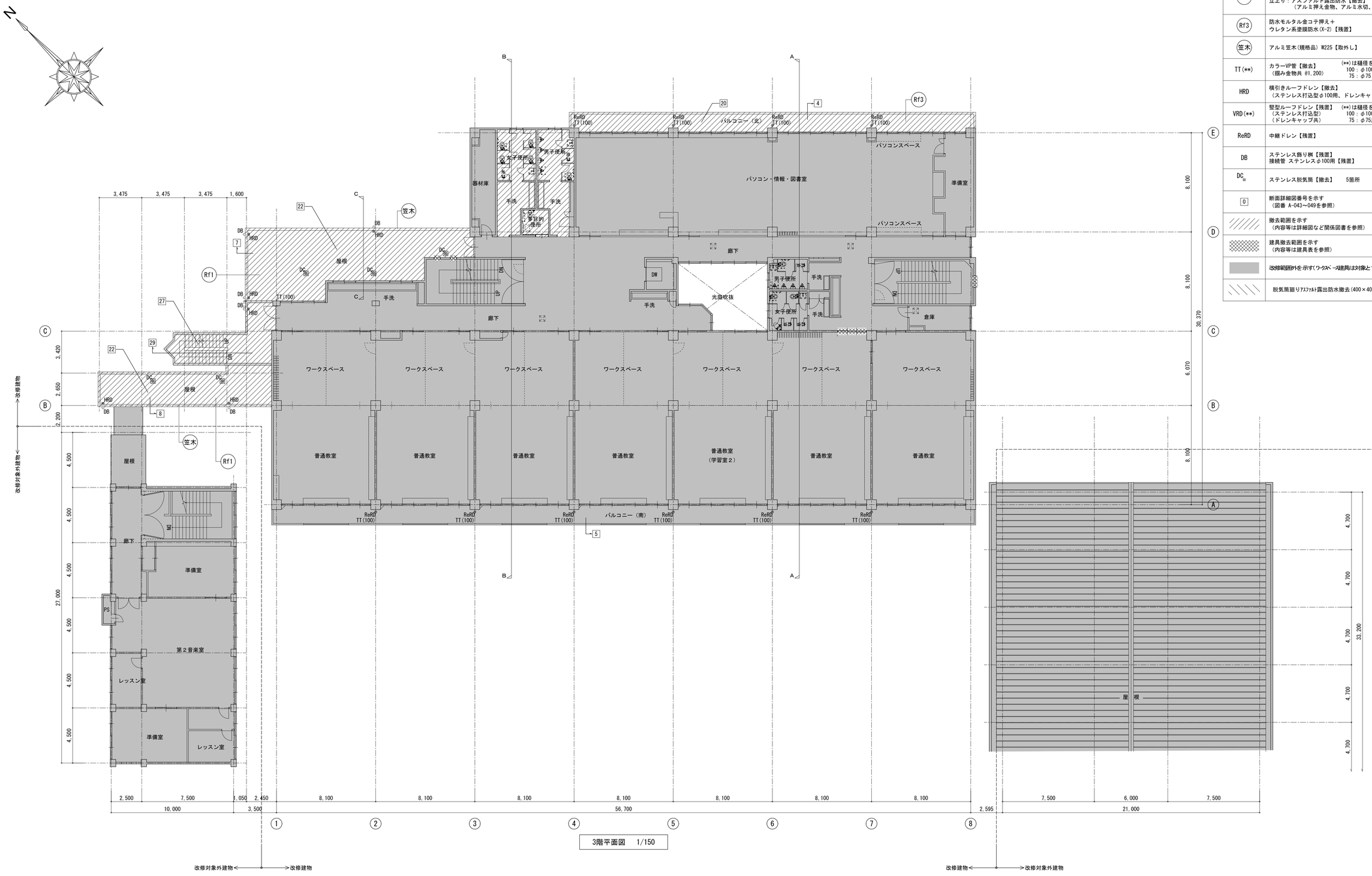
バルコニー（南）は外壁改修及び樋改修のみ行い、床防水改修は『２期工事』とする

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　２階平面図（改修後） | Scale A1：1/150 A3：1/300 | 図面番号 A-013 |
| | | 作図　令和７年９月 | |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前




3階平面図　1/150

※注記

バルコニー（南）は外壁改修及び雨改修のみ行い、床防水改修は『２期工事』とする

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　３階平面図（改修前）

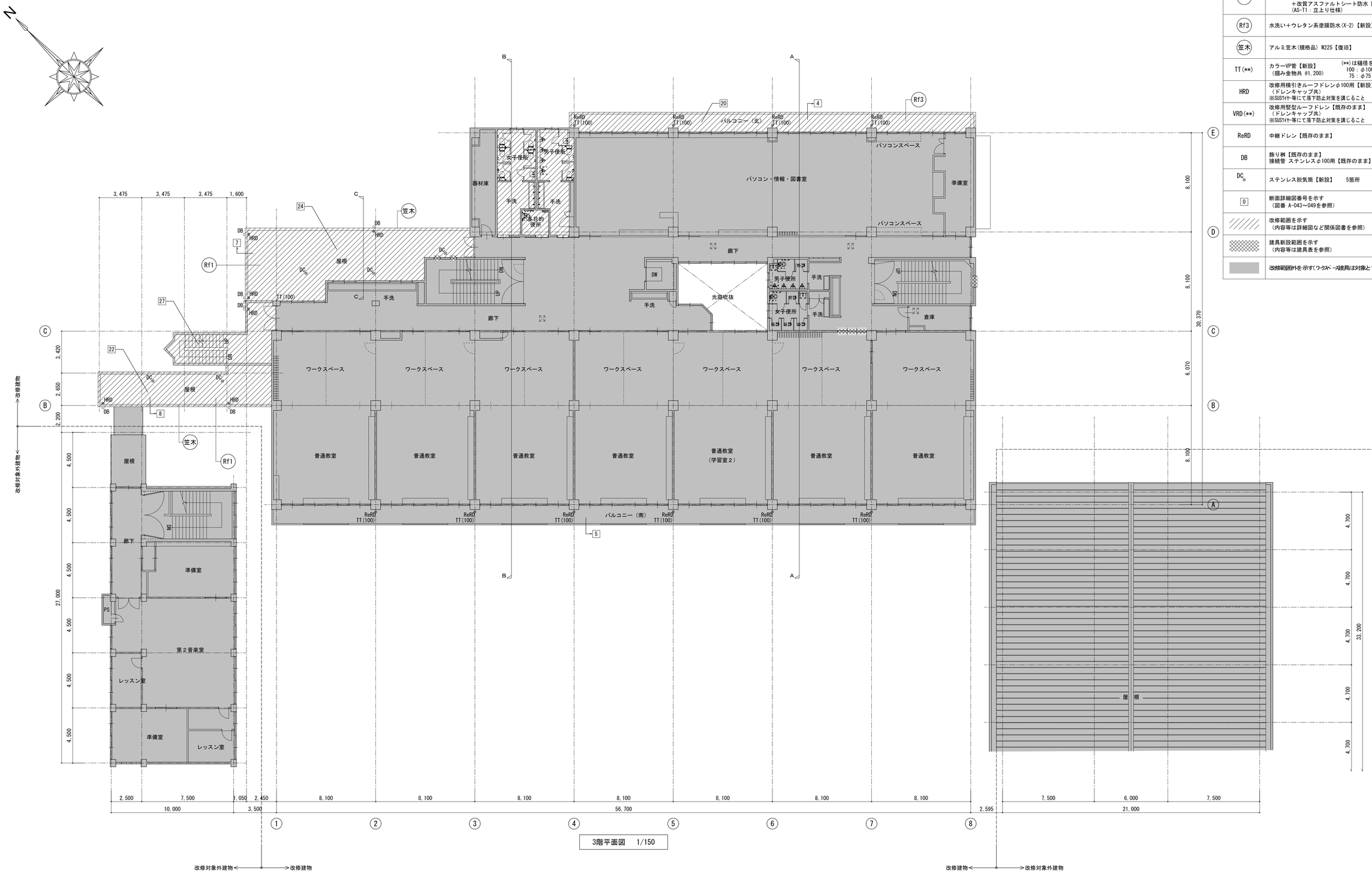
Scale A1：1/150 A3：1/300

作図　令和７年９月

図面番号　A-014

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修後




3階平面図　1/150

| 凡例 | |
|---|---|
| Rf1 | 平場：水洗い＋断熱材 t35＋<br>改質アスファルトシート防水【新設】(AS-T1)<br>立上り：ケレン清掃＋ポリマーセメントペースト仮防水<br>＋改質アスファルトシート防水【新設】<br>(AS-T1：立上り仕様) |
| Rf3 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| 笠木 | アルミ笠木(規格品) W225【復旧】 |
| TT(**) | カラーVP管【新設】　(**)は径を示す<br>(掴み金物共 @1,200)　100：φ100<br>75：φ75 |
| HRD | 改修用横引きルーフドレンφ100用【新設】<br>(ドレンキャップ共)<br>※SUS304等にて落下防止対策を講じること |
| VRD(**) | 改修用竪型ルーフドレン【既存のまま】　(**)は径を示す<br>(ドレンキャップ共)　100：φ100<br>※SUS304等にて落下防止対策を講じること　75：φ75 |
| ReRD | 中継ドレン【既存のまま】 |
| DB | 飾り桝【既存のまま】<br>接続管 ステンレスφ100用【既存のまま】 |
| DC(SD) | ステンレス脱気筒【新設】　5箇所 |
| 0 | 断面詳細図番号を示す<br>(図番 A-043～049を参照) |
| | 改修範囲を示す<br>(内容等は詳細図など関係図書を参照) |
| | 建具新設範囲を示す<br>(内容等は建具表を参照) |
| | 改修範囲外を示す(ワークベース建具は対象とする(A-50)) |

※注記

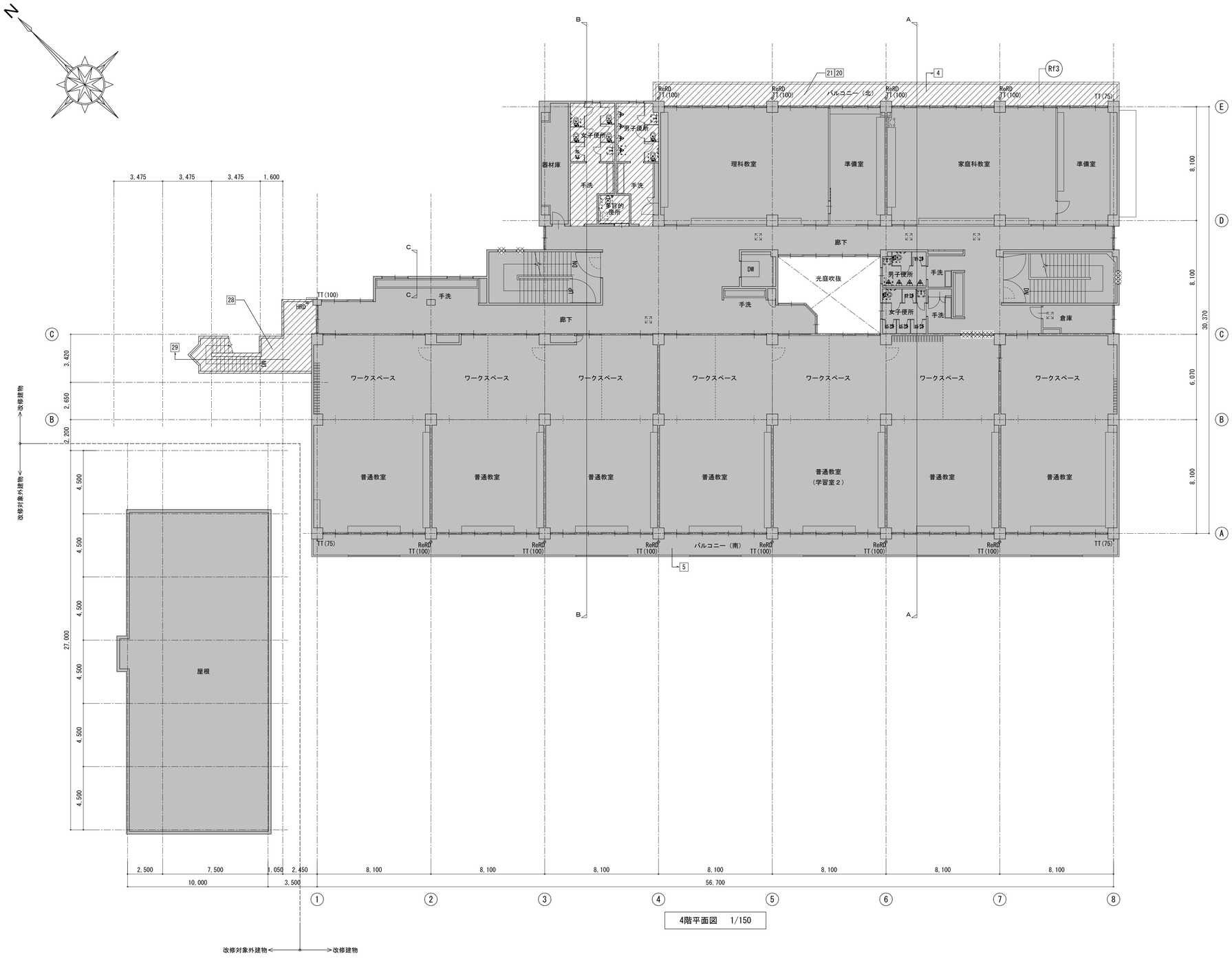
バルコニー（南）は外壁改修及び樋改修のみ行い、床防水改修は『２期工事』とする

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　３階平面図（改修後） | Scale A1：1/150<br>A3：1/300 | 図面番号 A-015 |
| | | 作図　令和７年９月 | |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前




4階平面図　1/150

| 凡例 | |
|---|---|
| Rf3 | 防水モルタル金コテ押え＋<br>ウレタン系塗膜防水(X-2)【残置】 |
| TT(**) | カラーVP管【撤去】　(**)は縫径を示す<br>（掴み金物共 @1,200）　100：φ100<br>75：φ75 |
| HRD | 横引きルーフドレン【撤去】<br>（ステンレス打込型φ100用、ドレンキャップ共） |
| VRD(**) | 竪型ルーフドレン【残置】　(**)は縫径を示す<br>（ステンレス打込型）　100：φ100用<br>（ドレンキャップ共）　75：φ75用 |
| ReRD | 中継ドレン【残置】 |
| DB | ステンレス飾り樹【残置】<br>接続管 ステンレスφ100用【残置】 |
| 0 | 断面詳細図番号を示す<br>（図番 A-043～049を参照） |
| | 撤去範囲を示す<br>（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| | 建具撤去範囲を示す<br>（内容等は建具表を参照） |
| | 改修範囲外を示す（ワークスペース建具は対象とする(A-50)） |

※注記

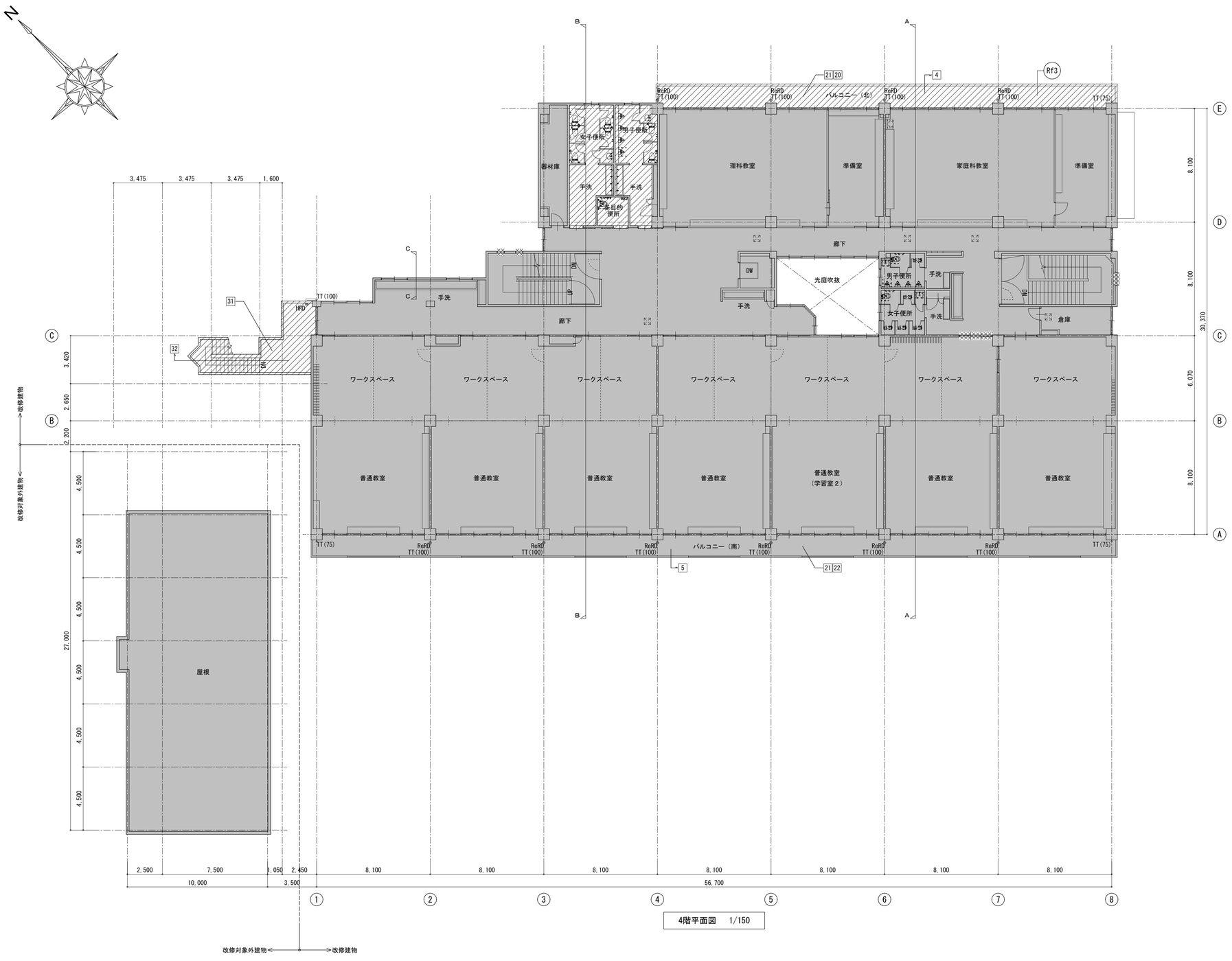
バルコニー（南）は外壁改修及び樋改修のみ行い、床防水改修は『２期工事』とする

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　４階平面図（改修前） | Scale A1：1/150 A3：1/300 | 図面番号 A-016 |
| | | 作図　令和７年９月 | |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修後




4階平面図　1/150

| 凡例 | |
|---|---|
| 内容 | |
| Rf3 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| TT(**) | カラーVP管【新設】　(**)は径を示す<br>（掴み金物共 @1,200）　100：φ100<br>75：φ75 |
| HRD | 改修用横引きルーフドレンφ100用【新設】<br>（ドレンキャップ共）<br>※SUS304等にて落下防止対策を講じること |
| VRD(**) | 改修用竪型ルーフドレン【既存のまま】　(**)は径を示す<br>（ドレンキャップ共）　100：φ100<br>※SUS304等にて落下防止対策を講じること　75：φ75 |
| ReRD | 中継ドレン【既存のまま】 |
| DB | ステンレス飾り桝【既存のまま】<br>接続管 ステンレスφ100用【既存のまま】 |
| | 復旧範囲を示す<br>（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| | 建具新設範囲を示す<br>（内容等は建具表を参照） |
| | 改修範囲外を示す(ワークスペース建具は対象とする(A-50)) |

※注記

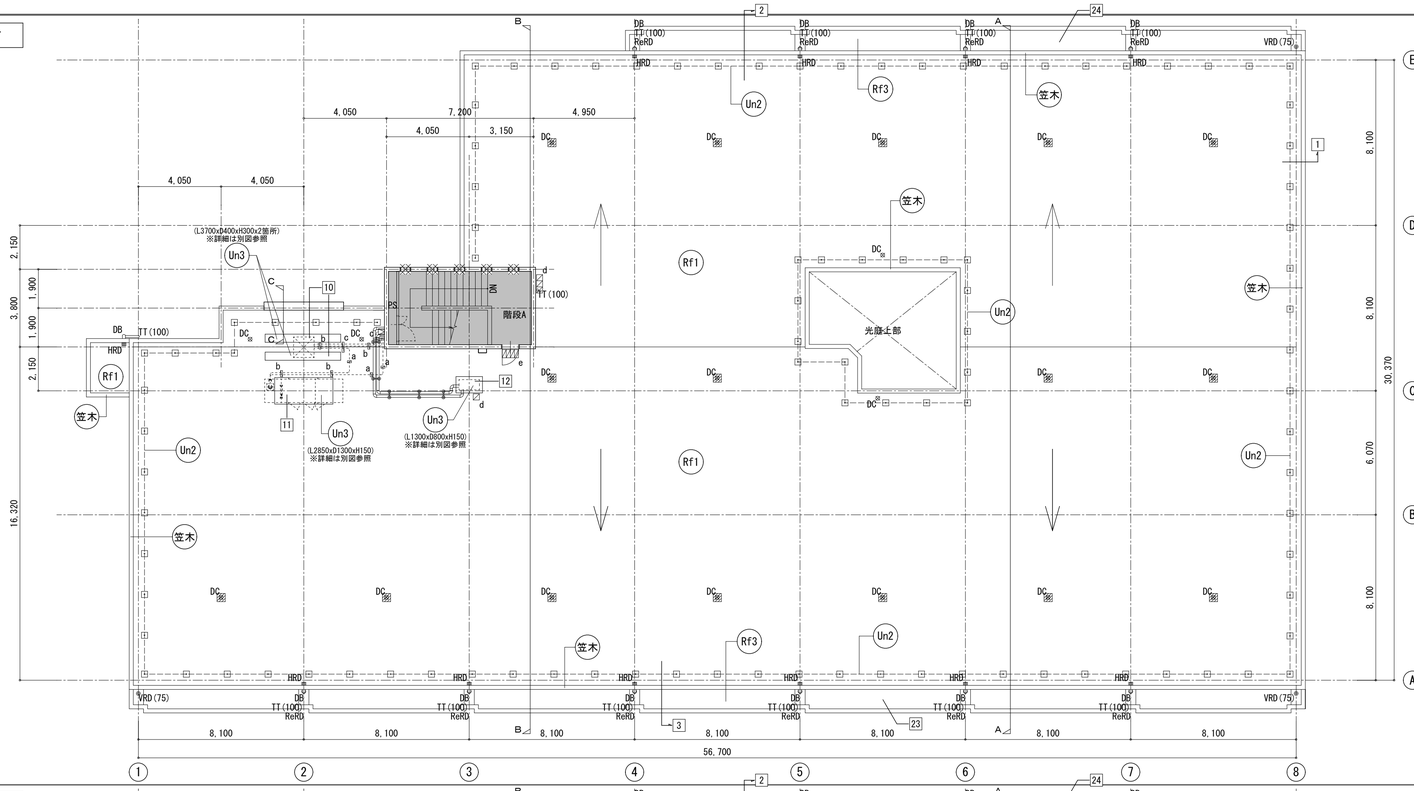
バルコニー（南）は外壁改修及び樋改修のみ行い、床防水改修は『２期工事』とする

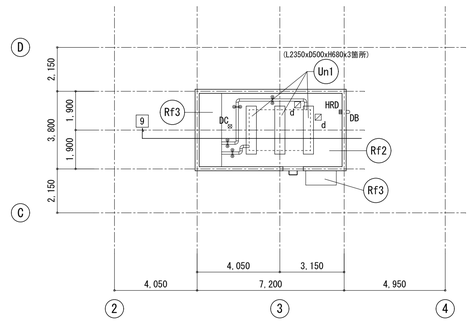
浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　４階平面図（改修後） | Scale A1：1/150 A3：1/300 | 図面番号 A-017 |
| | | 作図　令和７年９月 | |

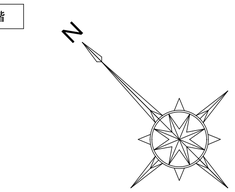
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

## 改修前



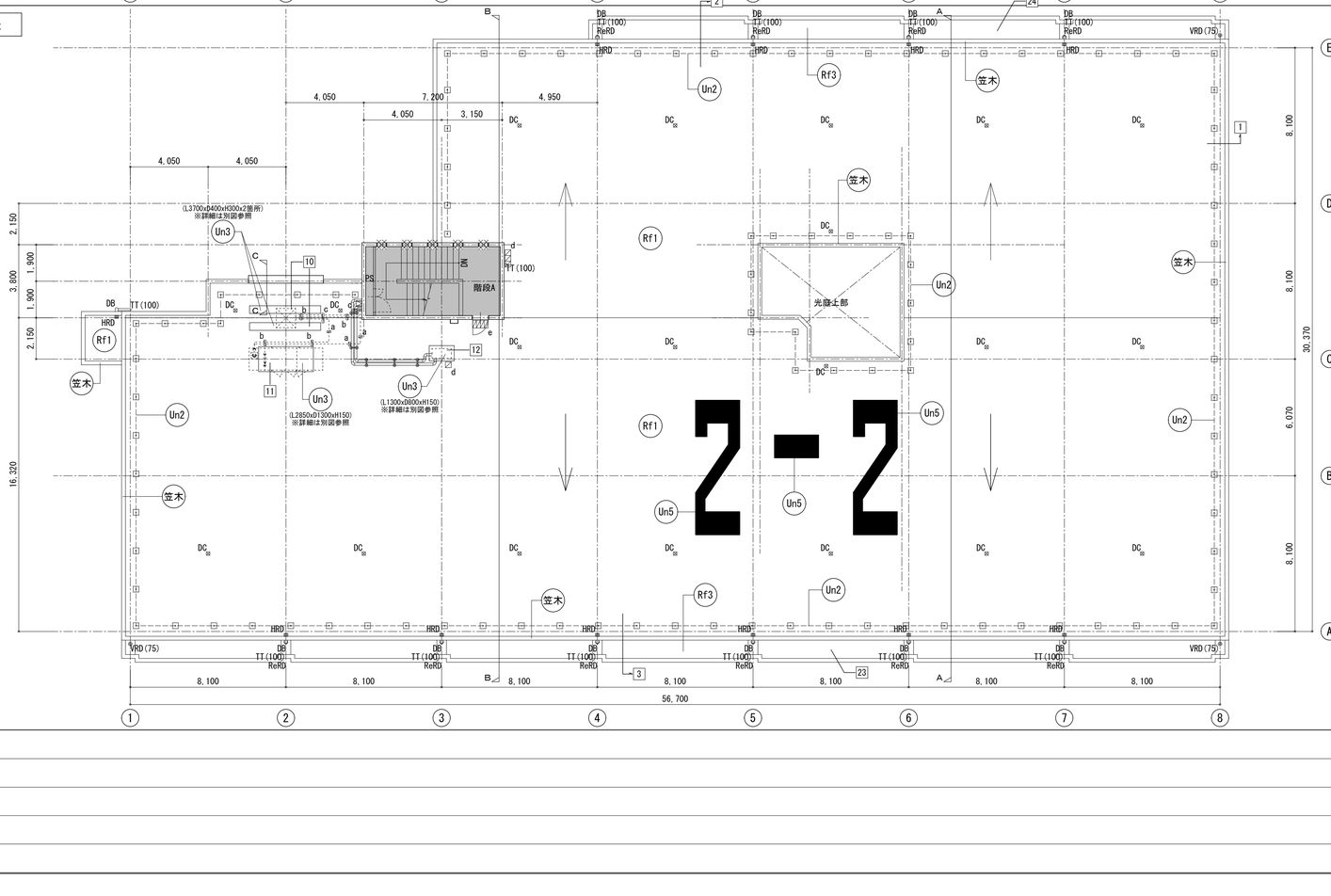



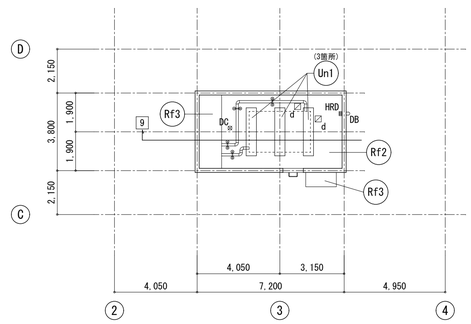

PH階



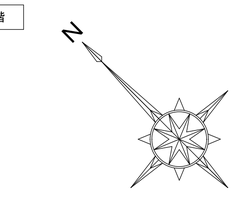
：脱気簡廻りｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水撤去（400×400）

## 改修後




PH階



## 凡例

| | |
|---|---|
| Rf1 | 平場：コンクリート金コテ押え＋<br>アスファルト露出防水【撤去】<br>立上り：アスファルト露出防水【撤去】<br>（アルミ押え金物、アルミ水切、シール共） |
| Rf2 | 平場：コンクリート金コテ押え＋<br>ウレタン系塗膜防水(X-1)【残置】<br>立上り：ウレタン系塗膜防水(X-2)【残置】 |
| Rf3 | 防水モルタル金コテ押え＋<br>ウレタン系塗膜防水(X-2)【残置】 |
| 笠木 | アルミ笠木（規格品）W225【取外し】 |
| Un1 | 高架水槽基礎【残置】<br>天端・立上り：ウレタン塗膜防水（X-2）【残置】 |
| Un2 | 転落防止用手すり【残置】<br>基礎：アスファルト系塗膜防水【残置】　102箇所 |
| Un3 | 機械設備基礎【残置】<br>天端・立上り：アスファルト系塗膜防水（X-2）【残置】 |
| TT(**) | カラーVP管【撤去】　(**)は径を示す<br>（掴み金物共 @1,200）　100：φ100<br>75：φ75 |
| HRD | 横引きルーフドレン【撤去】<br>（ステンレス打込型φ100用、ドレンキャップ共） |
| VRD(**) | 竪型ルーフドレン【残置】　(**)は径を示す<br>（ステンレス打込型）　100：φ100用<br>（ドレンキャップ共）　75：φ75用 |
| ReRD | 中継ドレン【残置】 |
| DB | ステンレス飾り桝【残置】<br>接続管 ステンレスφ100用【残置】 |
| DC※ | ステンレス脱気筒【撤去】　R階　20箇所<br>ステンレス脱気筒【残置】　PH階　1箇所 |
| | 配管架台ブロック【取外し】、ゴムシート【撤去】<br>電線管（ジャッキアップ養生）<br>※eについてはゴムシート撤去なし<br>a：L200xD100xH100　3箇所　d：平板 300角　6箇所<br>b：L300xD100xH100　4箇所　e：コンクリートブロック　4箇所<br>c：L500xD100xH100　2箇所 |
| | 配管基礎【取外し】、ゴムシート【撤去】<br>※基礎足H35程度カットを行う<br>SUS配管（ジャッキアップ養生）<br>150φxH150x2　9箇所 |
| 0 | 断面詳細図番号を示す<br>（図番 A-043～049を参照） |
| | 建具撤去範囲を示す<br>（内容等は建具表を参照） |
| | 改修範囲外を示す |

## 凡例

| | |
|---|---|
| Rf1 | 平場：水洗い＋断熱材 t35＋<br>改質アスファルトシート防水【新設】(AS-T1)<br>立上り：ケレン清掃＋ポリマーセメントペースト仮防水<br>＋改質アスファルトシート防水【新設】<br>(AS-T1：立上り仕様) |
| Rf2 | 平場：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】<br>立上り：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Rf3 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| 笠木 | アルミ笠木（規格品）W225【復旧】 |
| Un1 | 高架水槽基礎【既存のまま】<br>天端・立上り：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Un2 | 転落防止用手すり【既存のまま】<br>基礎：水洗い＋ｱｽﾌｧﾙﾄ系塗膜防水(X-2)【新設】　102箇所 |
| Un3 | 機械設備基礎【既存のまま】<br>天端・立上り：水洗い＋ｱｽﾌｧﾙﾄ系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Un5 | 公共建物識別番号表示【新設】<br>（番号詳細は雑詳細図を参照） |
| TT | カラーVP管【新設】　(**)は径を示す<br>（掴み金物共 @1,200）　100：φ100<br>75：φ75 |
| HRD | 改修用横引きルーフドレンφ100用【新設】<br>（ドレンキャップ共）<br>※SUS304等にて落下防止対策を講じること |
| VRD(**) | 改修用竪型ルーフドレン【新設】　(**)は径を示す<br>（ドレンキャップ共）　100：φ100<br>※SUS304等にて落下防止対策を講じること　75：φ75 |
| ReRD | 中継ドレン【既存のまま】 |
| DB | 飾り桝【残置】<br>接続管 ステンレスφ100用【残置】 |
| DC※ | ステンレス脱気筒【撤去】　R階　20箇所<br>ステンレス脱気筒【残置】　PH階　1箇所 |
| | 配管架台ブロック【再設置】、ゴムシート【新設】<br>電線管 DP塗装<br>※eについてはゴムシート新設なし<br>a：L200xD100xH100　3箇所　d：平板 300角　6箇所<br>b：L300xD100xH100　4箇所　e：コンクリートブロック　4箇所<br>c：L500xD100xH100　2箇所 |
| | 配管基礎【再設置】、ゴムシート【新設】<br>SUS配管【既存のまま】<br>150φxH150x2　9箇所 |
| 0 | 断面詳細図番号を示す<br>（図番 A-043～049を参照） |
| | 建具新設範囲を示す<br>（内容等は建具表を参照） |
| | 改修範囲外を示す |

2-2

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　Ｒ階、ＰＨ階平面図（改修前・改修後）

Scale　A1：1/150　A3：1/300

作図　令和７年９月

図面番号　A-018

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

| 凡例記号 | 部位 | | 改修前 | | | 改修後 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⓐ | 屋根 | 1 | R階屋根 2階吹抜上部渡り廊下屋根 | 平場 | コンクリート金コテ押え＋アスファルト露出防水【残置】 | 水洗い＋断熱材 t35＋改質アスファルトシート防水(AS1-T1)【新設】 |
| | | 3 | | 天端 | アルミ笠木(規格品) W225【撤去】 | アルミ笠木(規格品) W225【新設】 |
| | | 4 | 昇降口上部 ペントハウス屋根 | 平場 | コンクリート金コテ押え＋ウレタン系塗膜防水(X-1)【残置】 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-1)【新設】 |
| | | 6 | | 天端 | アルミ笠木(規格品) W225【撤去】 | アルミ笠木(規格品) W225【新設】 |
| | | 7 | 屋根底 | | 防水モルタル金コテ押え＋塗膜防水(X-2)【撤去】 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Ⓑ | 軒天 | 1 | バルコニー屋根底 | | 型枠打放し＋複層模様吹付RE（化粧目地付） | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| | | 2 | ピロティ | | けい酸カルシウム板 t6（目透し張）＋複層模様吹付RE | 下地調整＋NAD【新設】 |
| Ⓒ | 外壁 | 1 | 壁面 | | 磁器質50角タイル張（施釉ラスター） | 水洗い |
| | | 2 | | | 磁器質50角タイル張 | 水洗い |
| | | 3 | | | 型枠打放し＋複層模様吹付RE | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| | | 4 | | | ＡＬＣ t100＋防水形複層塗材E | 水洗い |

| 凡例記号 | 部位 | | 改修前 | | | 改修後 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Ⓒ | 外壁 | 5 | 巾木 | | モルタル金コテ | 水洗い |
| Ⓓ | 樋 | 1 | 竪樋 | | カラーVP管φ100, φ75（掘み金物共 @1,200）【撤去】<br>飾り桝 ステンレス(規格品)【撤去】、接続管 ステンレスφ100用【撤去】 | カラーVP管φ100, φ75（掘み金物 @1,200）【新設】<br>飾り桝 ステンレス(規格品)【新設】、接続管 ステンレスφ100用【新設】 |
| Ⓕ | 屋外階段 | 1 | 壁面 | 見付 | 磁器質50角タイル張 | 水洗い |
| | | 3 | | 手摺天端 | 防水モルタル金コテ | 水洗い |
| | | 6 | 上裏 | | 型枠打放し＋複層模様吹付RE | 水洗い＋NAD【新設】 |
| Ⓖ | 外部建具 | 1 | 金属製建具（AL製(GB窓)） | | AL建具【撤去】（撤去建具については建具表を参照） | AL建具【新設】（新設建具については建具表を参照） |
| | | 2 | 金属製建具（上記建具以外） | | 建具周囲：シーリング【撤去】<br>ガラス・アルミパネル周囲：片面(外壁面)シーリング【撤去】 | 建具周囲：シーリング（MS-2）【打替え】（四方W10、水切W15）<br>ガラス・アルミパネル周囲：片面(外壁面)シーリング（SR-1）【打替え】 |
| Ⓗ | その他 | 1 | バルコニー手摺 | | ステンレス ヘアライン仕上 | 水洗い |
| | | 2 | 設備囲い | | 鉄骨下地 ステンレスパンチングメタル貼 t2.0 | 水洗い |
| | | 4 | 転落防止用手すり | | ネットフェンス H=1,200<br>基礎：アスファルト系塗膜防水 | 【既存のまま】<br>基礎：水洗い＋アスファルト系塗膜防水【新設】 |

凡例（改修前・後）

| | | | |
|---|---|---|---|
| ---------- | 外壁打継目地及びタイル目地を示す<br>外壁打継目地、タイル目地：シーリング【撤去】<br>シーリング(PS-2)W=20【打替え】 | ／／／ | 防球ネット(ワイヤー残置)【撤去・新設】<br>網目37.5mm・ポリスチレン/無結節 |
| ▨ | C-1 磁器質50角タイル張（施釉ラスター）位置を示す | ——— | ステンレスラッキングカバー φ150 |
| | | ——— | ドレン管(カラーVP φ40) |
| | | ——— | 配管用ステンレス鋼管 40A |

特記事項

■ 外壁劣化部改修内容

（コンクリート面・モルタル面）
- クラック（幅0.2～1.0mm）：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
- クラック（幅1.0mm以上）：Uカットシール材充填工法
- 浮き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
- 欠損：エポキシ樹脂モルタル充填工法

（タイル面）
- クラック（幅0.2～1.0mm）：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
- クラック（幅1.0mm以上）：タイル部分張替え工法
- 浮き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
- 欠損：タイル部分張替え工法

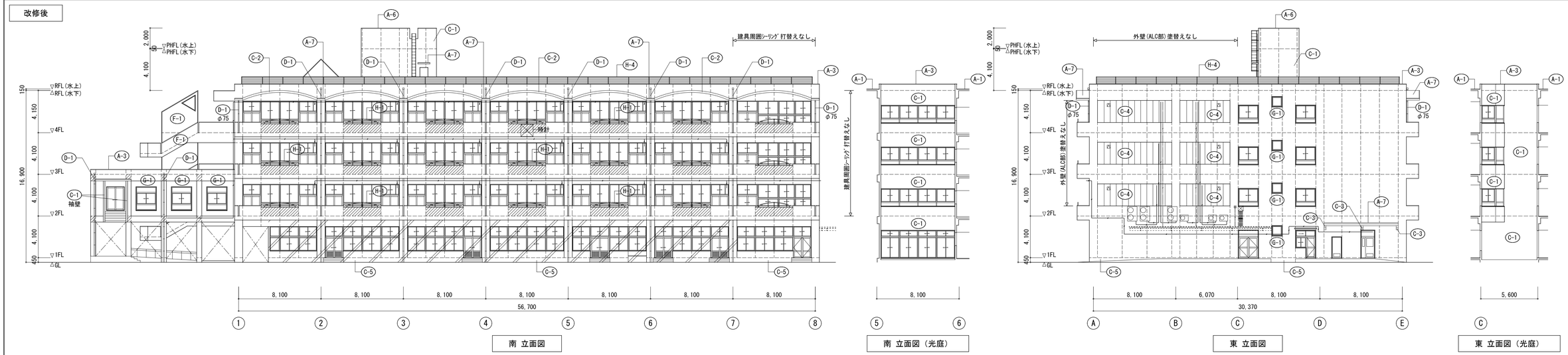
■ 既設電気盤・設備配管類　鋼製：清掃+DP塗装(2回塗)

■ 外壁面に付属する配管及びBOXについて
- 設備BOX・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は清掃の上DP塗装(下塗無し)とし、鋼板製はDP塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ20より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。
  φ20より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上DP塗装(下塗無し)とし、鉄部はDP塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。(支持金物も上記に準ずる)
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(MS-2)を行うこと。

■ 室外機裏面及び時計裏は塗装できる範囲まで施工すること

改修前

改修後




※注記

※凡例番号の無い金属建具は G-2 とする

※凡例番号の無い外壁は C-2 とする

※特記の無い D-1 はφ100とする

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| 図面名 | Scale | 図面番号 |
|---|---|---|
| 管理特別教室棟<br>立面図（１）（改修前・改修後） | A1：1/200<br>A3：1/400 | A-019 |
| | 作図　令和７年９月 | |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

| 凡例記号 | 部位 | | 改修前 | | 改修後 |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓐ | 屋根 | 1 | R階屋根 2階吹抜上部 渡り廊下屋根 | 平場 コンクリート金コテ押え＋アスファルト露出防水【残置】 | 水洗い＋断熱材 t35＋改質アスファルトシート防水(AS1-T1)【新設】 |
| | | 3 | | 天端 アルミ笠木(規格品) W225【撤去】 | アルミ笠木(規格品) W225【新設】 |
| | | 4 | 昇降口上部 ペントハウス屋根 | 平場 コンクリート金コテ押え＋ウレタン系塗膜防水(X-1)【残置】 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-1)【新設】 |
| | | 6 | | 天端 アルミ笠木(規格品) W225【撤去】 | アルミ笠木(規格品) W225【新設】 |
| | | 7 | 屋根底 | 防水モルタル金コテ押え＋塗膜防水(X-2)【撤去】 | 水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 |
| Ⓑ | 軒天 | 1 | パルコニー 屋根底 | コンクリート打放し＋複層模様吹付RE（化粧目地付） | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| | | 2 | ピロティ | けい酸カルシウム板 t6（目透し張）＋複層模様吹付RE | 下地調整＋NAD【新設】 |
| Ⓒ | 外壁 | 1 | 壁面 | 磁器質50角タイル張（施釉ラスター） | 水洗い |
| | | 2 | | 磁器質50角タイル張 | 水洗い |
| | | 3 | | 型枠打放し＋複層模様吹付RE | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| | | 4 | | ＡＬＣ t100＋防水形複層塗材E | 水洗い |

| 凡例記号 | 部位 | | 改修前 | | 改修後 |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓒ | 外壁 | 5 | 巾木 | モルタル金コテ | 水洗い |
| Ⓓ | 樋 | 1 | 竪樋 | カラーVP管φ100, φ75（掘み金物共 @1,200）【撤去】<br>飾り桝 ステンレス(規格品)【撤去】、接続管 ステンレスφ100用【撤去】 | カラーVP管φ100, φ75（掘み金物 @1,200）【新設】<br>飾り桝 ステンレス(規格品)【新設】、接続管 ステンレスφ100用【新設】 |
| Ⓕ | 屋外階段 | 1 | 壁面 見付 | 磁器質50角タイル張 | 水洗い |
| | | 3 | 壁面 手摺天端 | 防水モルタル金コテ | 水洗い |
| | | 6 | 上裏 | 型枠打放し＋複層模様吹付RE | 水洗い＋NAD【新設】 |
| Ⓖ | 外部建具 | 1 | 金属製建具（AL製(GB窓)） | AL建具【撤去】（撤去建具については建具表を参照） | AL建具【新設】（新設建具については建具表を参照） |
| | | 2 | 金属製建具（上記建具以外） | 建具周囲：シーリング【撤去】<br>ガラス・アルミパネル周囲：片面(外壁面)シーリング【撤去】 | 建具周囲：シーリング（MS-2）【打替え】（四方W10、水切W15）<br>ガラス・アルミパネル周囲：片面(外壁面)シーリング（SR-1）【打替え】 |
| Ⓗ | その他 | 1 | パルコニー手摺 | ステンレス ヘアライン仕上 | 水洗い |
| | | 2 | 設備囲い | 鉄骨下地 ステンレスパンチングメタル貼 t2.0 | 水洗い |
| | | 4 | 転落防止用手すり | ネットフェンス H=1,200<br>基礎：アスファルト系塗膜防水 | 【既存のまま】<br>基礎：水洗い＋アスファルト系塗膜防水【新設】 |

## 凡例（改修前・後）

外壁打継目地及びタイル目地を示す
外壁打継目地、タイル目地：シーリング【撤去】
シーリング(PS-2)W=20【打替え】

C-1 磁器質50角タイル張（施釉ラスター）位置を示す

ステンレスラッキングカバー φ150

ドレン管(カラーVP φ40)

配管用ステンレス鋼管 40A

## 特記事項

■ 外壁劣化部改修内容

（コンクリート面・モルタル面）
- クラック（幅0.2～1.0mm）：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
- クラック（幅1.0mm以上）：Uカットシール材充填工法
- 浮き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
- 欠損：エポキシ樹脂モルタル充填工法

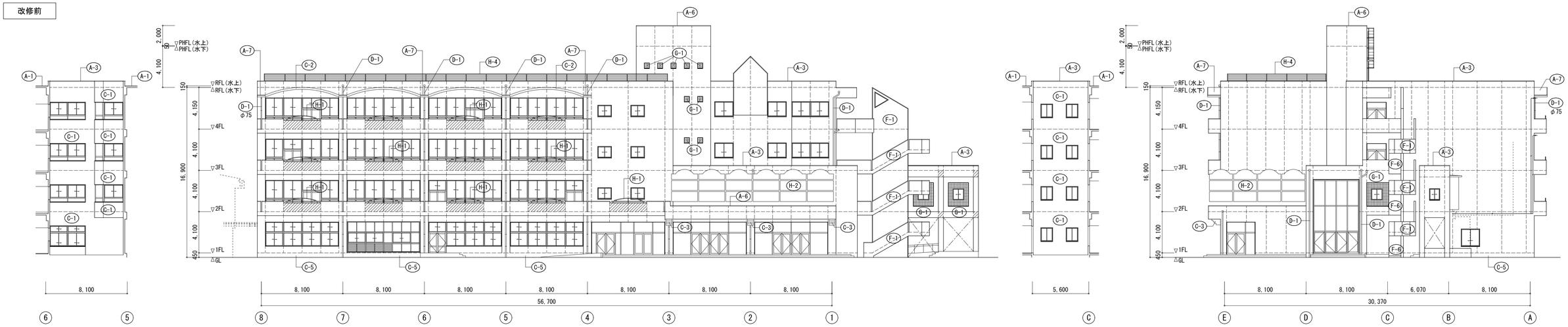
（タイル面）
- クラック（幅0.2～1.0mm）：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法
- クラック（幅1.0mm以上）：タイル部分張替え工法
- 浮き：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法
- 欠損：タイル部分張替え工法

■ 既設電気盤・設備配管類　鋼製：清掃+DP塗装(2回塗)

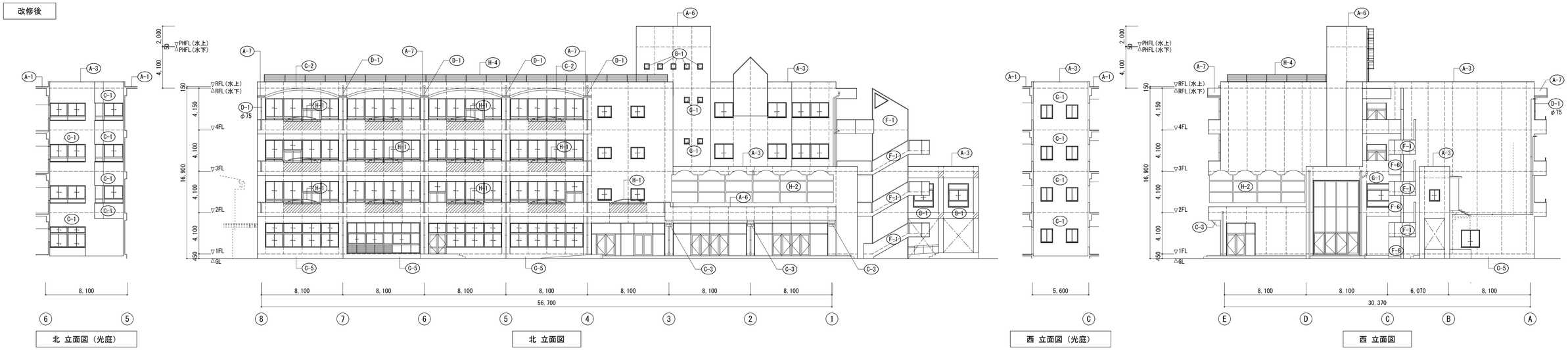
■ 外壁面に付属する配管及びBOXについて
- 設備BOX・換気フード等については、ステンレス・アルミ製は水洗い、樹脂製は清掃の上DP塗装(下塗無し)とし、鋼板製はDP塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- φ20より小さい付属配管については、外壁同様に塗装とする。
  φ20より大きい付属配管については、樹脂製は清掃の上DP塗装(下塗無し)とし、鉄部はDP塗装(亜鉛ﾒｯｷ面程度)とする。
- ステンレス、アルミ配管、監視カメラ等については、養生を行うこと。(支持金物も上記に準ずる)
- 外壁を貫通している配管周囲及び設備機器周囲は、全てシーリング打替(MS-2)を行うこと。

■ 室外機裏面及び時計は塗装できる範囲まで施工すること

改修前




改修後




※注記

※凡例番号の無い金属建具は G-2 とする

※凡例番号の無い外壁は C-2 とする

※特記の無い D-1 はφ100とする

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　立面図（２）（改修前・改修後）

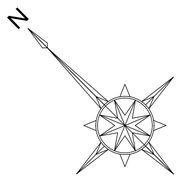
Scale　A1：1/200　A3：1/400

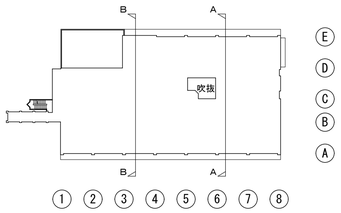
作図　令和７年９月

図面番号　A-020

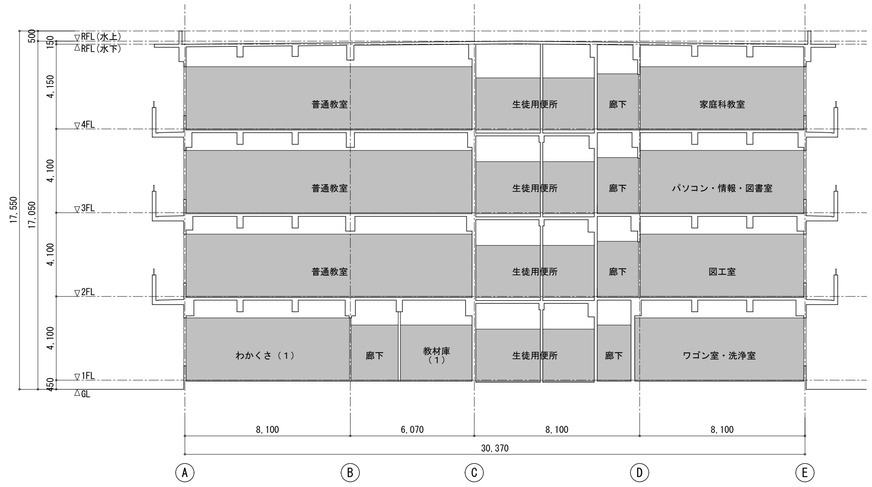
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前

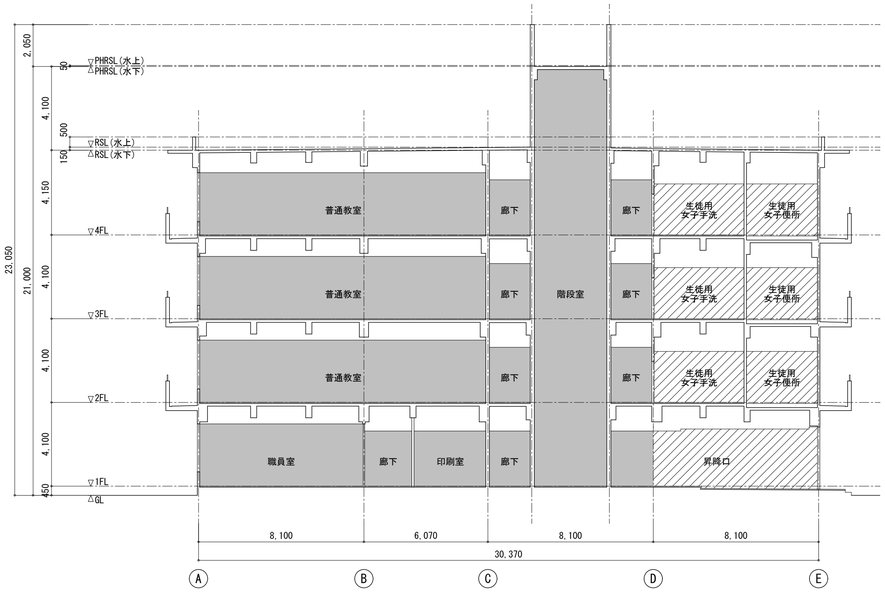





キープラン




Ａ－Ａ 断面図 1/200

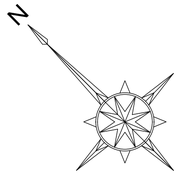


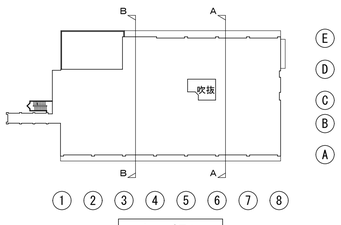

Ｂ－Ｂ 断面図 1/200

凡例

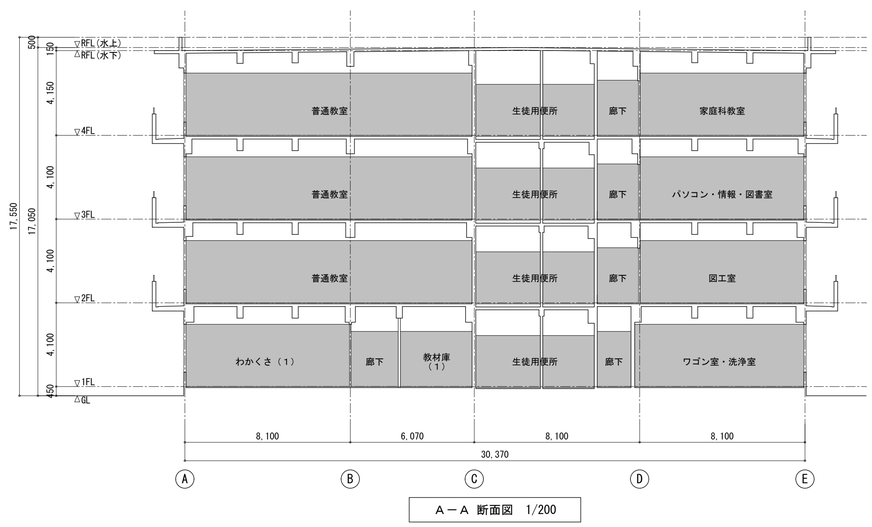
| |
|---|
| 撤去範囲を示す<br>（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| 改修範囲外を示す |
| |

改修後

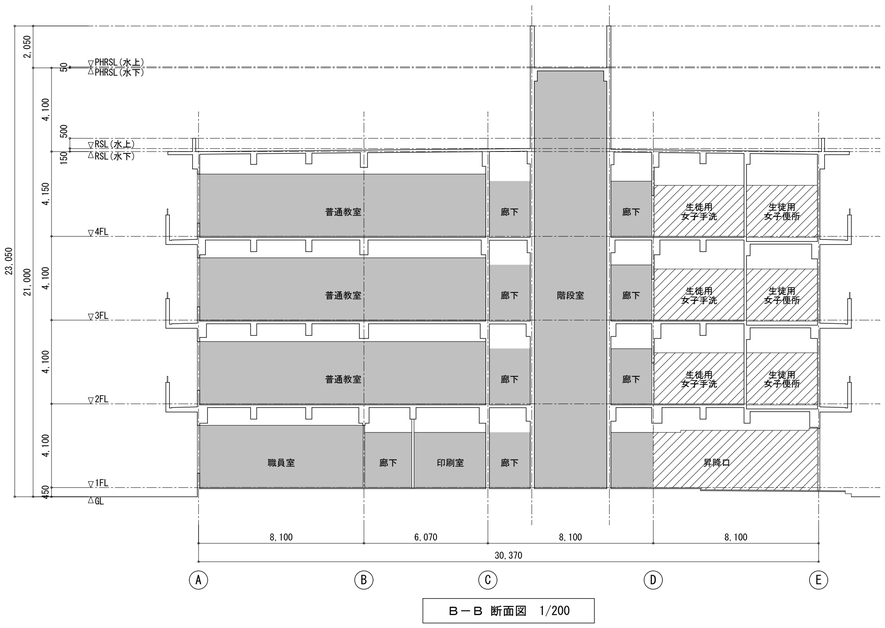





キープラン




Ａ－Ａ 断面図 1/200




Ｂ－Ｂ 断面図 1/200

凡例

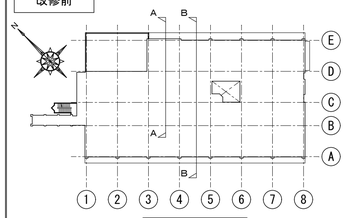
| |
|---|
| 復旧範囲を示す<br>（内容等は詳細図など関係図書を参照） |
| 改修範囲外を示す |
| |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事 （１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟 断面図（改修前・改修後） | Scale A1：1/150<br>A3：1/300 |
| | | 作図 令和７年９月 |
| 株式会社 山田建築事務所 | 一級建築士７７８９０号 管理技術者 大嶽 俊和 | 図面番号 A-021 |

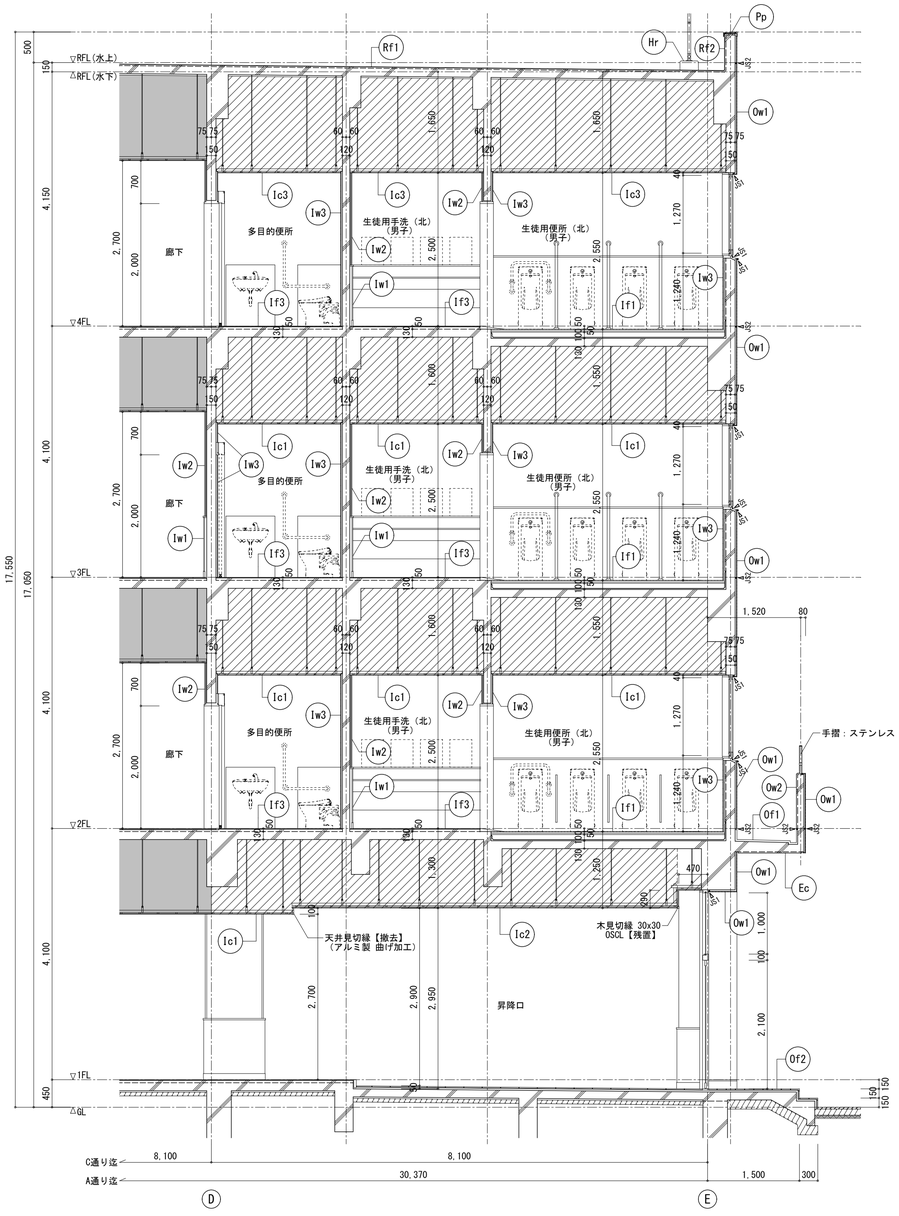
## 改修前




キープラン

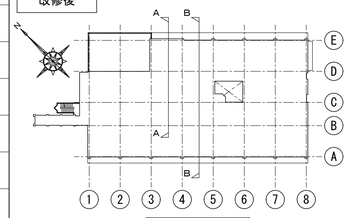
### 凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Rf1 | 屋根(平場)：コンクリート金コテ押え＋アスファルト露出防水【残置】 | Of2 | 犬走り：磁器質150角タイル貼（無釉）【残置】 | Ic1 | 内部天井：LGS下地(19)【撤去】＋GB-Dt9.5【撤去】 |
| Rf2 | 屋根(立上り)：アスファルト露出防水【撤去】 | Hr | 転落防止用手すり：ネットフェンス H1,200【残置】基礎：アスファルト系塗膜防水【残置】 | Ic2 | 内部天井：LGS下地(19)【撤去】＋ラワン合板t12 捨張【撤去】＋銘木縁甲板t12 OSCL【撤去】 |
| Ec | 軒天：型枠打放し＋複層模様吹付RE【残置】（化粧目地付） | If1 | 内部床：モルタル下地【撤去】＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | Ic3 | 内部天井：LGS下地(19)【残置】＋GB-Dt9.5【撤去】 |
| Ow1 | 外壁：磁器質50角タイル張【残置】 | If3 | 内部床：セルフレベリング t10【残置】＋ビニル床シート t2.5【撤去】 | | |
| Ow2 | 外壁：型枠打放し＋複層模様吹付RE【残置】 | Iw1 | 内壁（腰）：木繊甲板t15 OSCL【撤去】（木胴縁 40x20@300共） | | |
| Pp | パラペット 天端：アルミ 笠木 W625【 取外し 】 | Iw2 | 内壁（壁）：GB-R t9.5+12.5(GL)＋複層模様吹付E【残置】 | | |
| Of1 | バルコニー床：防水モルタル金コテ ウレタン系塗膜防水(X-2)（防滑）【残置】 | Iw3 | 内壁：陶器質100角タイル【残置】 | | |




A－A 断面図

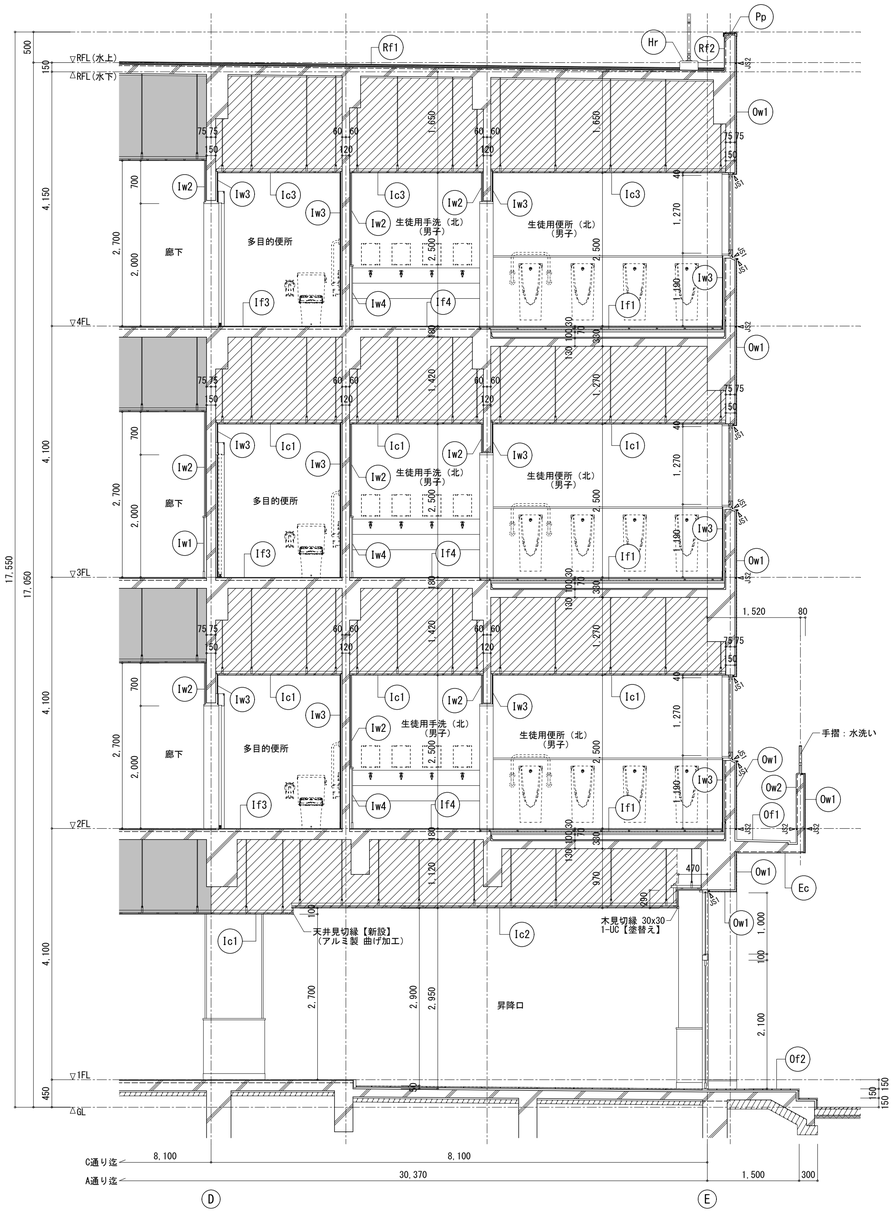
## 改修後




キープラン

### 凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Rf1 | 屋根(平場)：水洗い＋断熱材 t35＋改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水(AS-T1)【新設】 | Of2 | 犬走り：水洗い | Iw3 | 内壁：既存＋KFKt6.0(接着貼)【新設】（アルミジョイナー共） |
| Rf2 | 屋根(立上り)：ｹﾚﾝ清掃＋ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ仮防水＋改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水(AS-T1：立上り仕様)【新設】 | Hr | 転落防止用手すり：【既存のまま】基礎：水洗い＋アスファルト系塗膜防水【新設】 | Iw4 | 内壁：GB-S t9.5+12.5(GL)＋陶器質100角タイル【新設】 |
| Ec | 軒天：劣化部補修+水洗い+NAD【新設】 | If1 | 内部床：乾式二重床(パーティクルボードt=20共)の上、構造用合板t=12.0+ビニル床シート(防汚防滑性)(2色分け)【新設】 | Ic1 | 内部天井：LGS(19)+GB-D t9.5【新設】 |
| Ow1 | 外壁：劣化部補修(タイル張り仕上げ)＋水洗い | If3 | 内部床：ポリマーセメント下地処理＋ビニル床シート(防汚防滑性)【新設】 | Ic2 | 内部天井：LGS(19)+LP t12 捨張＋銘木縁甲板t12 OSCL【新設】 |
| Ow2 | 外壁：劣化部補修(コンクリート打放し仕上げ)＋水洗い+下地調整＋防水形外壁薄塗材E【新設】 | If4 | 内部床：ポリマーセメント下地処理＋ビニル床シート(防汚防滑性)(2色分け)【新設】 | Ic3 | 内部天井：LGS(19)【既設】+GB-D t9.5【新設】 |
| Pp | パラペット 天端：アルミ 笠木 W625【 復旧 】 | Iw1 | 内壁（腰）：木繊甲板 t15 I-UC【塗替え】 | | |
| Of1 | バルコニー床：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)＋防滑性トップコート【新設】 | Iw2 | 内壁（壁）：GB-Rt9.5+12.5(GL)＋複層塗材E（ローラー塗）【塗替え】 | | |




A－A 断面図

### 凡例

- 改修範囲を示す
- 改修範囲外を示す
- JS* シーリング打替え位置を示す
  1：建具周囲(四方、水切)：MS-2
  2：打継、タイル目地：PS-2

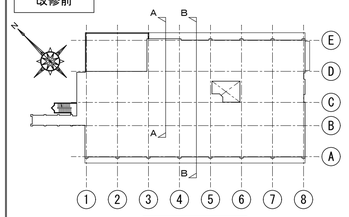
### ※注記

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟<br>矩計図（１）（改修前・改修後） | Scale | A1：1/50<br>A3：1/100 |
| | | 作図 | 令和７年９月 |
| 株式会社 | 山田建築事務所 | 一級建築士７７８９０号 | 管理技術者 大嶽 俊和 |

図面番号 A-022

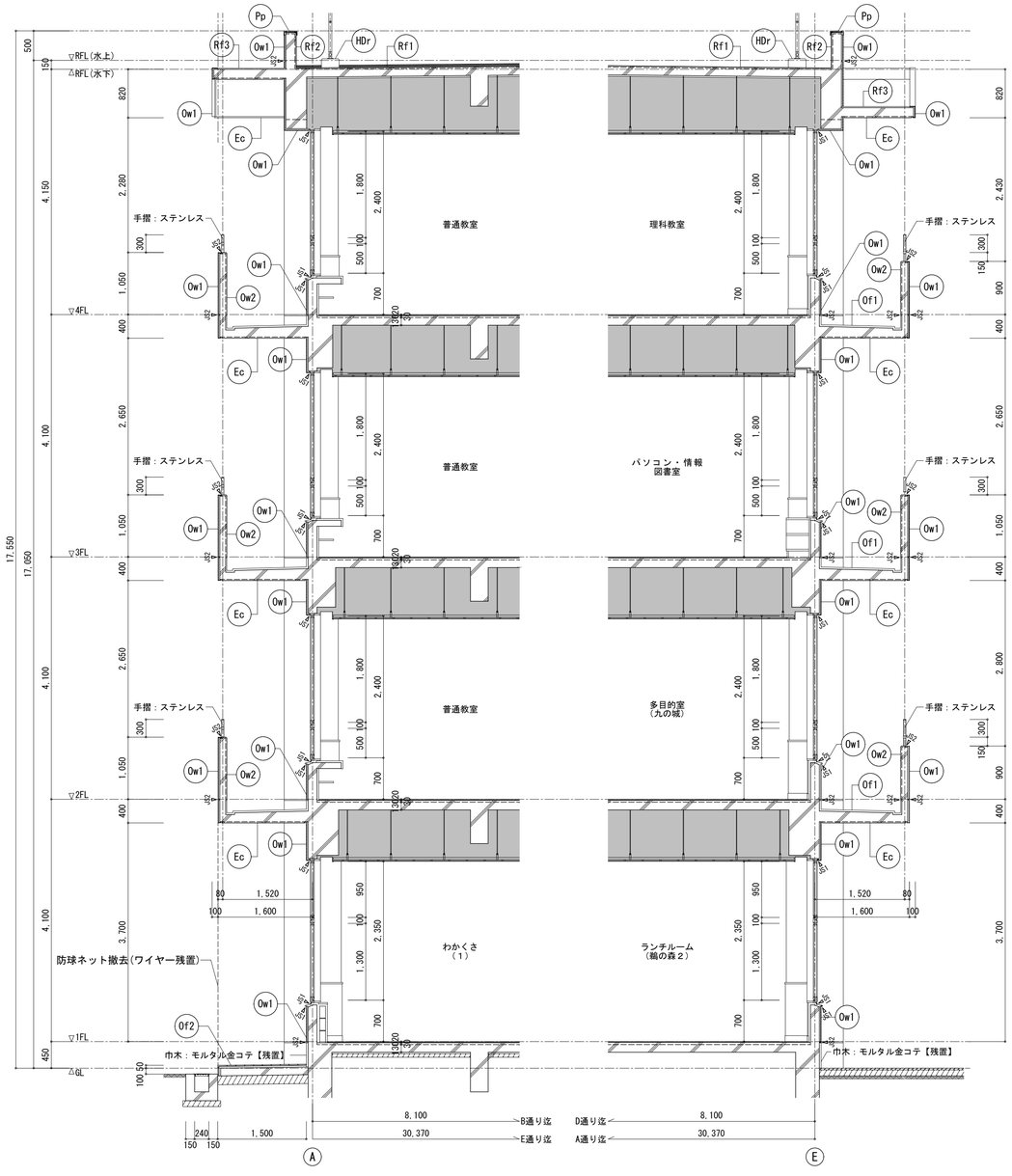
## 改修前




キープラン

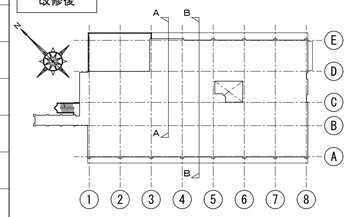
凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Rf1 | 屋根(平場)：コンクリート金コテ押え＋アスファルト露出防水【残置】 | Of1 | バルコニー床：防水モルタル金コテ<br>ウレタン系塗膜防水(X-2)（防滑）【残置】 | | |
| Rf2 | 屋根(立上り)：アスファルト露出防水【撤去】 | Of2 | 犬走り：磁器質150角タイル貼（無釉）【残置】 | | |
| Rf3 | 庇：防水モルタル金コテ押え＋塗膜防水(X-2)【残置】 | HDr | 転落防止用手すり：ネットフェンス H1,200【残置】<br>基礎：アスファルト系塗膜防水【残置】 | | |
| Ec | 軒天：型枠打放し＋複層模様吹付RE【残置】<br>（化粧目地付） | | | | |
| Ow1 | 外壁：磁器質50角タイル張【残置】 | | | | |
| Ow2 | 外壁：型枠打放し＋複層模様吹付RE【残置】 | | | | |
| Pp | パラペット天端：アルミ笠木 W225【取外し】 | | | | |




B－B 断面図

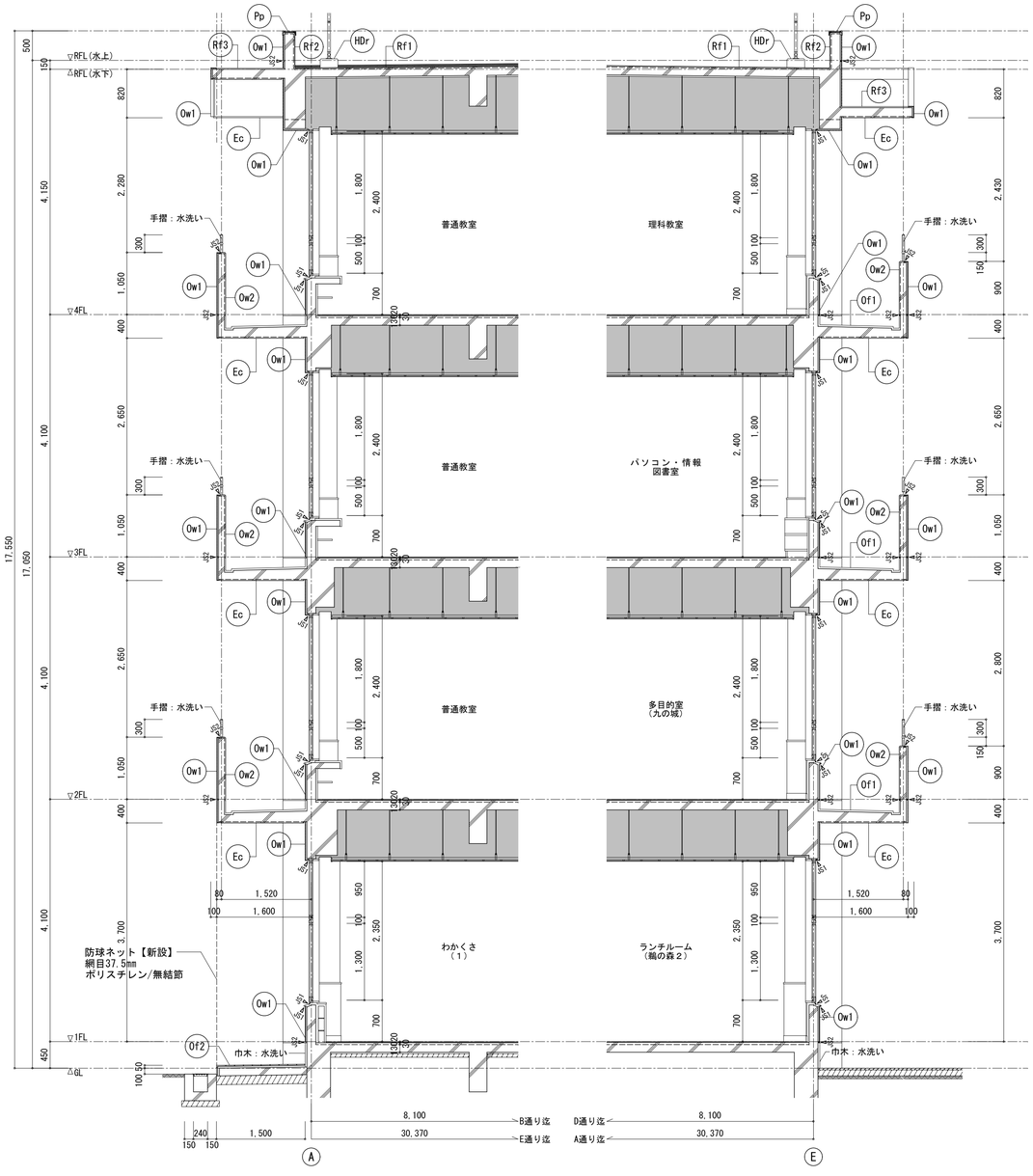
## 改修後




キープラン

凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| Rf1 | 屋根(平場)：水洗い＋断熱材 t35＋<br>改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（AS-T1）【新設】 | Of1 | バルコニー床：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)＋<br>防滑性トップコート【新設】 | | |
| Rf2 | 屋根(立上り)：ｹﾚﾝ清掃＋ﾌﾟﾗｲﾏｰｾﾒﾝﾄﾍﾟｰｽﾄ仮防水<br>＋改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水<br>（AS-T1：立上り仕様）【新設】 | Of2 | 犬走り：水洗い | | |
| Rf3 | 庇：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2) | HDr | 転落防止用手すり：【既存のまま】<br>基礎：水洗い＋アスファルト系塗膜防水【新設】 | | |
| Ec | 軒天：劣化部補修+水洗い+NAD【新設】 | | | | |
| Ow1 | 外壁：劣化部補修(タイル張り仕上げ)＋水洗い | | | | |
| Ow2 | 外壁：劣化部補修(コンクリート打放し仕上げ)＋<br>水洗い＋下地調整＋防水形外壁薄塗材E【新設】 | | | | |
| Pp | パラペット天端：アルミ笠木 W225【復旧】 | | | | |




B－B 断面図

凡例

- 改修範囲を示す
- 改修範囲外を示す
- シーリング打替え位置を示す
  1：建具周囲(四方、水切)：MS-2
  2：打継、タイル目地：PS-2

※注記

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟
矩計図（２）（改修前・改修後）

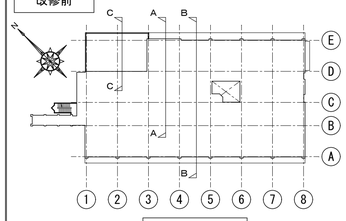
Scale　A1：1/50
A3：1/100

作図　令和７年９月

図面番号　A-023

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

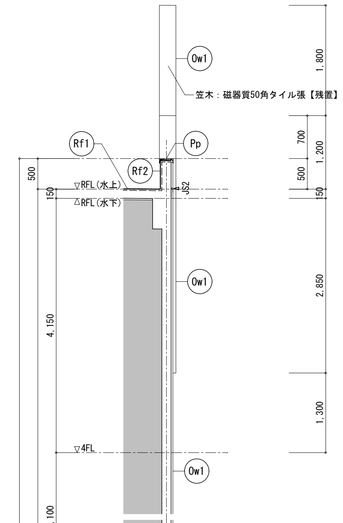
## 改修前



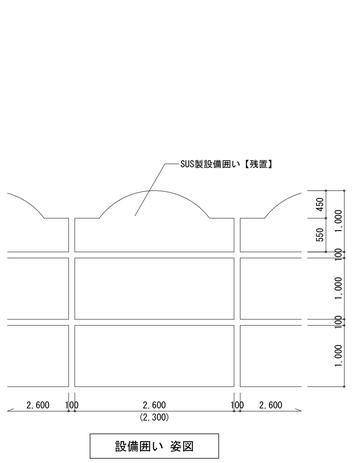

キープラン

凡例

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Rf1 | 屋根(平場)：コンクリート金コテ押え＋<br>アスファルト露出防水【残置】 | | | | | |
| Rf2 | 屋根(立上り)：アスファルト露出防水【撤去】 | | | | | |
| Rf4 | 平場：コンクリート金コテ押え＋<br>ウレタン系塗膜防水(X-1)【残置】<br>立上り：ウレタン系塗膜防水(X-2)【残置】 | | | | | |
| Ec | 軒天：型枠打放し＋複層模様吹付RE【残置】<br>(化粧目地付) | | | | | |
| Ow1 | 外壁：磁器質50角タイル張【残置】 | | | | | |
| Pp | パラペット天端：アルミ笠木 W225【取外し】 | | | | | |
| Of2 | 犬走り：磁器質150角タイル貼（無釉）【残置】 | | | | | |




C－C 断面図

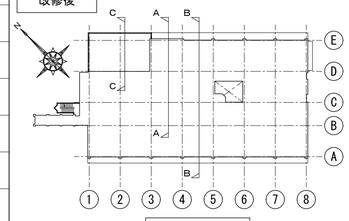






設備囲い 姿図

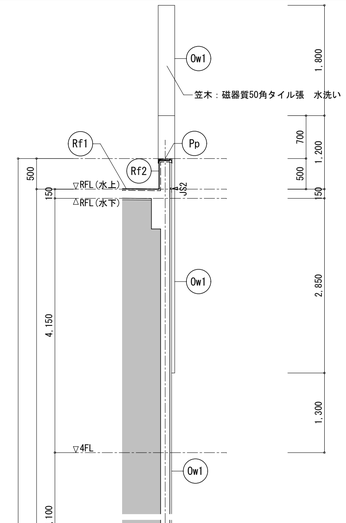
## 改修後



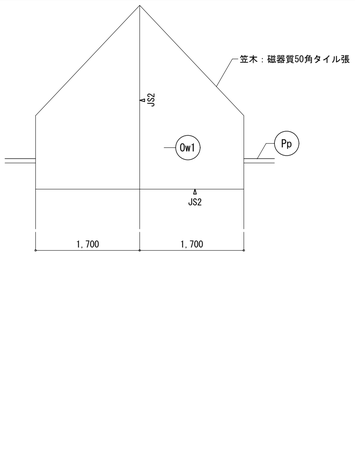

キープラン

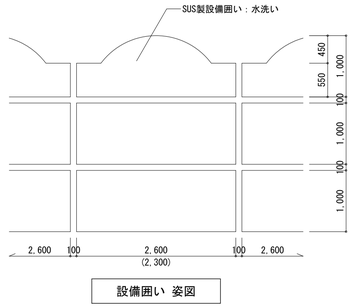
凡例

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| Rf1 | 屋根(平場)：水洗い＋断熱材 t35＋<br>改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水（AS I-T1）【新設】 | | | | | |
| Rf2 | 屋根(立上り)：水洗い＋ｹﾚﾝ清掃＋ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ<br>平滑処理＋改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄ防水<br>（AS I-T1：立上り仕様）【新設】 | | | | | |
| Rf4 | 平場：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-1)【新設】<br>立上り：水洗い＋ウレタン系塗膜防水(X-2)【新設】 | | | | | |
| Ec | 軒天：水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 | | | | | |
| Ow1 | 外壁：劣化部補修(タイル張り仕上げ)＋水洗い | | | | | |
| Pp | パラペット天端：アルミ笠木 W225【復旧】 | | | | | |
| Of2 | 犬走り：水洗い | | | | | |




C－C 断面図




設備囲い 姿図

凡例

改修範囲外を示す

JS*T シーリング打替え位置を示す
1：建具周囲(四方、水切)：MS-2
2：打継、タイル目地：PS-2

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟
矩計図（３）（改修前・改修後）

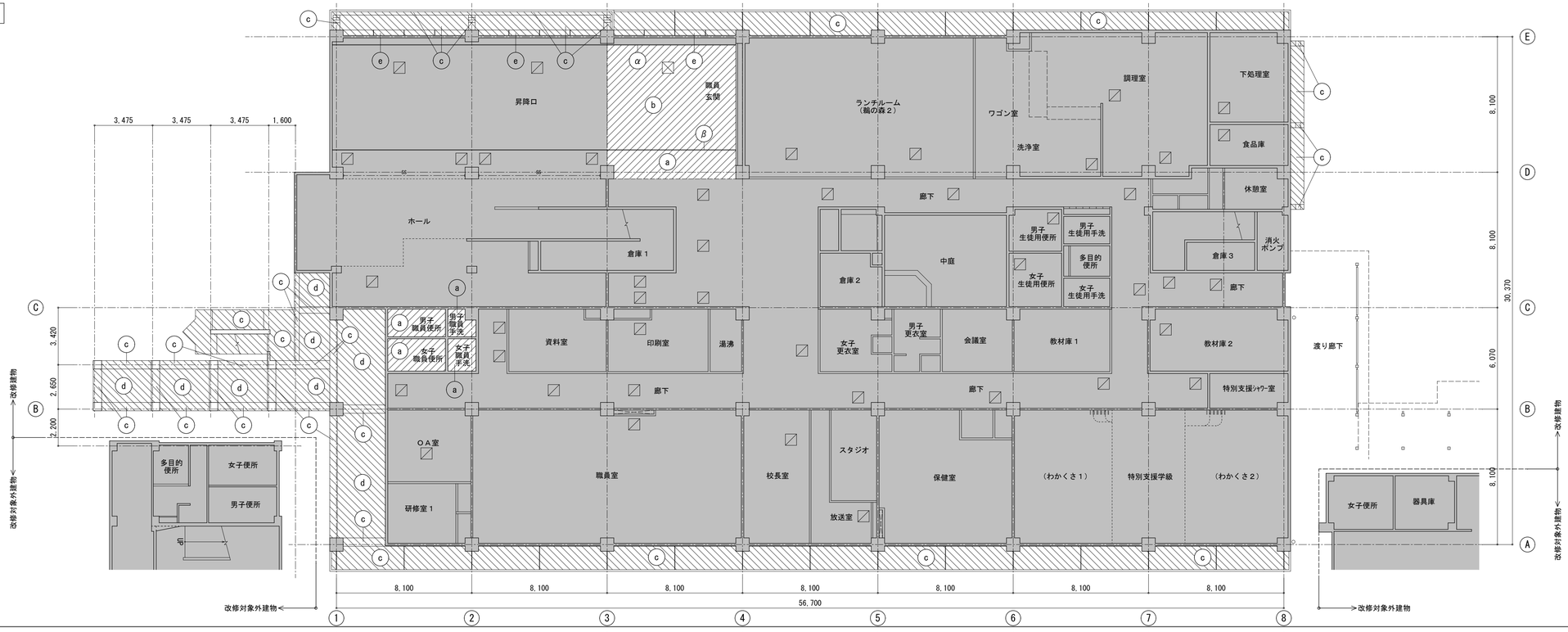
Scale　A1：1/50
A3：1/100

作図　令和７年９月

図面番号　A-024

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

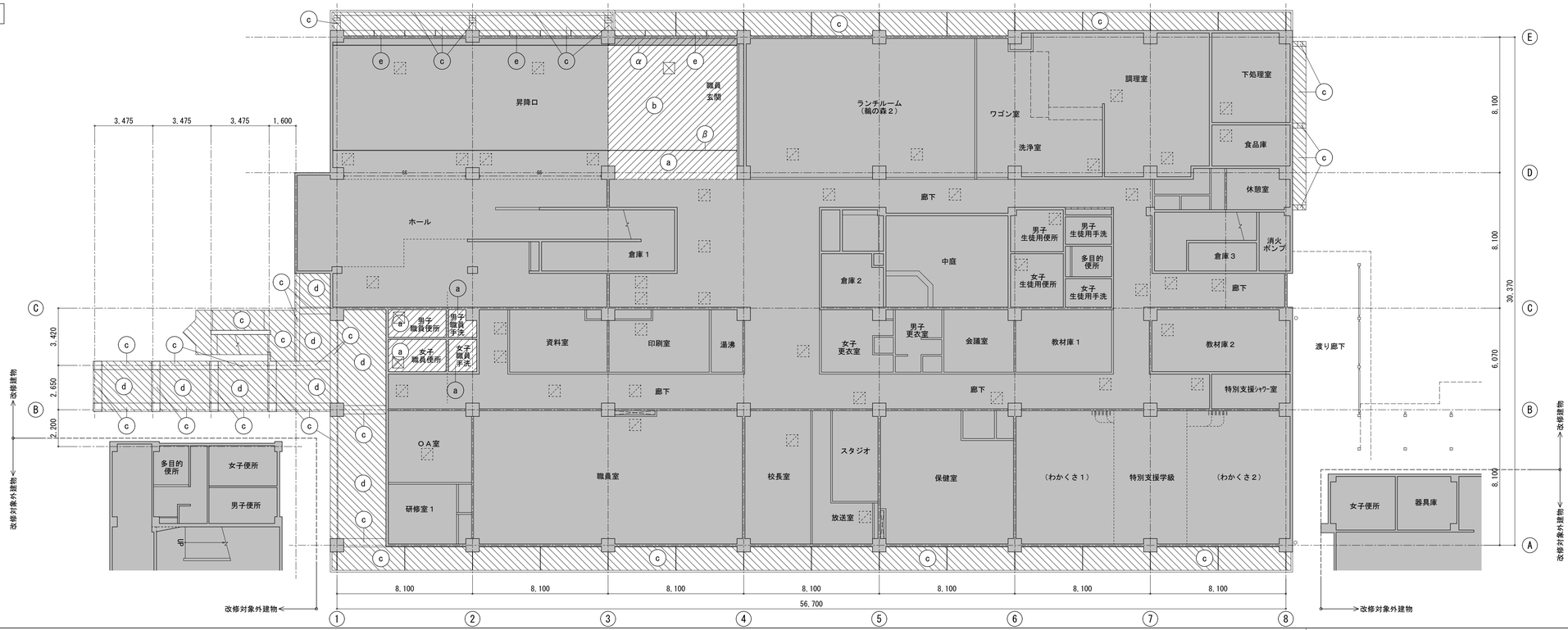
改修前




凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【撤去】 |
| | 天井：仕上げ 【残置】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS<19>【撤去】＋GB-D t9.5【撤去】<br>塩ビ製廻縁【撤去】 |
| b | LGS<19>【撤去】＋LP t12 捨張【撤去】＋<br>銘木緑甲板 t12【撤去】 |
| c | 型枠打放し＋複層模様吹付RE |
| d | けい酸カルシウム板 t6.0 目透し張【残置】＋<br>複層模様吹付RE |
| e | 磁器質50角タイル張【残置】 |
| α | 木見切縁 30x30 OSCL【残置】 |
| β | 天井見切縁（アルミ製 曲げ加工）【撤去】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【残置】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【撤去】 |

改修後




凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【新設】 |
| | 天井：仕上げ 【新設】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS<19>＋GB-D t9.5【新設】<br>塩ビ製廻縁【新設】 |
| b | LGS<19>＋LP t12 捨張＋銘木緑甲板t12 OSCL【新設】 |
| c | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| d | 下地調整＋NAD【新設】 |
| e | 劣化部補修（磁器質50角タイル張）＋水洗い |
| α | 木見切縁 30x30 1-UC【塗替え】 |
| β | 天井見切縁（アルミ製 曲げ加工）【新設】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【既存のまま】 |
| | 天井点検口(特記なき限り600角) 【新設】 |

※注記

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟
１階天井伏図（改修前・改修後）

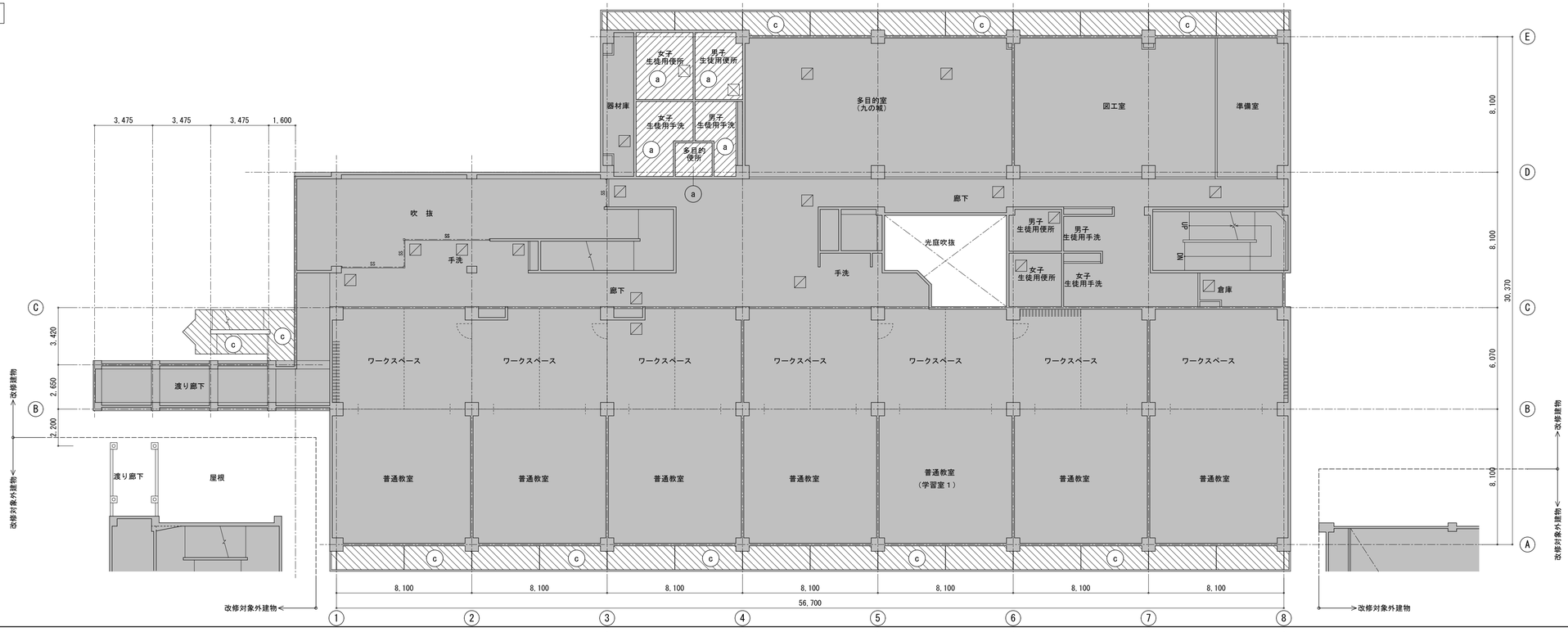
Scale　A1：1/150
A3：1/300

作図　令和７年９月

図面番号　A-025

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前




改修後

凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【撤去】 |
| | 天井：仕上げ 【残置】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS<19>【撤去】＋GB-D t9.5【撤去】<br>塩ビ製廻縁【撤去】 |
| b | LGS<19>【撤去】＋LP t12 捨張【撤去】＋<br>銘木縁甲板 t12【撤去】 |
| c | 型枠打放し＋複層模様吹付RE |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【残置】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【撤去】 |

凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【新設】 |
| | 天井：仕上げ 【新設】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS<19>＋GB-D t9.5【新設】<br>塩ビ製廻縁【新設】 |
| b | LGS<19>＋LP t12 捨張＋銘木縁甲板t12 OSCL【新設】 |
| c | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【既存のまま】 |
| | 天井点検口(特記なき限り600角) 【新設】 |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟<br>２階天井伏図（改修前・改修後） | Scale A1：1/150<br>A3：1/300<br>作図　令和７年９月 |
| 図面番号 | A-026 | |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前

改修後

凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【撤去】 |
| | 天井：仕上げ 【残置】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS<19>【撤去】＋GB-D t9.5【撤去】<br>塩ビ製廻縁【撤去】 |
| b | LGS<19>【撤去】＋LP t12 捨張【撤去】＋<br>銘木縁甲板 t12【撤去】 |
| c | 型枠打放し＋複層模様吹付RE |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【残置】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【撤去】 |

凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【新設】 |
| | 天井：仕上げ 【新設】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS<19>＋GB-D t9.5【新設】<br>塩ビ製廻縁【新設】 |
| b | LGS<19>＋LP t12 捨張＋銘木縁甲板t12 OSCL【新設】 |
| c | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【既存のまま】 |
| | 天井点検口(特記なき限り600角) 【新設】 |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟
３階天井伏図（改修前・改修後）

Scale　A1：1/150
A3：1/300

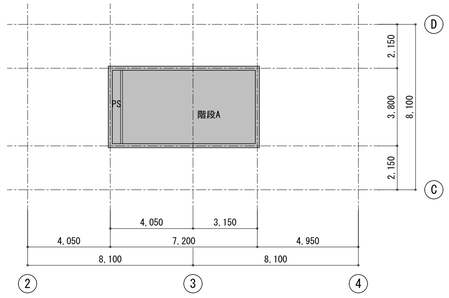
作図　令和７年９月

図面番号　A-027

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前

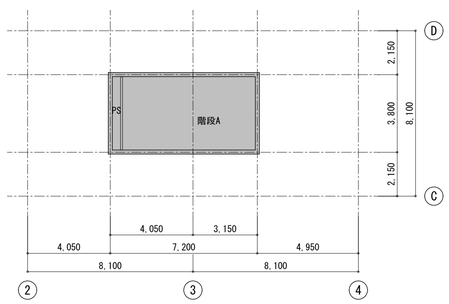
４階天井伏図




ＰＨ階天井伏図

改修後

４階天井伏図




ＰＨ階天井伏図

凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【撤去】 |
| | 天井：仕上げ 【残置】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS(19)【残置】+GB-D t9.5【撤去】<br>塩ビ製廻縁【撤去】 |
| c | 型枠打放し＋複層模様吹付RE |
| e | 磁器質50角タイル張【残置】 |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【残置】 |

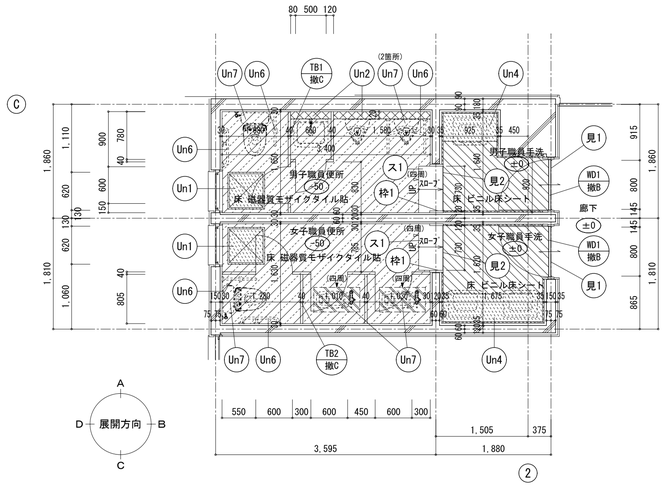
凡例

| | |
|---|---|
| | 天井：仕上げ(下地共) 【新設】 |
| | 天井：仕上げ 【新設】 |
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| a | LGS(19)【既設】+GB-D t9.5【新設】<br>塩ビ製廻縁【新設】 |
| c | 水洗い＋下地調整＋NAD【新設】 |
| e | 劣化部補修（磁器質50角タイル張）＋水洗い |
| | 天井点検口(特記なき限り450角) 【既存のまま】 |

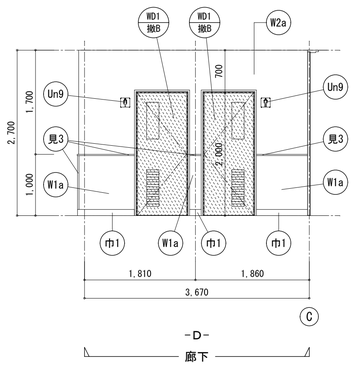
※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟<br>４，ＰＨ階天井伏図（改修前・改修後） | Scale | A1：1/150<br>A3：1/300 |
| | | 作図 | 令和７年９月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号 | A-028 |



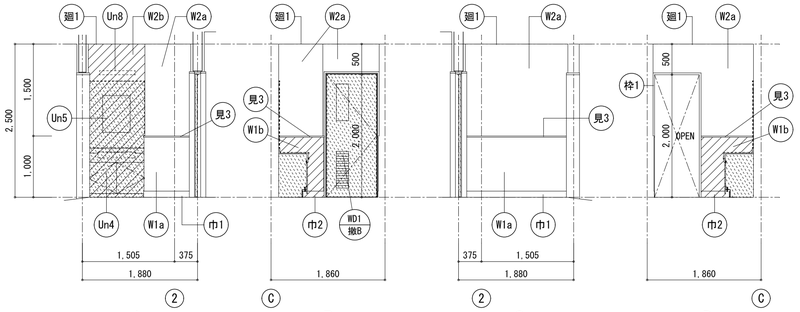

平面詳細図　1/50

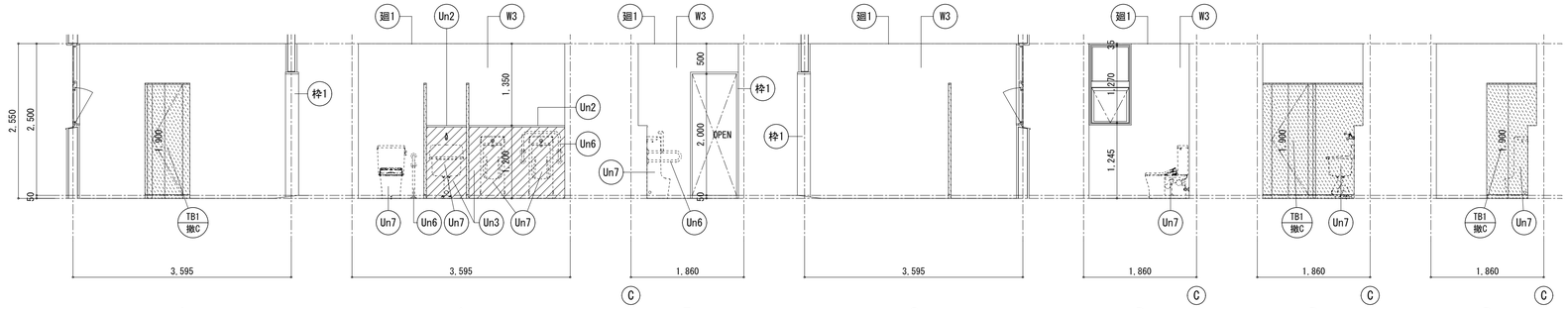


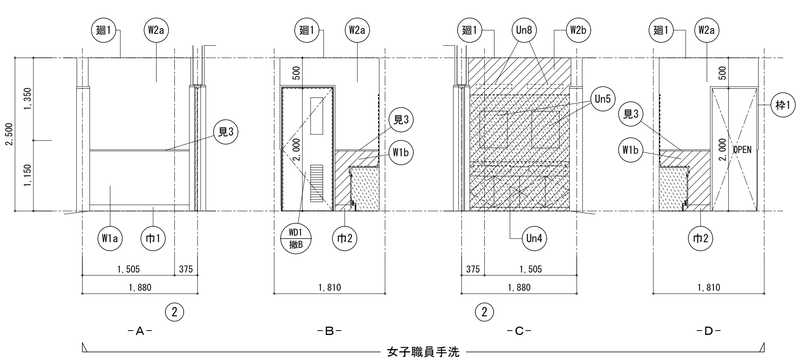

凡例　〈平面詳細図，展開図〉

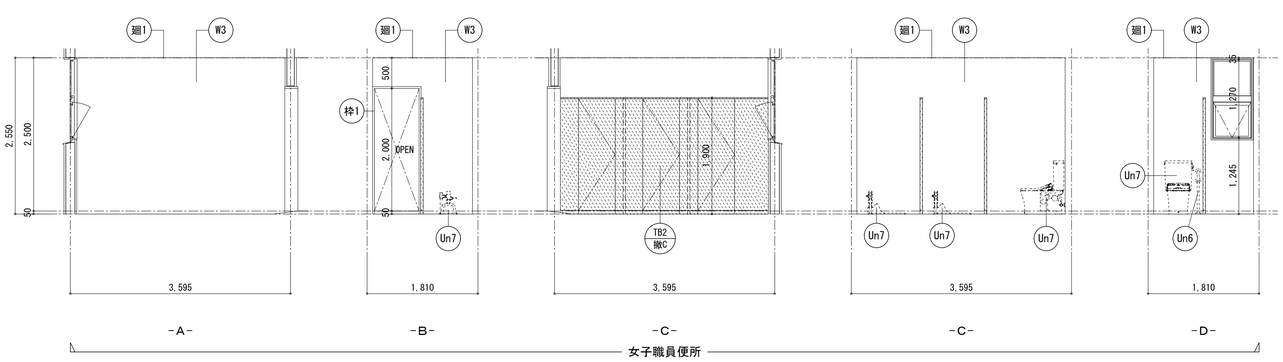
| | |
|---|---|
| 床：コンクリートスラブt=130(最小寸法)【撤去】<br>(短辺：上端筋 D10,13(交互)@200)<br>(短辺：下端筋 D10@200)<br>(長辺：D10@200 ダブル)<br>モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | 面台撤去範囲を示す |
| | 建具、家具撤去範囲を示す |
| 床：モルタル下地【残置】＋ビニル床シート t2.5【撤去】 | コンクリートカッター入れを示す |
| 床：モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | モルタルカッター入れを示す |
| 壁(下地共)撤去範囲を示す | **00 撤* 撤去建具を示す　A：外枠残し　B：扉のみ　C：扉・枠共 |

| 凡例　〈巾木、廻縁、梁型、柱型〉 | | 凡例　〈壁〉 | | 凡例　〈ユニット、その他〉 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 巾1 | 木巾木 OSCL H100【残置】 | W1a | 檜縁甲板 t15 OSCL【残置】 | Un1 | アルミ製床改め口(600角)【撤去】 |
| 巾2 | 木巾木 OSCL H100【撤去】 | W1b | 檜縁甲板 t15 OSCL【撤去】<br>(木胴縁 40x20@300共) | Un2 | 面台【撤去】 |
| 廻1 | 塩ビ製廻縁【撤去】 | W2a | GB-R t9.5+12.5(GL)＋複層模様吹付E【残置】 | Un3 | ライニング【撤去】<br>(コンクリートブロック＋陶器質100角タイル共) |
| 見1 | SUS目地 W40【残置】 | W2b | GB-R t9.5+12.5(GL)＋複層模様吹付E【撤去】 | Un4 | 洗面カウンター【撤去】<br>手洗器【撤去】(機械設備工事) |
| 見2 | SUS見切棒【撤去】 | W3 | 陶器質100角タイル【残置】 | Un5 | 化粧鏡【撤去】(機械設備工事) |
| 見3 | 木見切 OSCL【残置】 | | | Un6 | 樹脂製手すり【撤去】(機械設備工事) |
| 枠1 | SUS三方枠【残置】 | | | Un7 | 衛生陶器類【撤去】(機械設備工事) |
| ス1 | 床：モルタル刷毛引き【撤去】<br>(スロープ部分) | | | Un8 | 照明器具【取外し】(電気設備工事) |
| | | | | Un9 | ピクトサイン【撤去】 |



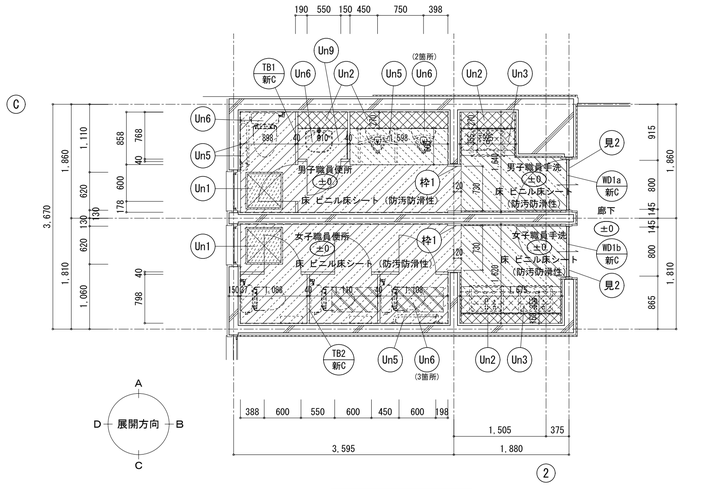




※注記

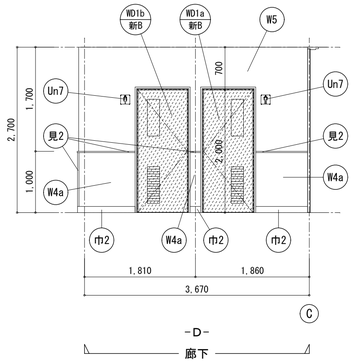
浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　１階職員用便所<br>平面詳細図・展開図（改修前） | Scale | A1：1/50<br>A3：1/100 |
| | | 作図 | 令和７年９月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号 | A-029 |




平面詳細図　1/50

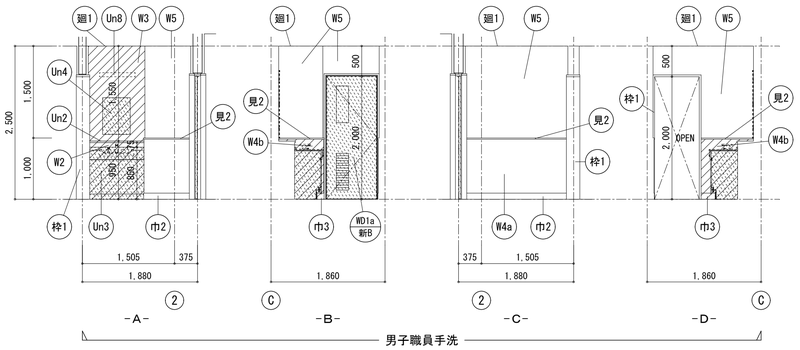
各既設寸法については、現場にて事前に実測すること。

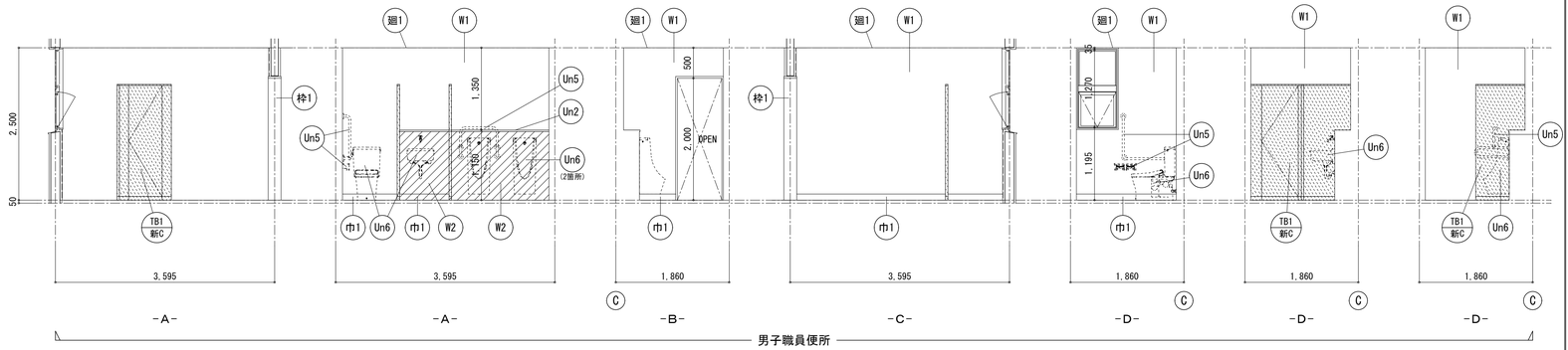


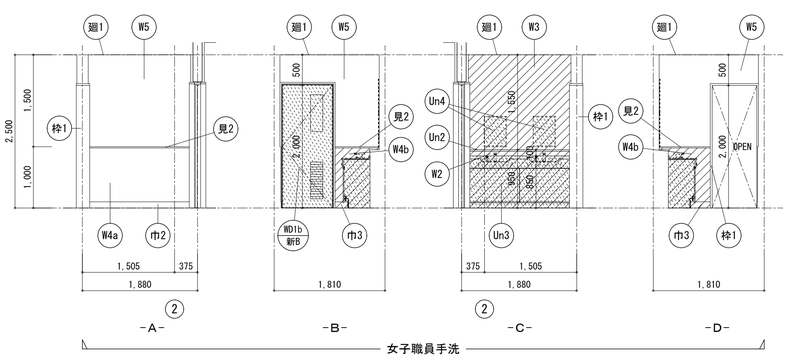

凡例　〈平面詳細図、展開図〉

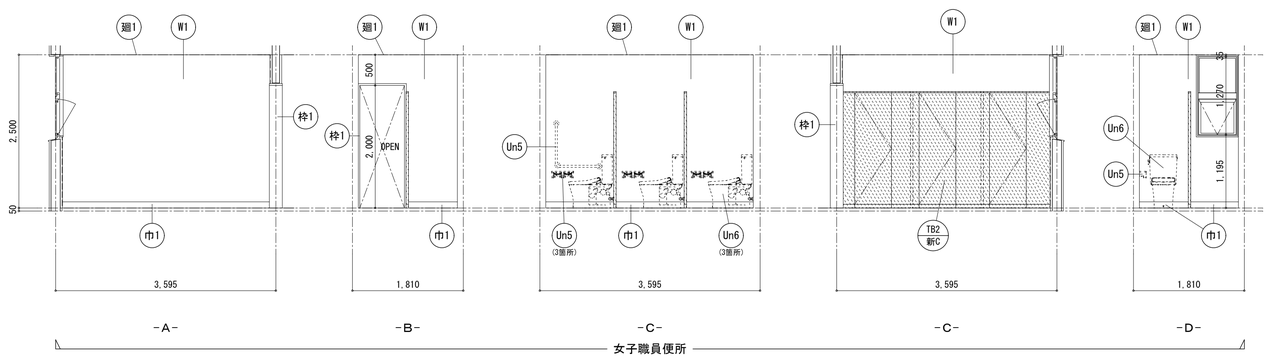
| | |
|---|---|
| 開口穴埋め：コンクリートスラブt145<br>（D10,13@150 タテヨコ(複)）<br>（差筋アンカー（金属拡張）D13@200） | 壁(下地共)新設範囲を示す |
| 床：乾式二重床(パーティクルボードt=20共)の上、<br>構造用合板t=12.0+ビニル床シート(防汚防滑)t=2.0(2色分け)【新設】 | 面台新設範囲を示す |
| 床：乾式二重床(パーティクルボードt=20共)の上、<br>構造用合板t=12.0+汚垂タイルt=5.0以上【新設】 | 建具、家具新設範囲を示す |
| 床：ポリマーセメント下地処理+<br>ビニル床シート(防汚防滑)t=2.0(2色分け)【新設】 | **00 新+ 新設建具を示す　A：カバー工法 B：扉のみ C：扉・枠共 |
| 床：モルタル下地【既存のまま】 | |

| 凡例　〈巾木、廻縁、梁型、柱型〉 | | 凡例　〈壁〉 | | 凡例　〈ユニット、その他〉 | |
|---|---|---|---|---|---|
| rh1 | 塩ビ製巾木 H100【新設】 | W1 | 既存＋KFK t6.0(接着貼)【新設】<br>（アルミジョイナー共） | Un1 | アルミ製床改め口(600角)【新設】 |
| rh2 | 木巾木 H100 1-UC【塗替え】 | W2 | LGS65＋構造用合板(1類) t24＋12+KFK t6.0【新設】<br>（アルミジョイナー共） | Un2 | 面台：SUS304 t1.5(曲げ加工)【新設】<br>（構造用合板Ⅰ類 t24） |
| rh3 | 木巾木 H100 1-UC【新設】 | W3 | GB-S t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E（ローラー塗）【新設】 | Un3 | 洗面カウンター【新設】<br>手洗器【新設】ポウル#560-L446程度（機械設備工事） |
| 廻1 | 塩ビ製廻縁【新設】 | W4a | 檜繰甲板 t15 1-UC【塗替え】 | Un4 | 化粧鏡【新設】（機械設備工事）<br>寸法350W×450H（相当）、盗難防止型、耐食鏡 |
| 見1 | SUS目地 W40【既存のまま】 | W4b | 檜繰甲板 t15 UC【新設】<br>（木胴縁 40x20@300共） | Un5 | 樹脂製手摺・アクセサリー【新設】<br>（機械設備工事） |
| 見2 | 木見切 1-UC【塗替え】 | W5 | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E（ローラー塗）【塗替え】 | Un6 | 衛生陶器類【新設】（機械設備工事） |
| 枠1 | SUS三方枠 HL仕上【既存のまま】 | | | Un7 | ピクトサイン【新設】 |
| | | | | Un8 | 照明器具【復旧】(電気設備工事) |
| | | | | Un9 | SUSﾌｯｸ6箇所【新設】 |



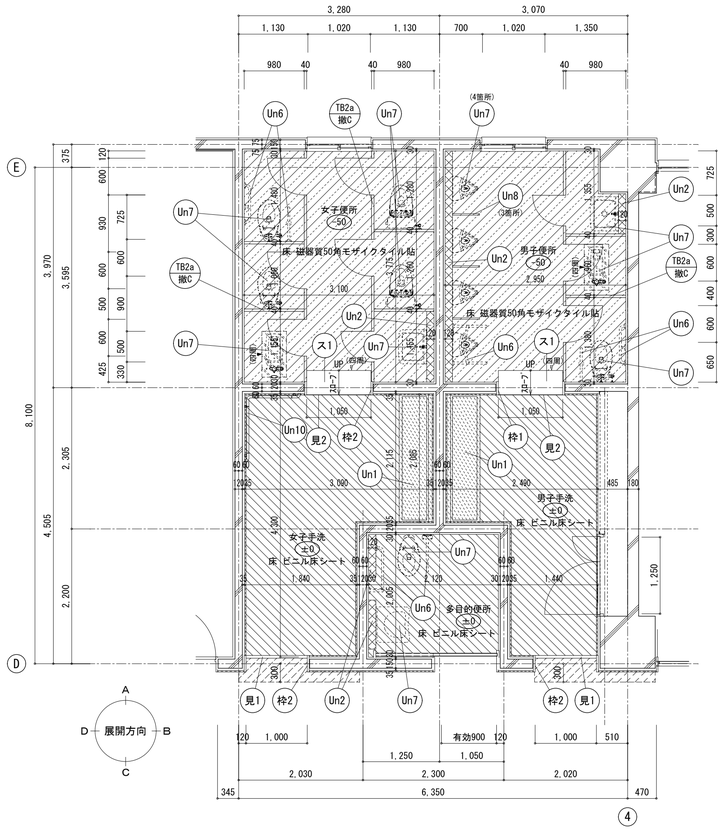




※注記

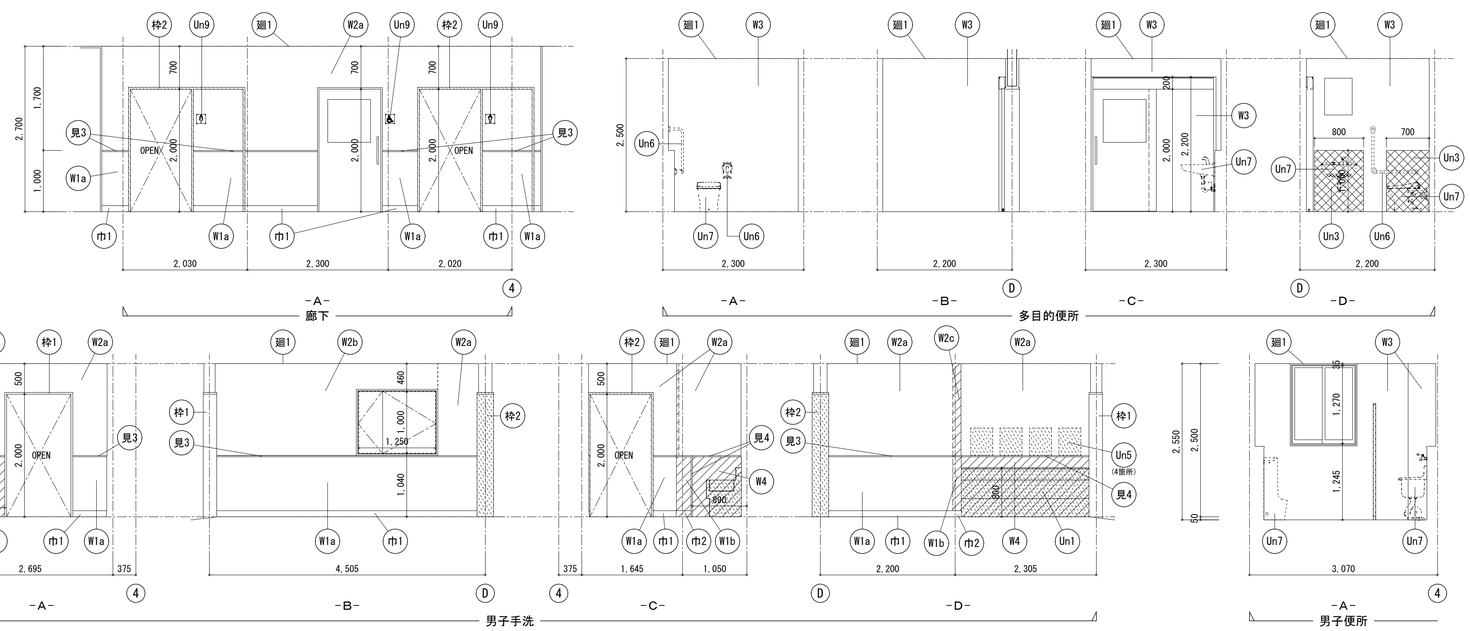
浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　１階職員用便所<br>平面詳細図・展開図（改修後） | Scale A1：1/50<br>A3：1/100<br>作図　令和７年９月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号 A-030 |



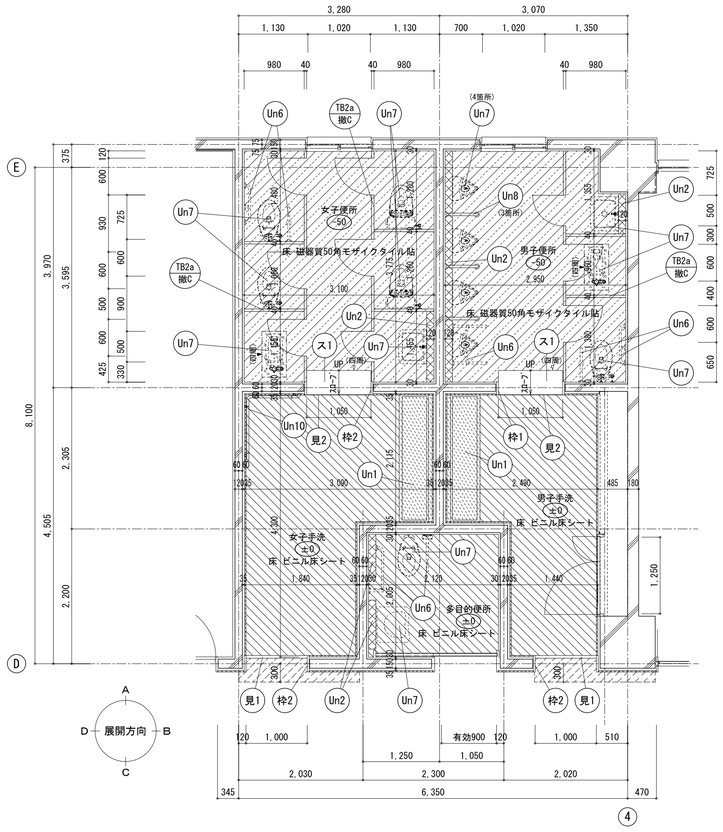

２階平面詳細図　1/50

| 凡例　〈床〉 | | 凡例　〈巾木、廻縁、梁型、柱型〉 | | | | 凡例　〈壁〉 | | 凡例　〈ユニット、その他〉 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 床：コンクリートスラブt=130（最小寸法）【撤去】<br>（短辺：D10,13(交互)@150 ダブル）<br>（長辺：D10,13(交互)@200 ダブル）<br>均しモルタルt15【撤去】＋アスファルト防水(E-1)【撤去】＋<br>押えコンクリートt85【撤去】＋<br>モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | 壁(下地共)撤去範囲を示す | 巾1 | 木巾木 OSCL H100【残置】 | 枠1 | SUS三方枠【残置】 | W1a | 檜縁甲板 t15 OSCL【残置】 | Un1 | SUS手洗い【撤去】 | Un8 | 小便器隔て板【撤去】 |
| | 面台撤去範囲を示す | 巾2 | 木巾木 OSCL H100【撤去】 | 枠2 | SUS三方枠【撤去】 | W1b | 檜縁甲板 t15 OSCL【撤去】<br>（木胴縁 40x20@300共） | Un2 | 面台【撤去】 | Un9 | ピクトサイン【撤去】 |
| 床：セルフレベリング t10【残置】＋ビニル床シート t2.5【撤去】 | 建具、家具撤去範囲を示す | 廻1 | 塩ビ製廻縁【撤去】 | ス1 | 床：モルタル刷毛引き【撤去】<br>（スロープ部分） | W2a | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un3 | ライニング【撤去】<br>（コンクリートブロック＋<br>陶器質100角タイル共） | Un10 | 室内補助手摺【撤去】 |
| 床：モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | モルタルカッター入れを示す | 見1 | SUS目地 W40【残置】 | | | W2b | GB-R t9.5+12.5(LGS)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un4 | 洗面カウンター【撤去】<br>手洗器【撤去】（機械設備工事） | | |
| 床：セルフレベリング t10【残置】＋<br>モザイクパーケット t10【撤去】 | コンクリートカッター入れを示す | 見2 | SUS見切棒【撤去】 | | | W2c | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un5 | 化粧鏡【撤去】（機械設備工事） | | |
| | **00<br>撤* 撤去建具を示す　A：外枠残し<br>B：扉のみ<br>C：扉・枠共 | 見3 | 木見切 OSCL【残置】 | | | W3 | 陶器質100角タイル【残置】 | Un6 | 樹脂製手すり【撤去】<br>（機械設備工事） | | |
| | | 見4 | 木見切 OSCL【撤去】 | | | W4 | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>陶器質100角タイル【撤去】 | Un7 | 衛生陶器類【撤去】<br>（機械設備工事） | | |



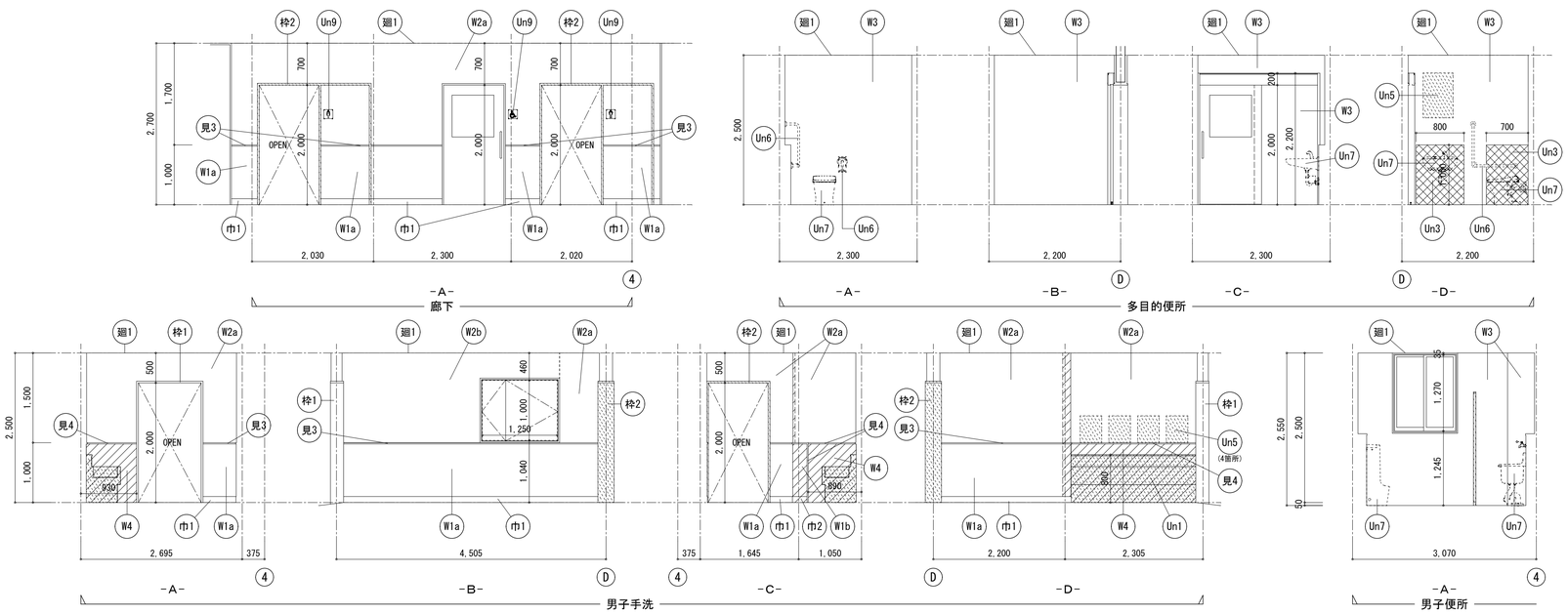

※注記

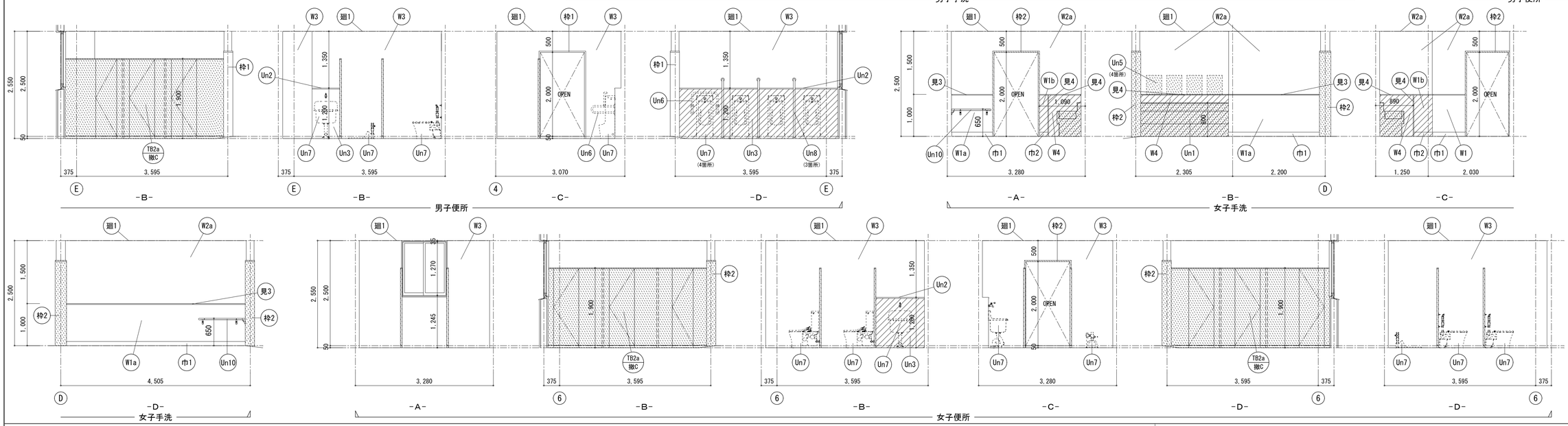
| | | | |
|---|---|---|---|
| 浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事） | | | |
| 図面名 | 管理特別教室棟　２階生徒用便所（北）<br>平面詳細図・展開図（改修前） | Scale A1：1/50<br>A3：1/100 | 図面番号 |
| | | 作図　令和７年９月 | A-031 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | | |




3階平面詳細図　1/50

| 凡例　〈床〉 | | 凡例　〈巾木、廻縁、梁型、柱型〉 | | | | 凡例　〈壁〉 | | 凡例　〈ユニット、その他〉 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 床：コンクリートスラブt=130（最小寸法）【撤去】<br>（短辺：D10,13(交互)@150 ダブル）<br>（長辺：D10,13(交互)@200 ダブル）<br>均しモルタルt15【撤去】＋アスファルト防水(E-1)【撤去】＋<br>押えコンクリートt85【撤去】＋<br>モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | 壁(下地共)撤去範囲を示す | 巾1 | 木巾木 OSCL H100【残置】 | 枠1 | SUS三方枠【残置】 | W1a | 檜縁甲板 t15 OSCL【残置】 | Un1 | SUS流し【撤去】 | Un8 | 小便器隔て板【撤去】 |
| | 面台撤去範囲を示す | 巾2 | 木巾木 OSCL H100【撤去】 | 枠2 | SUS三方枠【撤去】 | W1b | 檜縁甲板 t15 OSCL【撤去】<br>（木胴縁 40x20@300共） | Un2 | 面台(花崗岩)【撤去】 | Un9 | ピクトサイン【撤去】 |
| 床：セルフレベリング t10【残置】＋ビニル床シート t2.5【撤去】 | 建具、家具撤去範囲を示す | 廻1 | 塩ビ製廻縁【撤去】 | ｽ1 | 床：モルタル刷毛引き【撤去】<br>（スロープ部分） | W2a | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un3 | ライニング【撤去】<br>（コンクリートブロック＋<br>陶器質100角タイル共） | Un10 | 室内補助手摺【撤去】 |
| 床：モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | モルタルカッター入れを示す | 見1 | SUS目地 W40【残置】 | | | W2b | GB-R t9.5+12.5(LGS)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un4 | 洗面カウンター【撤去】<br>手洗器【撤去】（機械設備工事） | | |
| 床：セルフレベリング t10【残置】＋<br>モザイクパーケット t10【撤去】 | コンクリートカッター入れを示す | 見2 | SUS見切棒【撤去】 | | | W2c | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un5 | 化粧鏡【撤去】（機械設備工事） | | |
| | **00 撤* 撤去建具を示す　A：外枠残し　B：扉のみ　C：扉・枠共 | 見3 | 木見切 OSCL【残置】 | | | W3 | 陶器質100角タイル【残置】 | Un6 | 樹脂製手すり【撤去】<br>（機械設備工事） | | |
| | | 見4 | 木見切 OSCL【撤去】 | | | W4 | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>陶器質100角タイル【撤去】 | Un7 | 衛生陶器類【撤去】<br>（機械設備工事） | | |



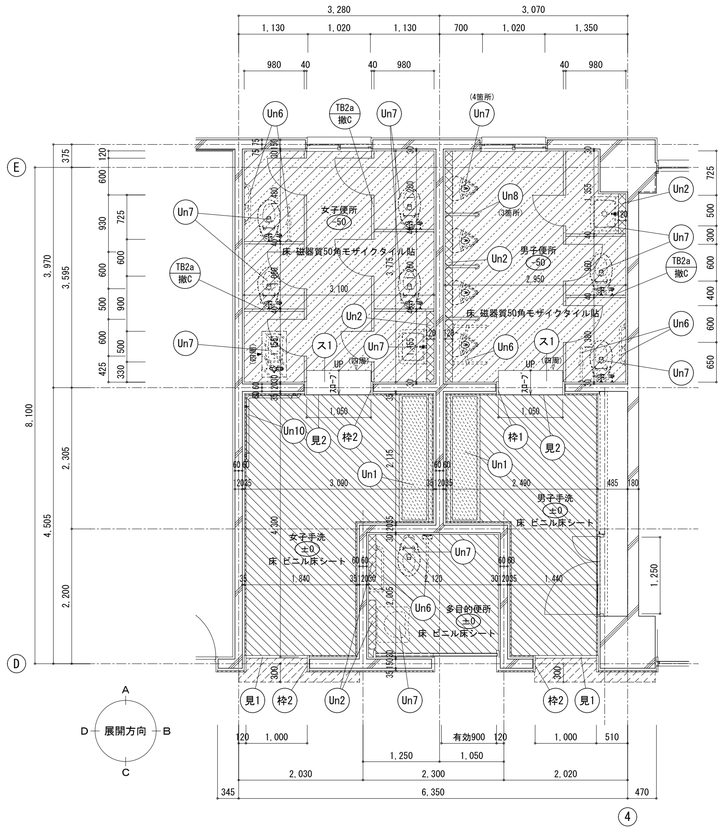




※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

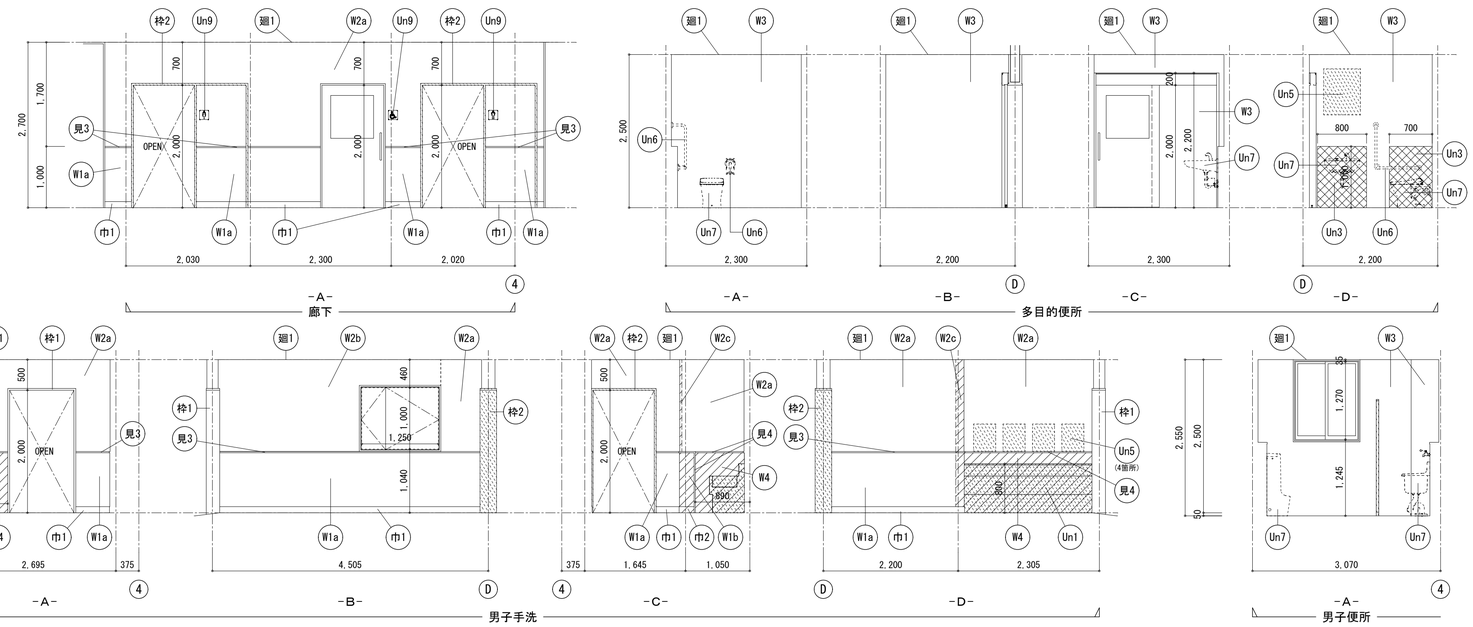
| 図面名 | 管理特別教室棟　３階生徒用便所（北）<br>平面詳細図・展開図（改修前） | Scale | A1：1/50<br>A3：1/100 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|
| | | 作図 | 令和７年９月 | A-032 |

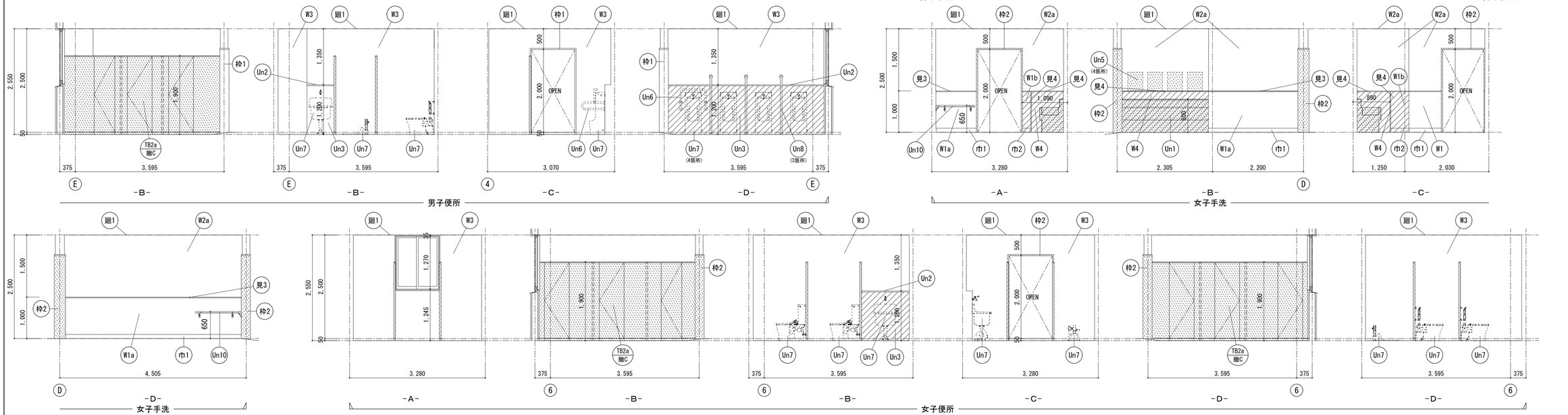
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和




4階平面詳細図　1/50

| 凡例　〈床〉 | | 凡例　〈巾木、廻縁、梁型、柱型〉 | | | | 凡例　〈壁〉 | | 凡例　〈ユニット、その他〉 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 床：コンクリートスラブt=130（最小寸法）【撤去】<br>（短辺：D10,13(交互)@150 ダブル）<br>（長辺：D10,13(交互)@200 ダブル）<br>均しモルタルt15【撤去】＋アスファルト防水(E-1)【撤去】＋<br>押えコンクリートt85【撤去】＋<br>モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | 壁(下地共)撤去範囲を示す | 巾1 | 木巾木 OSCL H100【残置】 | 枠1 | SUS三方枠【残置】 | W1a | 格縁甲板 t15 OSCL【残置】 | Un1 | SUS流し【撤去】 | Un8 | 小便器隔て板【撤去】 |
| | 面台撤去範囲を示す | 巾2 | 木巾木 OSCL H100【撤去】 | 枠2 | SUS三方枠【撤去】 | W1b | 格縁甲板 t15 OSCL【撤去】<br>（木胴縁 40x20@300共） | Un2 | 面台(花崗岩)【撤去】 | Un9 | ピクトサイン【撤去】 |
| 床：セルフレベリング t10【残置】＋ビニル床シート t2.5【撤去】 | 建具、家具撤去範囲を示す | 廻1 | 塩ビ製廻縁【撤去】 | ス1 | 床：モルタル刷毛引き【撤去】<br>（スロープ部分） | W2a | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un3 | ライニング【撤去】<br>（コンクリートブロック＋<br>陶器質100角タイル共） | Un10 | 室内補助手摺【撤去】 |
| 床：モルタル下地＋磁器質50角モザイクタイル貼【撤去】 | モルタルカッター入れを示す | 見1 | SUS目地 W40【残置】 | | | W2b | GB-R t9.5+12.5(LGS)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un4 | 洗面カウンター【撤去】<br>手洗器【撤去】（機械設備工事） | | |
| 床：セルフレベリング t10【残置】＋<br>モザイクパーケット t10【撤去】 | コンクリートカッター入れを示す | 見2 | SUS見切棒【撤去】 | | | W2c | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層模様吹付E【残置】 | Un5 | 化粧鏡【撤去】（機械設備工事） | | |
| | **00<br>撤* 撤去建具を示す　A：外枠残し<br>B：扉のみ<br>C：扉・枠共 | 見3 | 木見切 OSCL【残置】 | | | W3 | 陶器質100角タイル【残置】 | Un6 | 樹脂製手すり【撤去】<br>（機械設備工事） | | |
| | | 見4 | 木見切 OSCL【撤去】 | | | W4 | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>陶器質100角タイル【撤去】 | Un7 | 衛生陶器類【撤去】<br>（機械設備工事） | | |



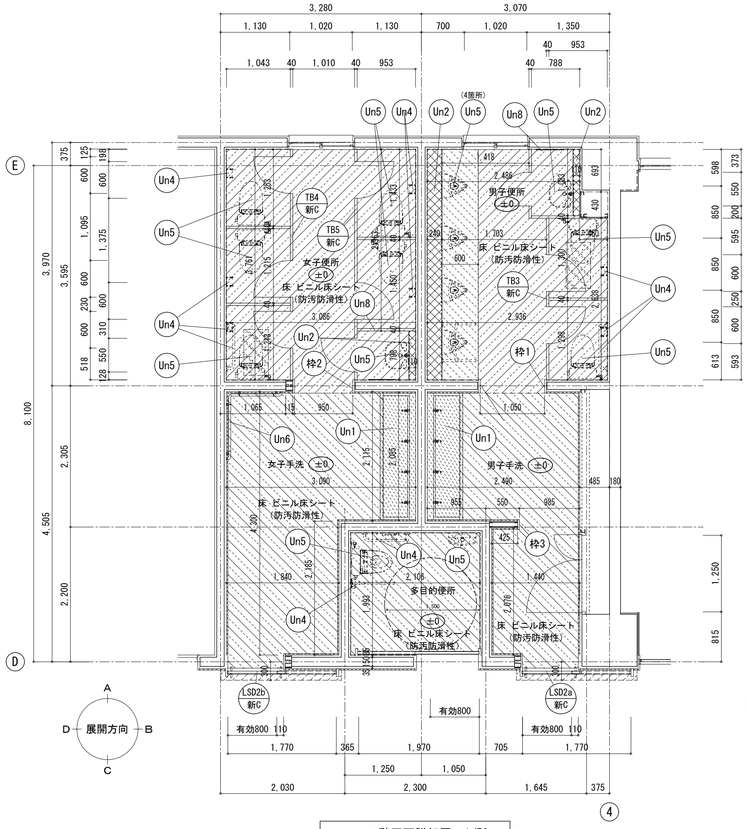




※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| 図面名 | 管理特別教室棟　４階生徒用便所（北）<br>平面詳細図・展開図（改修前） | Scale | A1：1/50<br>A3：1/100 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|
| | | 作図 | 令和７年９月 | A-033 |

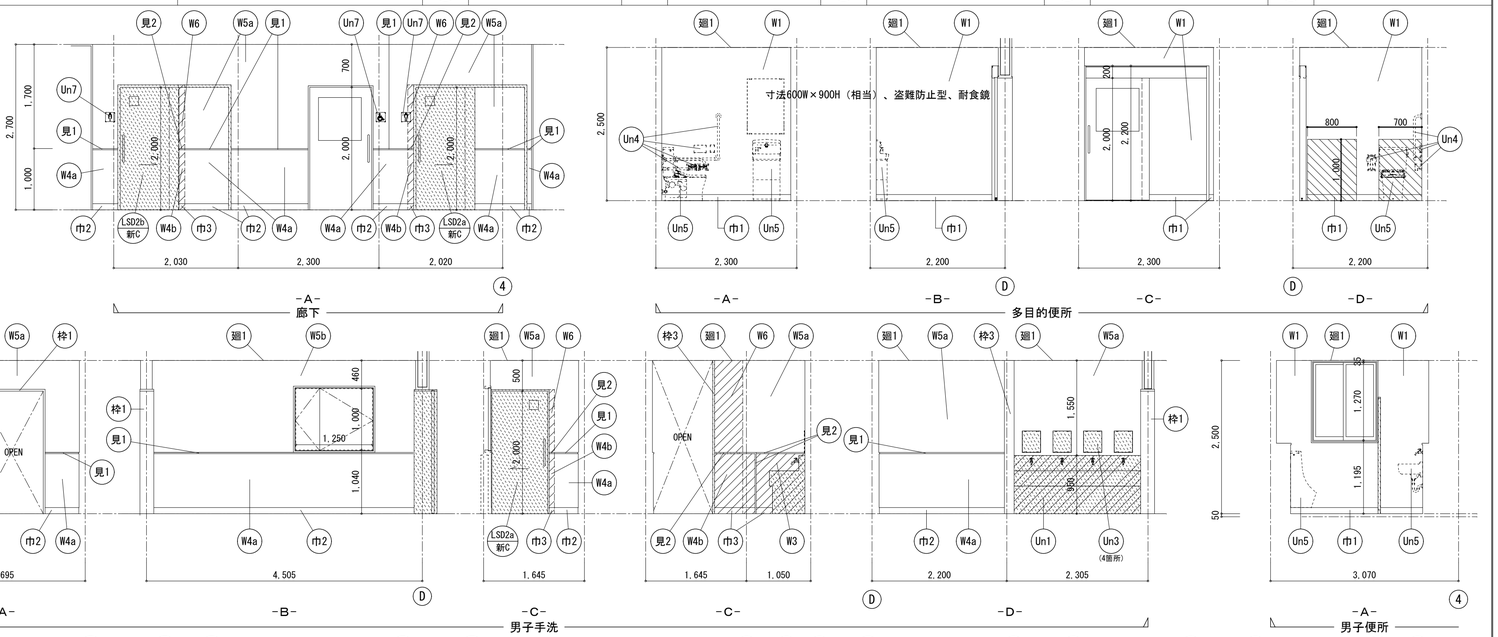
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

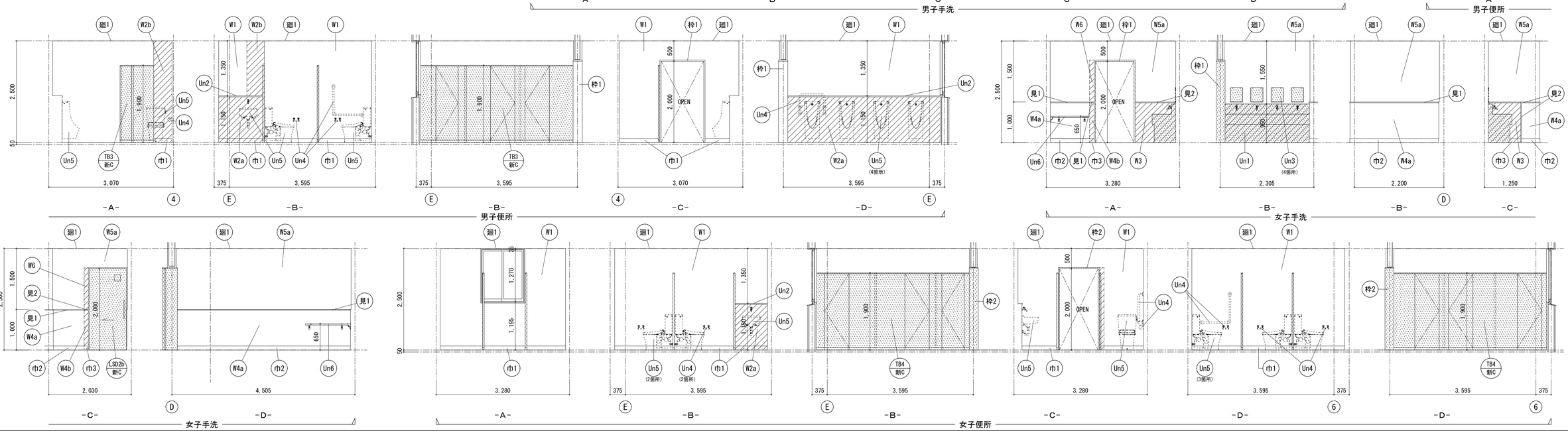



２，３階平面詳細図　1/50

各既設寸法については、現場にて事前に実測すること。

| 凡例　〈床〉 | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 開口穴埋め：コンクリートスラブt130【新設】＋<br>(短辺：D10、13(交互)@150 ダブル)<br>(長辺：D10、13(交互)@200 ダブル))<br>アスファルト防水(E-1)【新設】＋<br>押えコンクリートt150【新設】 | 壁(下地共)新設範囲を示す | rh1 | 塩ビ製巾木 H100【新設】 | 枠2 | SUS三方枠 HL仕上【新設】 | W1 | 既存＋KFK t6.0(接着貼)【新設】<br>(アルミジョイナー共) | W5b | GB-R t9.5+12.5(LGS)＋<br>複層塗材E(ローラー塗) 【塗替え】 | Un1 | SUS流し【新設】<br>(SUS304 t.1.0曲げ加工 裏面防露処理) |
| | 面台新設範囲を示す | rh2 | 木巾木 H100 1-UC【塗替え】 | 枠3 | SUSー方枠 HL仕上【新設】 | W2a | LGS65＋構造用合板(1類) t24＋12+<br>KFK t6.0【新設】<br>(アルミジョイナー共) | W5c | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E(ローラー塗) 【新設】 | Un2 | 面台：SUS304 t1.5(曲げ加工)【新設】<br>(構造用合板Ⅰ類 t24) |
| 床：乾式二重床(パーティクルボードt=20共)の上、<br>構造用合板t=12.0<br>+ビニル床シート(防汚防滑)t=2.0(2色分け)【新設】 | 建具、家具新設範囲を示す | rh3 | 木巾木 H100 1-UC【新設】 | | | W2b | LGS65＋GB-S t12.5+KFK t6.0【新設】<br>(アルミジョイナー共) | W6 | GB-Rt9.5+12.5(LGS)＋<br>複層塗材E(ローラー塗)【新設】 | Un3 | 化粧鏡【新設】 (機械設備工事)<br>寸法350W×450H (相当) |
| 床：ポリマーセメント下地処理＋<br>ビニル床シート(防汚防滑性)(2色分け)【新設】 | 撤去後補修(ﾓﾙﾀﾙ下地t=20) | 廻1 | 塩ビ製廻縁【新設】 | | | W3 | GB-S t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E (ローラー塗) 【新設】 | | | Un4 | 樹脂製手摺・アクセサリー【新設】<br>(機械設備工事) |
| 床：乾式二重床(パーティクルボードt=20共)の上、<br>構造用合板t=12.0+汚垂タイルt=5.0以上【新設】 | **00 新* 新設建具番号を示す　A：カバー工法<br>B：扉のみ<br>C：扉・枠共 | 見1 | 木見切 1-UC【塗替え】 | | | W4a | 枠繰甲板 t15 1-UC【塗替え】 | | | Un5 | 衛生陶器類【新設】 (機械設備工事) |
| 床：ポリマーセメント下地処理＋<br>モザイクパーケット t10【新設】 | | 見2 | 木見切 1-UC【新設】 | | | W4b | LGS65+枠繰甲板 t15 1-UC【新設】<br>(木胴縁 40x20@300共) | 凡例　〈ユニット、その他〉 | | Un6 | 室内用補助手摺【新設】 (２～４階) |
| | | 枠1 | SUS三方枠 HL仕上<br>【既存のまま】 | | | W5a | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E (ローラー塗) 【塗替え】 | Un8 | SUSﾌｯｸ【新設】男子7個、女子6個 | Un7 | ピクトサイン【新設】 |



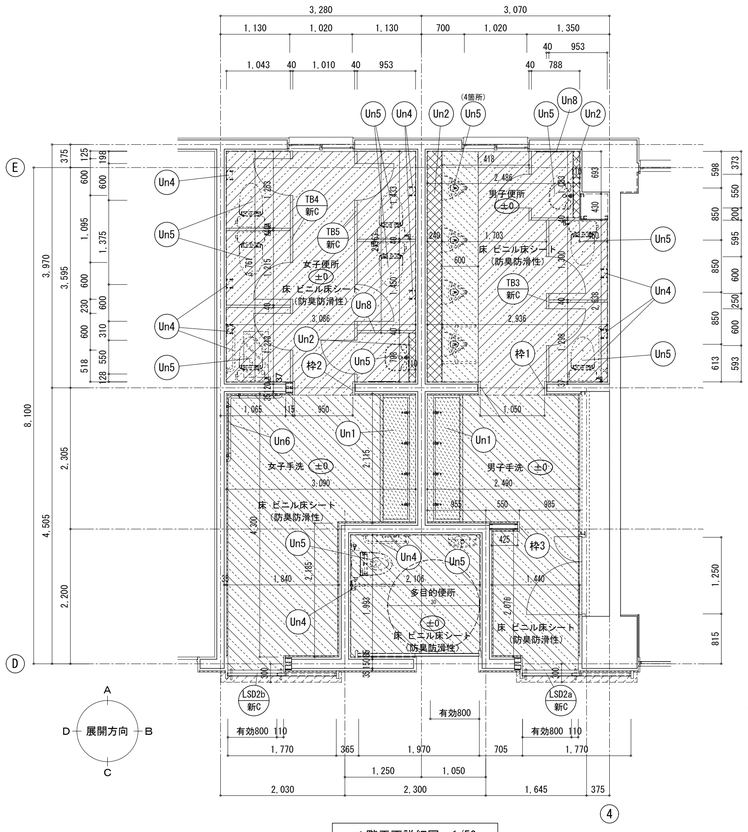




※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| 図面名 | 管理特別教室棟　２，３階生徒用便所（北）<br>平面詳細図・展開図（改修後） | Scale A1：1/50<br>A3：1/100 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| | | 作図　令和７年９月 | A-034 |

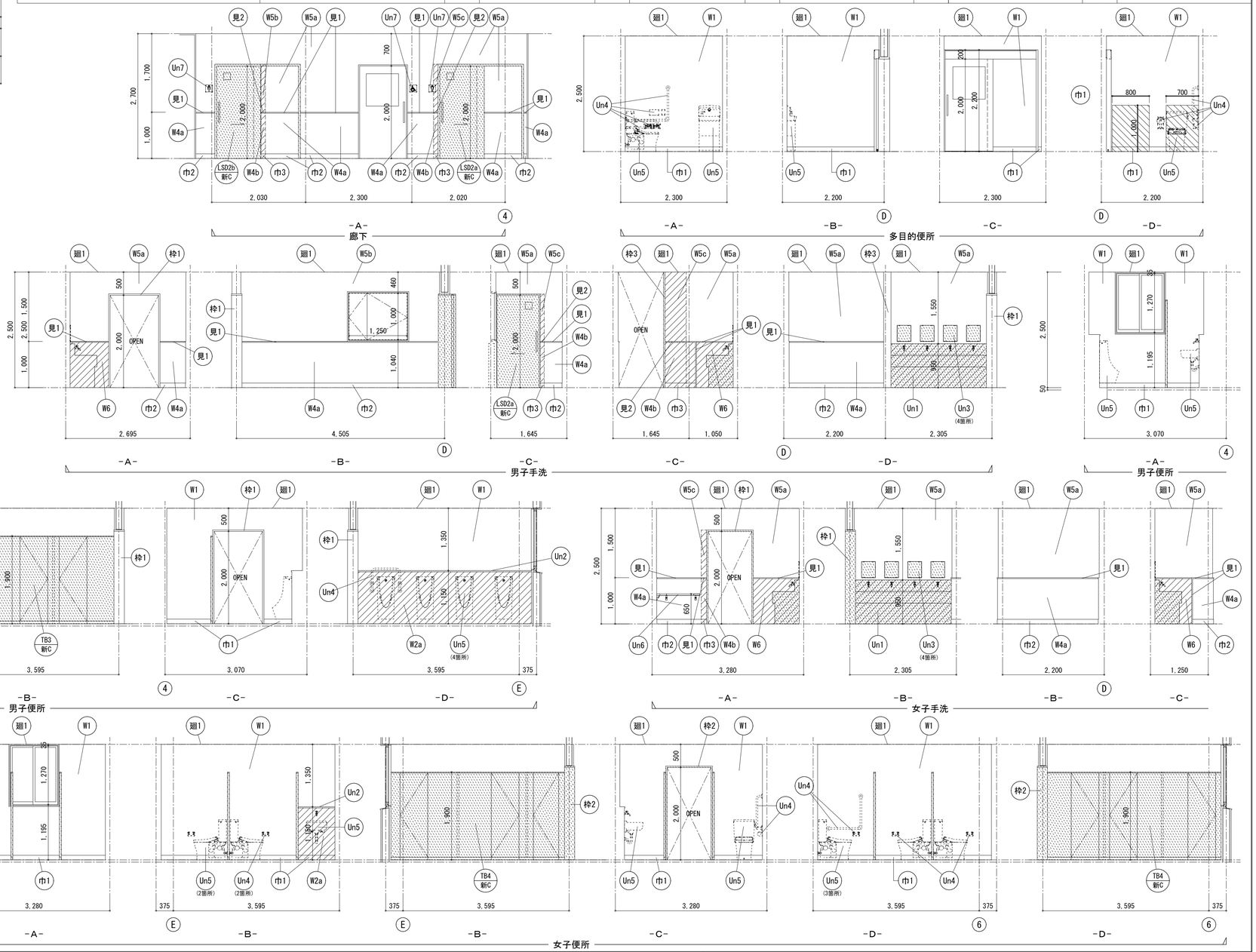
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和




4階平面詳細図 1/50

各所設寸法については、現場にて事前に実測すること。

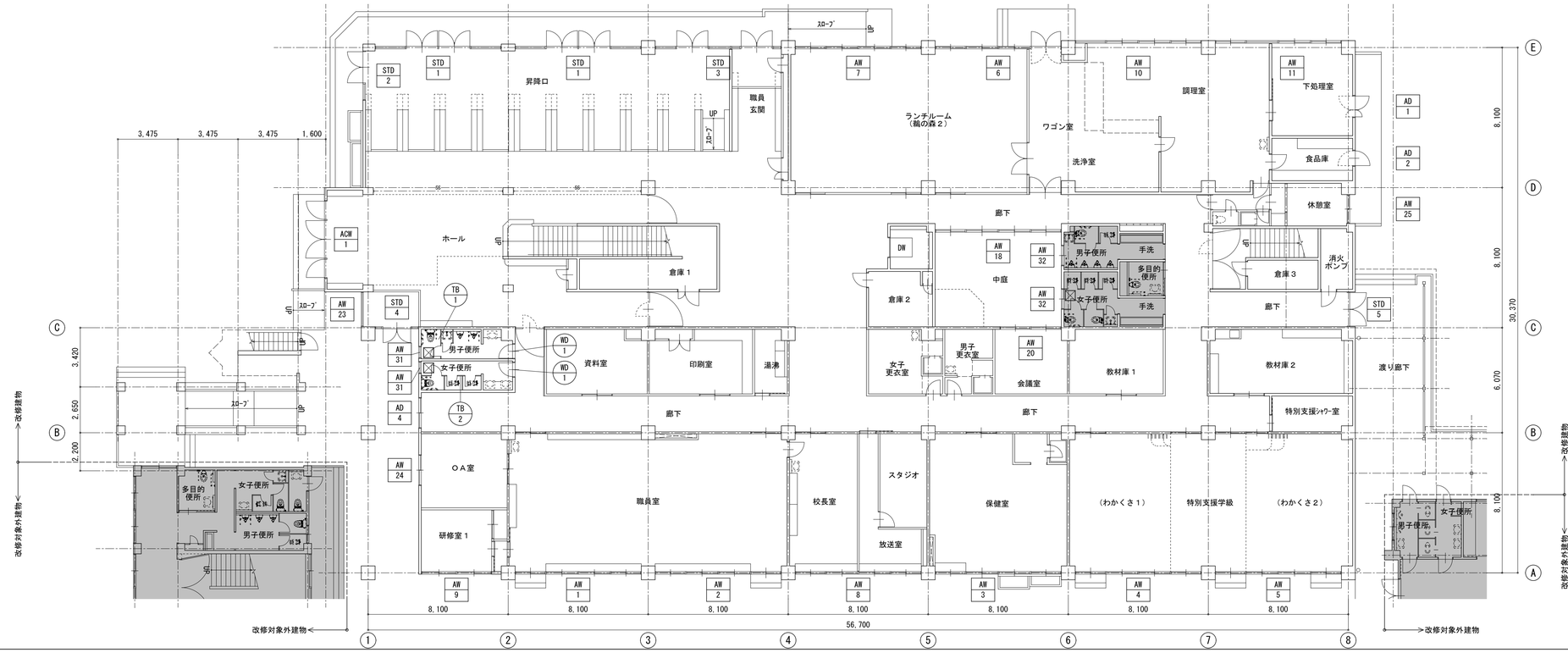
| 凡例 〈床〉 | | | | | | 凡例 〈巾木、廻縁、梁型、柱型〉 | | | | | | 凡例 〈壁〉 | | | | | | 凡例 〈ユニット、その他〉 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 開口穴埋め：コンクリートスラブt130【新設】＋<br>（短辺：D10、13（交互）@150 ダブル）<br>（長辺：D10、13（交互）@200 ダブル））<br>アスファルト防水(E-1)【新設】＋<br>押えコンクリートt150【新設】 | | 壁(下地共)新設範囲を示す | 巾1 | 塩ビ製巾木 H100【新設】 | 枠1 | SUS三方枠 HL仕上<br>【既存のまま】 | W1 | 既存＋KFK t6.0（接着貼）【新設】<br>（アルミジョイナー共） | W5a | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E（ローラー塗） 【塗替え】 | Un1 | SUS流し【新設】<br>（SUS304 t.1.0曲げ加工 裏面防露処理） |
| | | | 面台新設範囲を示す | 巾2 | 木巾木 H100 1-UC【塗替え】 | 枠2 | SUS三方枠 HL仕上【新設】 | W2a | LGS65＋構造用合板(1類) t24＋12<br>KFK t6.0【新設】<br>（アルミジョイナー共） | W5b | GB-R t9.5+12.5(LGS)＋<br>複層塗材E（ローラー塗） 【塗替え】 | Un2 | 面台：SUS304 t1.5(曲げ加工) 【新設】<br>（構造用合板Ⅰ類 t24） |
| | 床：乾式二重床(パーティクルボードt=20共)の上、<br>構造用合板t=12.0<br>＋ビニル床シート(防汚防滑)t=2.0(2色分け)【新設】 | | 建具、家具新設範囲を示す | 巾3 | 木巾木 H100 1-UC【新設】 | 枠3 | SUS一方枠 HL仕上【新設】 | W2b | LGS65＋GB-S t12.5+KFK t6.0【新設】<br>（アルミジョイナー共） | W5c | GB-R t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E（ローラー塗） 【新設】 | Un3 | 化粧鏡【新設】（機械設備工事） |
| | 床：ポリマーセメント下地処理＋<br>ビニル床シート(防汚防滑性)(2色分け)【新設】 | | 撤去後補修を示す | 廻1 | 塩ビ製廻縁【新設】 | | | W3 | GB-S t9.5+12.5(GL)＋<br>複層塗材E（ローラー塗） 【新設】 | W6 | GB-S t9.5+12.5(GL)＋<br>陶器質100角タイル【新設】 | Un4 | 樹脂製手摺・アクセサリー【新設】<br>（機械設備工事） |
| | 床：乾式二重床(パーティクルボードt=20共)の上、<br>構造用合板t=12.0+汚垂タイルt=5.0以上【新設】 | | **新C 新設建具を示す<br>A：カバー工法<br>B：扉のみ<br>C：扉・枠共 | 見1 | 木見切 1-UC【塗替え】 | | | W4a | 枝繰甲板 t15 1-UC【塗替え】 | | | Un5 | 衛生陶器類【新設】（機械設備工事） |
| | 床：ポリマーセメント下地処理＋<br>モザイクパーケット t10【新設】 | | | 見2 | 木見切 1-UC【新設】 | | | W4b | LGS65+枝繰甲板 t15 1-UC【新設】<br>（木胴縁 40x20@300共） | 凡例 〈ユニット、その他〉 | | Un6 | 室内用補助手摺【新設】（２～４階） |
| | | | | | | | | | | Un8 | SUS7ｯｸ【新設】男子7個、女子6個 | Un7 | ピクトサイン【新設】 |



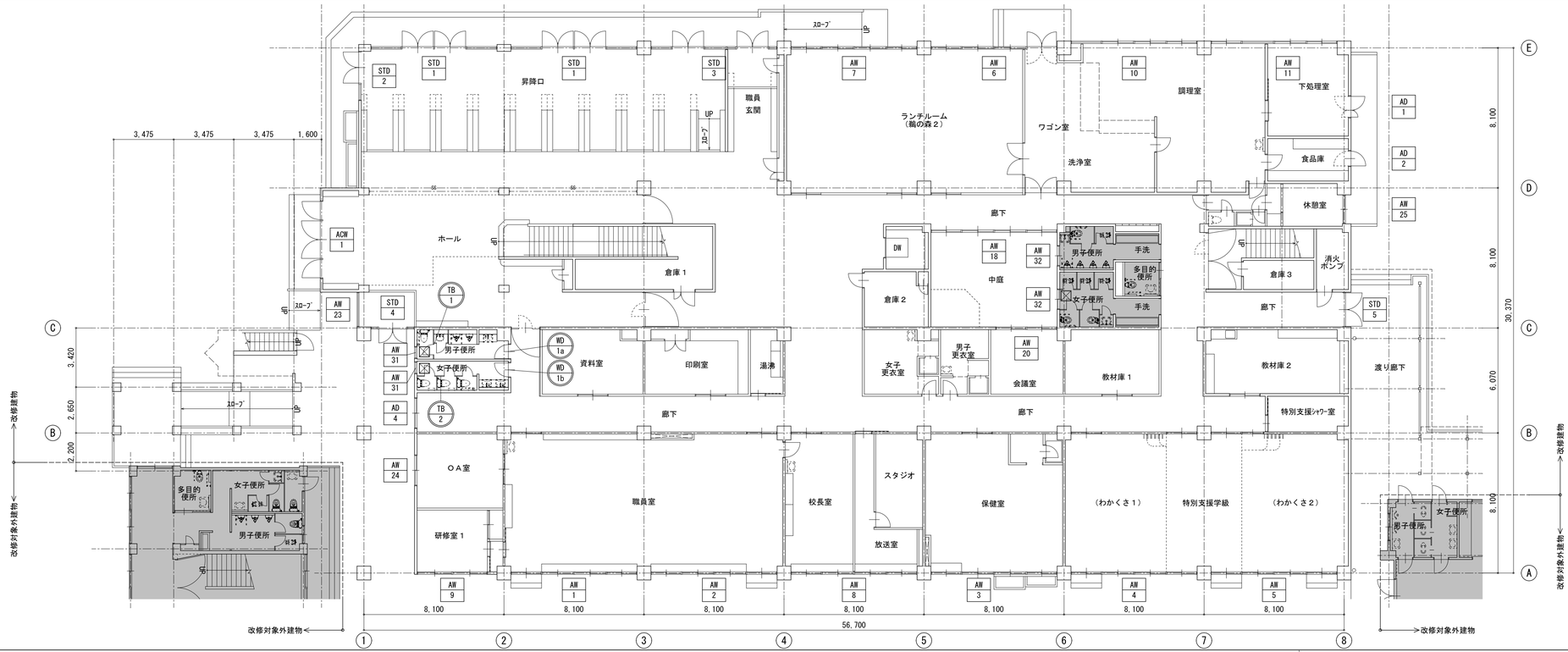

※注記

| | |
|---|---|
| 図面名 | 浜田小学校管理教室棟保全改修工事 （１期工事）<br>管理特別教室棟 ４階生徒用便所（北）<br>平面詳細図・展開図（改修後） |
| Scale | A1：1/50<br>A3：1/100 |
| 作図 | 令和 7 年 9 月 |
| 図面番号 | A-035 |
| 株式会社 山田建築事務所 | 一級建築士７７８９０号 管理技術者 大嶽 俊和 |

改修前




改修後




N

凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** 0 | 撤去建具を示す |
| ** 0 | 既存建具を示す【残置】（周囲シーリング【撤去】） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| STD | ステンレス製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| WD | 木製扉 |
| TB | トイレブース |
| ACW | カーテンウォール（アルミ・木複合） |
| | |

N

凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** 0 | 新設建具を示す |
| ** 0 | 既存建具を示す　周囲シーリング打替え（ガラスシーリング打替え(片面)） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| STD | ステンレス製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| WD | 木製扉 |
| TB | トイレブース |
| ACW | カーテンウォール（アルミ・木複合） |
| | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　１階建具配置図（改修前・改修後）

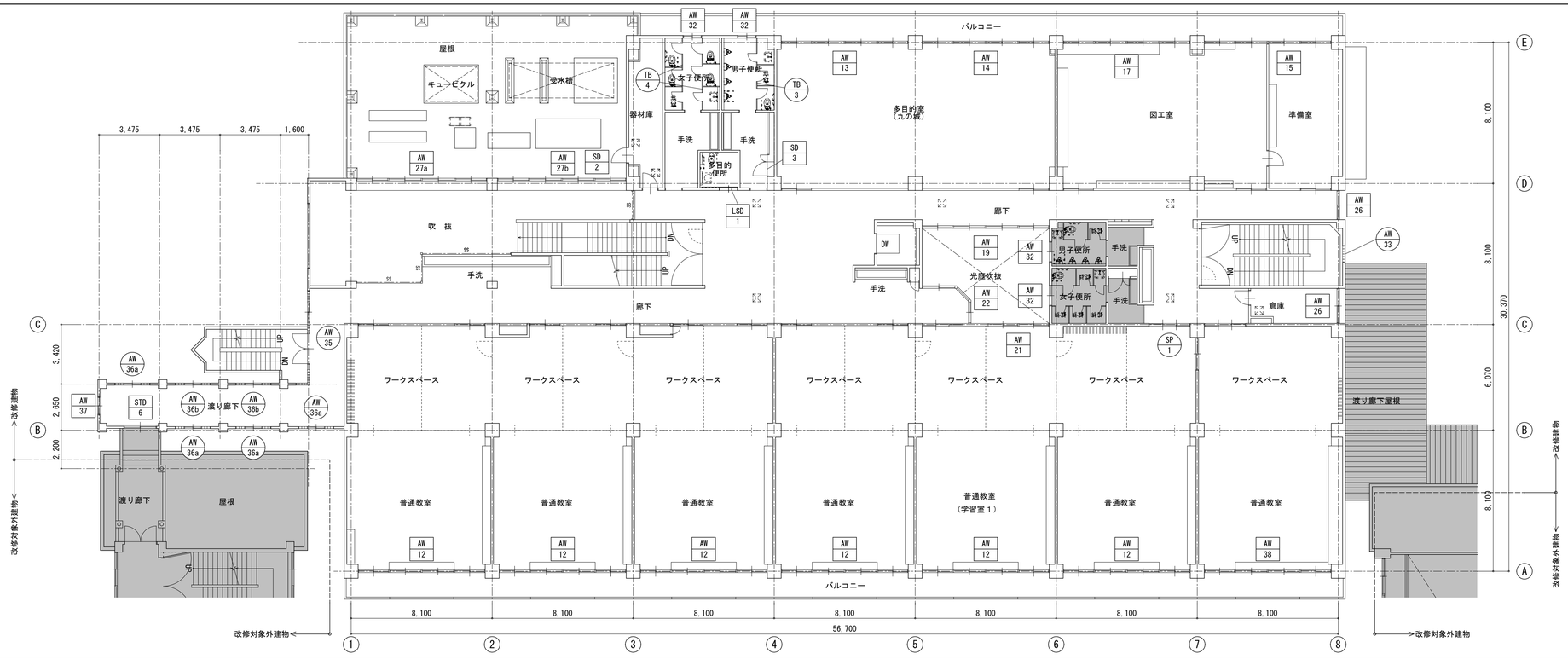
Scale　A1：1/150　A3：1/300

作図　令和７年９月

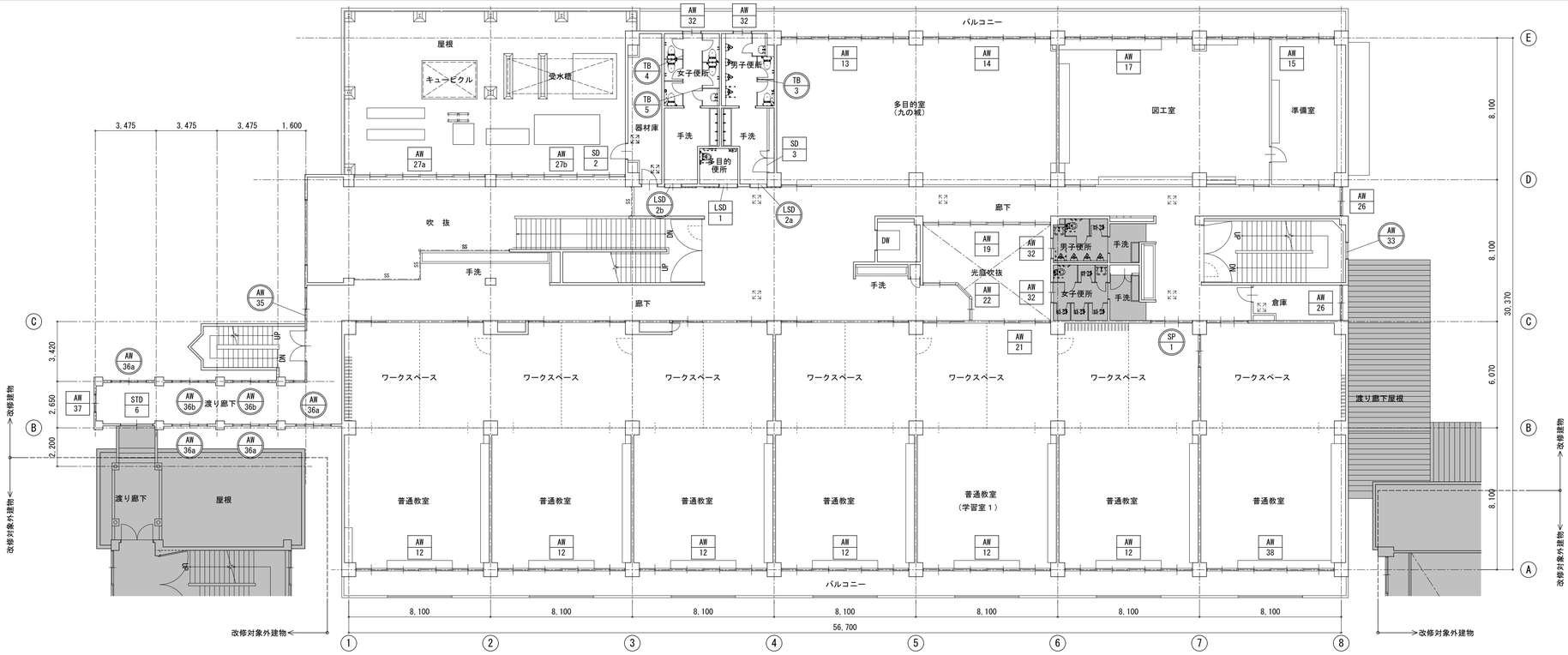
図面番号　A-036

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前




改修後




凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** 0 | 撤去建具を示す |
| ** 0 | 既存建具を示す【残置】（周囲シーリング【撤去】） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| TB | トイレブース |

凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** 0 | 新設建具を示す |
| ** 0 | 既存建具を示す　周囲シーリング打替え（ガラスシーリング打替え(片面)） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| TB | トイレブース |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　２階建具配置図（改修前・改修後）

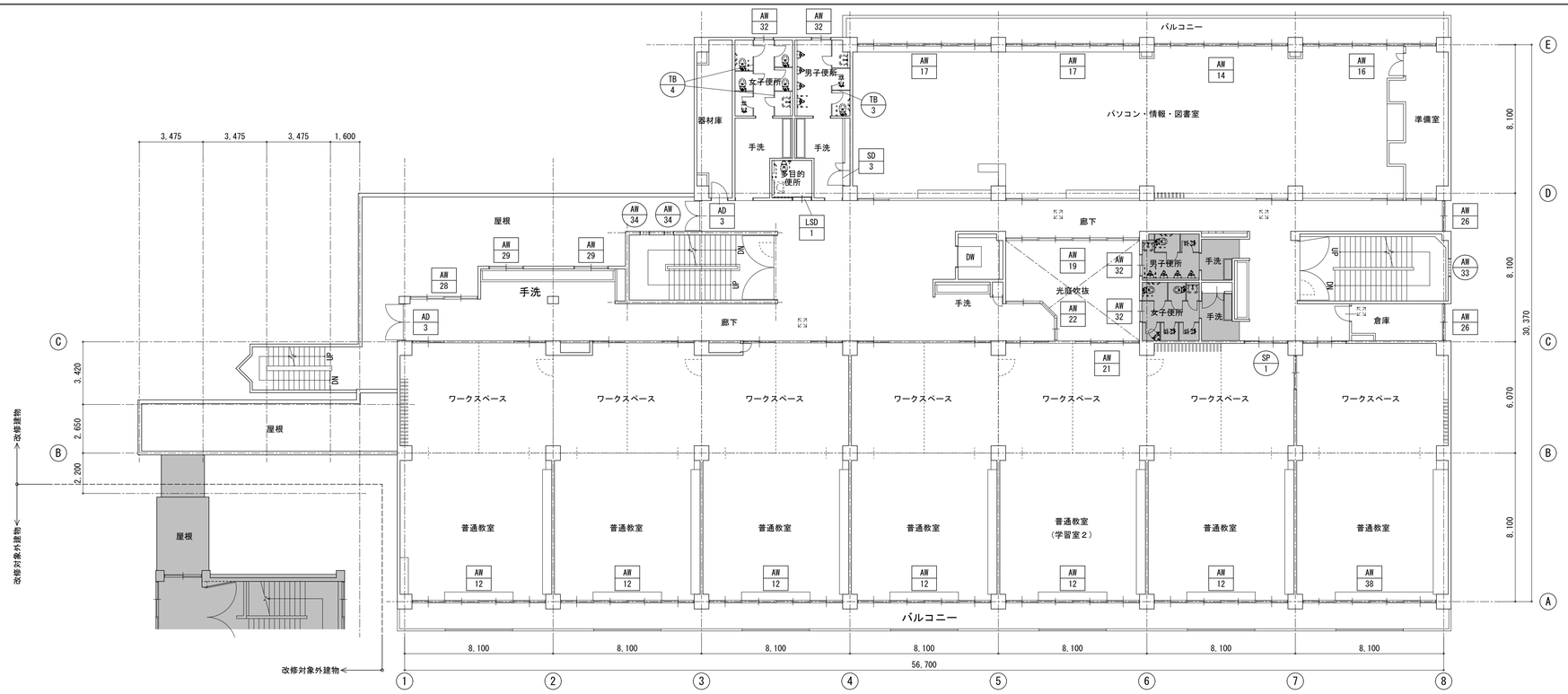
Scale　A1：1/150　A3：1/300

作図　令和７年９月

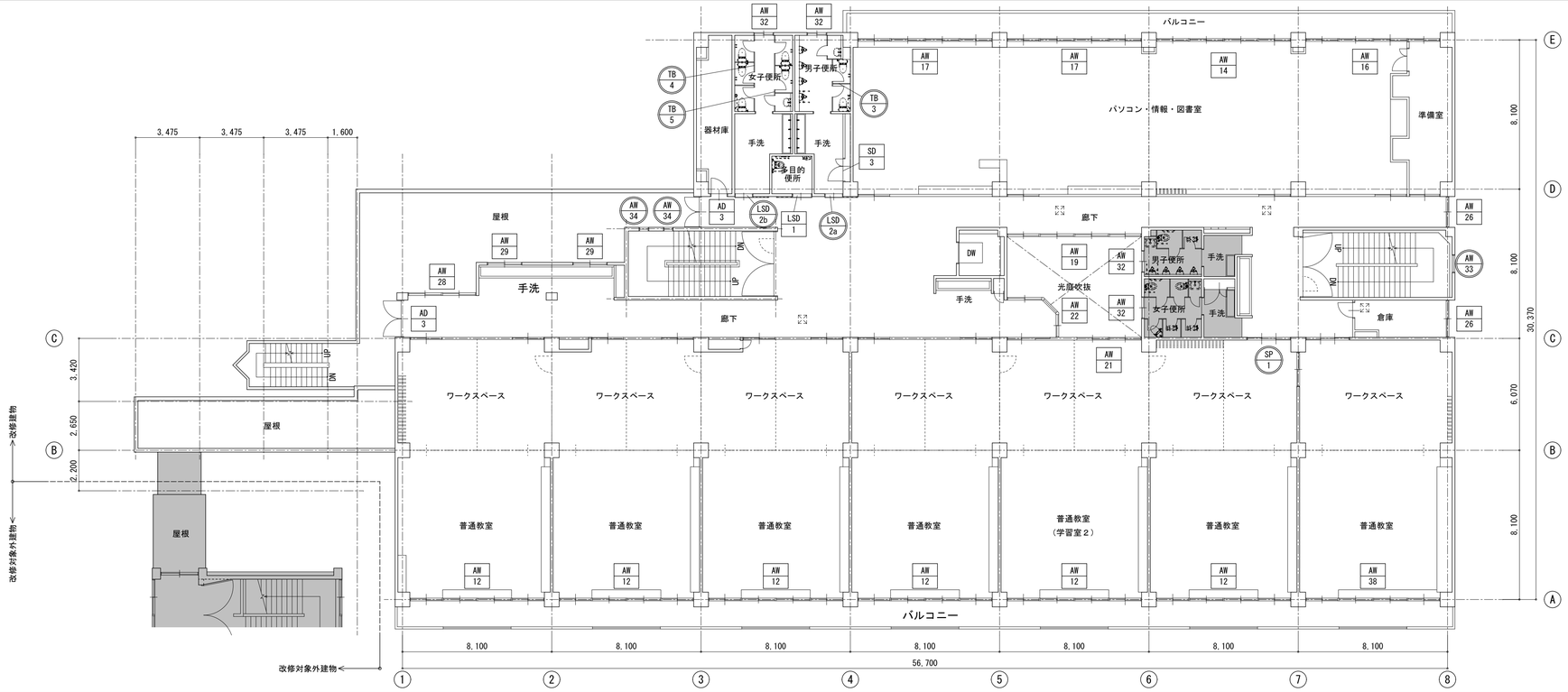
図面番号　A-037

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改修前




改修後




凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** 0 | 撤去建具を示す |
| ** 0 | 既存建具を示す【残置】（周囲シーリング【撤去】） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| TB | トイレブース |

凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** 0 | 新設建具を示す |
| ** 0 | 既存建具を示す　周囲シーリング打替え（ガラスシーリング打替え(片面)） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| TB | トイレブース |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　３階建具配置図（改修前・改修後）

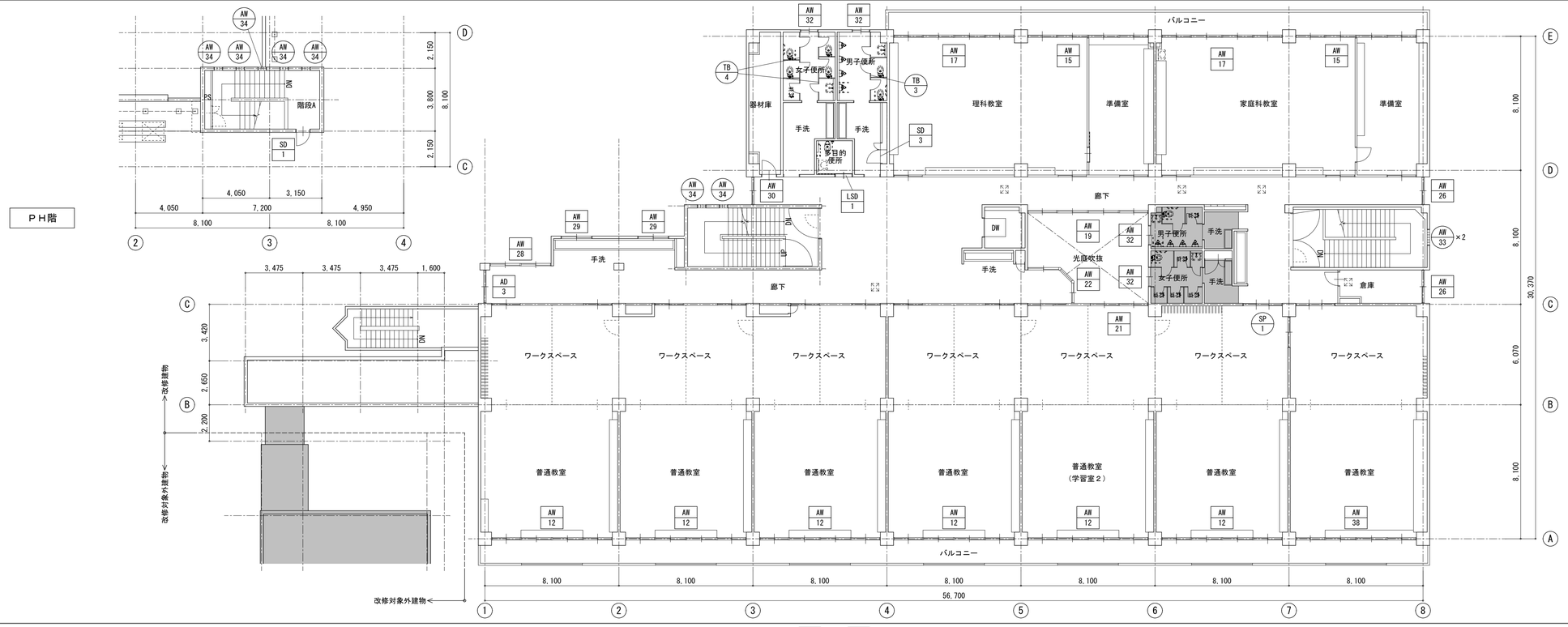
Scale　A1：1/150　A3：1/300

作図　令和７年９月

図面番号　A-038

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

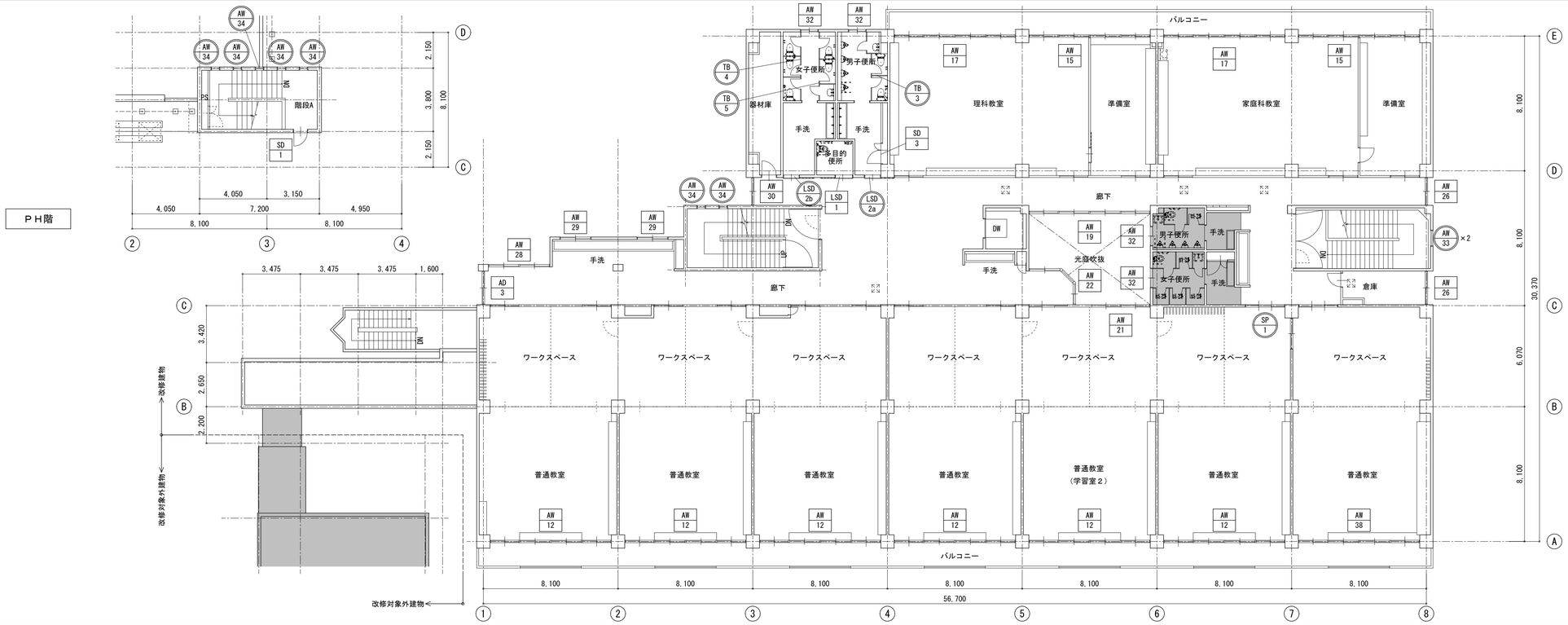
改修前




凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** / 0 | 撤去建具を示す |
| ** / 0 | 既存建具を示す【残置】（周囲シーリング【撤去】） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| TB | トイレブース |

改修後




凡例

| | |
|---|---|
| | 改修範囲外を示す |
| | |
| ** / 0 | 新設建具を示す |
| ** / 0 | 既存建具を示す　周囲シーリング打替え（ガラスシーリング打替え(片面)） |
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製扉 |
| SD | 鋼製扉 |
| LSD | 軽量鋼製扉 |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| TB | トイレブース |

※注記

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

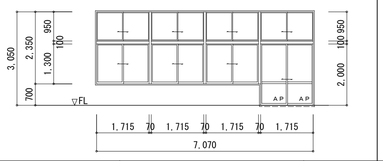
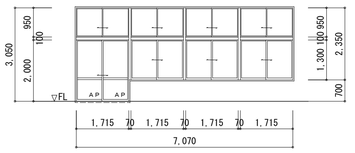
図面名　管理特別教室棟　４，ＰＨ階建具配置図（改修前・改修後）

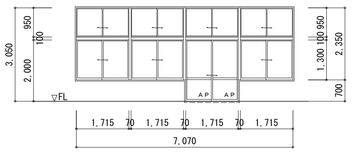
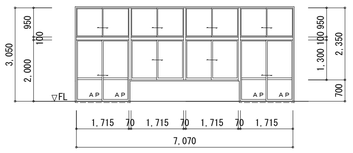
Scale　A1：1/150　A3：1/300

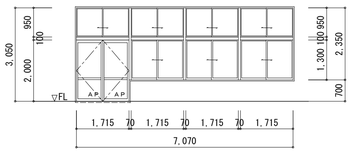
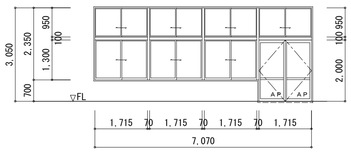
作図　令和７年９月

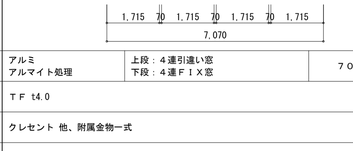
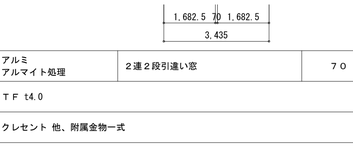
図面番号　A-039

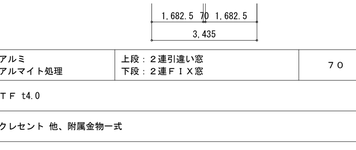
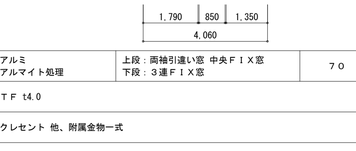
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

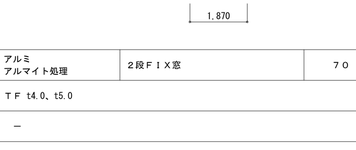
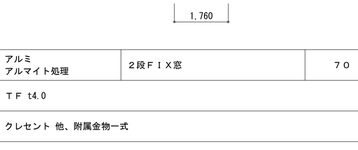
| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 1 | 1階：職員室 | 1 | AW 2 | 1階：職員室 | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：３連引違い窓 袖引違い框ドア | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：３連引違い窓 袖引違い框ドア | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス網戸、ステンレス容摺 | | | 水切、ステンレス網戸、ステンレス容摺 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 3 | 1階：保健室 | 1 | AW 4 | 1階：わかくさ（１） | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：３連引違い窓 袖引違い框ドア | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：２連引違い窓 両袖引違い框ドア | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス網戸、ステンレス容摺 | | | 水切、ステンレス容摺、間仕切用金物 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 5 | 1階：わかくさ（２） | 1 | AW 6 | 1階：ランチルーム（鵜の森２） | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：３連引違い窓 袖両開き框ドア | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：３連引違い窓 袖両開き框ドア | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0<br>ＦＷ t6.8（両開きドア部） | | | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠、丁番、ＤＣ、フランス落し、戸当り、<br>クレセント 他、附属金物一式 | | | レバーハンドルシリンダー錠、丁番、ＤＣ、フランス落し、戸当り、<br>クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス容摺、間仕切用金物 | | | 水切、ステンレス網戸、ステンレス容摺、間仕切用金物 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 7 | 1階：ランチルーム（鵜の森２） | 1 | AW 8 | 1階：校長室、放送室 | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ４連２段引違い窓 | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | ４連２段引違い窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス網戸 | | | 水切、ステンレス網戸、間仕切用金物 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 9 | 1階：職員休憩室 | 1 | AW 10 | 1階：調理室 | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ２連２段引違い窓 袖２段ＦＩＸ窓 | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：ＦＩＸ窓<br>中段：３連引違い窓 中央ＦＩＸ窓<br>中段袖、下段：可動ガラリ | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | | ＴＦ t4.0<br>ＴＰ t4.0（下段） | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス網戸、間仕切用金物 | | | 水切、ステンレス網戸、間仕切用金物 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 11 | 1階：調理室、下処理室 | 1 | AW 12 | ２～４階：普通教室 | １８ |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：２連引違い窓 ＦＩＸ窓<br>下段：２連引違い窓 ＦＩＸ窓 袖引違い窓 | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | 中央：２連２段引違い窓<br>両袖：２段引違い框ドア 欄間ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0<br>ＴＰ t4.0（下段） | | | ＴＦ t4.0、t5.0<br>ＦＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス網戸、間仕切用金物 | | | 水切、ステンレス容摺 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 13 | ２階：多目的室（九の城） | 1 | AW 14 | ２階：多目的室（九の城）<br>３階：パソコン・情報・図書室 | 2 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 袖：引違い框ドア 欄間ＦＩＸ窓<br>３連２段引違い窓 | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | ３連２段引違い窓<br>袖：引違い框ドア 欄間ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0、t5.0 | | | ＴＦ t4.0、t5.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス容摺 | | | 水切、ステンレス容摺、間仕切用金物 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 15 | ２階：図工教室、図工準備室<br>４階：理科教室、理科準備室<br>家庭科教室、家庭科準備室 | 3 | AW 16 | ３階：パソコン・情報・図書室 | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：３連引違い窓 袖引違い框ドア | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | 片開き框ドア 袖ＦＩＸ窓 欄間ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0、t5.0 | | | ＴＦ t4.0、t5.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス容摺、間仕切用金物 | | | 水切、ステンレス容摺、間仕切用金物 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 17 | ２階：図工室<br>３階：パソコン・情報・図書室<br>４階：家庭科教室 | 5 | AW 18 | １階：廊下（光庭） | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 片開き框ドア | ７０ | 亜鉛メッキ鋼板<br>ＳＯＰ | 両開き防火戸 | 扉６０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0、t5.0 | | | ＴＦ t4.0、t5.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切 | | | 水切、ステンレス容摺 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 19 | ２～４階：廊下（光庭） | 3 | AW 20 | １階：倉庫（光庭） | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：４連ＦＩＸ窓 | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | ２連２段引違い窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切 | | | 水切 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 21 | ２～４階：ワークスペース（光庭） | 3 | AW 22 | ２～４階：廊下（光庭） | 3 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：２連引違い窓<br>下段：２連ＦＩＸ窓 | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：両袖引違い窓 中央ＦＩＸ窓<br>下段：３連ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切 | | | 水切 | | |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 符号・室名・数量 | AW 23 | １階：昇降口ホール | 1 | AW 24 | １階：ＯＡ室 | 1 |
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉） | MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>SR-1 W10 |
| 姿 図 |  | | |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ２段ＦＩＸ窓 | ７０ | アルミ<br>アルマイト処理 | ２段ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0、t5.0 | | | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | － | | | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切 | | | 水切 | | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

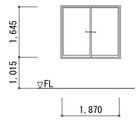
図面名　管理特別教室棟　建具表（１）（改修前）

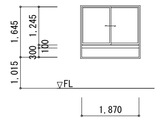
Scale　A1：1/100　A3：1/200

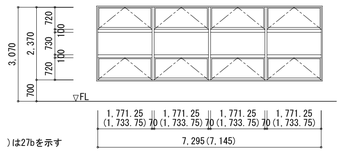
作図　令和７年９月

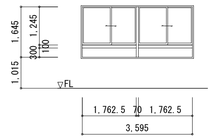
図面番号　A-040

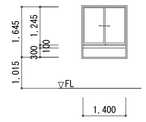
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

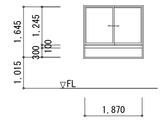
| 符号・室名・数量 | AW 25 | 1階：給食休憩室 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ２段ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス網戸 | | |

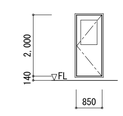
| 符号・室名・数量 | AW 26 | 2～4階：廊下（8通り側） | 6 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：引違い窓<br>下段：ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切 | | |

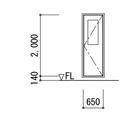
| 符号・室名・数量 | AW 27a<br>AW 27b | 2階昇降口ホール（吹抜） | 27a：1<br>27b：1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  <br>（ ）は2Tbを示す | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上、下段：４連外倒し窓<br>中段：４連ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | 丁番 | | |
| 備　　考 | 水切、オペレーター装置 | | |

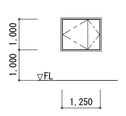
| 符号・室名・数量 | AW 28 | 3、4階：廊下（手洗） | 2 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：２連引違い窓<br>下段：２連ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切 | | |

| 符号・室名・数量 | AW 29 | 3、4階：廊下（手洗） | 4 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：引違い窓<br>下段：ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切 | | |

| 符号・室名・数量 | AW 30 | 4階：廊下（3通り側） | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：引違い窓<br>下段：ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切 | | |

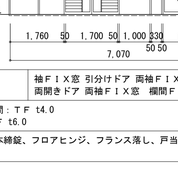
| 符号・室名・数量 | AW 31 | R階：階段室（中央） | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 内倒し窓 欄間ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＰＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | － | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス網戸、額縁 | | |

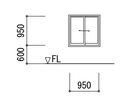
| 符号・室名・数量 | AW 32 | 1～4階：生徒用便所（光庭）<br>2～4階：生徒用便所（北側） | 14 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 引違い窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＰＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス網戸、額縁 | | |

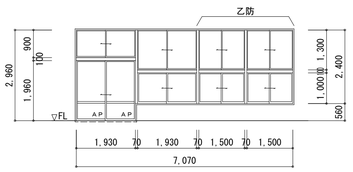
| 符号・室名・数量 | AW 33 | 2～4階：階段室（東） | 4 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 撤去 | アルミ製建具撤去（枠残置、ＧＢ撤去） | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ＦＩＸ窓（ＧＢ） | １００ |
| ガ ラ ス | ＧＢ | | |
| 付属金物 | － | | |
| 備　　考 | 水切 | | |

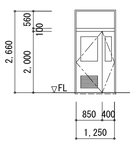
| 符号・室名・数量 | AW 34 | 3～R階：階段室（中央） | 9 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 撤去 | アルミ製建具撤去（枠残置、ＧＢ撤去） | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ＦＩＸ窓（ＧＢ） | １００ |
| ガ ラ ス | ＧＢ | | |
| 付属金物 | － | | |
| 備　　考 | 水切 | | |

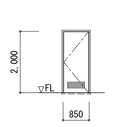
| 符号・室名・数量 | AW 35 | 2階：渡り廊下 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 撤去 | アルミ製建具撤去（枠残置、ＧＢ撤去） | |
| 姿　図 | | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ＦＩＸ窓（ＧＢ）　引違い窓<br>中央両開き框ドア　欄間ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ＰＷ t6.8、ＧＢ | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠（非常カバー付）、丁番、ＤＣ、フランス落し、戸当り、クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス袖摺、額縁 | | |

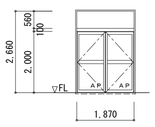
| 符号・室名・数量 | AW 36a<br>AW 36b | 2階：渡り廊下 | 36a：4<br>36b：2 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 撤去 | アルミ製建具撤去（枠残置、ＧＢ・引違い窓撤去） | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 36a：ＦＩＸ窓（ＧＢ）　中央引違い窓<br>36b：ＦＩＸ窓（ＧＢ）　中央引違い窓　【乙防】 | １００ |
| ガ ラ ス | 36a：ＴＦ t4.0、ＧＢ<br>36b：ＰＷ t6.8、ＧＢ | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、額縁 | | |

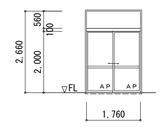
| 符号・室名・数量 | AW 37 | 2階：渡り廊下 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 引違い窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、額縁 | | |

| 符号・室名・数量 | AW 38 | 2～4階：普通教室 | 3 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 既存 | － | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上段：４連引違い窓<br>下段：３連引違い窓 袖引違い框ドア | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0<br>乙防部：ＦＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス網戸、ステンレス容摺 | | |

| 符号・室名・数量 | AD 1 | 1階：給食下処理室 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 額入親子開きフラッシュドア<br>欄間ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | 欄間：ＴＦ t4.0<br>扉：ＰＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠、丁番、ＤＣ、フランス落し | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス網戸、ステンレス容摺 | | |

| 符号・室名・数量 | AD 2 | 1階：食品庫 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15） | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 片開きフラッシュドア | ７０ |
| ガ ラ ス | － | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠、丁番、ＤＣ | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス網戸、ステンレス容摺 | | |

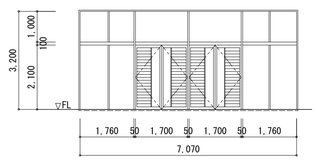
| 符号・室名・数量 | AD 3 | 3、4階：廊下（西側） | 2 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 両開き框ドア 欄間ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠（非常カバー付）、丁番、ＤＣ、フランス落し | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス容摺 | | |

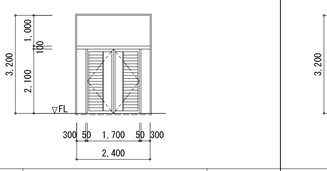
| 符号・室名・数量 | AD 4 | 1階：職員廊下 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 引違い框ドア 欄間ＦＩＸ窓 | ７０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | 本締錠、引手、クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | ステンレス容摺 | | |

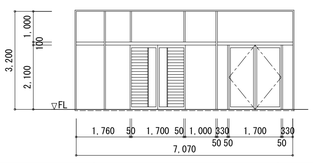
| 符号・室名・数量 | SD 1 | R階：階段室（中央） | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | 亜鉛メッキ鋼板<br>ＳＯＰ | 額入片開きフラッシュドア | ４０ |
| ガ ラ ス | ＰＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠、丁番、ＤＣ | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス容摺 | | |

| 符号・室名・数量 | SD 2 | 2階：器材庫 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10 | |
| 姿　図 |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | 亜鉛メッキ鋼板<br>ＳＯＰ | 額入片開きフラッシュドア | ４０ |
| ガ ラ ス | ＰＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠、丁番、ＤＣ | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス容摺 | | |

| 符号・室名・数量 | SD 3 | 2～4階：生徒用男子手洗（北） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 枠、扉：下地調整＋SOP塗替え | |
| 姿　図 |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | 亜鉛メッキ鋼板<br>ＳＯＰ | 親子開きフラッシュドア | ４０ |
| ガ ラ ス | － | | |
| 付属金物 | 電気盤錠、丁番、フランス落し | | |
| 備　　考 | － | | |

| 符号・室名・数量 | STD 1 | 1階：昇降口 | 2 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10<br>木部：下地調整+SOP塗替え | |
| 姿　図 |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | ステンレス<br>ヘアライン仕上 | 2連両開きドア 両袖・欄間ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ドア、欄間：ＴＦ t4.0<br>袖：ＴＦ t5.0 | | |
| 付属金物 | 本締錠、フロアヒンジ、フランス落し、戸当り、押板取手、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | ステンレス容摺 | | |

| 符号・室名・数量 | STD 2 | 1階：昇降口 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10<br>木部：下地調整+SOP塗替え | |
| 姿　図 |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | ステンレス<br>ヘアライン仕上 | 両開きドア 両袖・欄間ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t5.0 | | |
| 付属金物 | 本締錠、フロアヒンジ、フランス落し、戸当り、押板取手、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | ステンレス容摺 | | |

| 符号・室名・数量 | STD 3 | 1階：昇降口 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　SR-1 W10<br>木部：下地調整+SOP塗替え | |
| 姿　図 |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | ステンレス<br>ヘアライン仕上 | 袖ＦＩＸ窓 引分けドア 両袖ＦＩＸ窓<br>両開きドア 両袖ＦＩＸ窓　欄間ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | 袖、引分けドア、欄間：ＴＦ t4.0<br>両開きドア、袖：ＴＦ t6.0 | | |
| 付属金物 | 本締付モノロック、本締錠、フロアヒンジ、フランス落し、戸当り、取手、押板取手、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | ステンレス容摺、間仕切用金物 | | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

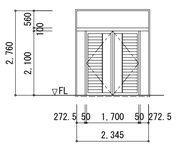
図面名　管理特別教室棟　建具表（２）（改修前）

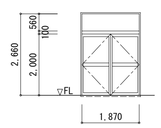
Scale　A1：1/100　A3：1/200

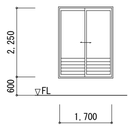
作図　令和７年９月

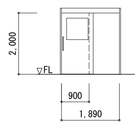
図面番号　A-041

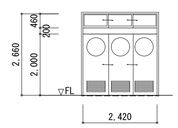
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

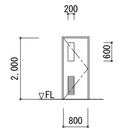
| 符号・室名・数量 | STD 4 | 1階：昇降口ホール | 1 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　　SR-1 W10<br>木部：下地調整+SOP塗替え | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | ステンレス<br>ヘアライン仕上 | 両開きドア 両袖ＦＩＸ窓<br>欄間ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | 欄間：ＴＦ t4.0<br>両開きドア、袖：ＴＦ t5.0 | | |
| 付属金物 | 本締錠、丁番、ＤＣ、フランス落し、<br>戸当り、押板取手、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス容器 | | |

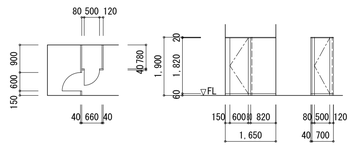
| 符号・室名・数量 | STD 5 | 1階：廊下（東側） | 1 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　　SR-1 W10 | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | ステンレス<br>ヘアライン仕上 | 両開きドア<br>欄間ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ドア：ＴＦ t5.0<br>欄間：ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | 本締錠、丁番、ＤＣ、フランス落し、押板取手 | | |
| 備 考 | ステンレス容器 | | |

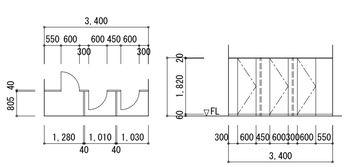
| 符号・室名・数量 | STD 6 | 2階：渡り廊下 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　　MS-2（三方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　　SR-1 W10 | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | ステンレス<br>ヘアライン仕上 | 引違い窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t5.0 | | |
| 付属金物 | 引戸錠、取手、クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | 水切、ステンレス容器、額縁 | | |

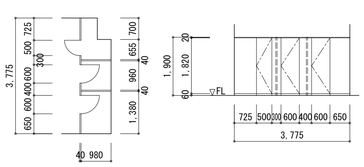
| 符号・室名・数量 | LSD 1 | ２～４階：多目的便所（北） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 改修 | | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 鋼板焼付 | 片引きハンガードア<br>（外付け） | ８０ |
| ガ ラ ス | ― | | |
| 付属金物 | 表示付錠、ラバトリーヒンジ、戸当り、附属金物一式 | | |
| 備 考 | ― | | |

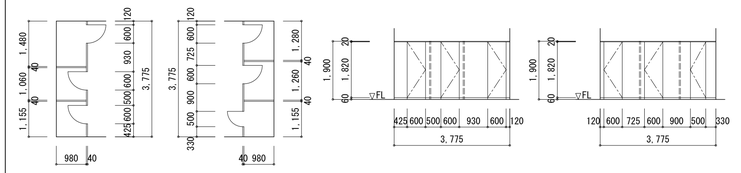
| 符号・室名・数量 | SP 1 | ２～４階：ワークスペース<br>（生徒用便所前（東）横） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 撤去 | 間仕切り撤去（外枠残し） | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 鋼板焼付 | 学校用間仕切 | ８０ |
| ガ ラ ス | ドア：ＴＰ t4.0<br>欄間：ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | ドア錠、引手、クレセント 他、附属金物一式 | | |
| 備 考 | ステンレス容器 | | |

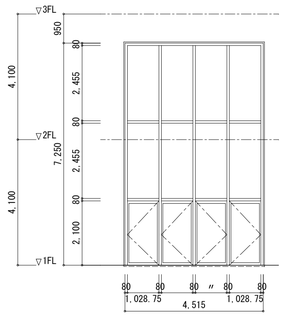
| 符号・室名・数量 | WD 1 | 1階：男、女子職員便所 | 2 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 撤去 | 木製建具撤去（扉のみ、枠残し） | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | メラミン化粧板 | 額入片開きフラッシュドア | ４０ |
| ガ ラ ス | ＴＰ t4.0 | | |
| 付属金物 | レバーハンドル（空錠）、丁番、ＤＣ、戸当り | | |
| 備 考 | ステンレス容器【残置】 | | |

| 符号・室名・数量 | TB 1 | 1階：職員男子便所 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 撤去 | トイレブース撤去 | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | ― | | |
| 付属金物 | 表示付錠、ラバトリーヒンジ、戸当り、附属金物一式 | | |
| 備 考 | ― | | |

| 符号・室名・数量 | TB 2 | 1階：職員女子便所 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 撤去 | トイレブース撤去 | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | ― | | |
| 付属金物 | 表示付錠、ラバトリーヒンジ、戸当り、附属金物一式 | | |
| 備 考 | ― | | |

| 符号・室名・数量 | TB 3 | ２～４階：生徒用男子便所（北） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 撤去 | トイレブース撤去 | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | ― | | |
| 付属金物 | 表示付錠、ラバトリーヒンジ、戸当り、附属金物一式 | | |
| 備 考 | ― | | |

| 符号・室名・数量 | TB 4 | ２～４階：生徒用女子便所（北） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 撤去 | トイレブース撤去 | |
| 姿 図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | ― | | |
| 付属金物 | 表示付錠、ラバトリーヒンジ、戸当り、附属金物一式 | | |
| 備 考 | ― | | |

| 符号・室名・数量 | ACW 1 | 1階：昇降口吹抜ホール | 1 |
|---|---|---|---|
| 改 修 内 容 | 改修 | 建具周囲シーリング打替え　　MS-2（四方 W10、水切 W15）<br>ガラス止め打替え（片面〈外部〉）　　SR-1 W10 | |
| 姿 図 |  | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | カーテンウォール（アルミ・木複合） | ３５０ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t8.0 | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠、丁番、ＤＣ | | |
| 備 考 | 水切 | | |

凡例

| | |
|---|---|
| ** 0 | 撤去建具を示す |
| ** 0 | 既存建具を示す【残置】　周囲シーリング打替え（ガラスシーリング打替え(片面)） |

略記号

| | |
|---|---|
| AW | アルミ製窓 |
| AD | アルミ製ドア |
| SD | 鋼製ドア |
| STD | ステンレス製ドア |
| LSD | 軽量鋼製ハンガードア |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| WD | 木製ドア |
| TB | トイレブース |
| ACW | カーテンウォール（アルミ・木複合） |
| FW | 網入透明ガラス |
| PW | 網入型ガラス |
| TF | 強化透明ガラス |
| TP | 強化型ガラス |
| GB | ガラスブロック |
| AP | アルミパネル |
| DC | ドアチェク |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

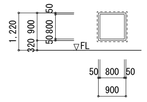
図面名　管理特別教室棟　建具表（３）（改修前）

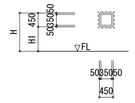
Scale　A1：1/100　A3：1/200

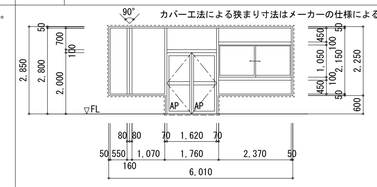
作図　令和 7 年 9 月

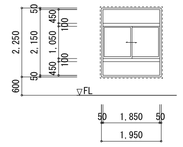
図面番号　A-042

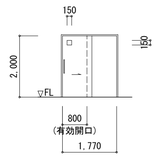
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

| 符号・室名・数量 | AW 33 | 2～4階：階段室（東） | 4 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | アルミ製建具新設（カバー工法） | |
| 姿　図 | カバー工法による狭まり寸法はメーカーの仕様による。<br>  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | － | | |
| 備　　考 | 水切、アルミ額縁（四方 内外）<br>周囲シーリング（四方）：MS-2 W10、水切シーリング：MS-2 W15 | | |

| 符号・室名・数量 | AW 34 | 3～R階：階段室（中央） | 9 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | アルミ製建具新設（カバー工法） | |
| 姿　図 | カバー工法による狭まり寸法はメーカーの仕様による。<br>  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | － | | |
| 備　　考 | 水切、アルミ額縁（四方 内外）<br>周囲シーリング（四方）：MS-2 W10、水切シーリング：MS-2 W15 | | |

| 符号・室名・数量 | AW 35 | 2階：渡り廊下 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | アルミ製建具新設（カバー工法） | |
| 姿　図 | 90°　カバー工法による狭まり寸法はメーカーの仕様による。<br>  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 袖：２連ＦＩＸ窓<br>上下：ＦＩＸ窓 中段引違い窓<br>中央：両開き框ドア 欄間ＦＩＸ窓 | １００ |
| ガ ラ ス | ＰＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | レバーハンドルシリンダー錠（非常カバー付）、丁番、ＤＣ、フランス落し、戸当り、クレセント、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、ステンレス笠木、アルミ額縁（四方 内外）<br>周囲シーリング（四方）：MS-2 W10、水切シーリング：MS-2 W15 | | |

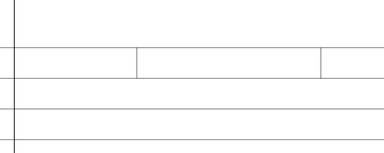
| 符号・室名・数量 | AW 36a<br>AW 36b | 2階：渡り廊下 | 36a：4<br>36b：2 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | アルミ製建具新設（カバー工法） | |
| 姿　図 | ※36bは乙種防火設備を示す　カバー工法による狭まり寸法はメーカーの仕様による。<br>  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | アルミ<br>アルマイト処理 | 上下：ＦＩＸ窓<br>中段：引違い窓 | １００ |
| ガ ラ ス | 36a：ＴＦ t4.0<br>36b：ＰＷ t6.8 | | |
| 付属金物 | クレセント、附属金物一式 | | |
| 備　　考 | 水切、アルミ額縁（四方 内外）<br>周囲シーリング（四方）：MS-2 W10、水切シーリング：MS-2 W15 | | |

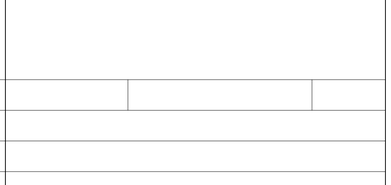
| 符号・室名・数量 | LSD 2a<br>LSD 2b | 2～4階：生徒用男、女子便所（北） | 2a：3<br>2b：3 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | 軽量鋼製建具新設（枠、扉共） | |
| 姿　図 | ※2bは左右反対を示す<br>  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 化粧鋼板又は<br>焼付塗装鋼板t=0.6 | 片引きドア（外付けタイプ）<br>（RC下地納まり） | 枠：３４０<br>扉：４０ |
| ガ ラ ス | ＴＰ t4.0 （150×150） | | |
| 付属金物 | 標準品一式、引棒(SUS L450)、戸車、戸当りゴム<br>指詰め防止ゴム、SUSレール t=1.5 | | |
| 備　　考 | 周囲シーリング（三方）：MS-2 W10 | | |

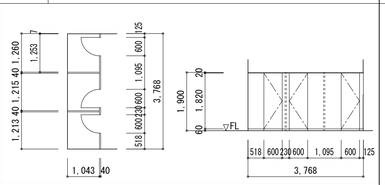
| 符号・室名・数量 | SP 1 | 2～4階：ワークスペース<br>（生徒用便所前（東）横） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | 間仕切り新設（カバー工法） | |
| 姿　図 | | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 焼付塗装鋼板t=0.5 | 学校用間仕切 | １４８ |
| ガ ラ ス | ドア：ＴＰ t4.0 （φ500）<br>欄間：ＴＦ t4.0 | | |
| 付属金物 | 高さ調整式引戸戸車、掘込引手、引違戸用鎌錠、振れ止め、外れ止め、フランス落し、上部戸当り、引き残しストッパー、クレセント、障子戸当り、落下防止ピン | | |
| 備　　考 | SUSレール t=1.5、フラットガラリ（アルミ押出形材）<br>木額縁（SOP塗替え三方 両側）（建築工事） | | |

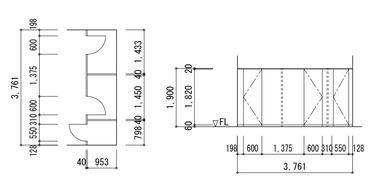
| 符号・室名・数量 | WD 1a<br>WD 1b | 1階：男、女子職員便所 | 1a：1<br>1b：1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | 木製建具新設（扉のみ） | |
| 姿　図 | ※1bは左右反対を示す<br> | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 扉：ポリ合板 | 額入片開きフラッシュドア | ３０ |
| ガ ラ ス | ＴＰ t4.0 （200×600） | | |
| 付属金物 | レバーハンドル空錠、丁番、ＤＣ、戸当り<br>アルミガラリ （200×600） | | |
| 備　　考 | 枠：下地調整＋1-UC【塗替え】 | | |

| 符号・室名・数量 | TB 1 | 1階：職員男子便所 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | トイレブース新設 | |
| 姿　図 | | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 木製(ペーパーコア芯)<br>高圧メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | － | | |
| 付属金物 | 付属金物一式、SUS巾木、表示付スライドロック、中心吊グレビティヒンジ<br>戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ（天端蓋付き） | | |
| 備　　考 | ブース及びドア角部アルミエッジ加工<br>非常開放装置付 | | |

| 符号・室名・数量 | TB 2 | 1階：職員女子便所 | 1 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | トイレブース新設 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 木製(ペーパーコア芯)<br>高圧メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | － | | |
| 付属金物 | 付属金物一式、SUS巾木、表示付スライドロック、中心吊グレビティヒンジ<br>戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ（天端蓋付き） | | |
| 備　　考 | ブース及びドア角部アルミエッジ加工<br>非常開放装置付 | | |

| 符号・室名・数量 | TB 3 | 2～4階：生徒用男子便所（北） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | トイレブース新設 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 木製(ペーパーコア芯)<br>高圧メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | － | | |
| 付属金物 | 付属金物一式、SUS巾木、表示付スライドロック、中心吊グレビティヒンジ<br>戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ（天端蓋付き） | | |
| 備　　考 | ブース及びドア角部アルミエッジ加工<br>非常開放装置付 | | |

| 符号・室名・数量 | TB 4 | 2～4階：生徒用女子便所（北） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | トイレブース新設 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 木製(ペーパーコア芯)<br>高圧メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | － | | |
| 付属金物 | 付属金物一式、SUS巾木、表示付スライドロック、中心吊グレビティヒンジ<br>戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ（天端蓋付き） | | |
| 備　　考 | ブース及びドア角部アルミエッジ加工<br>非常開放装置付 | | |

| 符号・室名・数量 | TB 5 | 2～4階：生徒用女子便所（北） | 3 |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | 新設 | トイレブース新設 | |
| 姿　図 |  | | |
| 材質・形式・見込寸法 | 木製(ペーパーコア芯)<br>高圧メラミン化粧板 | トイレブース | ４０ |
| ガ ラ ス | － | | |
| 付属金物 | 付属金物一式、SUS巾木、表示付スライドロック、中心吊グレビティヒンジ<br>戸当り帽子掛け、SUS頭つなぎ（天端蓋付き） | | |
| 備　　考 | ブース及びドア角部アルミエッジ加工<br>非常開放装置付 | | |

| 符号・室名・数量 | | | |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | | | |
| 姿　図 | | | |
| 材質・形式・見込寸法 | | | |
| ガ ラ ス | | | |
| 付属金物 | | | |
| 備　　考 | | | |

| 符号・室名・数量 | | | |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | | | |
| 姿　図 | | | |
| 材質・形式・見込寸法 | | | |
| ガ ラ ス | | | |
| 付属金物 | | | |
| 備　　考 | | | |

| 符号・室名・数量 | | | |
|---|---|---|---|
| 改　修　内　容 | | | |
| 姿　図 | | | |
| 仕上・名称・見込寸法 | | | |
| ガ ラ ス | | | |
| 付属金物 | | | |
| 備　　考 | | | |

凡例

| | |
|---|---|
| ** 0 | 新設建具を示す |

略記号

| | |
|---|---|
| AW | アルミ製窓 |
| LSD | 軽量鋼製ドア |
| SP | 鋼製学校用間仕切 |
| WD | 木製ドア |
| TB | トイレブース |
| FW | 網入透明ガラス |
| PW | 網入型ガラス |
| TF | 強化透明ガラス |
| TP | 強化型ガラス |
| DC | ドアチェク |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　建具表（４）（改修後）

Scale　A1：1/100　A3：1/200

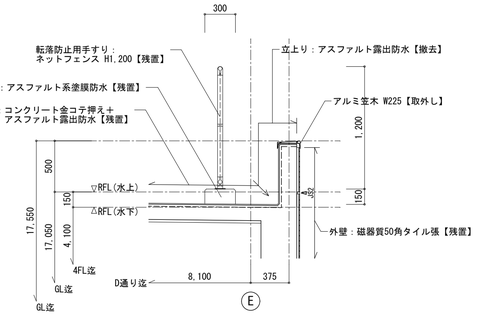
作図　令和７年９月

図面番号　A-043

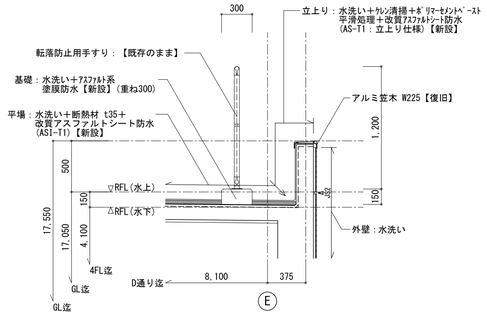
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

## 1 R階屋根、パラペット周り 1/30

### 改修前

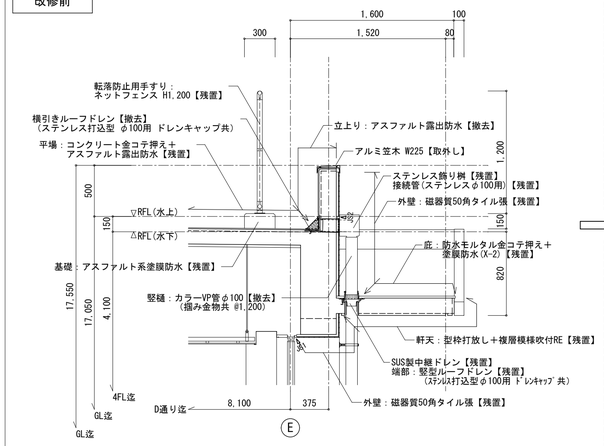



### 改修後

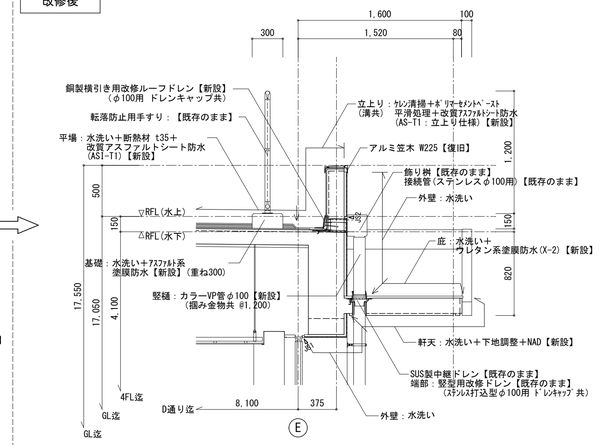



## 2 R階屋根、パラペット周り、庇、ルーフドレン（北） 1/30

### 改修前

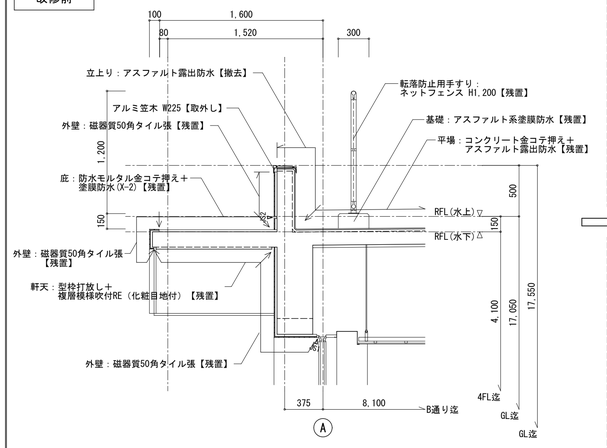



### 改修後

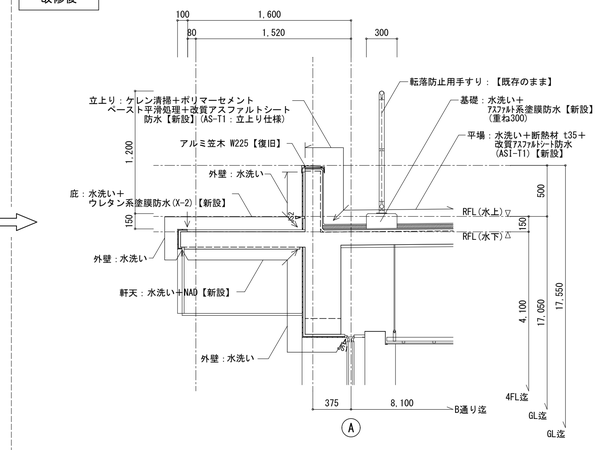



## 3 R階屋根、パラペット周り、庇（南） 1/30

### 改修前

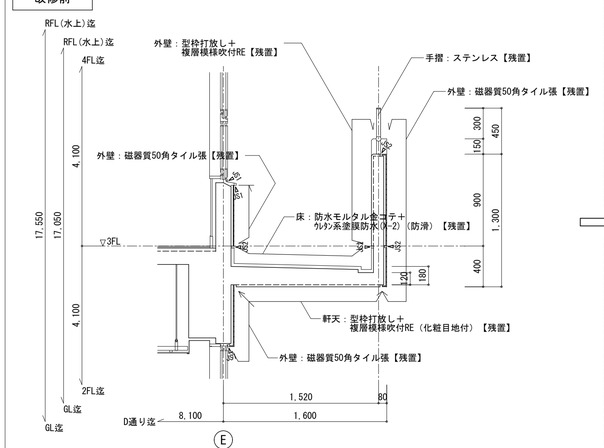



### 改修後

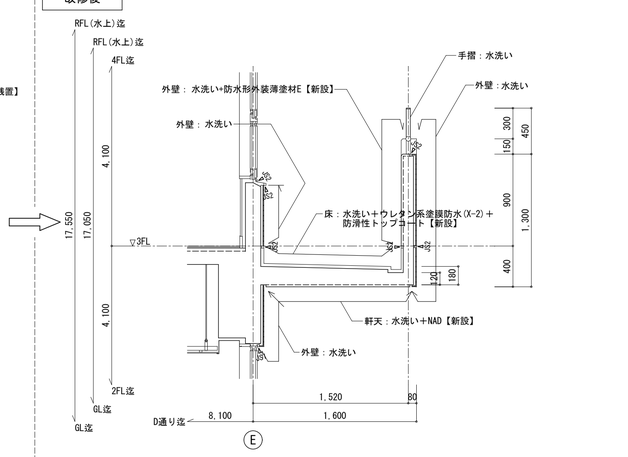



## 4 バルコニー（北） ２～４階 1/30

### 改修前

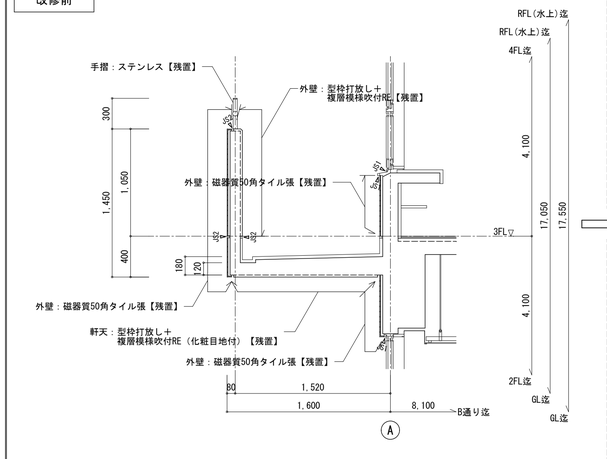



### 改修後

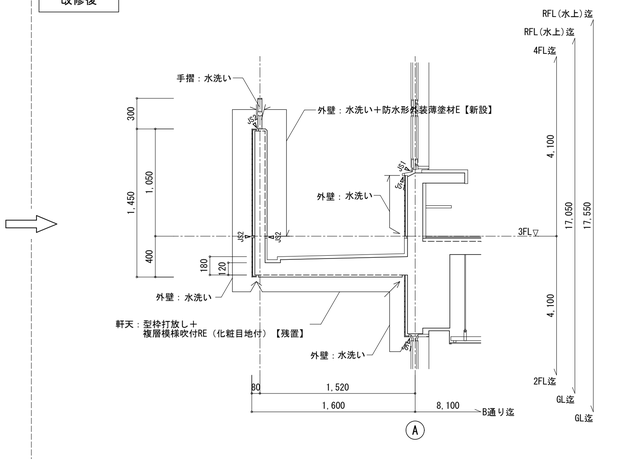



## 5 バルコニー（南） ２～４階 1/30

### 改修前

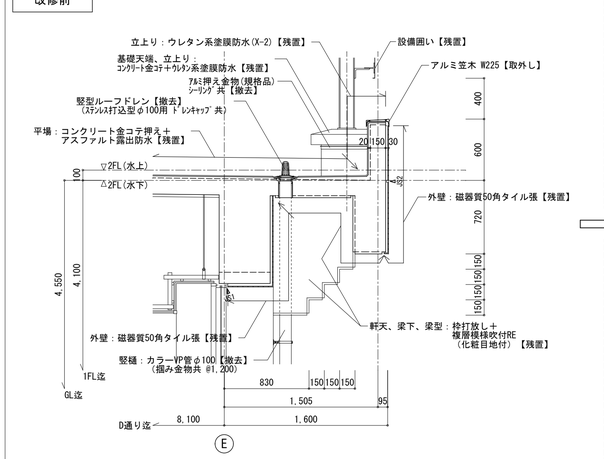



### 改修後

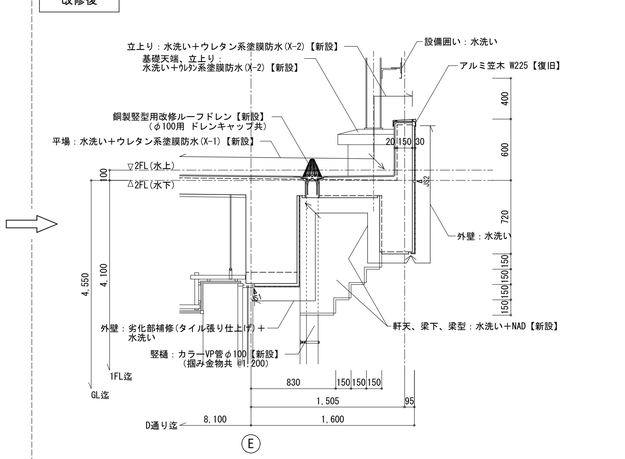



## 6 昇降口上部、パラペット周り、ルーフドレン 1/30

### 改修前




### 改修後




## 凡例

シーリング打替え位置を示す
1：建具周囲(四方、水切)：MS-2
2：打継、タイル目地：PS-2

## ※注記

※5 バルコニー（南）の床面防水改修は『２期工事』とする

※新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。

※アスファルト防水撤去部のポリマーセメントは仮防水仕様とすること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事 （１期工事）

図面名：管理特別教室棟 断面詳細図（１）

Scale A1：1/30 A3：1/60

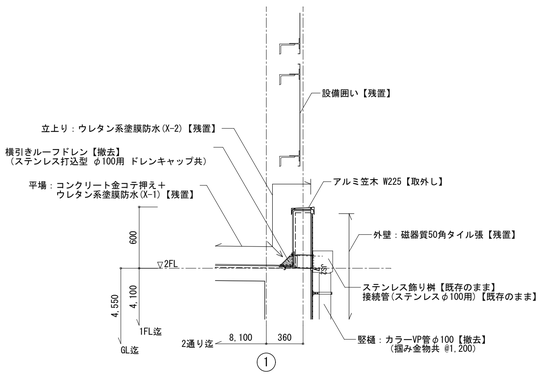
作図 令和７年９月

図面番号 A-044

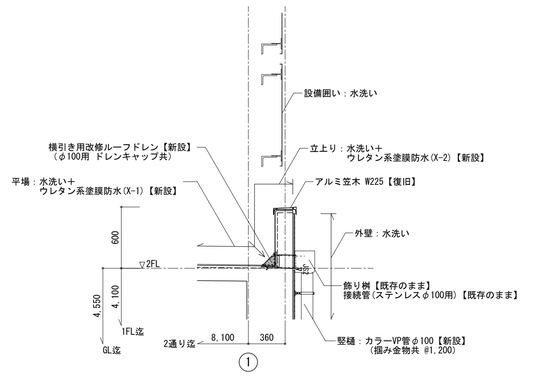
株式会社 山田建築事務所 一級建築士７７８９０号 管理技術者 大嶽 俊和

## 7 昇降口上部屋根　パラペット周り、ルーフドレン　1/30

### 改修前

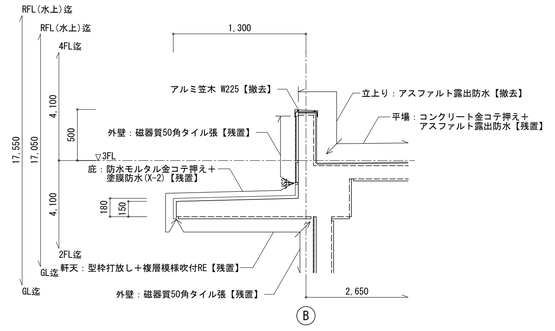



### 改修後

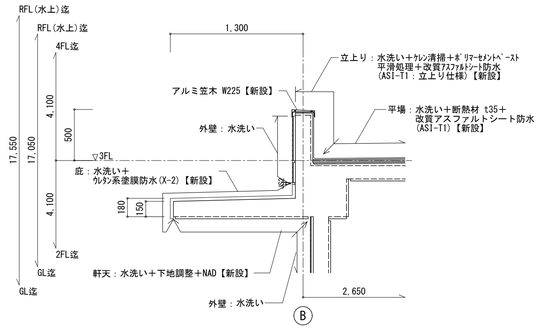



## 8 渡り廊下屋根、２階吹抜屋根　1/30　※庇は渡り廊下屋根のみ

### 改修前

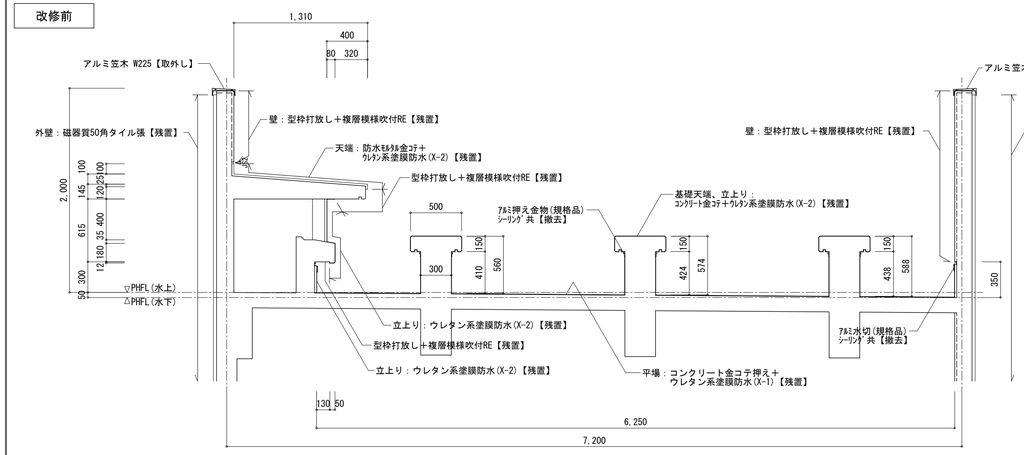



### 改修後

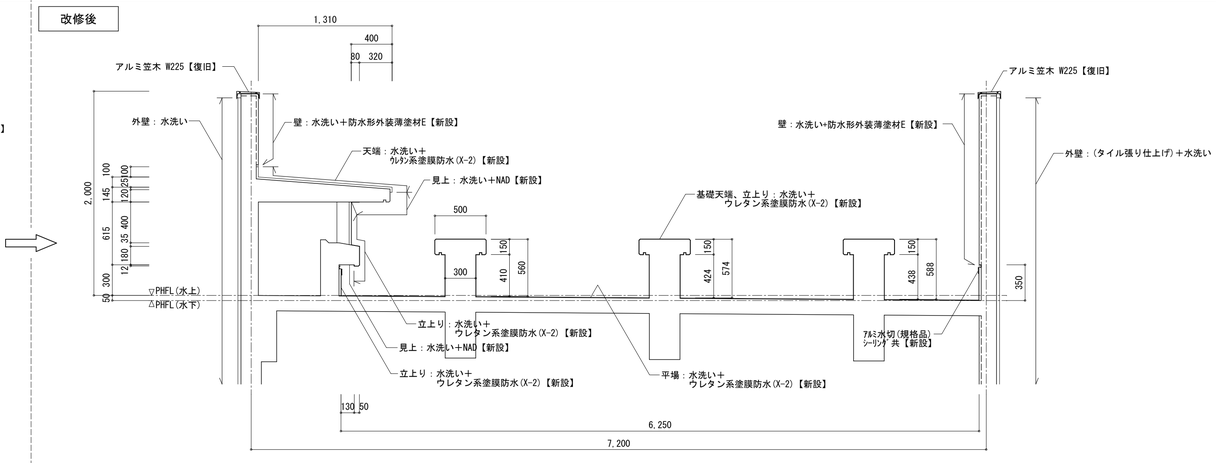



## 9 ペントハウス屋根　1/30

### 改修前

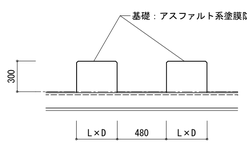



### 改修後

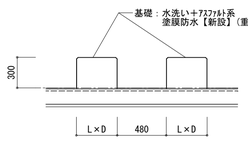



## 10 基礎断面（Ｒ階）　(L3700xD400xH300x2箇所)

### 改修前

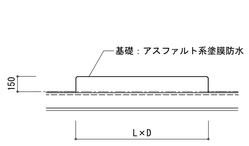



### 改修後

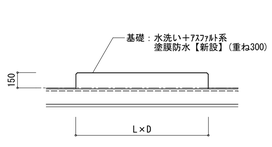



## 11 基礎断面（Ｒ階）　(L2850xD1300xH150)

### 改修前

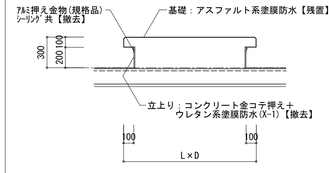



### 改修後

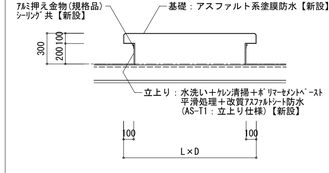



## 12 基礎断面（Ｒ階）　(L1300xD800xH300)

### 改修前

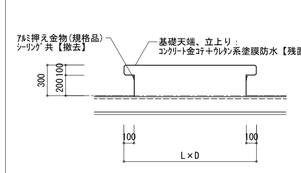



### 改修後

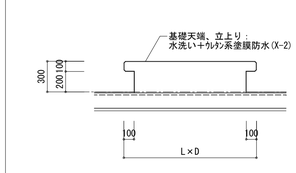



## 13 基礎断面（２階）　(L3150xD2200xH300)

### 改修前

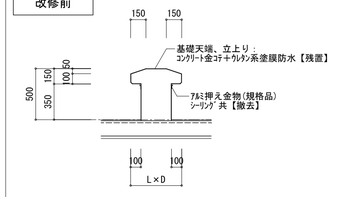



### 改修後

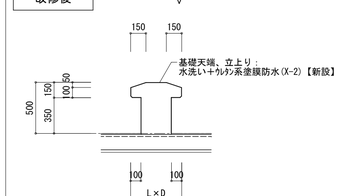



## 14 基礎断面（２階）　(L2600xD500xH500x2箇所)

### 改修前

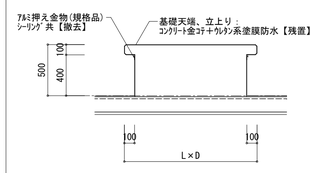



### 改修後

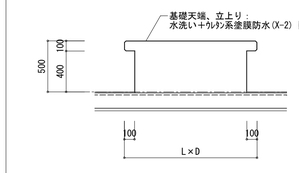



## 15 基礎断面（２階）　(L2500xD2600xH500)

### 改修前

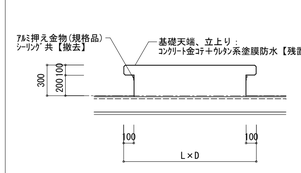



### 改修後

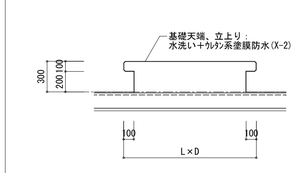



## 16 基礎断面（２階）　(L2350xD900xH300)

### 改修前




### 改修後




## 凡例

JS*
▼
シーリング打替え位置を示す
1：建具周囲(四方、水切)：MS-2
2：打継、タイル目地：PS-2

## ※注記

※新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　断面詳細図（２）

Scale　A1：1/50　A3：1/100

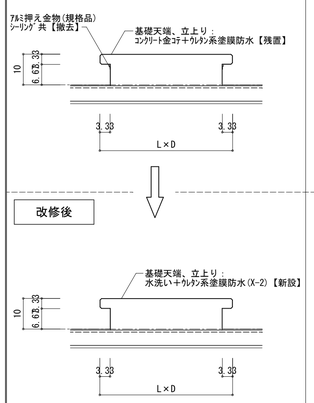
作図　令和７年９月

図面番号　A-045

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

## 17 基礎断面（２階）　(L3750xD1700xH300)

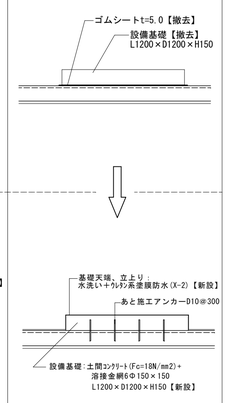
改修前




改修後

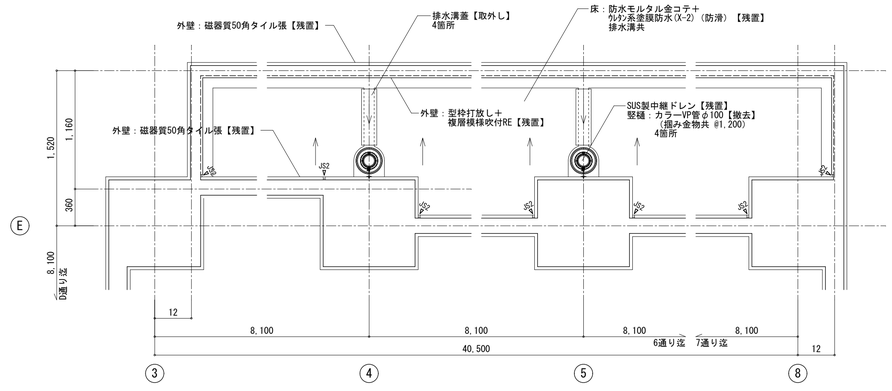



## 18 基礎断面(2階)

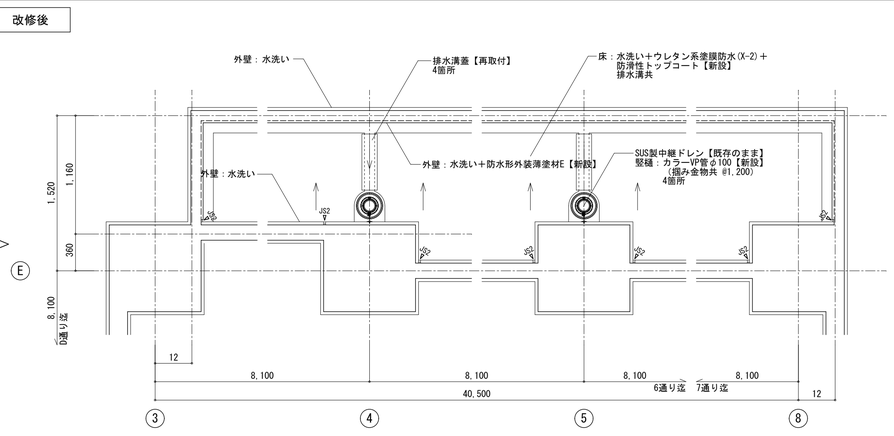



## 19 バルコニー（北）　２階　　1/30

改修前

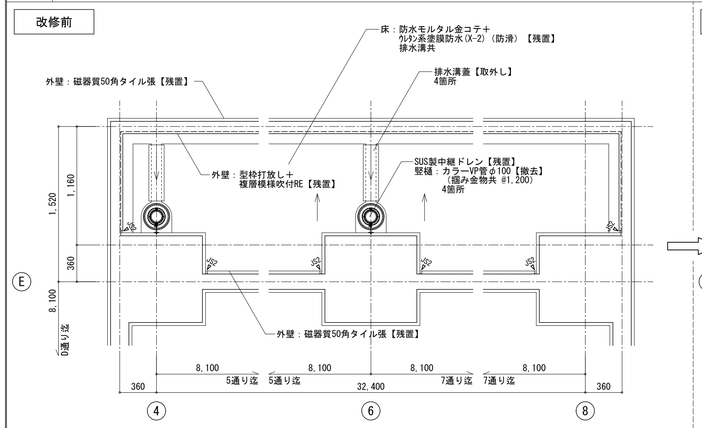



改修後

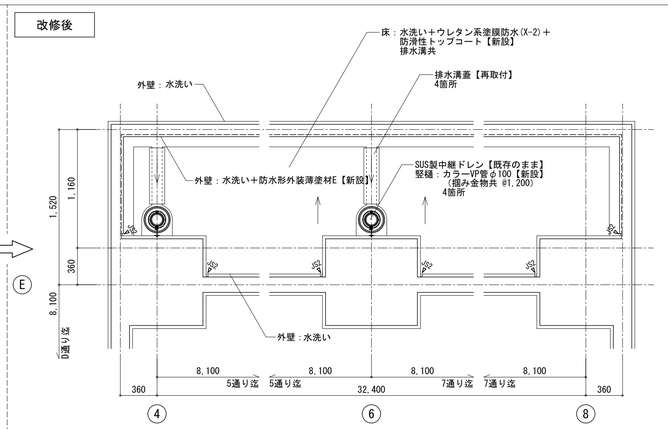



## 20 バルコニー（北）　３階　　1/30

改修前

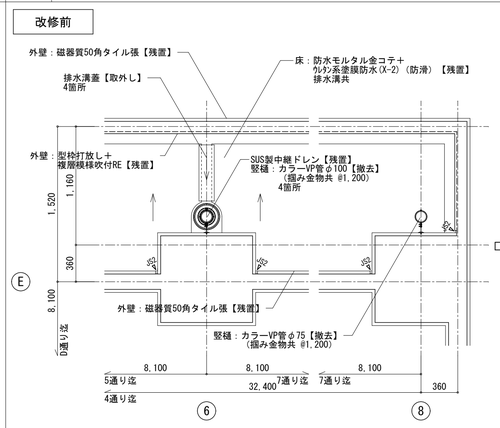



改修後

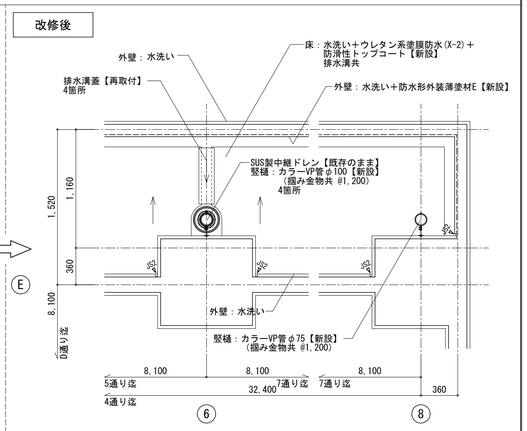



## 21 バルコニー（北）　４階　　※4～7通りは３階と共通　　1/30

改修前

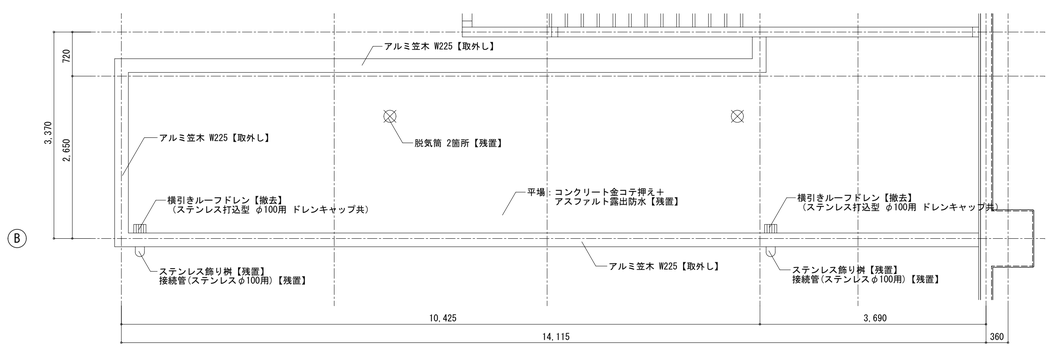



改修後

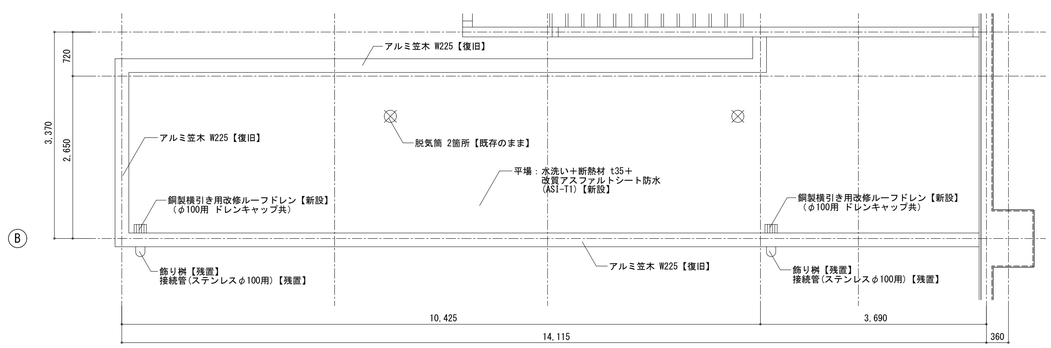



## 22 渡り廊下屋根　平面詳細　　1/50

改修前




改修後




## 凡例

シーリング打替え位置を示す
1：建具周囲(四方、水切)：MS-2
2：打継、タイル目地：PS-2

## ※注記

※新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　断面詳細図（３）

Scale　A1：1/50　A3：1/100

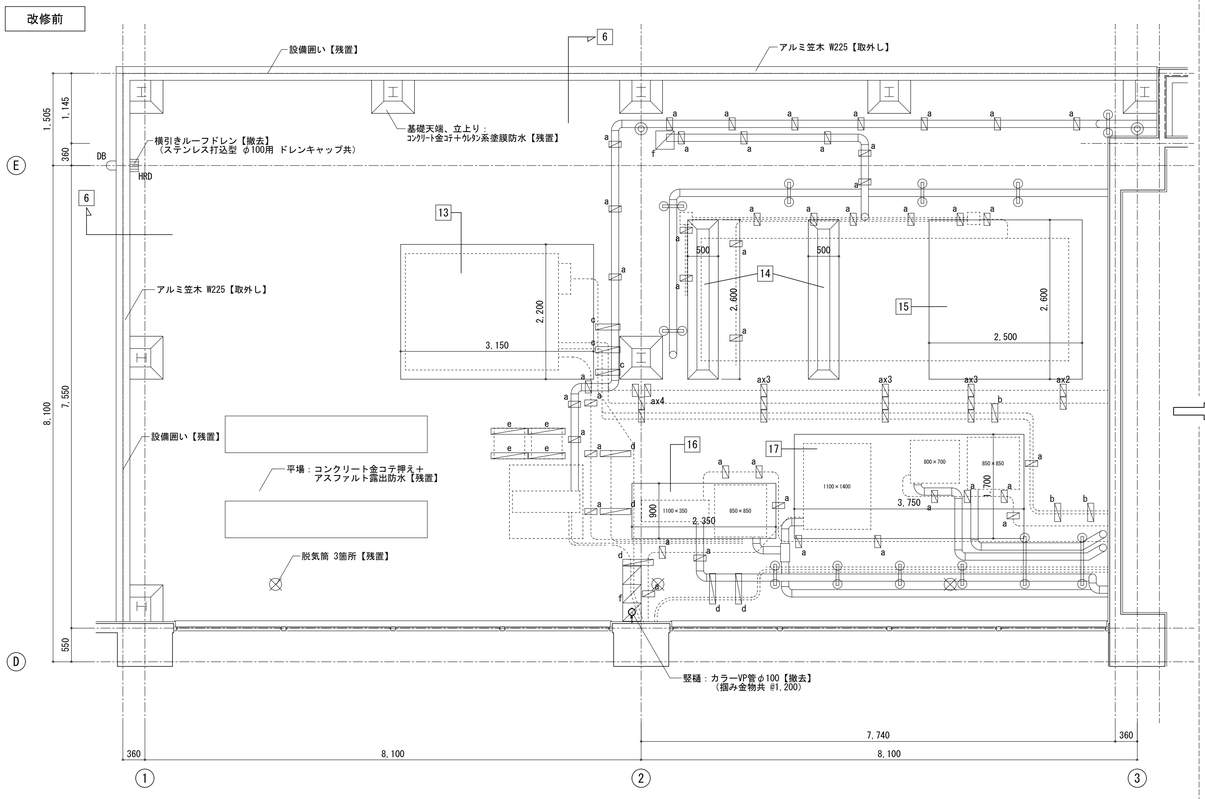
作図　令和７年９月

図面番号　A-046

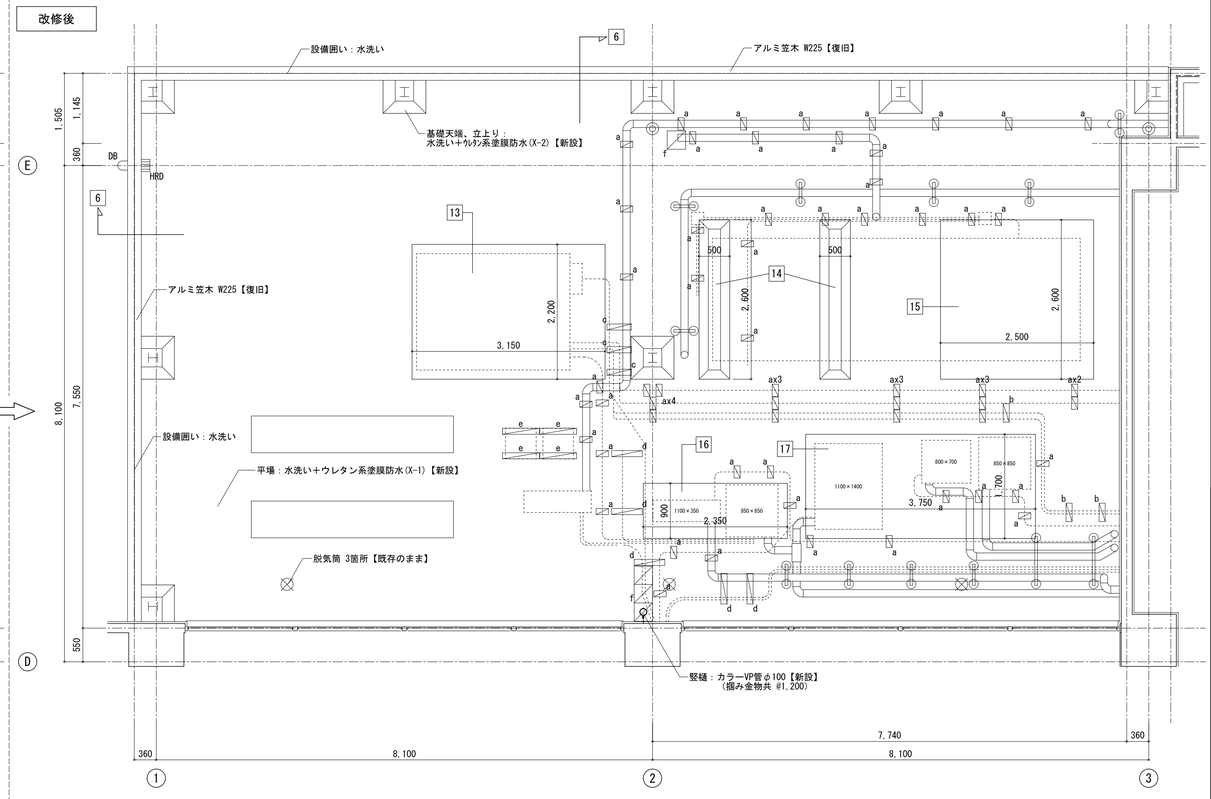
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

23　昇降口上部屋根　平面詳細　　1/50

改修前

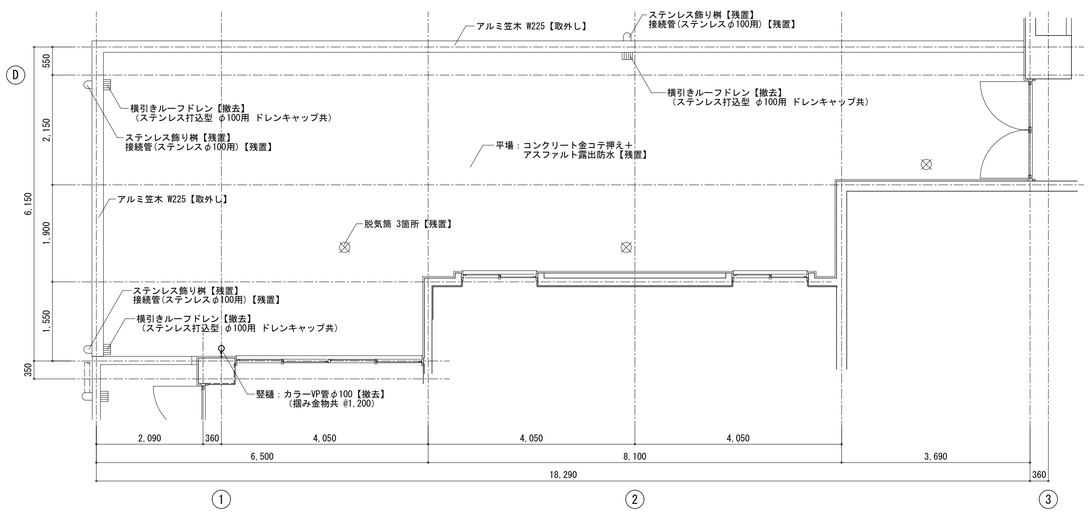



改修後

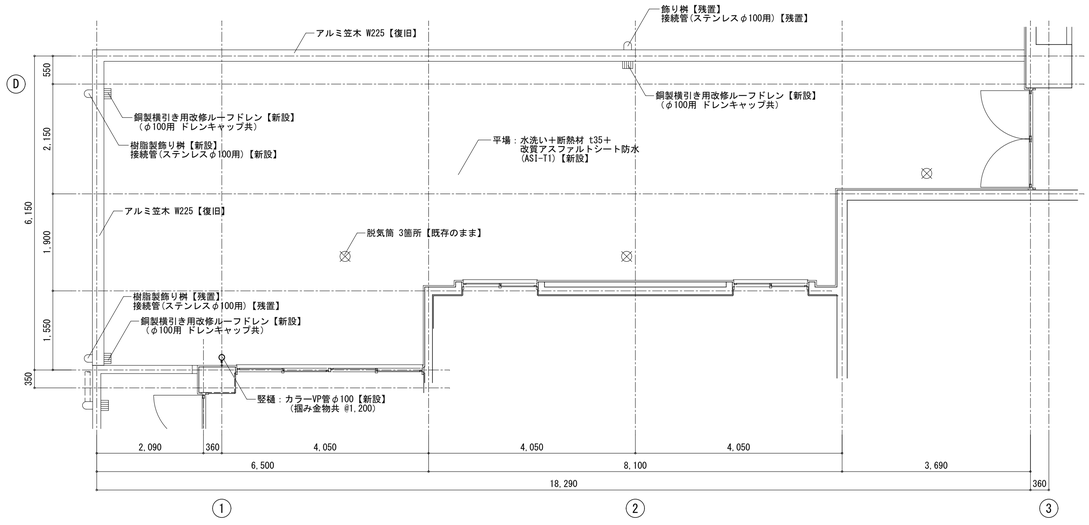



24　２階吹抜上部屋根　平面詳細　　1/60

改修前




改修後




| 凡例 | ※注記 |
|---|---|
| | ※新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。 |

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　断面詳細図（4）

Scale　A1：1/50　A3：1/100

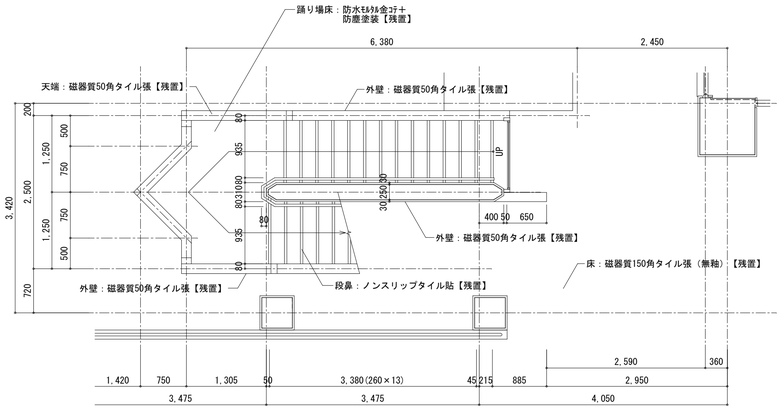
作図　令和 7 年 9 月

図面番号　A-047

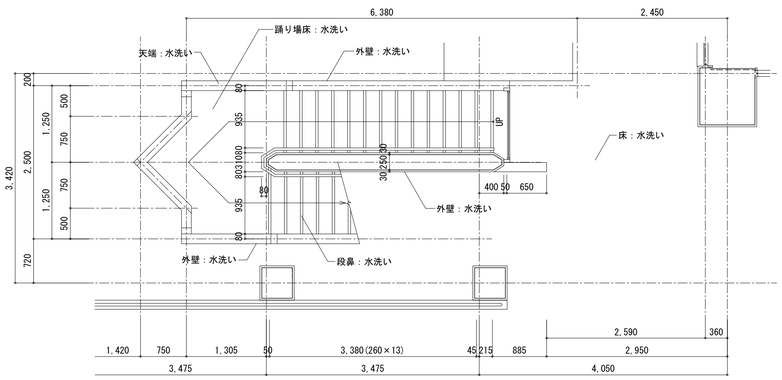
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

25 屋外階段　1階　平面詳細　1/50

改修前

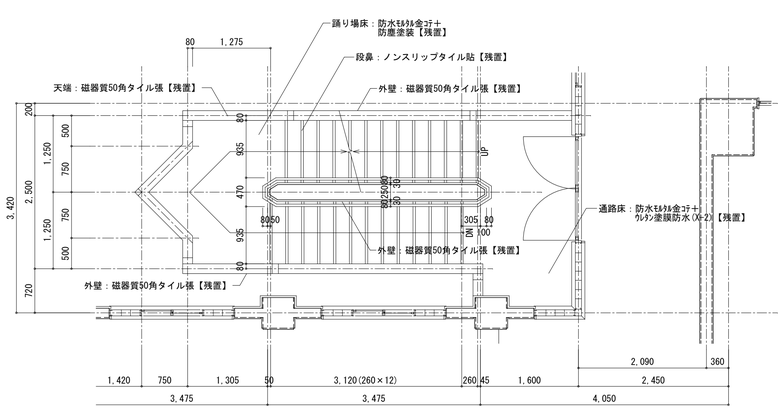



改修後

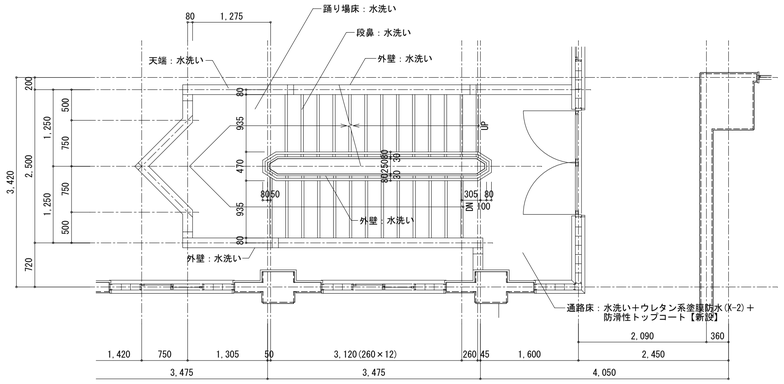



26 屋外階段　2階　平面詳細　1/50

改修前

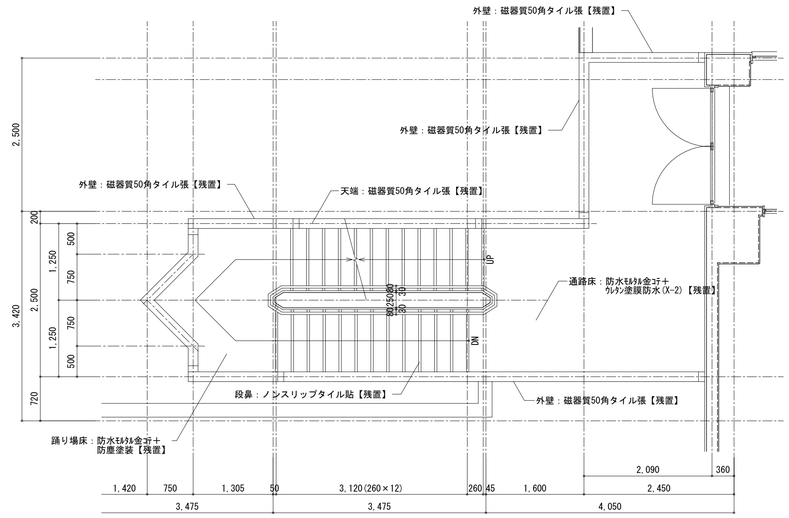



改修後

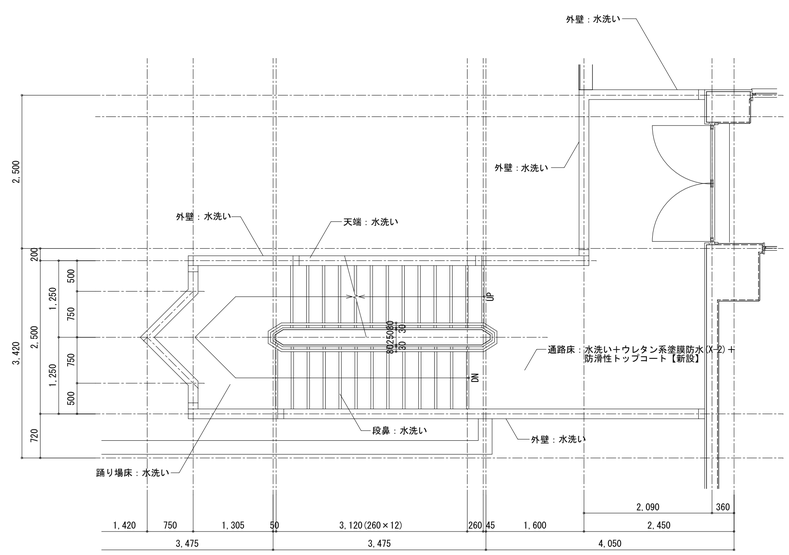



27 屋外階段　3階　平面詳細

改修前




改修後




凡例

※注記

※新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟
断面詳細図（5）

Scale　A1：1/50
A3：1/100

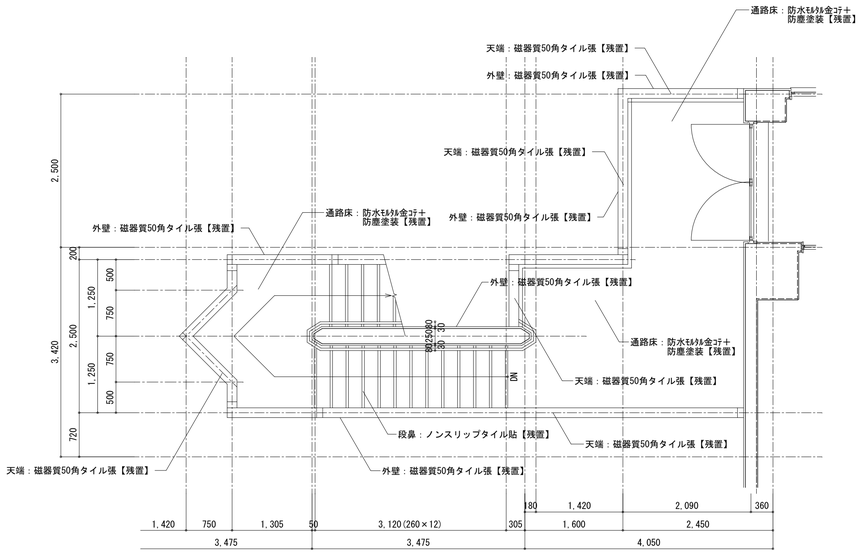
作図　令和７年９月

図面番号　A-048

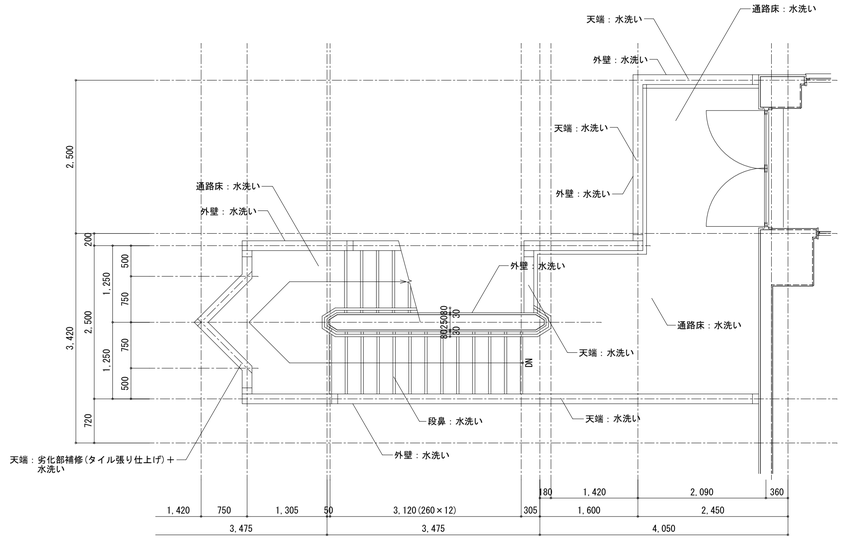
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

28　屋外階段　４階　平面詳細　1/50

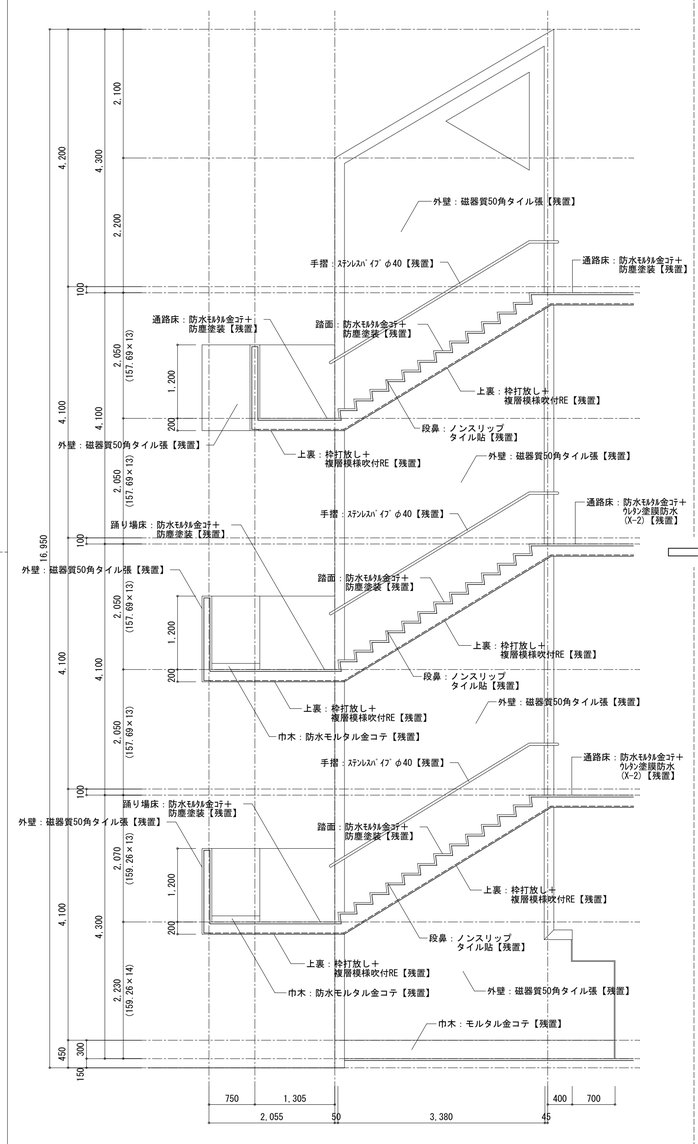
改修前



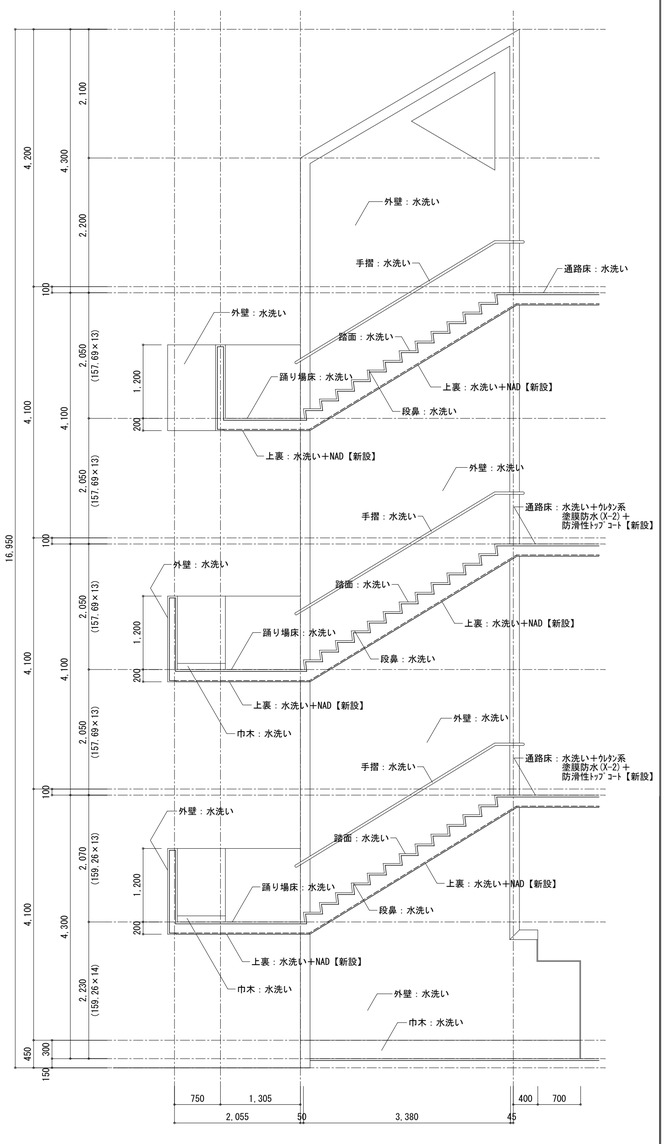

改修後




29　屋外階段　断面詳細　1/50




改修後




凡例

※注記

※新設するドレンキャップについては、ステンレスワイヤー等にてドレンキャップを繋ぎ、板バネが外れても、すぐに落下しない対策を講じること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟
断面詳細図（6）

Scale　A1：1/50
A3：1/100

作図　令和７年９月

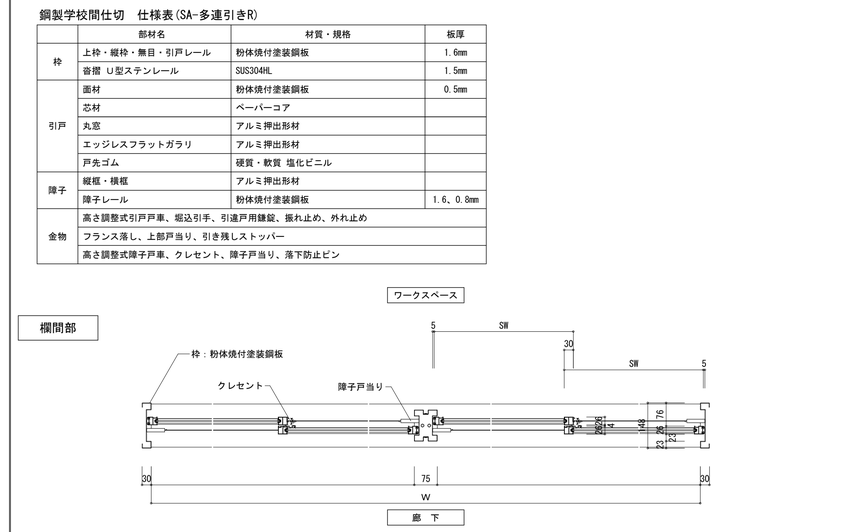
図面番号　A-049

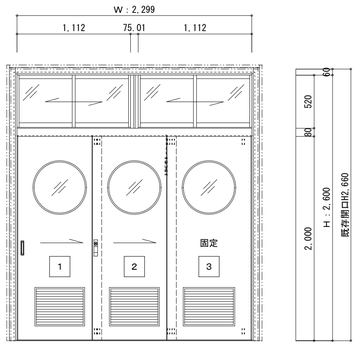
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

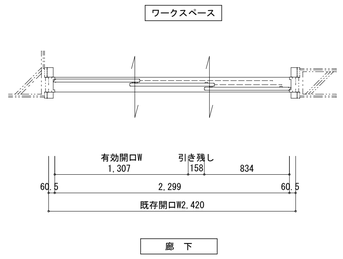
## 鋼製学校間仕切　1/10,30

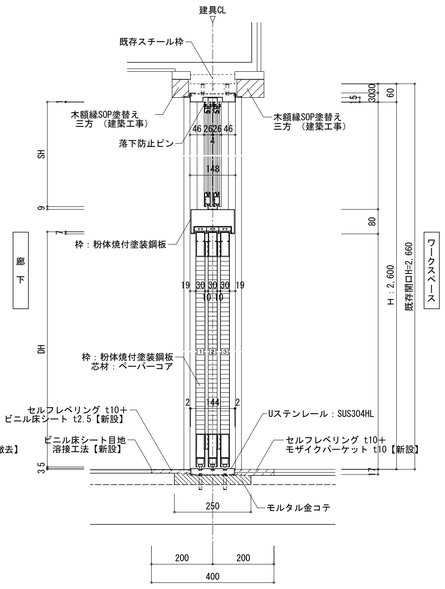
### 鋼製学校間仕切　仕様表(SA-多連引きR)

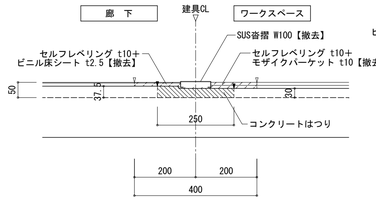
| | 部材名 | 材質・規格 | 板厚 |
|---|---|---|---|
| 枠 | 上枠・縦枠・無目・引戸レール | 粉体焼付塗装鋼板 | 1.6mm |
| | 吊掛 U型ステンレール | SUS304HL | 1.5mm |
| 引戸 | 面材 | 粉体焼付塗装鋼板 | 0.5mm |
| | 芯材 | ペーパーコア | |
| | 丸窓 | アルミ押出形材 | |
| | エッジレスフラットガラリ | アルミ押出形材 | |
| | 戸先ゴム | 硬質・軟質 塩化ビニル | |
| 障子 | 縦框・横框 | アルミ押出形材 | |
| | 障子レール | 粉体焼付塗装鋼板 | 1.6、0.8mm |
| 金物 | 高さ調整式引戸戸車、掘込引手、引違戸用鎌錠、振れ止め、外れ止め | | |
| | フランス落し、上部戸当り、引き残しストッパー | | |
| | 高さ調整式障子戸車、クレセント、障子戸当り、落下防止ピン | | |



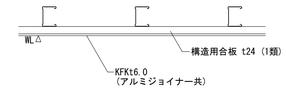



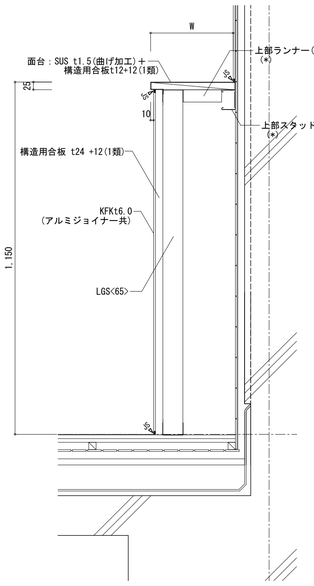

## トイレ　ステンレス面台、ライニング　1/10

| 場所 | | | 幅(W) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 職員男子便所 | 男子 | 小便器、SK | 270 | （１期工事） |
| | 男子 | 洗面カウンター | 270 | （１期工事） |
| 職員女子便所 | 女子 | 洗面カウンター | 160 | （１期工事） |
| ２～４階生徒用便所（北） | 男子 | 小便器 | 240 | （１期工事） |
| | 男・女 | SK | 110 | （１期工事） |
| ~~1階生徒用便所（東）~~ | ~~男子~~ | ~~小便器~~ | ~~250~~ | ~~（2期工事）~~ |
| | ~~男・女~~ | ~~SK~~ | ~~110~~ | ~~（2期工事）~~ |
| ~~2～4階生徒用便所（東）~~ | ~~男子~~ | ~~小便器~~ | ~~220~~ | ~~（2期工事）~~ |
| | ~~男・女~~ | ~~SK~~ | ~~110~~ | ~~（2期工事）~~ |




平面

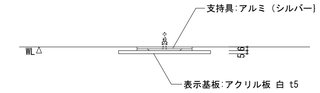
・ライニング側面小口部分は、同材にて塞ること
・（*）印は幅110超の場合に取付けること
JS シーリング(SR-1)防カビ#10を示す

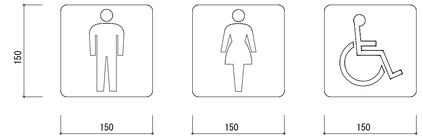



## ピクトサイン　1/5

| 仕様 | 材質 | 仕上 |
|---|---|---|
| 平付型 | 表示基板:アクリル板 白 t5<br>支持具:アルミ（シルバー） | UV印刷 |

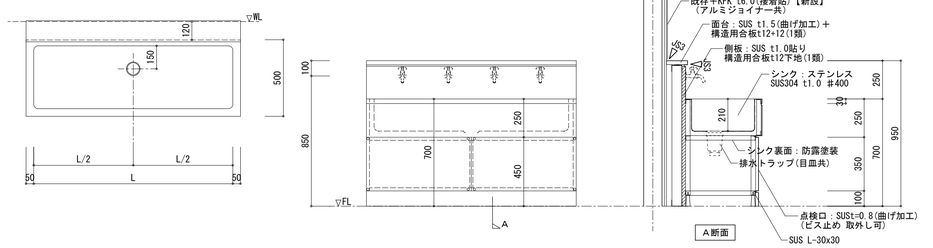
※施工図にて監督職員の承諾を得ること。



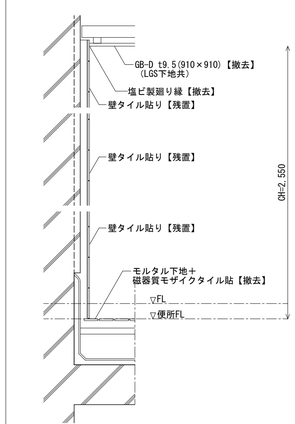



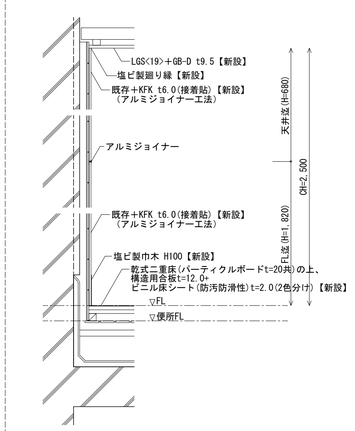

## 便所手洗い流し台新設　1/20

| 場所 | | 長さ(L) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ２～４階生徒用便所（北） | 男子・女子 | 2,085 | 蛇口：4箇所　（１期工事） |
| ~~1階生徒用便所（東）~~ | ~~男子・女子~~ | ~~2,440~~ | ~~蛇口：4箇所　（2期工事）~~ |
| ~~2～4階生徒用便所（東）~~ | ~~男子~~ | ~~1,200~~ | ~~蛇口：2箇所　（2期工事）~~ |
| ~~2～4階生徒用便所（東）~~ | ~~女子~~ | ~~1,500~~ | ~~蛇口：3箇所　（2期工事）~~ |

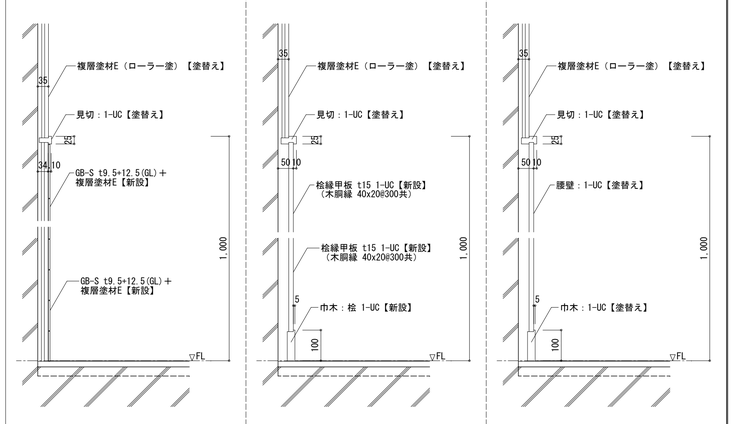



## 便所 壁化粧ケイ酸カルシウム板接着貼り　1/10




## 腰壁・壁部詳細　1/10




### 凡例

JS* シーリング打替え位置を示す
3：手洗い流し台：SR-1

JS3

### ※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　部分詳細図（１）

Scale　A1：図示
A3：図示×2

作図　令和７年９月

図面番号　A-050

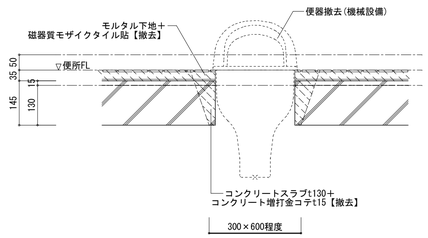
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

## 便所 和便器撤去部（１階）　1/10

**改修前**

・既存スラブ筋
　短辺：D10, 13@150 ダブル
　長辺：D10, 13@200 ダブル
・便器撤去に伴う床撤去部はできる限り
　既設鉄筋を残すこと。

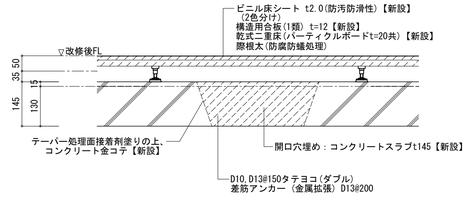
撤去範囲を示す




**改修後**

※使用材料
　コンクリート強度：21+3N
・汚垂タイル下、面台下はビニル床シート（防汚防滑性）貼りは無しとする。

新設範囲を示す

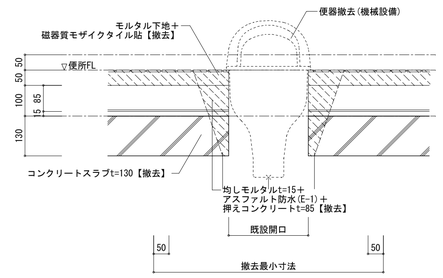



## 便所 和便器撤去部（２～４階）　1/10

**改修前**

・既存スラブ筋
　短辺：D10, 13@150 ダブル
　長辺：D10, 13@200 ダブル
・便器撤去に伴う床撤去部はできる限り
　既設鉄筋を残すこと。

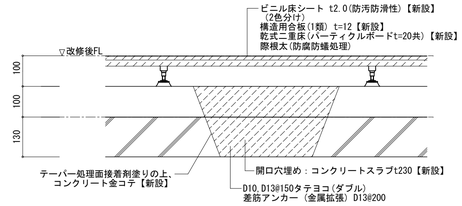
撤去範囲を示す




**改修後**

※使用材料
　コンクリート強度：21+3N
・汚垂タイル下、面台下はビニル床シート（防汚防滑性）貼りは無しとする。

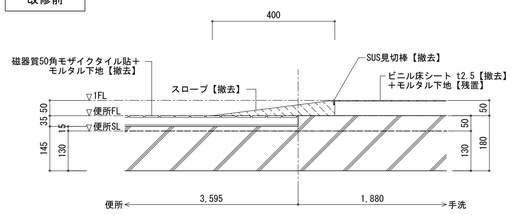
新設範囲を示す



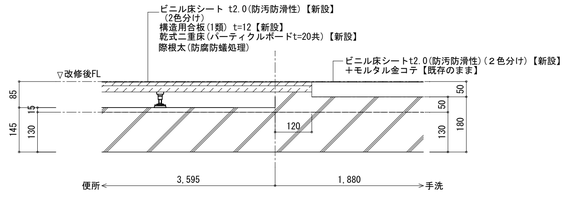

## 便所 手洗ー便所境界部詳細（１階）　1/10

**改修前**

注：施工前に現況を十分に確認し、相違がある場合は監督員と協議を行う。



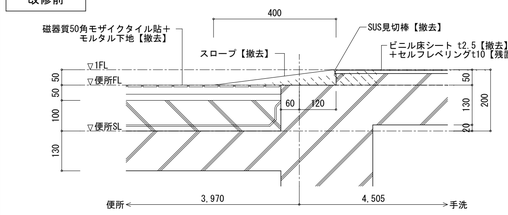

**改修後**



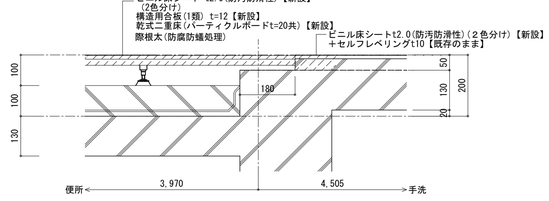

## 便所 手洗ー便所境界部詳細（２～４階）　1/10

**改修前**

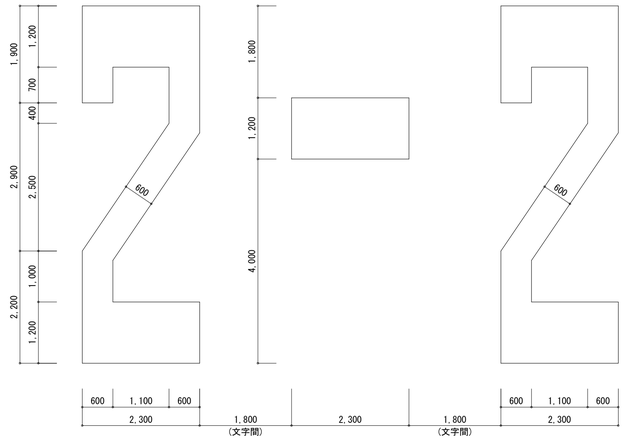
注：施工前に現況を十分に確認し、相違がある場合は監督員と協議を行う。




**改修後**




## 公共建物識別番号表示　1/60

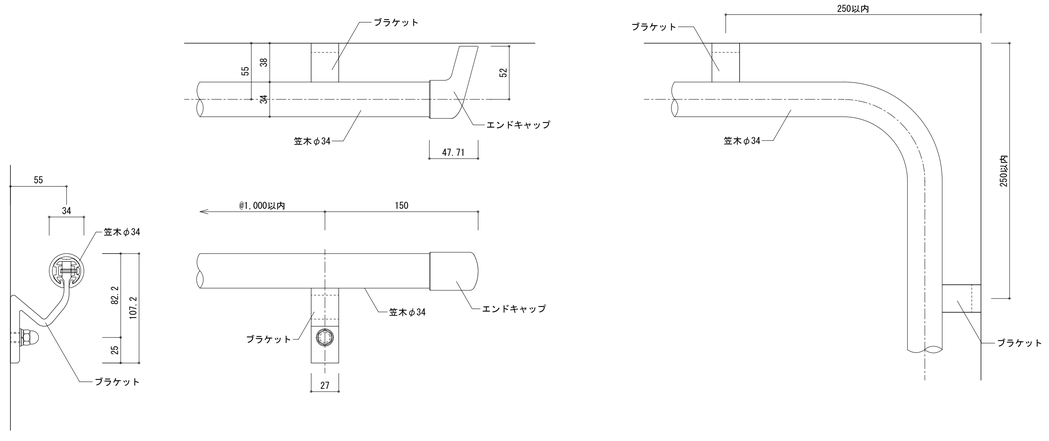



識別番号　2-2

標示位置
　標示の方向は、建物に平行又は直角とし、原則として南方向から真向きに見える位置に標示するものとする。

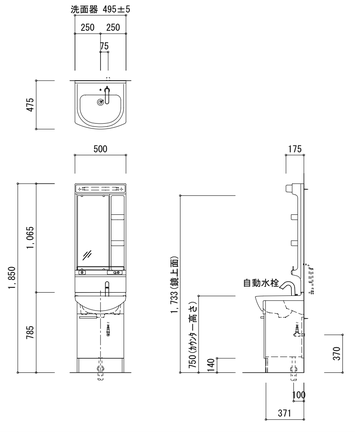
塗装仕様
（ア）素地調整　既存の標示等があれば、発注者と協議のうえ剥離し、粉化物汚れを十分除去したうえで、プライマー処理を施すものとする。
（イ）塗装
・塗装規格　路面標示用塗料常温型　JIS－K5665　１種とする。
（駐車場等のアスファルト舗装に施する場合は、JIS－5665 2種とする。）
・ガラスビーズ　ガラスビーズ（JIS－R3301）を文字の塗装表面にムラのないよう散布し、付着させるものとする。
・色彩　原則白色又はオレンジ色とする。
ただし、屋上の地色が同系色の場合は、この限りでない。
（ウ）その他　塗装時に特に指定する箇所以外は焼付けを行わないこととし、適正な養生を施すこととする。

## 室内補助手摺詳細　1/3




## 洗面化粧台詳細　1/30

**参考図**

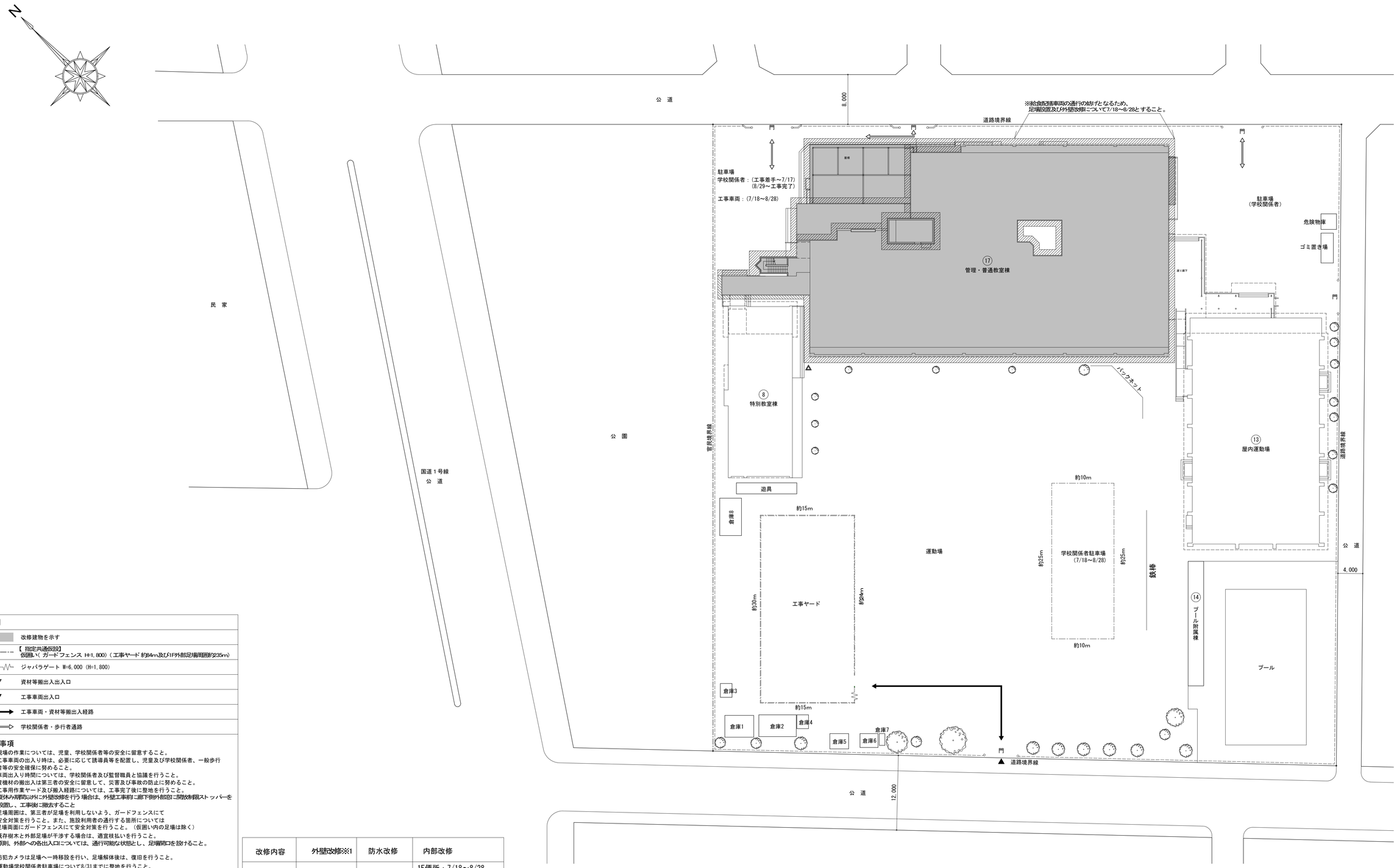



## ※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟　部分詳細図（２） | Scale A1：1/50 A3：1/100 | 図面番号 A-051 |
| | | 作図　令和７年９月 | |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和




| 凡例 | |
|---|---|
| | 改修建物を示す |
| | 【 指定共通仮設】<br>仮囲い( ガードフェンス H=1,800)（工事ヤード 約84m及び1F外部足場周囲約235m） |
| | ジャバラゲート W=6,000（H=1,800） |
| ▽ | 資材等搬出入出入口 |
| ▼ | 工事車両出入口 |
| | 工事車両・資材等搬出入経路 |
| | 学校関係者・歩行者通路 |

**特記事項**

※現場の作業については、児童、学校関係者等の安全に留意すること。
※工事車両の出入り時は、必要に応じて誘導員等を配置し、児童及び学校関係者、一般歩行者等の安全確保に努めること。
※車両出入り時間については、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
※資機材の搬出入は第三者の安全に留意して、災害及び事故の防止に努めること。
※工事用作業ヤード及び搬入経路については、工事完了後に整地を行うこと。
※夏休み期間以外に外壁改修を行う場合は、外壁工事前に廊下側外部窓に開放制限ストッパーを設置し、工事後に撤去すること
※足場周囲は、第三者が足場を利用しないよう、ガードフェンスにて安全対策を行うこと。また、施設利用者の通行する箇所については足場周囲にガードフェンスにて安全対策を行うこと。（仮囲い内の足場は除く）
※既存樹木と外部足場が干渉する場合は、適宜枝払いを行うこと。
※原則、外部への各出入口については、通行可能な状態とし、足場開口を設けること。

※防犯カメラは足場へ一時移設を行い、足場解体後は、復旧を行うこと。
※運動場学校関係者駐車場について8/31までに整地を行うこと。
※足場資材置き場について、学校関係者及び監督職員と協議を行うこと。
※重機・車両等の車両進入部分について、支障の無いよう、事前に調査の上、監督職員・施設管理者と協議の上、養生を行うこと

| 改修内容 | 外壁改修※1 | 防水改修 | 内部改修 |
|---|---|---|---|
| 施工可能期間 | 契約日～8/28 | 契約日～8/28 | 1F便所：7/18～8/28<br>2～4F便所：7/18～9/25<br>昇降口天井：7/18～8/28<br>建具：7/18～8/28 |

※1．南側外壁については夏休み中の施工ですが、協議の上、受注者の責任において安全対策を行い、学校運営に支障のない作業内容に限定すれば、1学期から施工可能となる場合があります。

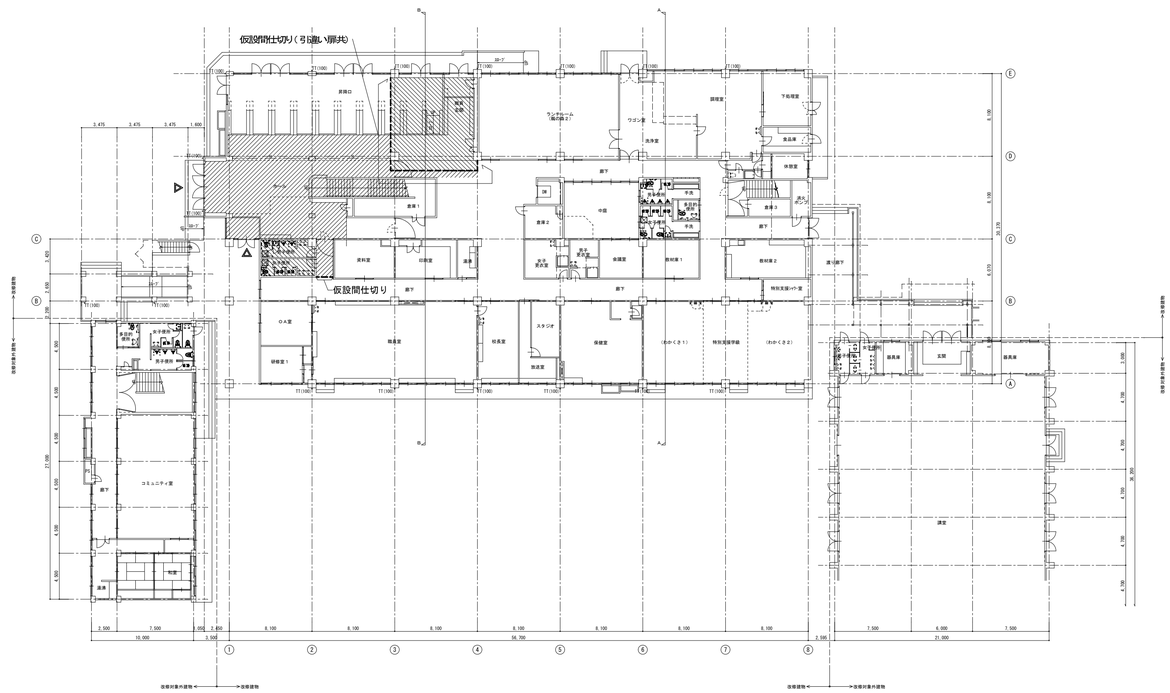
※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

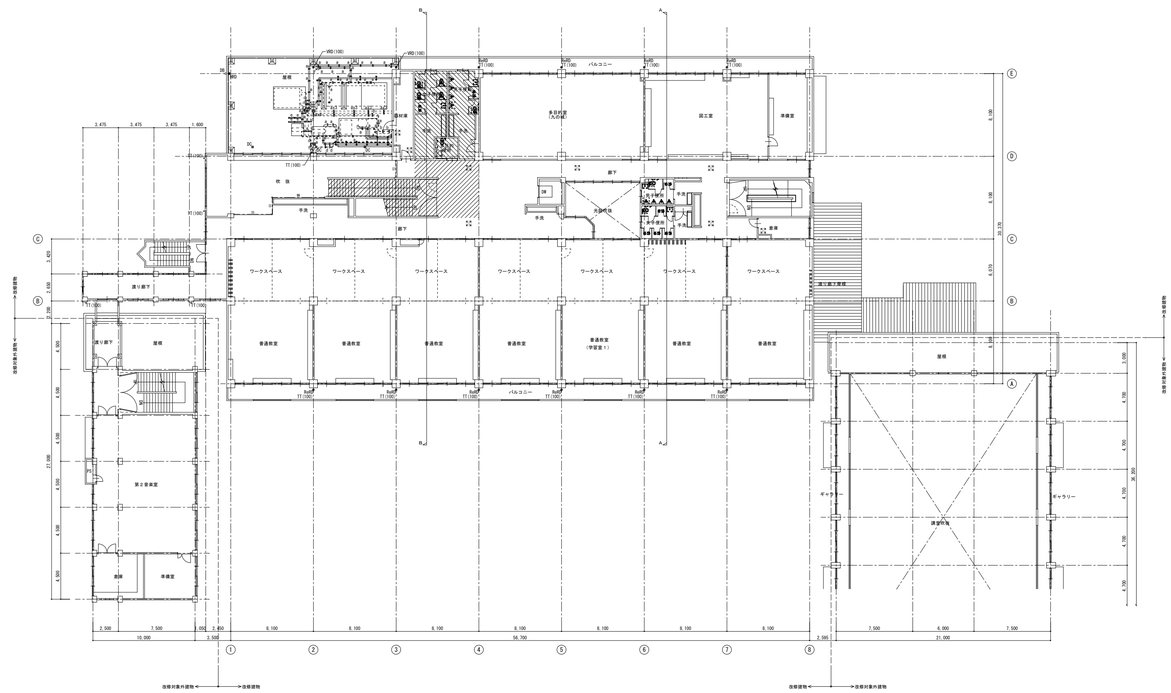
| 図面名 | 管理特別教室棟<br>仮設計画図（外部） | Scale A1：1/300,1/4,000<br>A3：1/600,1/8,000 | 図面番号 |
|---|---|---|---|
| | | 作図　令和７年９月 | A-052 |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

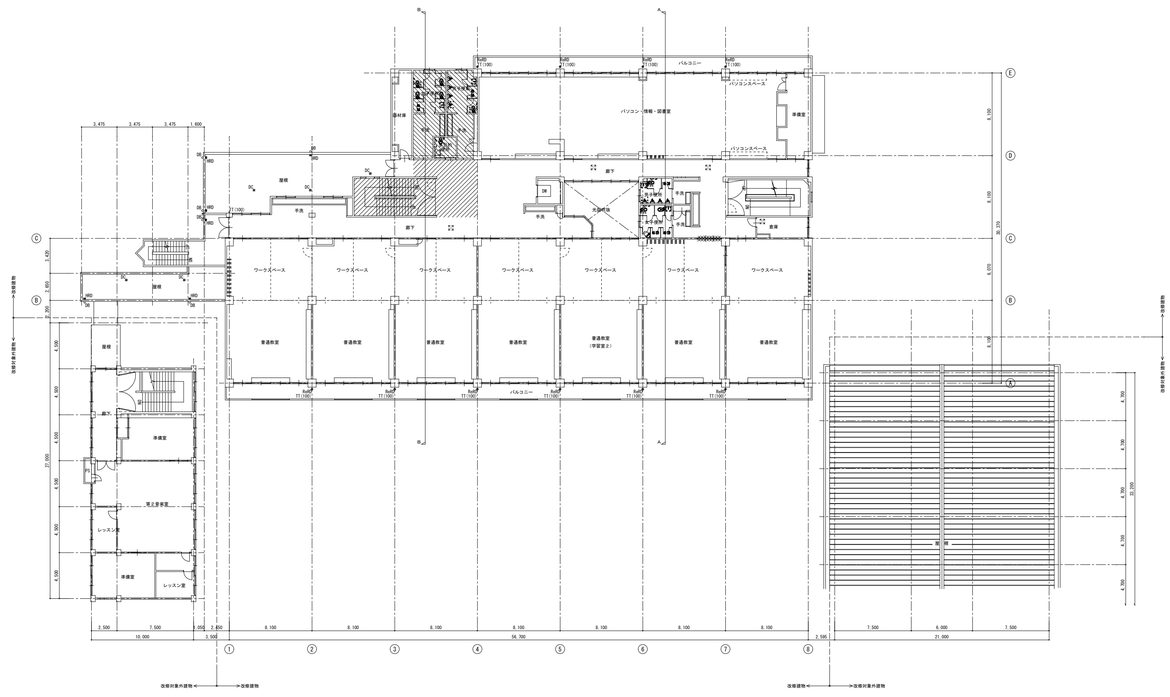
## １階　内部仮設参考図



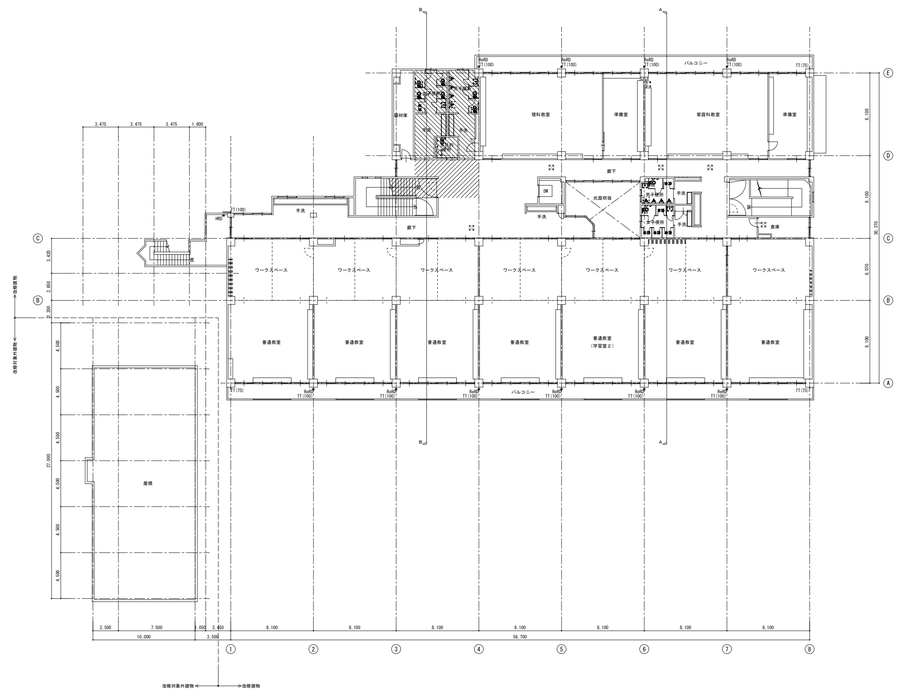

## ２階　内部仮設参考図

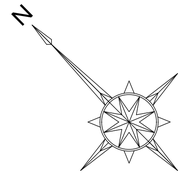



## ３階　内部仮設参考図




## ４階　内部仮設参考図




凡例

- 内部仕上足場（脚立足場）（夏休み期間中）
  トイレ部分は9/25まで設置可能とする。
- 養生（搬出入路部分）（夏休み期間中）
- 仮設間仕切（Ｂ種）（夏休み期間中）
- ▽ 資材等搬出入出口

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　（１期工事）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 図面名 | 管理特別教室棟<br>仮設計画図（内部） | Scale A1：1/300<br>A3：1/600 | 図面番号 |
| | | 作図　令和７年９月 | A-053 |

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）　設計図

## 仕様書

### Ⅰ．工事概要

１．工事場所　　四日市市　北浜田　地内

２．建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階数 | 建築基準法による延べ面積（㎡） | 消防法施行令別表第一 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 管理教室棟 | RC造 | 地上４階、ＰＨ１階 | 5,638.00 | ７項 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

３．工事種目（○印の付いたものを適用する）

| 建物別及び屋外 ＼ 工事種別 ／ 工事種目 | 管理教室棟 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⊙ 電灯設備 | 改修　一式 | | | | | | |
| ・ 動力設備 | | | | | | | |
| ・ 電気自動車用充電設備 | | | | | | | |
| ・ 電熱設備 | | | | | | | |
| ・ 雷保護設備 | | | | | | | |
| ・ 受変電設備 | | | | | | | |
| ・ 発電設備 | | | | | | | |
| ・ 構内情報通信網設備 | | | | | | | |
| ・ 構内交換設備 | | | | | | | |
| ・ 情報表示設備 | | | | | | | |
| ・ 映像・音響設備 | | | | | | | |
| ⊙ 拡声設備 | 改修　一式 | | | | | | |
| ⊙ 誘導支援設備 | 改修　一式 | | | | | | |
| ・ テレビ共同受信設備 | | | | | | | |
| ⊙ 防犯カメラ設備 | 改修　一式 | | | | | | |
| ・ 駐車場管制設備 | | | | | | | |
| ・ 防犯・入退室管理設備 | | | | | | | |
| ⊙ 火災報知設備 | 改修　一式 | | | | | | |
| ・ 中央監視制御設備 | | | | | | | |
| ・ 構内配電線路 | | | | | | | |
| ・ 構内通信線路 | | | | | | | |
| ・ テレビ電波障害除去工事 | | | | | | | |
| ⊙ 撤去工事 | 改修　一式 | | | | | | |

４．指定部分　⊙ 無　・有（ 部位：　　）指定部分工期　令和　年　月　日

### Ⅱ．工事仕様

１．共通仕様

（１）図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。

⊙ 公共建築工事標準仕様書　（電気設備工事編）（令和７年版）（以下、「標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（令和７年版）（以下、「改修標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築設備工事標準図　（電気設備工事編）（令和７年版）（以下、「標準図」という。）

２．特記仕様

項目及び特記事項は○印の付いたものを適用する。なお、上位事項に○印がない下位事項は適用しない。

| 項目 | 特記事項 |
|---|---|
| １　適用区分 | 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。<br>・ 風圧力<br>風速　（V0＝34m/s）<br>地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　） |
| | ・ 積雪荷重<br>垂直積雪量（　・ 0.3m　・ 0.4m） |
| ２　他工事又は他工種との取合い | 工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。 |
| ３　週休2日制工事 | 「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和６年７月１９日改正適用）に基づく適用は下記による。<br>・ 週休2日制工事対象<br>・ 週休2日制工事（受注者希望型）対象<br>・ 週休2日制対象外工事（　・　工事の実働日数が30日未満の工事　・ 現場閉所困難な工事）<br>完全週休2日制工事（受注者希望型含む）の現場閉所日については下記による。<br>・土日閉所（ただし、　/　～　/　については土日作業とすること。）<br>・土日以外閉所<br>土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。<br>なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。 |
| ④ 施工条件 | 施工可能日　・ 土、日曜日、祝日施工有り　・ 指定無し<br>⊙ その他（　・ E-03　・ M-03　⊙ A-01，52，53　） |
| | 施工可能時間帯　・ 指定無し　⊙ 指定有り（　・ E-03　・ M-03　⊙ A-01，52，53　）<br>現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。<br>高さ５mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はﾌﾙﾊｰﾈｽ型を使用する。<br>完成確認及び完成検査時等の電源確保<br>機器の動作確認、電圧、極性、相回転、導通、通信等が確認できる電源等を確保する。<br>完成時の操作説明<br>総合盤、発電設備、中央監視設備、自動制御設備、電話設備等、操作の必要な機器は、施設管理者へ使用開始前に操作説明を行うものとする。<br>操作説明にあたって、操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えること。<br>工期内の保安管理<br>電気工作物の範囲が変更になった場合、工事着手から引渡しまでの電気保安管理等に掛かる費用は本工事に含まれる。<br>在来設備の一時停止に係る調整<br>電気設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する。 |
| ５　監督職員事務所 | 監督職員事務所を設けること。 |
| ⑥ 工事用電力<br>・水・その他 | ・ 工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。<br>⊙ 市支給。ただし現場において既設設備より供給可能な範囲に限る。 |
| ７　工事用仮設物 | 工事用仮設物を構内につくることができる。 |
| ８　足場その他 | ・ 別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。<br>・ 本工事で設置する。<br>「手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。<br>・ 内部足場等　（・　　）<br>・ 外部足場等　（・くさび緊結式（手すり先行工法）　・　　） |
| ９　交通安全管理 | 交通誘導員　　・ 配置する　　名以上（大型車の出入は必ず）　・配置しない<br>・ 交通誘導警備員Ａ　　・ 交通誘導警備員Ｂ |

| 項目 | 特記事項 |
|---|---|
| ⑩ 施工調査 | ⊙ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。<br>（定性分析により石綿が含有されている場合は、定量分析を実施する。）<br>・ 既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。 |
| 11　非破壊検査等 | 構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。 |
| ⑫ 既存躯体への穿孔 | 穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 |
| ⑬ 耐震安全性の分類と耐震施工 | 設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。⊙ すべて　・（　　）以外　の100kg以上の機器を対象とする。<br>（１）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。<br>設計用標準水平震度 |

| 設置場所 | 機器種別 | ⊙ 特定の施設 | | ・ 一般の施設 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階・屋上及び塔屋 | 機器 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 防振支持の機器 | 2.0 | 2.0 | 2.0 | 1.5 |
| | 水槽類 | 2.0 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| 中間階 | 機器 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 防振支持の機器 | 1.5 | 1.5 | 1.5 | 1.0 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| 地階・１階 | 機器 | 1.0 | 0.6 | 0.6 | 0.4 |
| | 防振支持の機器 | 1.0 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |
| | 水槽類 | 1.5 | 1.0 | 1.0 | 0.6 |

上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。
中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの
重要機器は次による。
⊙ 配電盤　・ 発電装置　・ 直流電源装置　・ 交流無停電電源装置
・ 交換機　・ 火災報知受信機　・ 中央監視制御装置
・ キュービクル　・ その他（　　）
（２）設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。

14　建設発生土の処理 ・ 埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。
・ 構外搬出適切処理とする。
※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。

15　埋戻し土・盛土 地中埋設管まわりは山砂の類とし、図面に記載のない部分は掘削土の良質土で埋戻す。

⑯ 材料・機材の品質等 （１）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。
（２）主要機器の製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定めで許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
（3）「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。

⑰ 環境への配慮 （１）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。
①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
（２）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。
①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料

18　資源有効利用促進 ※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。
・ 建設副産物を搬出する際の計画
1. 土砂500m3以上
2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上
・ 再生資材を利用する際の計画
1. 土砂500m3以上
2. 砕石500t以上
3. 加熱アスファルト200t以上

| 項目 | 特記事項 |
|---|---|
| 19　工事の保険 | ・ 建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出）<br>・ 請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出）<br>保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） |
| 20　建設共済等 | 下記の制度について加入すること。<br>・ 法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出）<br>・ 建設業退職金共済制度　（掛金収納書を提出）<br>共済証紙購入額　請負額の0.5／1000以上<br>ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。<br>※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。<br>※2 増額の契約変更があった場合は、不足分を追加購入すること。 |
| 21　工事実績情報登録 | 工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（コリンズ）に登録すること。 |
| 22　施工体制台帳提出 | 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。 |
| ㉓ 資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項 | 資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。 |
| ㉔ 工事記録 | 工事記録は以下のように行うこと。<br>○工事写真<br>工程写真（埋設部、隠ぺい部、施工、材料等）及び完成写真<br>Ａ４用紙に印刷し、提出すること。<br>撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「営繕工事写真撮影要領（令和５年版）」に従うこと。<br>○工事日報、納品伝票、出荷証明<br>工事日報、納品伝票の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。 |
| ㉕ 完成時の提出図書 | 下記のものを提出すること。<br>○ 工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。<br>○ 完成図　CADデータ（JW CAD）　PDFデータ　（DVD）（１）枚<br>○ 盤図データ　CADデータ（JW CAD）又は PDFデータ　（DVD）（1）枚<br>○ 完成図　（A1またはA2サイズで機械設備図と併せて二つ折り製本したもの）（１）部<br>○ 工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として完成図データと同一媒体とする。<br>○ 保全に関する資料等　（１）部<br>● 監督職員の指示により提出するもの。　・ 完成図（A4版に製本したもの）　・（　　） |
| ㉖ 施工図等の取扱い | 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 |
| 27　地中埋設標等 | 埋設深さは原則0.6m以下とし、それにより難い場合は監督職員と協議し決定すること。<br>（１）地中埋設標　　・ 要（図示による。）　・ 不要 |
| ㉘ 既設との取合い | 本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。 |
| ㉙ 電源周波数 | ６０Ｈｚとする。 |
| ㉚ 電気工作物の種類と電気保安技術者 | ⊙ 事業用電気工作物　・ 一般用電気工作物<br>電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。<br>電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。<br>電気保安技術者　事業用電気工作物：電気主任技術者　一般用電気工作物：電気工事士 |
| ㉛ 電気工事士 | 契約電力５００ｋW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。 |
| ㉜ 仮設備工事 | 仮設備期間（　・ 図示　　・　　）<br>仮電源等　（　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 電灯設備　⊙ 図示　　） |
| ㉝ 発生材の処理 | ・ 引渡しを要するもの<br>・ 金属類（ ・ 機器 ・ ダクト ・ その他の金物 ）<br>⊙ 引渡しを要するもの以外<br>構外搬出適切処理とする。<br>廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。<br>・ 特別管理産業廃棄物<br>ＰＣＢ使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。<br>（ＰＣＢ使用機器　　）<br>・ 蓄電池<br>広域認定事業者による処理を行い、管理票の写しを提出すること。<br>・ イオン化式感知器<br>放射性同位元素等の規制に関する法律に基づき収集運搬、廃棄を行うこと。<br>・ 再使用又は再資源化を図るもの |

| 項目 | 特記事項 |
|---|---|
| ㉞ 電線本数、管路等 | 分電盤、制御盤及び端子盤等の二次側以降の配管・配線等は、経路、電線太さ、電線本数、管径、開閉器のトリップ値は監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。<br>また、機械室等の床埋設配管は図面上 PF管で記載している場合であっても、立上げ部分等の露出配管部分は金属管とし、その場合は全長に亘って接地線を設ける。<br>呼び線として、長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を 挿入する。<br>メタルモールは立ち下がり部分にコーナーボックスを利用すること。 |
| ㉟ ｹｰﾌﾞﾙ行先表示 | 本工事で施工するケーブル等については行先表示札を取り付けること。<br>記載内容は電源（GCJ∅200V等）、受注者名、施工者名等とし、詳細は監督職員の指示による。 |
| ㊱ 盤 | 盤を改修した際には盤内の単結図も修正すること。 |
| ㊲ 合成樹脂管配線 | 合成樹脂製可とう電線管及び付属品は、ＰＦ管（単層管）の波付管以上を使用する。 |
| ㊳ 金属製電線管の塗装・仕上げ | 下記の金属製電線管の露出配管は塗装、めっき等の仕上げを行う。<br>⊙ 屋外（内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所：全て（塗装箇所除く）<br>・ 屋内（ 内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ箇所　地階、ピット階 ）<br>・ 塗装（　・ 屋内　・ 屋外　・ 全て　・ 図示　） |
| ㊴ 最上階の埋込配管 | 最上階の天井スラブへの埋込配管は、原則として避けるものとする。 |
| ㊵ フラッシュプレート | 図面に特記なき場合は、⊙ 金属製（ステンレス、新金属も含む）　・ 樹脂製　とする。 |
| ㊶ タンプラスイッチ | タンプラスイッチはネーム付とする。 |
| ㊷ 配線器具等 | 配線器具（ｽｲｯﾁ,ｺﾝｾﾝﾄ他）の現場納り等による仕様、数量については監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 |
| ㊸ 位置ボックス | 図面に特記なき場合は、⊙ 金属製　・ 樹脂製　とする。<br>位置ボックスで金属製を使用する場合、電力用には接地を施す。<br>ただし、耐火又は準耐火構造の壁等に用いる場合は、上記によらず金属製とする。 |
| 44　二重床内器具 | 二重床内に設置する器具の位置表示として、マーキングを直上の天井面に付けること。<br>また、用途に応じ色分けすること。 |
| ㊺ 機器仕様 | 使用機器の製造者選定による若干の仕様の相違は、監督職員の承諾を得れば可とする。 |
| ㊻ 施工者銘板 | 新設、改造する盤の扉裏面に施工者銘板を設置すること。<br>記載内容は施工年度、工事名称、ケーブル番号、ケーブルの種類（EM-CE2mm²-3C等）とした（改造した場合はその内容を記載したものを含む）施工者銘板を設置すること。 |
| 47　照明設備の照度測定 | 一般照明及び非常照明の照度測定を行う。照度測定箇所は、監督職員の指示による。 |
| 48　自家発電設備の配管工事等 | 原動機、発電機と付属各機器間の燃料油、冷却水などの配管、制御用配線等は、監督職員の承諾を受けて図面と多少相違しても差し支えない。 |
| 49　天井仕上げ表示 | 図面において、室名に（ ）を付したものは直天井を示し、それ以外は二重天井の部屋を示す。 |
| 50　インバータ装置の規約効率 | 三相可変速電動機用インバータ装置の規約効率は次の数値以上とする。 |

| 電動機出力（kW） | 0.4 | 0.75 | 1.5 | 2.2 | 3.7 | 5.5 | 7.5 | 11 | 15 | 18.5 | 22 | 30 | 37 | 45 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 規約効率　（%） | 86.0 | 88.5 | 92.0 | 93.0 | 94.0 | 94.0 | 94.5 | 94.5 | 95.0 | 95.5 | 95.5 | 95.5 | 95.5 | 95.5 |

備考（１）規約効率は、JET-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
（２）規約効率は、JIS Ｃ 4212「高効率低圧三相かご形誘導電動機」の定格電圧200V、IP4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。

| 図面名 | 特記仕様書<br>建築電気設備１ | 縮尺 | 1:NO<br>(A1) | 設計番号 | 工事名 | 図面番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 作図 令和７年１１月 | 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）　設計図 | E-01 |
| | | | | | | / |

四日市市都市整備部営繕工務課　　１級建築士　登録第　号　四日市市諏訪町１番５号

令和7年11月版

| 項　目 | 特　記　事　項 |
|---|---|

(51) 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

| 名　　称 | 測　　点 | 取付高さ　[mm] |
|---|---|---|
| ブラケット（一般） | 床上 ～ 中心 | 2,100 |
| 〃　（踊場） | 〃 | 2,500 |
| 〃　（鏡上） | 鏡上端 ～ 中心 | 150 |
| スイッチ　（一般） | 床上 ～ 中心 | 1,200 |
| 〃　（多機能便所用） | 〃 | 1,200 |
| 自動スイッチ（操作スイッチ）　照明、換気扇用等 | 〃 | 1,800 |
| ｺﾝｾﾝﾄ，電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ，ﾃﾚﾋﾞ端子（一般） | 〃 | 300 |
| 〃　（和室） | 〃 | 150 |
| 〃　（台上） | 台上 ～ 中心 | 150 |
| コンセント（土間） | 床上 ～ 中心 | 800 ～ 1,300 |
| コンセント（電動車いす充電用） | 〃 | 900 |
| 引込開閉器箱（低圧） | 床上 ～ 上端 | 1,500 |
| 分電盤，制御盤，実験盤 | 床上 ～ 中心 | 1,500（上端1,900以下） |
| 開閉器箱 | 〃 | 1,500 |
| 電磁開閉器用押しボタン | 〃 | 1,200 |
| 接地用端子箱 | 地上，床上 ～ 中心 | 500 |
| 試験用接続端子箱 | 床上 ～ 下端 | 800 |
| 接地極埋設標 | 地上 ～ 中心 | 600 |
| 給油ボックス | 地上 ～ 給油口 | 1,000 |
| 室内端子盤（廊下・室内） | 床上 ～ 下端 | 300 |
| 中間端子盤（ＥＰＳ・電気室） | 床上 ～ 中心 | 1,500 |
| 壁付電話機 | 〃 | 1,300 |
| 親時計 | 〃 | 1,500（上端1,900以下） |
| 子時計，スピーカ | 〃 | （天井高）×0.9 |
| アッテネータ | 〃 | 1,200 |
| 表示盤 | 〃 | （天井高）×0.9 |
| 発信器（出退表示用） | 〃 | 1,200 |
| 外部受付用インターホン（子機） | 〃 | 標準図による |
| 壁付インターホン　（上記以外） | 〃 | 1,100 |
| 呼出ボタン（多機能便所用） | 〃 | 900 |
| 復帰ボタン（　〃　） | 〃 | 1,300 |
| 廊下表示灯（　〃　） | 〃 | 2,000 |
| テレビ機器収容箱 | 天井下 ～ 上端 | 200 |
| 火報受信機（複合盤） | 床上 ～ 操作部 | 800 ～ 1,500 |
| 副受信機 | 床上 ～ 中心 | 1,500 |
| 機器収容箱（火災報知設備） | 〃 | 800 ～ 1,500 |
| 発信機 | 〃 | 800 ～ 1,500 |
| 警報ベル | 〃 | （天井高）×0.9 |
| 表示灯（火災報知設備） | 〃 | （天井高）×0.8 |
| 連動制御器（自動閉鎖） | 〃 | 1,500 |
| ガス漏れ検知器（重ガス） | 〃 | 300 |
| ガス漏れ検知器（軽ガス） | 天井面 ～ 中心 | （天井高）－200 |
| 扇風機 | 天井下 ～ 上端 | （天井高）－200 |

（参考）天井面を基準とする取付高は、天井高さが 2,500mm から 3,000mm の場合に適用する。
天井高さが 3,000mm 以上の場合及び機器の使用に支障が生じる場合は、監督職員と協議する。

52 接 地 極

接地極の材料は下記による。なお接地棒ＥＢ(14φ)の長さは 1,500mm 以上とし、10φは
Ｗ＝30 Ｌ＝900mm 以上、14φは、Ｗ＝40 Ｌ＝1,200mm 以上としても差し支えない。

| 接 地 の 種 類 | 記　　号 | 接地抵抗値 | 接　地　極　（ 参　考 ） |
|---|---|---|---|
| ・ 共 同 接 地 | $E_{ABDC}$ | Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－ 組 |
| ・ 共 同 接 地 | $E_{BDC}$ | 10Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－３組 |
| ・ Ａ 種 | $E_{A}$ | 10Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－２組 |
| ・ Ｂ 種 | $E_{B}$ | Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－２組 |
| ・ Ｄ 種 | $E_{D}$ | 100Ω以下 | ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm） |
| ・ Ｃ 種 | $E_{C}$ | 10Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－２組 |
| ・ 高圧避雷器用 | $E_{LH}$ | 10Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－３組 |
| ・ 低圧避雷器用 | $E_{LL}$ | 10Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－２組 |
| ・ 構造体接地 | | | |
| ・ 交 換 機 用 | $E_{I}$ | 10Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－３組 |
| ・ 通 信 用 | $E_{AI}$ | 10Ω以下 | ＥＢ（14φ）×３連－３組 |
| ・ 通 信 用 | $E_{DI}$ | 100Ω以下 | ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm） |
| ・ 電話引込ロの保安器用 | $E_{LI}$ | 100Ω以下 | ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm） |
| ・ 測 定 用 | $E_{S}$ | | ＥＢ（10φ）×１　（Ｌ＝1,000mm） |
| | | | |
| | | | |

| 項　目 | 特　記　事　項 |
|---|---|

53 高効率誘導電動機の
配線用遮断器等の選定

高効率誘導電動機回路保護用の配線用遮断器等の選定は下記による。

200V三相誘導電動機回路の器具容量等

| 電　動　機 | | 器具容量、コンデンサ回路の配線 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定格出力 [kW] | 定格電流（参考値） [A] | 配線用遮断器等 [A] | | | 電流計 [A] | コンデンサ回路 | | コンデンサ [μF] | |
| | | 直入始動 | Y-Δ始動 | インバータ入力側 [A] | | 接続する電線(IV-1C)の最小太さ[mm²] | | | |
| | | MCCB | MCCB | | | 長さ5m以下 | 長さ5m以下 | 50Hz | 60Hz |
| 0.2 | 1.8 | 15 | — | 15 | 3 | 2 | 2 | 15 | 10 |
| 0.4 | 3.2 | 15 | — | 15 | 5 | 2 | 2 | 20 | 15 |
| 0.75 | 4.6 | 15 | — | 15 | 5 | 2 | 2 | 40 | 30 |
| 1.5 | 8 | 30 | — | 15 | 10 | 2 | 2 | 75 | 40 |
| 2.2 | 11.1 | 40 | — | 20 | 15 | 2 | 2 | 100 | 50 |
| 3.7 | 16.8 | 60 | — | 30 | 20 | 2 | 2 | 150 | 75 |
| 5.5 | 24.6 | 75 | 60 | 50 | 30 | 2 | 2 | 200 | 100 |
| 7.5 | 34 | 125 | 75 | 60 | 40 | 5.5 | 2 | 250 | 150 |
| 11 | 48 | 125 | 125 | 75 | 60 | 5.5 | 3.5/2 | 300 | 200 |
| 15 | 64 | 125 | 150 | 125 | 100 | 5.5 | 3.5 | 400 | 250 |
| 18.5 | 79 | 150 | 175 | 125 | 100 | 8 | 5.5/3.5 | 500 | 300 |
| 22 | 92 | 175 | 200 | 150 | 100 | 14 | 8/5.5 | 800 | 400 |
| 30 | 124 | 225 | 300 | 200 | 150 | 22 | 14/8 | 900 | 500 |
| 37 | 152 | 300 | 350 | 225 | 200 | 22 | 22/14 | 1,200 | 700 |

400V三相誘導電動機回路の器具容量等

| 電　動　機 | | 器具容量、コンデンサ回路の配線 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 定格出力 [kW] | 定格電流（参考値） [A] | 配線用遮断器等 [A] | | | 電流計 [A] | コンデンサ回路 | | コンデンサ [μF] | |
| | | 直入始動 | Y-Δ始動 | インバータ入力側 [A] | | 接続する電線(IV-1C)の最小太さ[mm²] | | | |
| | | MCCB | MCCB | | | 長さ5m以下 | 長さ5m以下 | 50Hz | 60Hz |
| 0.2 | 0.9 | 15 | — | — | 3 | 2 | 2 | 5 | 5 |
| 0.4 | 1.6 | 15 | — | 15 | 3 | 2 | 2 | 5 | 5 |
| 0.75 | 2.3 | 15 | — | 15 | 5 | 2 | 2 | 10 | 7.5 |
| 1.5 | 4 | 15 | — | 15 | 5 | 2 | 2 | 20 | 10 |
| 2.2 | 5.5 | 20 | — | 15 | 10 | 2 | 2 | 25 | 15 |
| 3.7 | 8.4 | 30 | — | 15 | 10 | 2 | 2 | 30 | 20 |
| 5.5 | 12.3 | 40 | 30 | 30 | 15 | 2 | 2 | 50 | 30 |
| 7.5 | 17 | 60 | 40 | 30 | 20 | 2 | 2 | 50 | 40 |
| 11 | 24 | 75 | 60 | 50 | 30 | 2 | 2 | 75 | 50 |
| 15 | 32 | 100 | 75 | 60 | 40 | 3.5 | 2 | 100 | 50 |
| 18.5 | 39.5 | 125 | 100 | 75 | 60 | 5.5 | 2 | 125 | 75 |
| 22 | 46 | 125 | 100 | 100 | 60 | 5.5 | 3.5/2 | 200 | 100 |
| 30 | 62 | 125 | 150 | 125 | 100 | 5.5 | 3.5 | 200 | 125 |
| 37 | 76 | 150 | 175 | 125 | 100 | 8 | 3.5 | 200 | 150 |
| 45 | 95 | 175 | 225 | 150 | 100 | 14 | 8/5.5 | 300 | 200 |
| 55 | 114 | 225 | 250 | 175 | 150 | 14 | 8/5.5 | 300 | 200 |
| 75 | 155 | 300 | 350 | 225 | 200 | 22 | 14/8 | 500 | 300 |
| 90 | 180 | 350 | 400 | 300 | 200 | 38 | 38/14 | 700 | 400 |
| 110 | 220 | 400 | 500 | 350 | 250 | 38 | 38/22 | 800 | 500 |

## アスベスト含有物の取扱い

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）　第９章

図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）」（以下「改修標仕」という。）による。
特記事項に記載の［ . . ］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

① 一般事項

労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
・ アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。
　石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
・ 石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
・ アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
・ アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

② アスベスト含有建材の処理工事

アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　・行わない　[9.1.1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　・行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　・行わない
施工箇所及び工法　※図示

③ アスベストの含有調査

事前調査（有資格者）　・ 行う　・　行わない　[9.1.2]
調査結果報告書等の貸与　・ 有　・　無
分析調査　・行う（対象箇所：　　）　・ 行わない
・定性分析　・定量分析
※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について（令和3年12月22日改正）」に基づき行う。
※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

④ アスベスト含有吹付け材の除去

アスベスト含有吹付材の有無　・有　・　無　[9.1.3]
除去吹付材（　　図示による　　）含有場所（　　図示による　　）
吹付けアスベストの施工数量調査　※行う
アスベスト粉じん濃度測定　※行う

表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

| 測定時期 | 測定名称 | 測　定　場　所 | 測　定　点　（各施工箇所ごと） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 処理作業前 | 測定１ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | （注）１ |
| | 測定２ | 施行区画周辺<br>又は、敷地境界 | 計２点 | 大気 |
| 処理作業中 | 測定３ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | （注）１ |
| | 測定４ | セキュリティーゾーン入口 | １点 | 空気の流れを確認 |
| | 測定５ | 集じん・排気装置<br>の排出口<br>（処理作業室外の場合） | １点 | （注）２ |
| | 測定６ | 施行区画周辺<br>又は、敷地境界 | ４方向各１点 | － |
| 処理作業後<br>（隔離シート撤去前） | 測定７ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | （注）１ |
| | 測定８ | 施行区画周辺<br>又は、敷地境界 | ４方向各１点 | 大気 |

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
　　300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認

表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

| | 測　定　3 | 測定1，2，4，6，7，8 | 測　定　5 |
|---|---|---|---|
| 計数機器 | 位相差顕微鏡 | | |
| メンブレンフィルタの直径 | 25mm | | 47mm |
| 試料の吸引流量 | 1l/min | 5l/min | 10l/min |
| 試料の吸引時間 | 5 min | 120 min | 210 min |
| 試料の透明化 | アセトンートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法 | | |
| 計数条件 | 総アスベスト繊維数　　200本又は視野数50視野 | | |
| 計数アスベスト | 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上 | | |
| 定量限界 | 50 f/l | 0.5 f/l | 0.3 f/l |

作業場の隔離　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑤ アスベスト含有保温材等の除去

アスベスト含有保温材の有無　・有　・ 無　[9.1.4]
除去保温材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥ アスベスト含有成形板の除去

アスベスト含有成形板の有無　・有　・　無　[9.1.5]
除去成形板（　　図示による　　）含有場所（　　図示による　　）
作業場の区画　・行う　・行わない
処分方法
石綿含有石膏ボード
※管理型最終処分場で埋立処分する。
石綿含有石膏ボード以外
・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑦ アスベスト含有仕上塗材の除去

アスベスト含有仕上塗材の除去（除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等）ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。　[9.1.6]
アスベスト含有仕上塗材の有無　・有　・ 無
除去仕上塗材（　　）含有場所（　　）
撤去の範囲　・全面撤去　・図示による
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）
・水洗い工法　・手工具ケレン工法
・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法
・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法
・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法
上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。
除去工法の試験施工　・行う　※行わない
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。
作業場の隔離及び養生
・隔離養生不要　・隔離養生必要（負圧不要）・その他（　　）
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑧ アスベスト含有配管接続部シール材の除去

アスベスト含有シール材の有無　・有　・ 無
除去シール材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
除去工法
湿潤にて撤去を行い、適法に処分する事。
処分方法　・埋立処分
・アスベストの中間処理に適する溶融施設
・認定を受けた無害化処理施設

⑨ 特記事項

※本工事に配置管理させる者（有資格者）
※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）
　又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

暴力団等不当介入に関する事項
１．契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
(1)　不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
(2)　契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じたり、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
(3)　(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

＜喫煙に関する事項＞
　学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
＜現場代理人に関する事項＞
　工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。
＜随時検査＞
　設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第８条第６項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受験すること。

個人情報の取り扱いに関する事項
（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「法」という。）第６７条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるよう乙の従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、この従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第9において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及びこは、乙が前項の指示又は承諾により資料等を持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及びき損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第6の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、この従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又は乙の従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

障害者差別解消に関する事項
１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるものほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
２．対応指針に沿った対応
上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

| 図面名 | 特記仕様書<br>建築電気設備２ | 縮尺 | 1:NO<br>(A1) | 設計番号 | 作図 令和７年１１月 | 工事名 | 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）　設計図 | 図面番号 | E-02 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 四日市市都市整備部営繕工務課 | １級建築士　登録第　　号<br>四日市市諏訪町１番５号 | | / |

令和7年11月版

・図中、濃線にて示した力所を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする

# 電灯分電盤　１Ｌ－１　（屋内壁掛型）　鋼板製

## 改修前

受変電設備1A（1L-1,2L-1）より
ＡＣ　1φ3W
２１０／１０５Ｖ

ＣＶＴ１５０ｓｑ

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 放送アンプ | ３００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 放 |
| ロックカバー | 非常放送アンプ | ３００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 非 |
| | 電話主装置 | ３００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 話 |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 犯 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 防犯受話器 | ３００ | ロックカバー |
| 呼 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 呼出表示器 | ３００ | ロックカバー |
| | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |

ＭＣＣＢ　３Ｐ
４００／２５０

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ２Ｌ－１送り | １６４６０ | ＭＣＣＢ | 3 | １００ | １００ | ２００／１００ | L 1a |
| ２４Ｈ＋ＡＳ | 水銀灯 | ２１００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | ２００ | A |
| スペース | | | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ２００ | |
| | 庇（北）照明 | ６００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | A |
| | ピロティー　照明 | ２００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | C |
| | 職員室　照明 | １５７８ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 2 |
| | 廊下　照明 | ４００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 4 |
| | ホール　照明 | １２００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 6 |
| | ランチルーム　主照明 | １２００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 8 |
| | 昇降口　照明 | ３３８ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １０ |
| | ランチルーム<br>ダウンライト | ９００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １２ |
| | 放送室　照明 | ４２６ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １４ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １６ |
| | ホール・ランチルーム<br>コンセント | ５００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 2 |
| | 資料室・廊下<br>コンセント | ３００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 4 |
| | １Ｔ－１　コンセント | ５０ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 6 |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 8 |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １０ |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １２ |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １４ |
| | 放送室　コンセント | １２００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １６ |
| | 職員室　コンセント | ７００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １８ |
| | 職員室床　コンセント | ５００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２０ |
| | ＯＡ室　コンセント | １０００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２２ |
| 今回 | 便所　コンセント | １５０ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２４ |
| | 外壁コンセント（西） | １５０ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２６ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２８ |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| | ２００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | | | スペース |
| | ２００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | | | スペース |
| B | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 庇（南）　照明 | | ２４Ｈ＋ＡＳ |
| 1 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 職員室　照明 | １０００ | |
| 3 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室他　照明 | １２００ | |
| 5 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ホール　照明 | １３２０ | |
| 7 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ホール　照明 | １３２０ | |
| 9 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 昇降口　照明 | １４４０ | |
| 11 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 吹抜　照明 | ６８０ | |
| 13 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 校長室　照明 | ５００ | |
| 15 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |
| 1 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ホール　コンセント | ６００ | |
| 3 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ＥＬＶピット内<br>コンセント | １５０ | |
| 5 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ＥＬＶ電源（将来）<br>コンセント | ３００ | |
| 7 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 湯沸室　コンセント | ６００ | |
| 9 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室　コンセント | ５００ | |
| 11 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室　コンセント | ５００ | |
| 13 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室　コンセント | ５００ | |
| 15 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | スタジオ　コンセント | ６００ | |
| 17 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 校長室　コンセント | ４００ | |
| 19 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 職員室床　コンセント | ６００ | |
| 21 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ＯＡ室　コンセント | １０００ | |
| 23 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | スタジオ天井<br>コンセント | １０００ | |
| 25 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 外壁コンセント（東） | １５０ | |
| 27 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |
| | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | | | スペース |

## 改修後

受変電設備1A（1L-1,2L-1）より
ＡＣ　1φ3W
２１０／１０５Ｖ

ＣＶＴ１５０ｓｑ

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 放送アンプ | ３００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 放 |
| ロックカバー | 非常放送アンプ | ３００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 非 |
| | 電話主装置 | ３００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 話 |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 犯 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 防犯受話器 | ３００ | ロックカバー |
| 呼 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 呼出表示器 | ３００ | ロックカバー |
| | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |

ＭＣＣＢ　３Ｐ
４００／２５０

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ２Ｌ－１送り | １６４６０ | ＭＣＣＢ | 3 | １００ | １００ | ２００／１００ | L 1a |
| ２４Ｈ＋ＡＳ | 水銀灯 | ２１００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | ２００ | A |
| スペース | | | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ２００ | |
| | 庇（北）照明 | ６００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | A |
| | ピロティー　照明 | ２００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | C |
| | 職員室　照明 | １５７８ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 2 |
| | 廊下　照明 | ４００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 4 |
| | ホール　照明 | １２００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 6 |
| | ランチルーム　主照明 | １２００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 8 |
| | 昇降口　照明 | ３３８ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １０ |
| | ランチルーム<br>ダウンライト | ９００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １２ |
| | 放送室　照明 | ４２６ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １４ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １６ |
| | ホール・ランチルーム<br>コンセント | ５００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 2 |
| | 資料室・廊下<br>コンセント | ３００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 4 |
| | １Ｔ－１　コンセント | ５０ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 6 |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | 8 |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １０ |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １２ |
| | 印刷室　コンセント | ５００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １４ |
| | 放送室　コンセント | １２００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １６ |
| | 職員室　コンセント | ７００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | １８ |
| | 職員室床　コンセント | ５００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２０ |
| | ＯＡ室　コンセント | １０００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２２ |
| 今回 | 便所　コンセント | １，４７０ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２４ |
| | 外壁コンセント（西） | １５０ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２６ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | １００ | ２８ |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | P | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| | ２００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | | | スペース |
| | ２００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | | | スペース |
| B | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 庇（南）　照明 | | ２４Ｈ＋ＡＳ |
| 1 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 職員室　照明 | １０００ | |
| 3 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室他　照明 | １２００ | |
| 5 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ホール　照明 | １３２０ | |
| 7 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ホール　照明 | １３２０ | |
| 9 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 昇降口　照明 | １４４０ | |
| 11 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 吹抜　照明 | ６８０ | |
| 13 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 校長室　照明 | ５００ | |
| 15 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |
| 1 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ホール　コンセント | ６００ | |
| 3 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ＥＬＶピット内<br>コンセント | １５０ | |
| 5 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ＥＬＶ電源（将来）<br>コンセント | ３００ | |
| 7 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 湯沸室　コンセント | ６００ | |
| 9 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室　コンセント | ５００ | |
| 11 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室　コンセント | ５００ | |
| 13 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 印刷室　コンセント | ５００ | |
| 15 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | スタジオ　コンセント | ６００ | |
| 17 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 校長室　コンセント | ４００ | |
| 19 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 職員室床　コンセント | ６００ | |
| 21 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | ＯＡ室　コンセント | １０００ | |
| 23 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | スタジオ天井<br>コンセント | １０００ | |
| 25 | １００ | ＥＬＣＢ | 2 | 50 | 20 | 外壁コンセント（東） | １５０ | |
| 27 | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |
| | １００ | ＭＣＣＢ | 2 | 50 | 20 | | | スペース |

※注記

工事にあたっては、電気主任技術者立会いのもと、停電作業にて施工する。
事前に既設配線状況や新規電路状況を調査し、作業手順書を作成し、施設管理者の承諾を得る。

納入される衛生器具に応じた使用電気量を本図に反映すること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯盤図　1L-1

Scale　A1：－
A3：－

作図　令和　7　年 9　月

図面番号　E-03

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

・図中、濃線にて示した力所を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする

# 電灯分電盤　２Ｌ－１　（屋内壁掛型）　鋼板製

## 改修前

受変電設備1A（1L-1,2L-1）より
ＡＣ　1φ3Ｗ
２１０／１０５Ｖ

ＣＶ３８ｓｑ－３Ｃ

ＭＣＣＢ　３Ｐ
１００／１００

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 照明 | ８００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 1 |
| | 照明 | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 3 |
| | 照明 | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 5 |
| | 照明 | ８００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 7 |
| | 照明 | １０５０ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 9 |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 11 |
| | コンセント | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 1 |
| | コンセント | ４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 3 |
| | コンセント | １２００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 5 |
| | コンセント | ６００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 7 |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 9 |
| | | | | | | | | |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | ８００ | |
| 4 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | １４００ | |
| 6 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| 8 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | ５８０ | |
| 10 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | １１００ | |
| 12 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| 2 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | コンセント | １４００ | |
| 4 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | コンセント | ７００ | |
| 6 | １００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| 8 | １００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | | １５０ | |
| 10 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| | | | | | | | | |

## 改修後

受変電設備1A（1L-1,2L-1）より
ＡＣ　1φ3Ｗ
２１０／１０５Ｖ

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 温便座用タイマー盤 | 2500 | ＭＣＣＢ | 3 | ５０ | ３０ | 200／100 | 送 |

ＣＶ３８ｓｑ－３Ｃ

ＭＣＣＢ　３Ｐ
１００／１００

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 照明 | ８００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 1 |
| | 照明 | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 3 |
| | 照明 | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 5 |
| | 照明 | ８００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 7 |
| | 照明 | １０５０ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 9 |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 11 |
| | コンセント | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 1 |
| | コンセント | ４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 3 |
| | コンセント | １２００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 5 |
| | コンセント | ６００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 7 |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | 9 |
| | | | | | | | | |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | ８００ | |
| 4 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | １４００ | |
| 6 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| 8 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | ５８０ | |
| 10 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 照明 | １１００ | |
| 12 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| 2 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | コンセント | １４００ | |
| 4 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | コンセント | ７００ | |
| 6 | １００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| 8 | １００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | | １５０ | |
| 10 | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| | | | | | | | | |

※注記

工事にあたっては、電気主任技術者立会いのもと、停電作業にて施工する。
事前に既設配線状況や新規電路状況を調査し、作業手順書を作成し、施設管理者の承諾を得る。

納入される衛生器具に応じた使用電気量を本図に反映すること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯盤図　2L-1

Scale　A1：－
A3：－

作図　令和　７年９月

図面番号　E-04

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

・図中、濃線にて示した力所を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする

# 電灯分電盤　３Ｌ－１　（屋内壁掛型）　鋼板製

## 改修前

受変電設備1B（3L-1、4L-1、4L-4）より
ＡＣ　1φ3W
２１０／１０５Ｖ

CVT100sq

MCCB 3P
225／125

| 備考 | 負荷名称 | 容量（VA） | ブレーカーサイズ 種別 | P | AF | AT | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ４Ｌ－１送り | ２１５３０ | MCCB | 3 | 225 | 125 | 200／100 | L 2s |
| | 照明 | ８００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 1 |
| | 照明 | １４００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 3 |
| | 照明 | ７００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 5 |
| | 照明 | ６３０ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 7 |
| | コンセント | １４００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 1 |
| | コンセント | ４００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 3 |
| | コンセント | ５０ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 5 |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | P | AF | AT | 負荷名称 | 容量（VA） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 照明 | ８００ | |
| 4 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 照明 | １４００ | |
| 6 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 照明 | １４００ | |
| 8 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |
| 2 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | コンセント | １４００ | |
| 4 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | コンセント | ６００ | |
| 6 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |

## 改修後

受変電設備1B（3L-1、4L-1、4L-4）より
ＡＣ　1φ3W
２１０／１０５Ｖ

CVT100sq

| | 温便座用タイマー盤 | 2500 | MCCB | 3 | 50 | 30 | 200／100 | 送 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|

MCCB 3P
225／125

| 備考 | 負荷名称 | 容量（VA） | ブレーカーサイズ 種別 | P | AF | AT | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ４Ｌ－１送り | ２１５３０ | MCCB | 3 | 225 | 125 | 200／100 | L 2s |
| | 照明 | ８００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 1 |
| | 照明 | １４００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 3 |
| | 照明 | ７００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 5 |
| | 照明 | ６３０ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 7 |
| | コンセント | １４００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 1 |
| | コンセント | ４００ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 3 |
| | コンセント | ５０ | MCCB | 2 | 50 | 20 | 100 | 5 |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | P | AF | AT | 負荷名称 | 容量（VA） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 2 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 照明 | ８００ | |
| 4 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 照明 | １４００ | |
| 6 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 照明 | １４００ | |
| 8 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |
| 2 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | コンセント | １４００ | |
| 4 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | コンセント | ６００ | |
| 6 | 100 | MCCB | 2 | 50 | 20 | 予備 | | |

※注記

工事にあたっては、電気主任技術者立会いのもと、停電作業にて施工する。
事前に既設配線状況や新規電路状況を調査し、作業手順書を作成し、施設管理者の承諾を得る。

納入される衛生器具に応じた使用電気量を本図に反映すること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯盤図　3L-1

Scale　A1：－　A3：－

作図　令和　7　年 9　月

図面番号　E-05

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

・図中、濃線にて示した カ所を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする

# 電灯分電盤　４Ｌ－１　（屋内壁掛型）　鋼板製

## 改修前

受変電設備1B（3L-1,4L-1,4L-4）より
ＡＣ　1φ3Ｗ
２１０／１０５Ｖ

ＣＶ６０ｓｑ－３Ｃ

ＭＣＣＢ　３Ｐ
２２５／１２５

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １４° | ４Ｌ－４送り | ８９００ | ＭＣＣＢ | ３ | ５０ | ５０ | ２００／１００ | Ｌ（2a-1） |
| | ワークスペース　照明 | ８００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | １ |
| | ＣＲ１７，ＣＲ１８照明 | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ３ |
| | 廊下　照明 | ７００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ５ |
| | 理科室　照明 | １６５０ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ７ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ９ |
| | ＣＲ１７，ＣＲ１８コンセント | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | １ |
| | 廊下・ホール、塔屋コンセント | ７００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ３ |
| | 便所　コンセント | ６００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ５ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ７ |
| スペース | | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ９ |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| ２ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ワークスペース照明 | ８００ | |
| ４ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ＣＲ１５，ＣＲ１６照明 | １４００ | |
| ６ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ホール　照明 | １５００ | |
| ８ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 便所　照明 | ６３０ | |
| １０ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| ２ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ＣＲ１５，ＣＲ１６コンセント | １４００ | |
| ４ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 塔時計（将来用） | １００ | |
| ６ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ＥＬＶ機械室コンセント | | |
| ８ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| １０ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | | | スペース |

## 改修後

受変電設備1B（3L-1,4L-1,4L-4）より
ＡＣ　1φ3Ｗ
２１０／１０５Ｖ

ＣＶ６０ｓｑ－３Ｃ

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 温便座用タイマー盤 | 2500 | ＭＣＣＢ | ３ | ５０ | ３０ | ２００／１００ | 送 |

ＭＣＣＢ　３Ｐ
２２５／１２５

| 備考 | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 電圧 | 回路番号 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| １４° | ４Ｌ－４送り | ８９００ | ＭＣＣＢ | ３ | ５０ | ５０ | ２００／１００ | Ｌ（2a-1） |
| | ワークスペース　照明 | ８００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | １ |
| | ＣＲ１７，ＣＲ１８照明 | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ３ |
| | 廊下　照明 | ７００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ５ |
| | 理科室　照明 | １６５０ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ７ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ９ |
| | ＣＲ１７，ＣＲ１８コンセント | １４００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | １ |
| | 廊下・ホール、塔屋コンセント | ７００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ３ |
| | 便所　コンセント | ６００ | ＥＬＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ５ |
| | 予備 | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ７ |
| スペース | | | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | １００ | ９ |

| 回路番号 | 電圧 | ブレーカーサイズ 種別 | Ｐ | ＡＦ | ＡＴ | 負荷名称 | 容量（ＶＡ） | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | |
| ２ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ワークスペース照明 | ８００ | |
| ４ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ＣＲ１５，ＣＲ１６照明 | １４００ | |
| ６ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ホール　照明 | １５００ | |
| ８ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 便所　照明 | ６３０ | |
| １０ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| ２ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ＣＲ１５，ＣＲ１６コンセント | １４００ | |
| ４ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 塔時計（将来用） | １００ | |
| ６ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | ＥＬＶ機械室コンセント | | |
| ８ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | 予備 | | |
| １０ | １００ | ＭＣＣＢ | ２ | ５０ | ２０ | | | スペース |

※注記

工事にあたっては、電気主任技術者立会いのもと、停電作業にて施工する。
事前に既設配線状況や新規電路状況を調査し、作業手順書を作成し、施設管理者の承諾を得る。

納入される衛生器具に応じた使用電気量を本図に反映すること。

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯盤図　4L-1

Scale　A1：－　A3：－

作図　令和　７年９月

図面番号　E-06

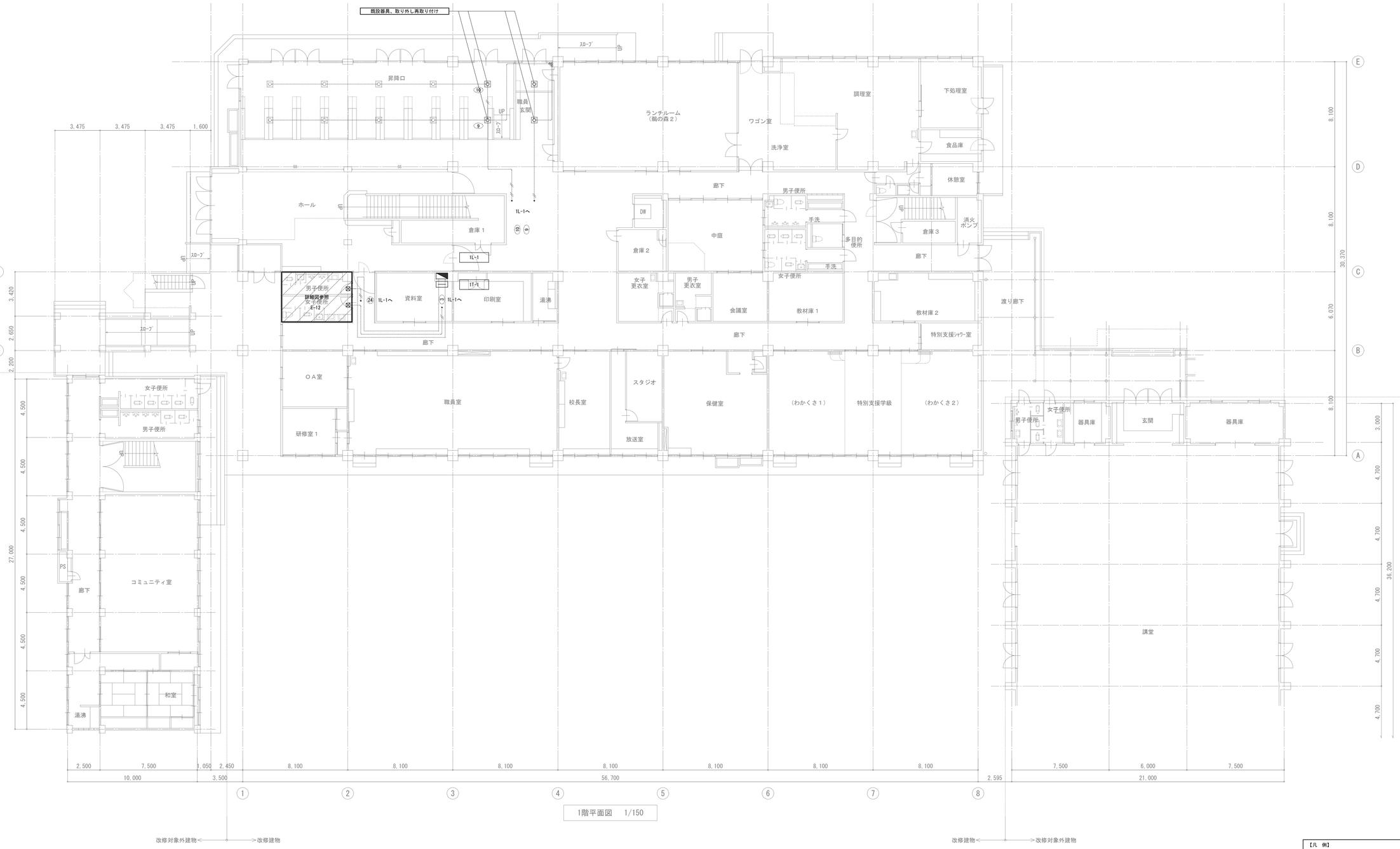
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

**改　修**

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする

昇降口、職員玄関
埋込　スクウェア形　450角　4

既設器具、取り外し再取り付け




1階平面図　1/150

| 【凡　例】 | |
|---|---|
| ---EF--- | EM-EEF2.0-2C(CR)　既設配線、既設ラック |
| ⊠ | アウトレットボックス |
| | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯コンセント設備　改修　1階　平面図

Scale　A1：1/150
A3：1/300

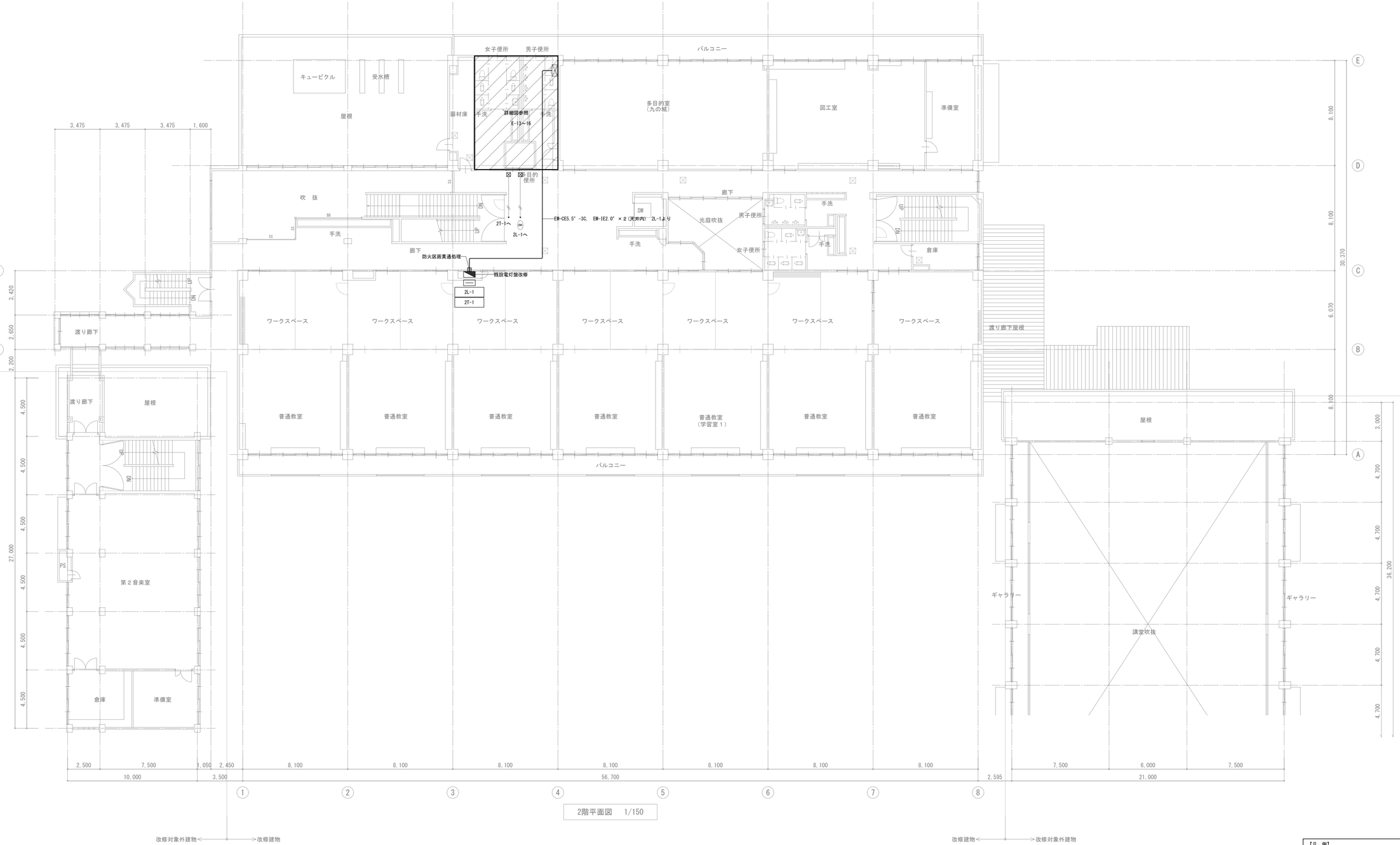
作図　令和　7　年 9　月

図面番号　E-07

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




2階平面図　1/150

| 【凡　例】 | |
|---|---|
| ⊠ | アウトレットボックス |
| | |
| | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯コンセント設備　改修　2階　平面図

Scale　A1：1/150
A3：1/300

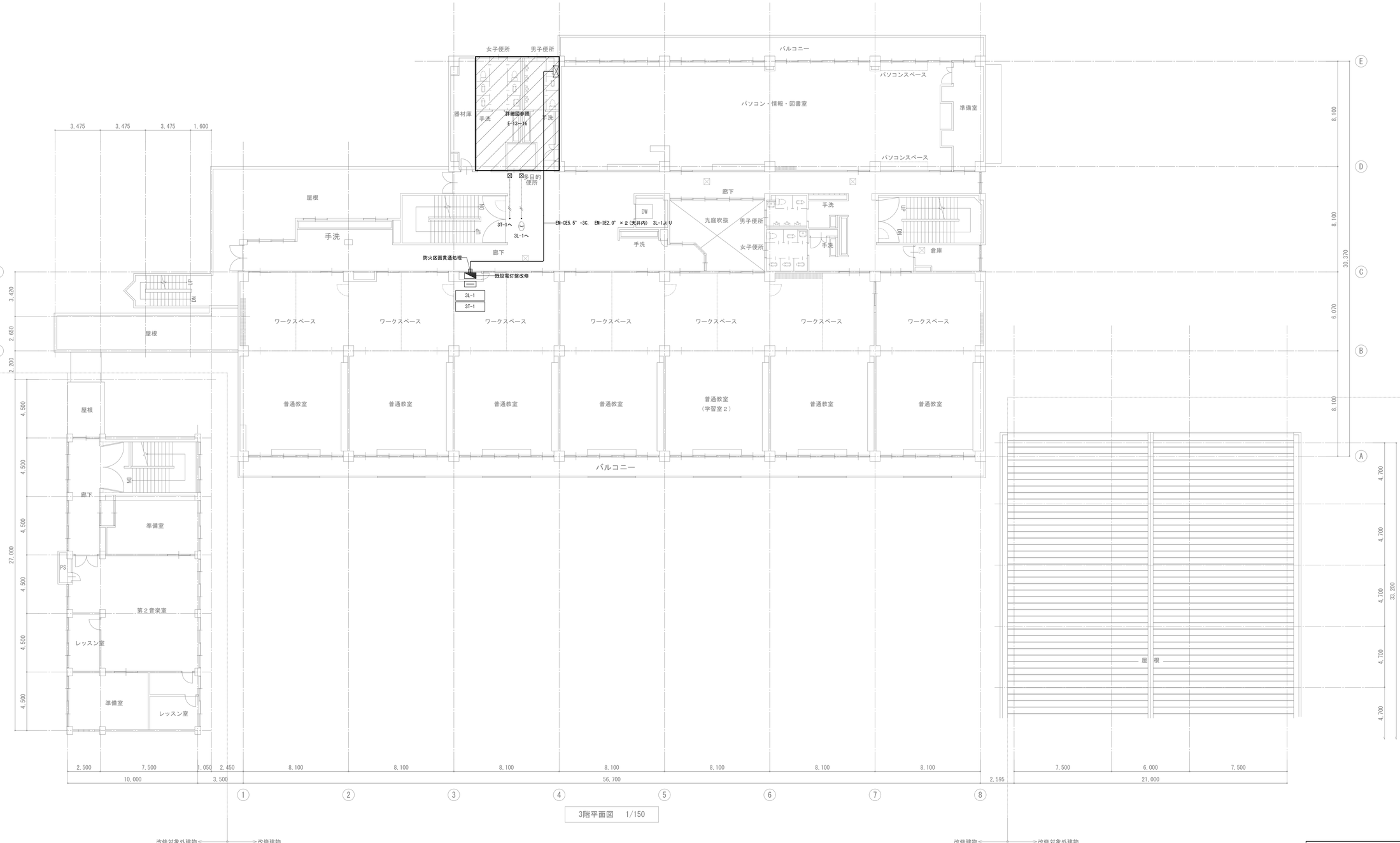
作図　令和　7　年 9　月

図面番号　E-08

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




3階平面図　1/150

| 【凡　例】 | |
|---|---|
| ⊠ | アウトレットボックス |
| | |
| | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯コンセント設備　改修　3階　平面図

Scale　A1：1/150
A3：1/300

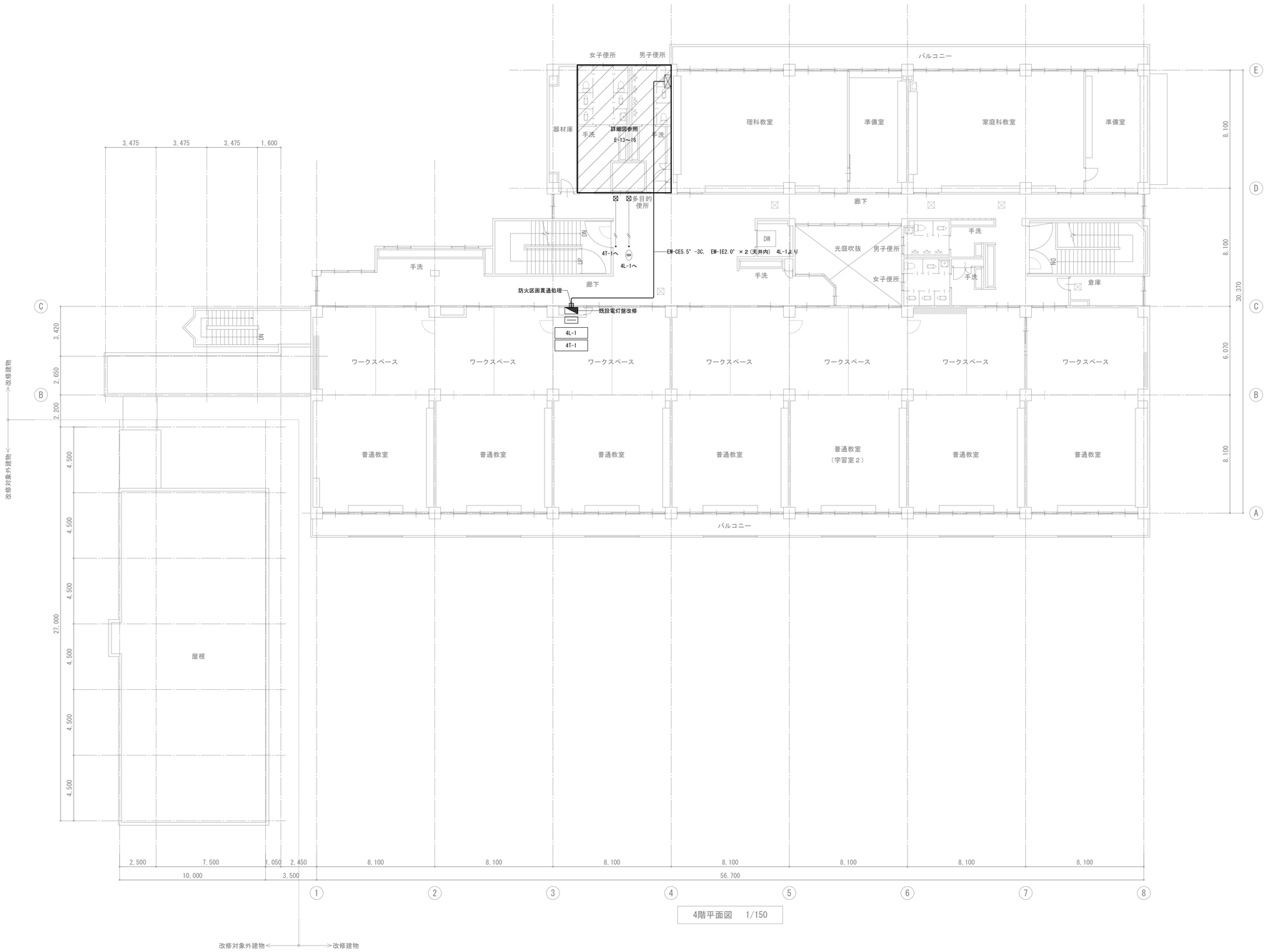
作図　令和　7　年　9　月

図面番号　E-09

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




4階平面図　1/150

| 【凡　例】 | |
|---|---|
| ⊠ | アウトレットボックス |
| | |
| | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯コンセント設備　改修　4階　平面図

Scale　A1：1/150
A3：1/300

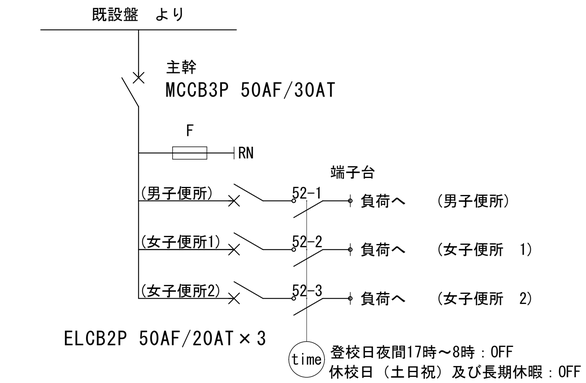
作図　令和　7　年 9　月

図面番号　E-10

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

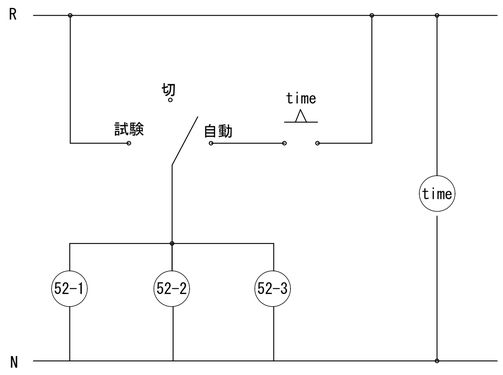
## 温便座用タイマー盤

鋼板製　壁掛型　国土交通省仕様
マグネット組み込み

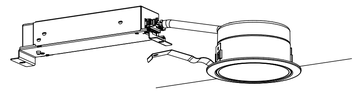



ED、ED(ELCB)

・シーズンプログラムタイマー
参考品番：パナソニックTB732101K




| A | ＬＥＤ照明器具　　コンパクト形蛍光灯FHT32形1灯器具相当 |
|---|---|



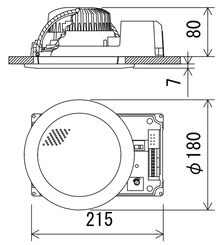
ＬＥＤ照明、電源ユニット、一般光色タイプ５０００Ｋ
埋込穴φ１５０

器具光束：１６９５[ｌｍ]、消費電力：１１．６W、電圧：１００－２４２Ｖ
反射板（上部）：プラスチック（ホワイト）
反射板（下部）：鋼板（ホワイトつや消し仕上）
枠：鋼板（ホワイトつや消し仕上）

公共品番：LRS1-13

### 天井埋込スピーカー（ＡＴＴ付き）　Ｌ級

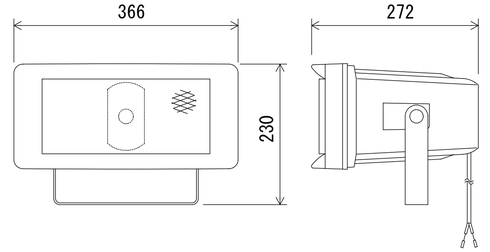
SC6Hi-1(3) V3




| | |
|---|---|
| 定格入力 | ３Ｗ（3．３ｋΩ），１Ｗ（１０ｋΩ） |
| 出力音圧レベル | ９３ｄＢ（１Ｗ，１ｍ） |
| 周波数特性 | １００Ｈｚ～１８ｋＨｚ |
| スピーカー | １２ｃｍコーン型 |
| 仕上 | 枠：アルミ　オフホワイト |
| | ネット：アルミパンチング　オフホワイト |
| その他 | 防塵カバー一体型、音量調節５段切換 |

### 屋外ホーンスピーカー（３０Ｗ）　Ｌ級

SH-　30 V0　　落下防止ワイヤ共




| | |
|---|---|
| 定格入力 | 30 W（330Ω），20 W（500Ω），10 W（1 kΩ） |
| 出力音圧レベル | ９８ｄＢ（１Ｗ，１ｍ） |
| 周波数特性 | １２０Ｈｚ～１５ｋＨｚ |
| スピーカー | １２ｃｍ防滴コーン型 |
| 水平指向性 | ９０° |
| 仕上 | ホーン・カバー：樹脂　オフホワイト |
| その他 | 防塵・防水性能：ＩＰ６５ |

【注記】
・照明器具型番で本体型番を示すものは，ＬＥＤ電球，ユニットを含むこと。
・埋込型器具は必要に応じてリニュープレート等を取り付ける事とする。
・ＬＥＤ富士型器具類・ＬＥＤ下面開放埋込型器具は、躯体等から支持をとり、据え付ける事とする。既設再取り付け機器も同様とする。吊りボルトは呼び径9mm以上とする。

品番は参考とし、メーカー商品名に指定はないものとする

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
照明器具姿図、弱電機器姿図

Scale　A1：－
A3：－

作図　令和　７年９月

図面番号　E-11

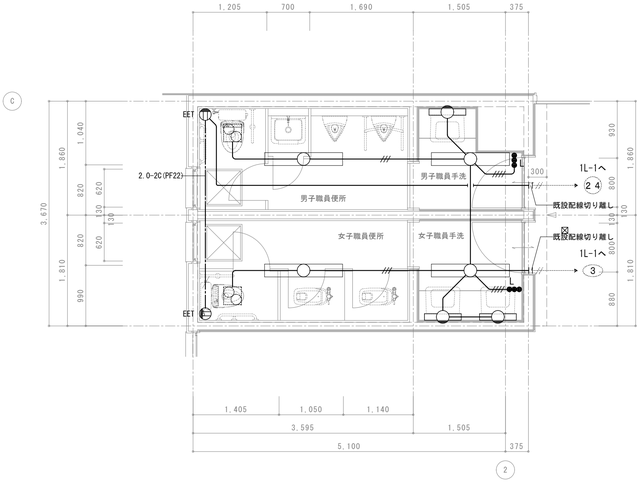
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

## 撤　去

| |
|---|
| ・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする |
| ・既設照明器具は再利用に伴う取り外しとする |
| ・コンクリート打ち込み配管や壁内配管は既設残置とする |

| 男子職員便所 | | |
|---|---|---|
| LED照明器具 | XLX459REN LE9 | 1 |

| 男子職員手洗 | | |
|---|---|---|
| LED照明器具 | XLX439REN LE9 | 1 |
| LED照明器具 | LGB85037 LE1 | 1 |




平面詳細図（改修前）　1/50

| 女子職員便所 | | |
|---|---|---|
| LED照明器具 | XLX459REN LE9 | 1 |

| 女子職員手洗 | | |
|---|---|---|
| LED照明器具 | XLX439REN LE9 | 1 |
| LED照明器具 | LGB85037 LE1 | 2 |

| 【凡　例】コンセント | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| ——— | VVF2.0-2C(PF22) |
| | |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

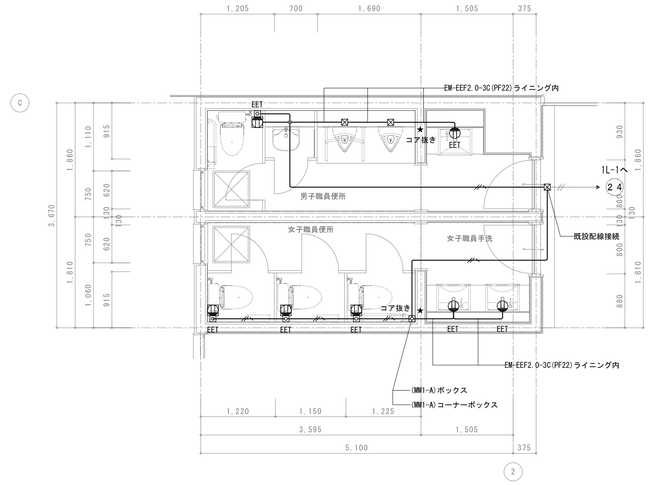
| 【凡　例】電灯 | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| ——— | VVF2.0-2C(PF22) |
| ——— | VVF1.6-2C(PF16) |
| ——— | VVF1.6-3C(PF22) |
| ——— | VVF1.6-2C×2(PF22) |
| | |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

| | | |
|---|---|---|
| ⏚ | EET | 2P15A×2+EET(鋲金属P) |
| | | |
| | | |

| | | |
|---|---|---|
| L | | 1P15A×2+1P15A(L)×1(鋲金属P) |
| | | |

## 改　修

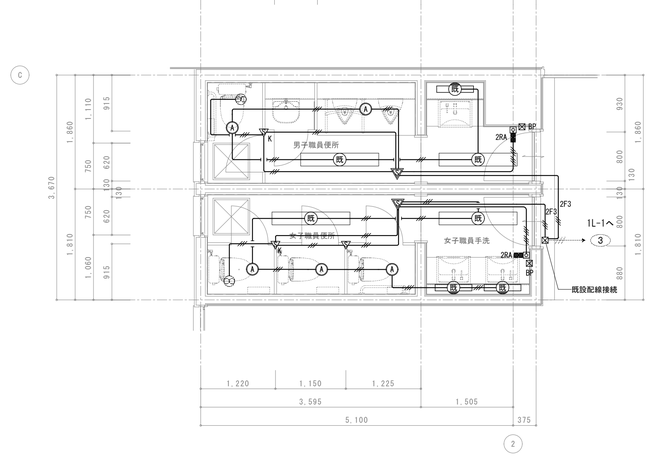
| |
|---|
| ・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする |
| ・既設照明器具を再使用再取付とする |
| ・コンクリート打ち込み配管や壁内配管は既設残置とする |
| ・ＬＥＤ富士型器具類・ＬＥＤ下面開放埋込型器具は、再使用器具を含めて躯体等から支持をとり、据え付ける事とする。吊りボルトは呼び径9mm以上とする。 |




平面詳細図（改修後）　1/50

| 男子職員便所 | | |
|---|---|---|
| 既設　LED照明器具 | XLX459REN LE9 | 1 |
| A | | 2 |

| 男子職員手洗 | | |
|---|---|---|
| 既設　LED照明器具 | XLX439REN LE9 | 1 |
| 既設　LED照明器具 | LGB85037 LE1 | 1 |




平面詳細図（改修後）　1/50

| 女子職員便所 | | |
|---|---|---|
| 既設　LED照明器具 | XLX459REN LE9 | 1 |
| A | | 3 |

| 女子職員手洗 | | |
|---|---|---|
| 既設　LED照明器具 | XLX439REN LE9 | 1 |
| 既設　LED照明器具 | LGB85037 LE1 | 2 |

| 【凡　例】コンセント | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| ——— | EM-EEF2.0-3C(PF22) |
| | ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。 |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

| | | |
|---|---|---|
| ⏚ | EET | 2P15A×1+EET(鋲金属P) |
| ⏚ | EET | 2P15A×1+EET(鋲金属P)　(MMI-A)ボックス共 |
| □ | | (MMI-A)コーナーボックス |
| ⊠ | | アウトレットボックス |
| ○ | | (MMI-A)立下り部 |

| 【凡　例】電灯 | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| 2F3 | EM-EEF2.0-3C(PF22) |
| ——— | EM-EEF1.6-2C(PF16) |
| ——— | EM-EEF1.6-3C(PF22) |
| ——— | EM-EEF1.6-3C×2(PF28) |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

| | | |
|---|---|---|
| K | | 照明器具 感知器 換気扇連動 子機 |
| | | 照明器具 感知器 子機 広角 |
| 2RA | | 照明器具 感知器 制御ユニット 2回路用　(MMI-B)ボックス共 |
| ⊠ | | アウトレットボックス |
| ⊠ | BP | ブランクプレート |
| □ | | (MMI-B)コーナーボックス |
| ○ | | (MMI-B)立下り部 |
| 既 | | 既設照明器具を示す |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
1階職員便所　改修　撤去　平面詳細図

Scale　A1：1/50
A3：1/100

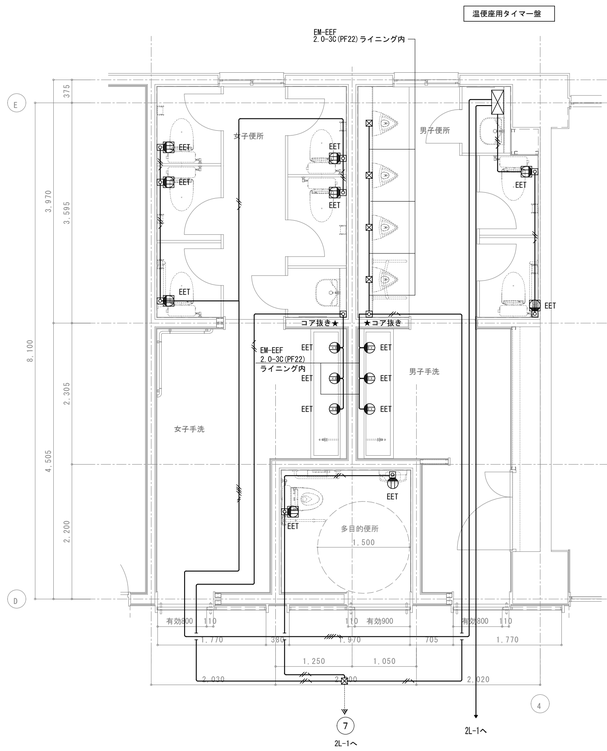
作図　令和 7 年 9 月

図面番号　E-12

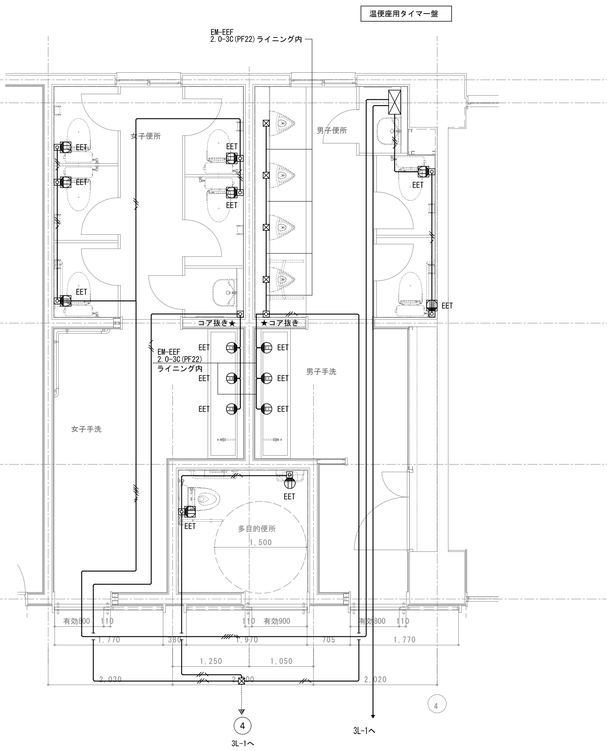
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽 俊和

**改　修**

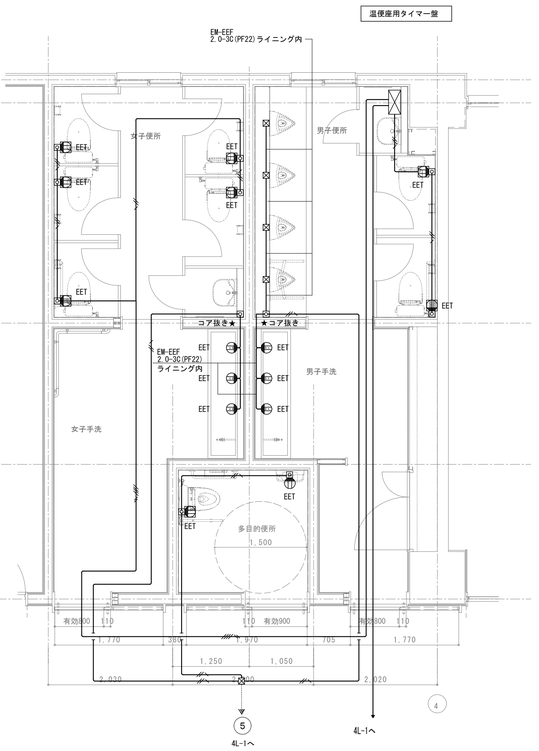
- 図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
- 既設照明器具を再使用とする
- コンクリート打ち込み配管や壁内配管は既設残置とする




2階平面詳細図　改修後　1/50




3階平面詳細図　改修後　1/50




4階平面詳細図　改修後　1/50

| 【凡　例】コンセント |
|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による |
| EM-EEF2.0-3C(PF22) |
| EM-EEF2.0-3C×2(PF22) |
| 天井内はケーブルコロガシとする |
| ケーブルの一心を接地線として使用する場合は、緑色の心線とする。 |

| | | |
|---|---|---|
| ● | EET | 2P15A×1+EET(新金属P) |
| ■ | EET | 2P15A×1+EET(新金属P)　(MM1-A)ボックス共 |
| □ | | (MM1-A)コーナーボックス |
| ⊠ | | アウトレットボックス |
| ○ | | (MM1-A)立下り部 |
| | | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
コンセント設備　2～4階生徒用便所北、多目的便所　改修　詳細図

Scale　A1：1/50
A3：1/100

作図　令和　7　年 9　月

図面番号　E-13

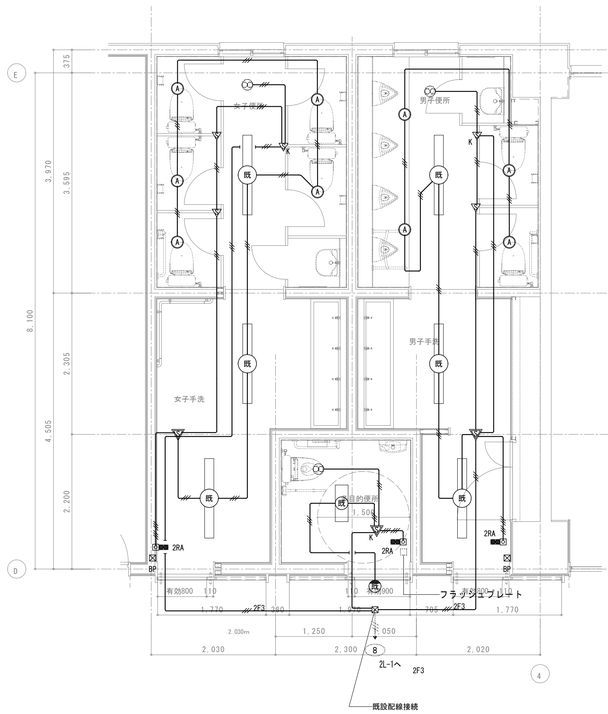
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

**改　修**

| |
|---|
| ・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする |
| ・既設照明器具を再使用再取付とする |
| ・コンクリート打ち込み配管や壁内配管は既設残置とする |
| ・ＬＥＤ富士型器具類・ＬＥＤ下面開放埋込型器具は、再使用器具を含めて躯体等から支持をとり、<br>　損え付ける事とする。吊りボルトは呼び径9mm以上とする。 |

| 女子便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX469DEN LE9 | 1 |
| A | 5 |

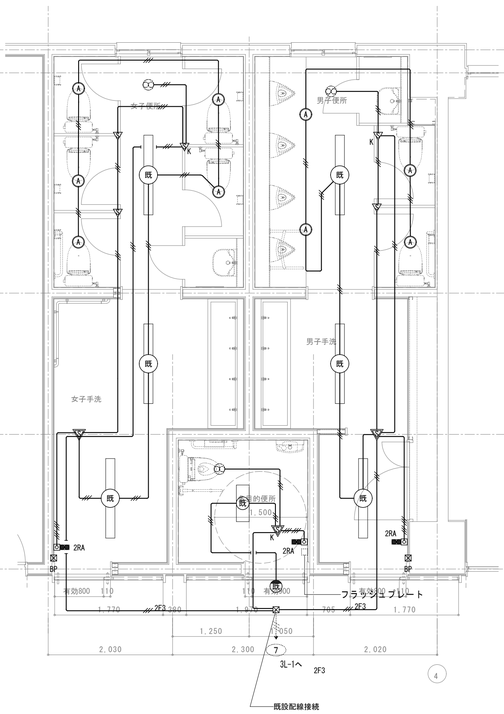
| 男子便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX469DEN LE9 | 1 |
| A | 4 |




2階平面詳細図　改修後　1/50

| 女子便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX469DEN LE9 | 1 |
| A | 5 |

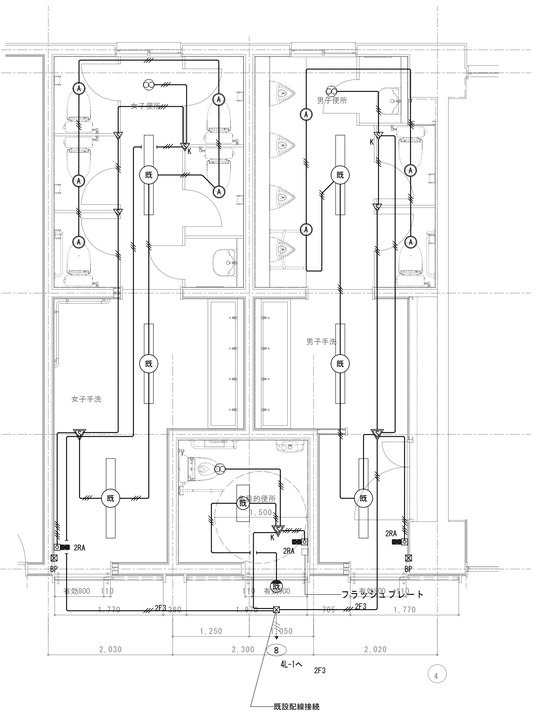
| 男子便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX469DEN LE9 | 1 |
| A | 4 |




3階平面詳細図　改修後　1/50

| 女子便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX469DEN LE9 | 1 |
| A | 5 |

| 男子便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX469DEN LE9 | 1 |
| A | 4 |




4階平面詳細図　改修後　1/50

| 女子手洗 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX449DEN LE9 | 2 |

| 多目的便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX230DENC LE9 | 1 |
| 既設 LED照明 NNF11930 LE1 | 1 |

| 男子手洗 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX449DEN LE9 | 2 |

| 女子手洗 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX449DEN LE9 | 2 |

| 多目的便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX230DENC LE9 | 1 |
| 既設 LED照明 NNF11930 LE1 | 1 |

| 男子手洗 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX449DEN LE9 | 2 |

| 女子手洗 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX449DEN LE9 | 2 |

| 多目的便所 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX230DENC LE9 | 1 |
| 既設 LED照明 NNF11930 LE1 | 1 |

| 男子手洗 | |
|---|---|
| 既設 LED照明 XLX449DEN LE9 | 2 |

| 【凡　例】電灯 | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| 2F3 | EM-EEF2.0-3C(PF22) |
| | EM-EEF1.6-2C(PF16) |
| | EM-EEF1.6-3C(PF22) |
| | EM-EEF1.6-3C×2(PF28) |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

| | | |
|---|---|---|
| ▽ | | 照明器具 感知器　親機　広角 |
| ▽ | K | 照明器具 感知器　親機　換気扇連動 |
| ▽ | K | 照明器具 感知器 換気扇連動 子機 |
| ▽ | | 照明器具 感知器 子機　広角 |
| ■ | 2RA | 照明器具 感知器 制御ユニット 2回路用　(MM1-B)ボックス共 |
| | | アウトレットボックス |
| ⊠ | BP | ブランクプレート |
| □ | | (MM1-B)コーナーボックス |
| ○ | | (MM1-B)立下り部 |
| 既 | | 既設照明器具を示す |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
電灯設備　2～4階生徒用便所北、多目的便所　改修　詳細図

Scale　A1：1/50　A3：1/100

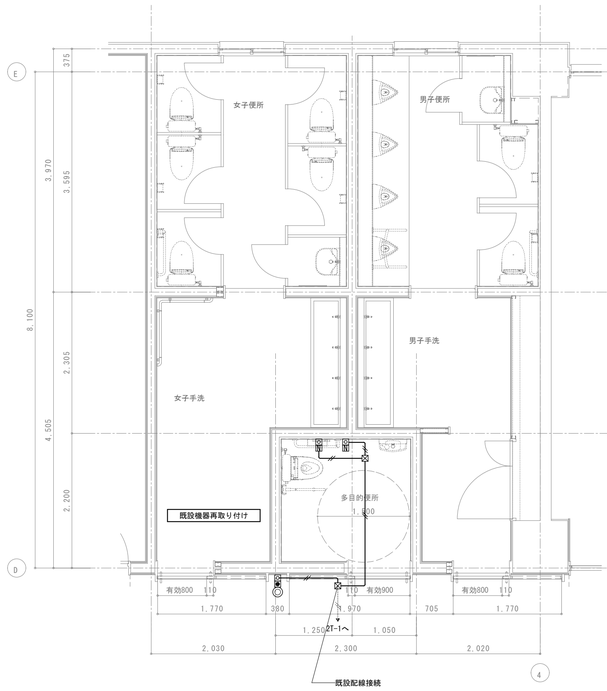
作図　令和　7　年　9　月

図面番号　E-14

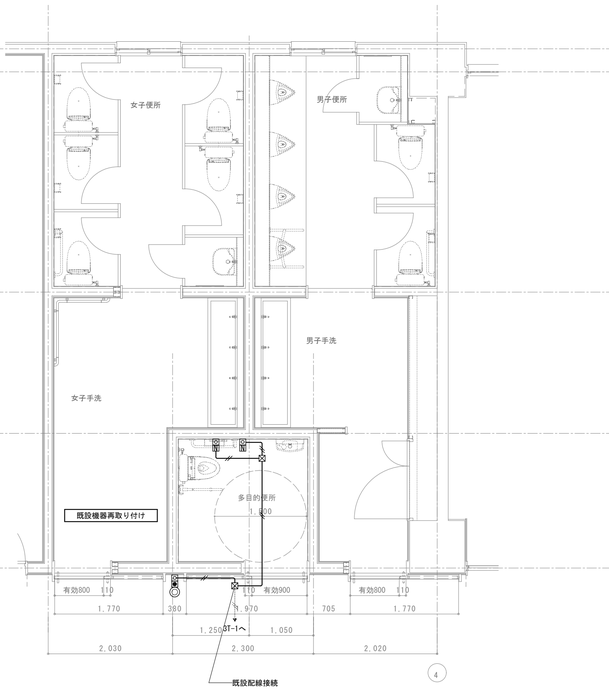
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

**改　修**

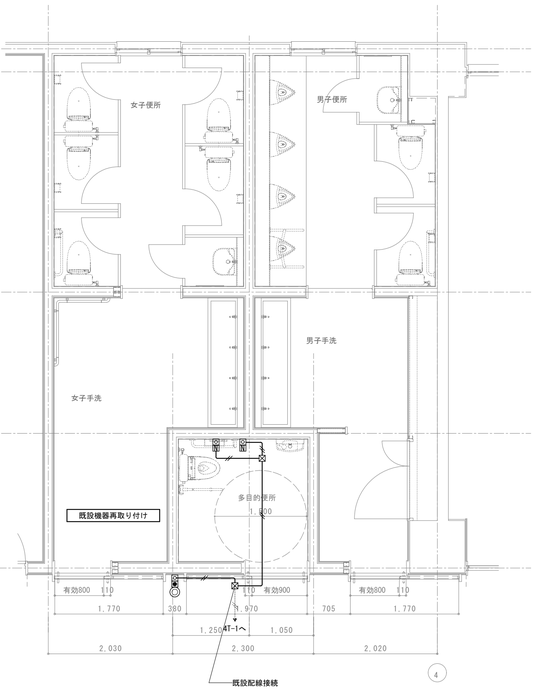
- 図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
- 既設機器を再使用とする
- コンクリート打ち込み配管や壁内配管は既設残置とする




2階平面詳細図　改修後　1/50




3階平面詳細図　改修後　1/50




4階平面詳細図　改修後　1/50

| 【凡　例】呼び出し |
|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による |
| ―//― EM-AE1.2-2C(PF16) |
| |
| 天井内はケーブルコロガシとする |

| | |
|---|---|
| 図 | トイレ呼出押ボタン（ひも付）　既設機器再取り付け |
| ◎ | ブザー付器下灯　(MM1-A)ボックス共　既設機器再取り付け |
| ● | 復旧ボタン　(MM1-A)ボックス共　既設機器再取り付け |
| □ | (MM1-A)コーナーボックス |
| ○ | (MM1-A)立下り部 |
| | |
| | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
呼び出し設備　2～4階生徒用便所北、多目的便所　改修　詳細図

Scale　A1：1/50
A3：1/100

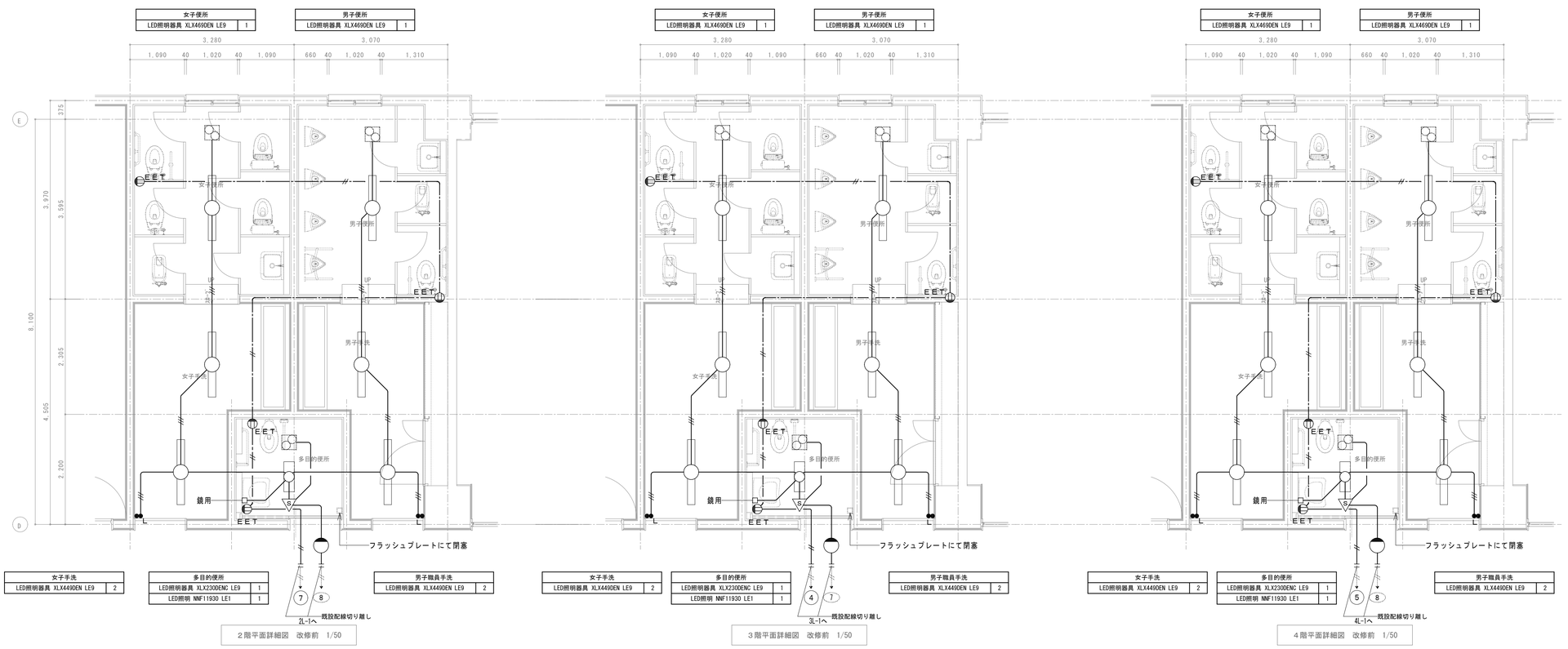
作図　令和　7　年 9　月

図面番号　E-15

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

# 撤　去

- 図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
- 既設照明器具、呼び出し機器は再利用に伴う取り外しとする
- コンクリート打ち込み配管や壁内配管は既設残置とする




| 女子手洗 | |
|---|---|
| LED照明器具 XLX449DEN LE9 | 2 |

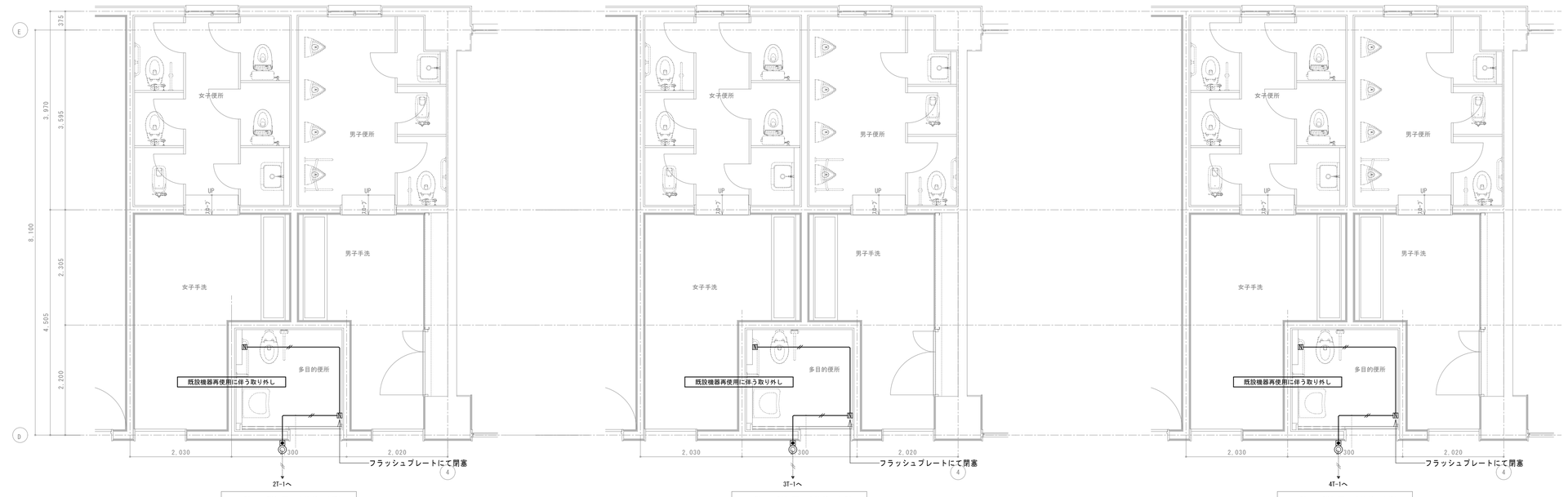
| 多目的便所 | |
|---|---|
| LED照明器具 XLX230DENC LE9 | 1 |
| LED照明 NNF11930 LE1 | 1 |

| 男子職員手洗 | |
|---|---|
| LED照明器具 XLX449DEN LE9 | 2 |

２階平面詳細図　改修前　1/50

３階平面詳細図　改修前　1/50

４階平面詳細図　改修前　1/50




２階平面詳細図　改修前　1/50

３階平面詳細図　改修前　1/50

４階平面詳細図　改修前　1/50

| 【凡　例】コンセント | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| ——— | VVF2.0-2C(PF22) |
| | |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

| EET | 2P15A×2+EET(新金属P) |
|---|---|
| | |
| | |

| 【凡　例】電灯 | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| ―//― | VVF2.0-2C(PF22) |
| ——— | VVF1.6-2C(PF16) |
| ―//― | VVF1.6-3C(PF22) |
| ―//― | VVF1.6-2C×2(PF22) |
| | |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

| L | 1P15A×2+1P15A(L)×1(新金属P) |
|---|---|
| | |

| 【凡　例】呼び出し | |
|---|---|
| 図中明記無き配管配線は下記による | |
| ―//― | AE1.2-2C(PF16) |
| | |
| 天井内はケーブルコロガシとする | |

| 図 | トイレ呼出押ボタン（ひも付）　再使用に伴う取り外し |
|---|---|
| ◎ | ブザー付扉下灯　再使用に伴う取り外し |
| ● | 復旧ボタン　再使用に伴う取り外し |
| | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
2～4階生徒用便所北、多目的便所　撤去　詳細図

Scale　A1：1/50
A3：1/100

作図　令和　7　年　9　月

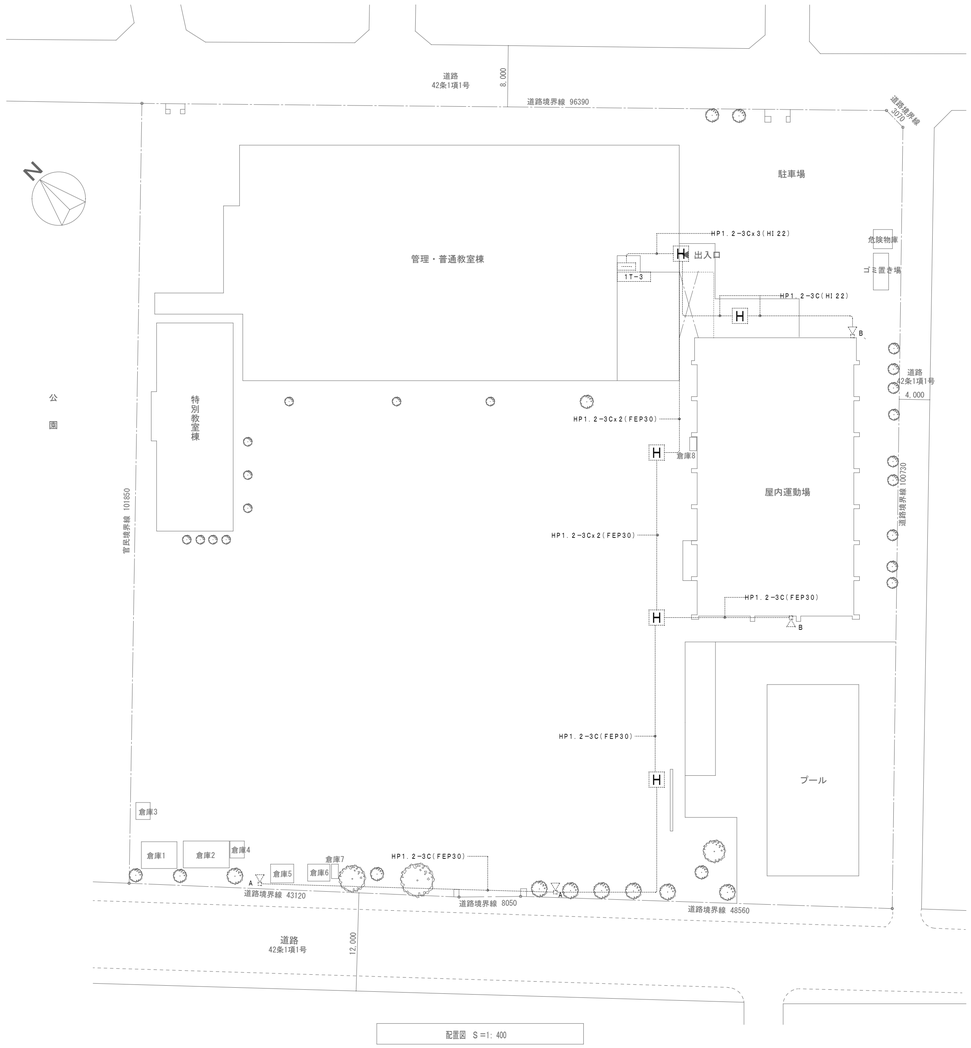
図面番号　E-16

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

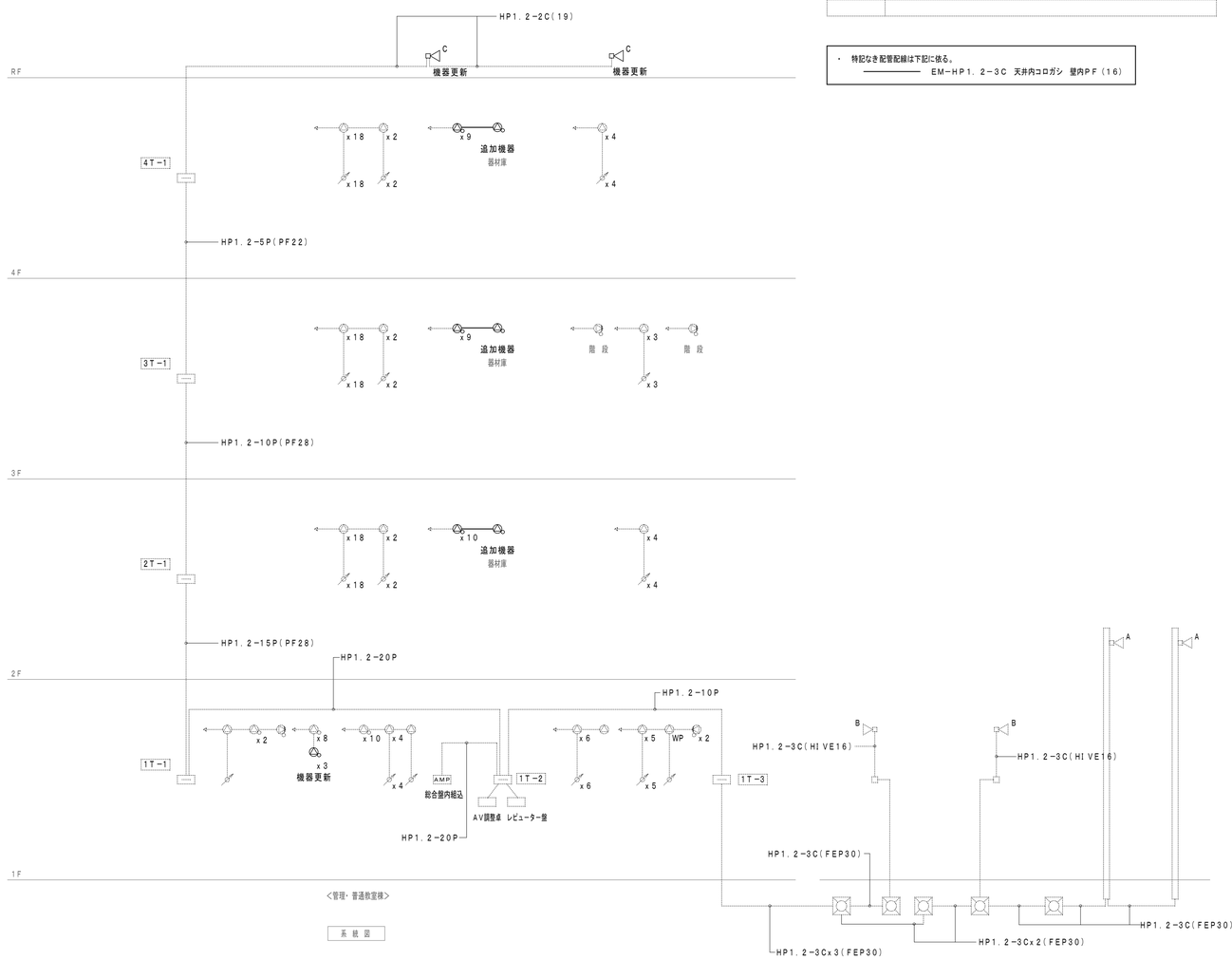
撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
・既設配管配線を残置（再使用）とし機器を交換とする（一部配線敷設）




配置図　S＝1：400




<管理・普通教室棟>

系　統　図

拡声放送設備

| 記　号 | 名　称 |
|---|---|
| AMP | 非常放送アンプ　３６０Ｗ　１５局（総合盤内） |
| RM | マルチリモコンマイク（総合盤内） |
| | 天井埋込スピーカー　L級 |
| | 天井埋込スピーカー（ＡＴＴ付き）　L級 |
| | 天井露出スピーカー（ＡＴＴ付き）　L級 |
| WP | 防滴スピーカー（天井埋込タイプ）　L級 |
| | 壁掛スピーカー（ＡＴＴ付き）　L級 |
| A | 屋外スピーカー（３０Ｗ）　４．５ｍポール |
| B | ホーンスピーカー（１０Ｗ） |
| C | ホーンスピーカー（３０Ｗ） |
| | アッテネータ |

・　特記なき配管配線は下記に依る。
　　EM-HP1．2－3C　天井内コロガシ　壁内PF（16）

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
　　放送設備　配置図、系統図

Scale　A1：－
　　A3：－

作図　令和　7　年　9　月

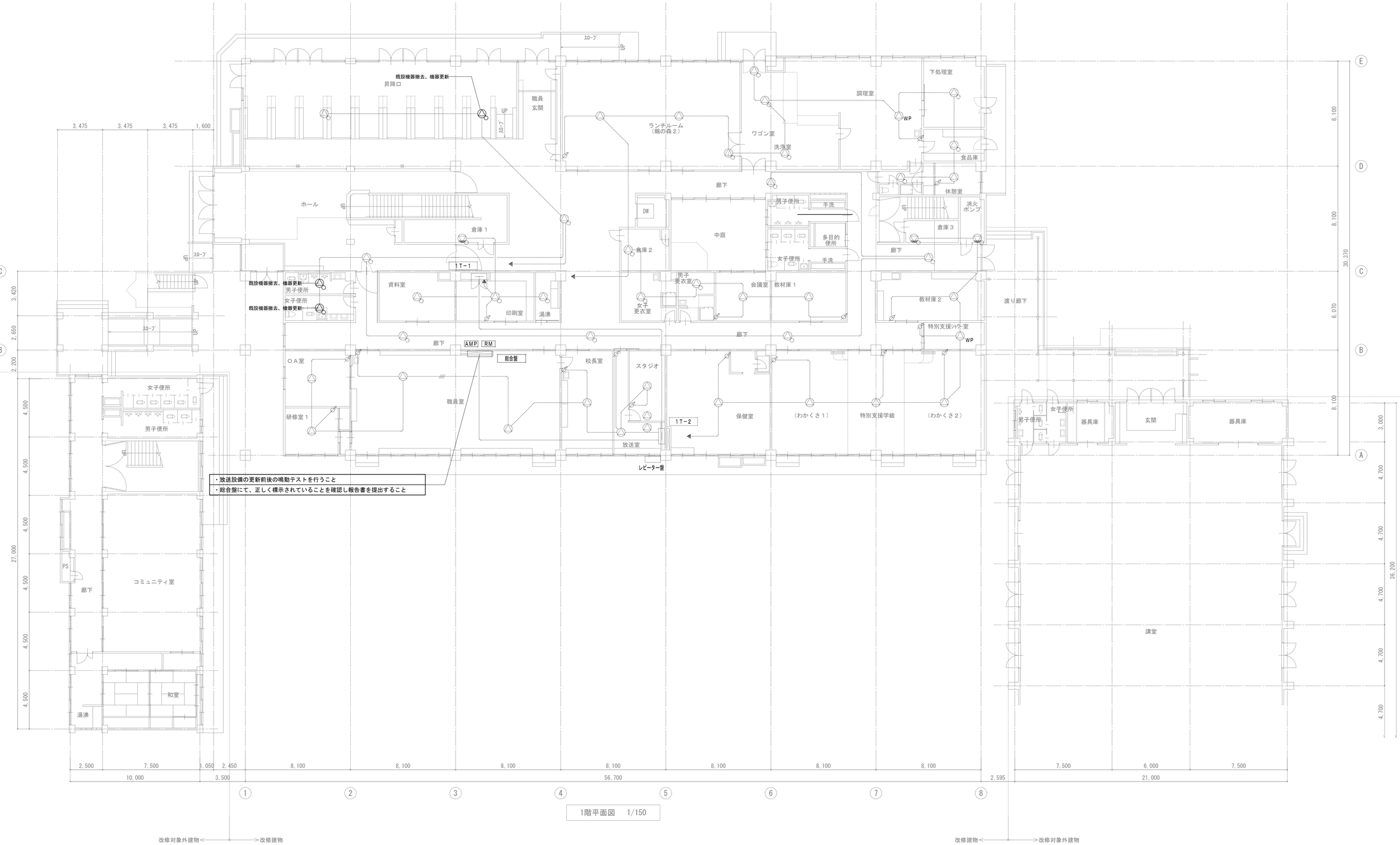
図面番号　E-17

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
・既設配管配線を残置（再使用）とし機器を交換とする




1階平面図　1/150

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
放送設備　1階　平面図

Scale　A1：1/150　A3：1/300

作図　令和　7　年　9　月

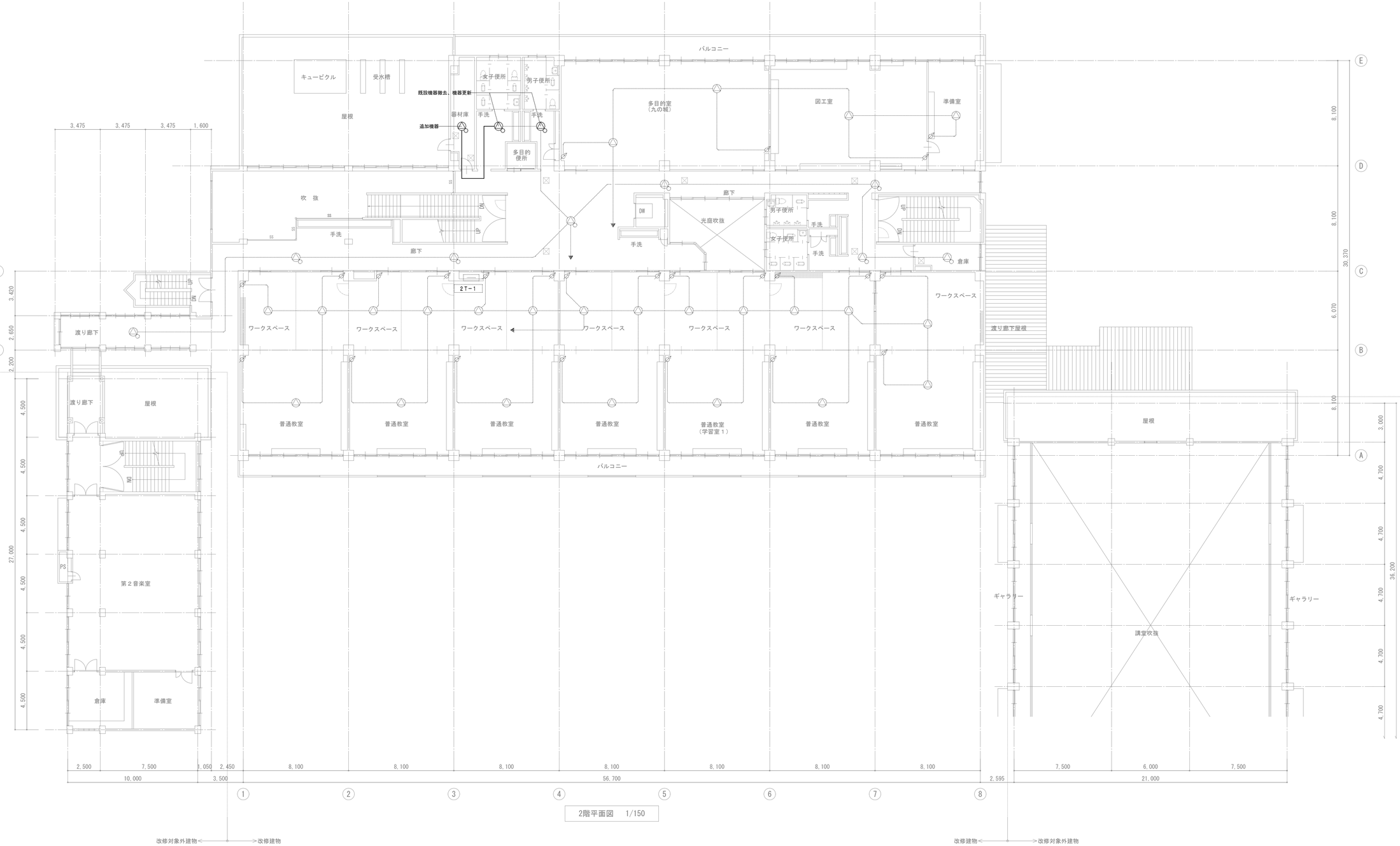
図面番号　E-18

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
・既設配管配線を残置（再使用）とし機器を交換とする（一部配線敷設）




2階平面図　1/150

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備
放送設備　2階　平面図

Scale　A1：1/150　A3：1/300

作図　令和　7　年　9　月

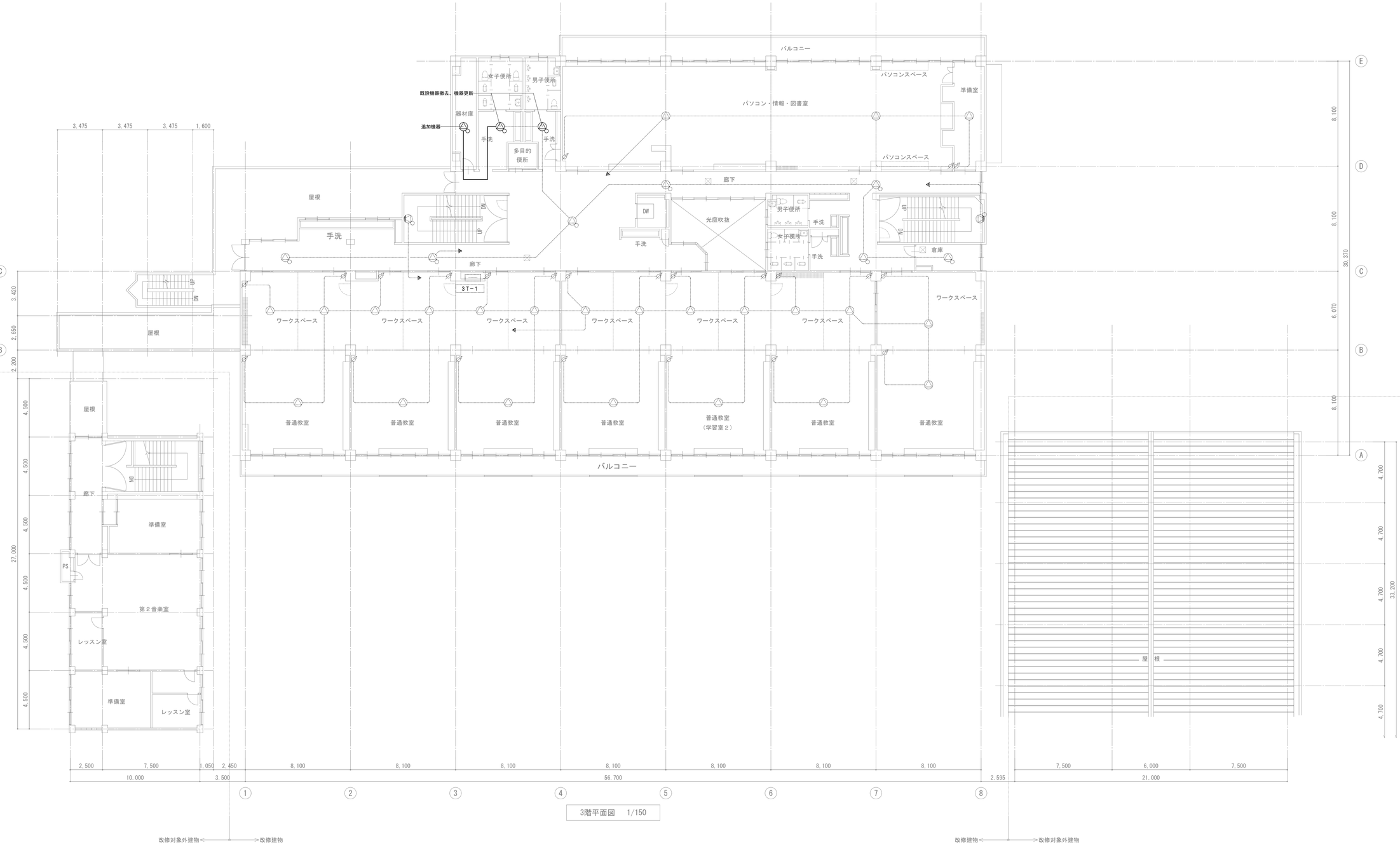
図面番号　E-19

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
・既設配管配線を残置（再使用）とし機器を交換とする（一部配線敷設）




3階平面図　1/150

※注記

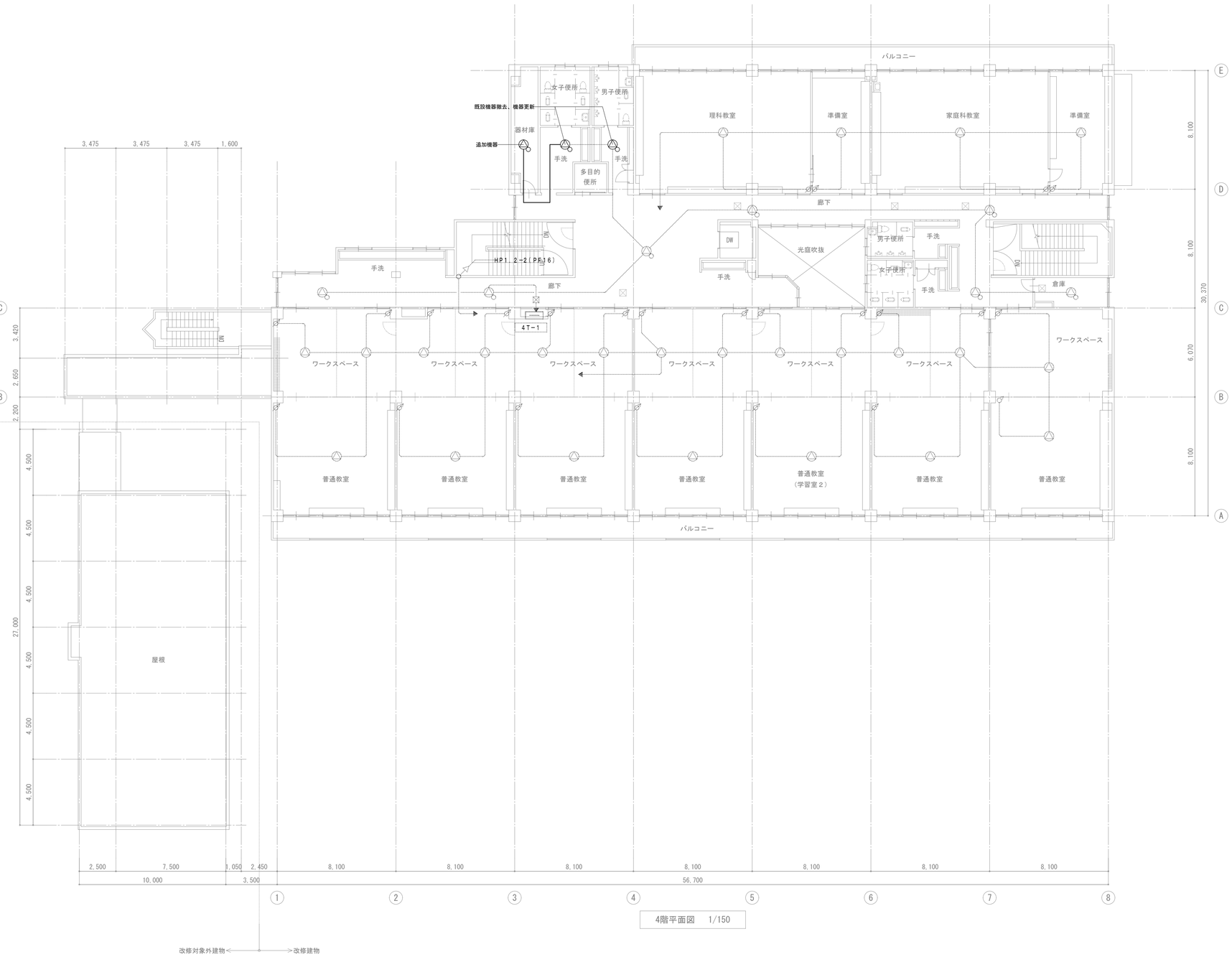
浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 電気設備<br>放送設備　3階　平面図 | Scale　A1：1/150　A3：1/300<br>作図　令和　7 年 9 月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号　E-20 |

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
・既設配管配線を残置（再使用）とし機器を交換とする（一部配線敷設）




4階平面図　1/150

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備　放送設備　4階　平面図

Scale　A1：1/150　A3：1/300

作図　令和　7　年 9　月

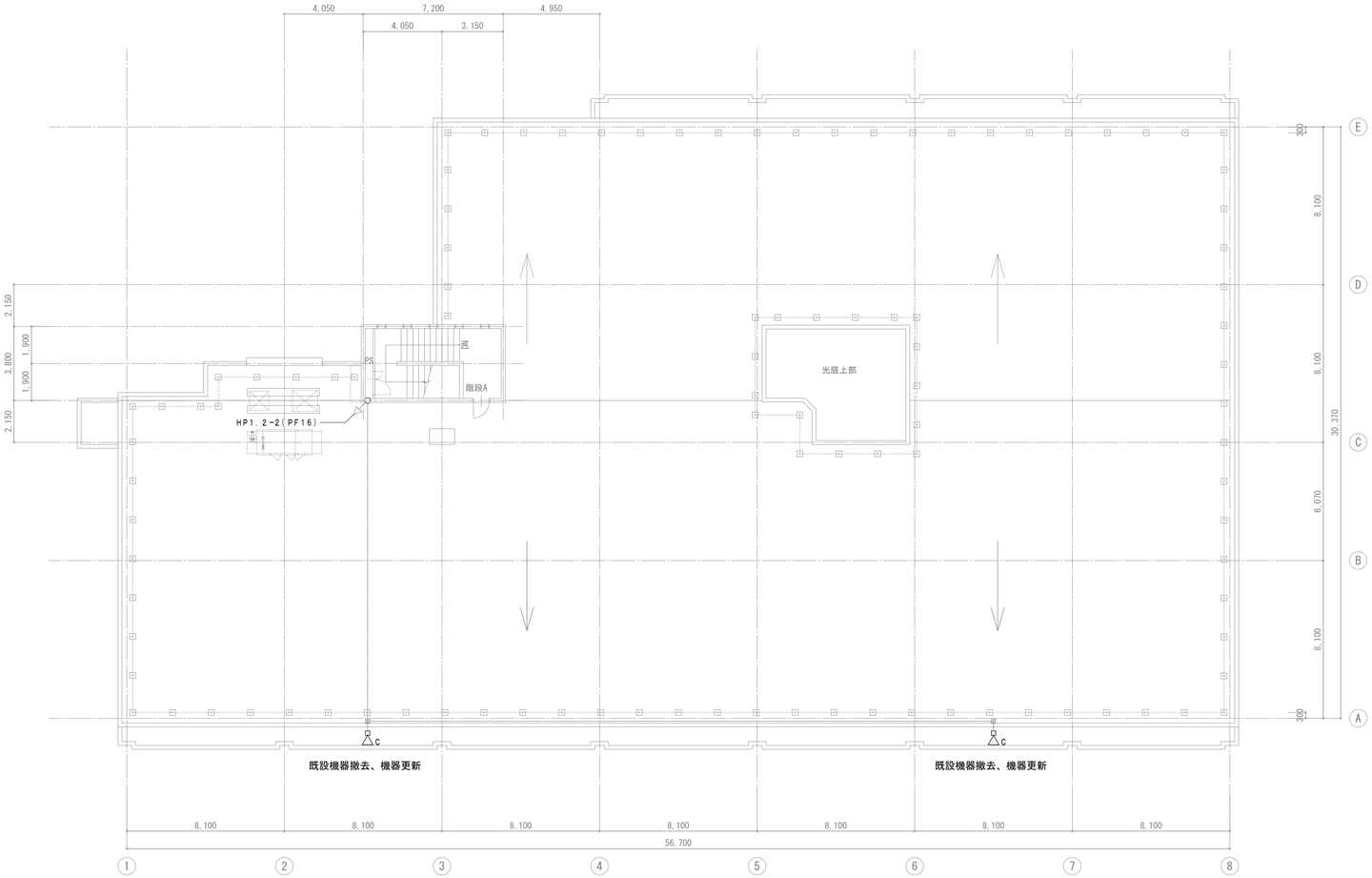
図面番号　E-21

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする
・既設配管配線を残置（再使用）とし機器を交換とする




R階平面図　1/150

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

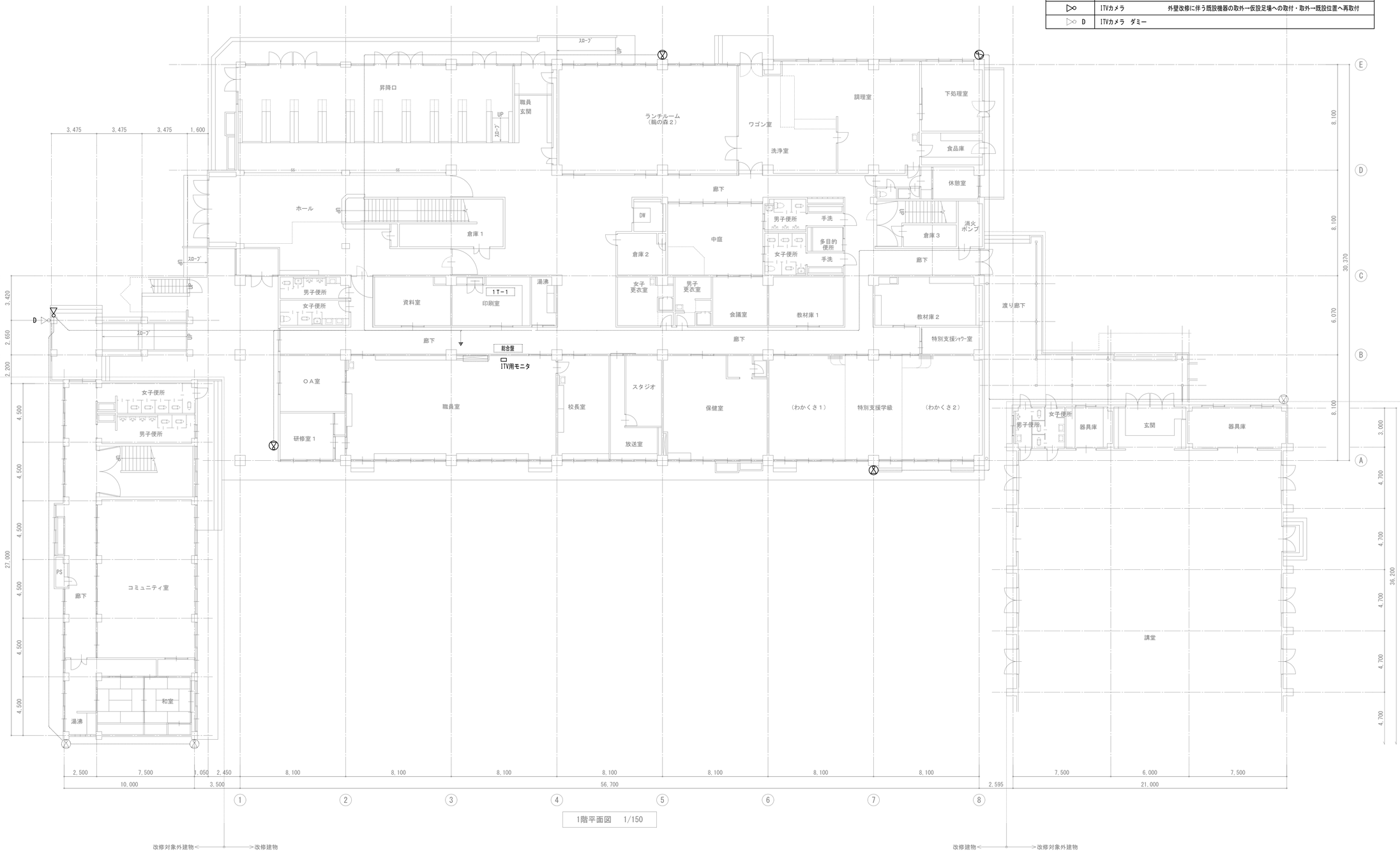
| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 放送設備<br>4階　平面図 | Scale　A1：1/150<br>A3：1/300 |
| | | 作図　令和　7 年 9 月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号　E-22 |

撤　去

改　修

・図中、脱着するITV設備の仮設配線を含むものとする。
・ＩＴＶモニタ（職員室）の動作確認を仮設前後・本設復旧後に行うものとする。

| ITV設備 | | |
|---|---|---|
| 記　号 | 名　称 | |
| ⋈ | ITVカメラ　ドーム型 | 外壁改修に伴う既設機器の取外→仮設足場への取付・取外→既設位置へ再取付 |
| ▷⋈ | ITVカメラ | 外壁改修に伴う既設機器の取外→仮設足場への取付・取外→既設位置へ再取付 |
| ▷⋈ D | ITVカメラ　ダミー | |



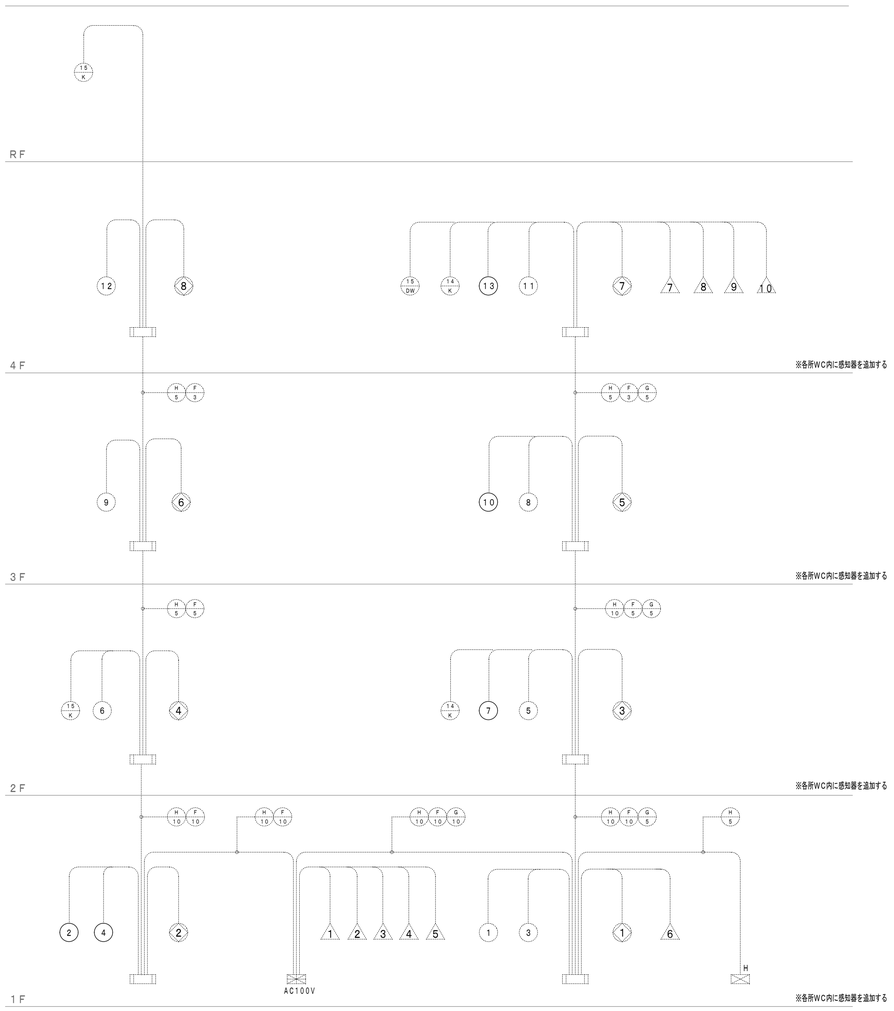

1階平面図　1/150

| | | | |
|---|---|---|---|
| ※注記 | 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事） | | |
| | 図面名　電気設備<br>放送、ITVカメラ設備　1階　平面図 | Scale　A1：1/150<br>A3：1/300<br>作図　令和　7　年　9　月 | 図面番号<br>E-23 |
| | 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | |

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




<管理・普通教室棟>

| 凡 | | 例 |
|---|---|---|
| | 複合受信盤 | 仕様注記参照 |
| P | 受信機 | P－1 |
| | 表示灯 | LED |
| | 消火栓ボックス | P 組込 |
| FR | 消火栓起動リレー | 消火栓ポンプユニットに組込 |
| S | 煙感知器 | 2種 光電式 |
| S | 同上 | 2種 光電式 点検口付 |
| | 差動式スポット型熱感知器 | 2種 |
| | 定温式スポット型熱感知器 | 1種 防水型 |
| $_{O}$ | 同上 | 特種 |
| $_{O}$ | 同上 | 特種 防水型 |
| S | 煙感知器 | 3種 光電式 |
| ER$_{D}$ | 自動閉鎖装置 | 防火戸用 ラッチ式 |
| ER$_{S}$ | 同上 | 防火シャッタ用（建築工事） |
| Z | 警報ブザー | 防火シャッタ降下警報用 フリッカ式 |
| G | ガス漏れ検知器 | DC24V 都市ガス用 |
| | | |
| | | |
| H | 消火栓ポンプユニット | |
| | 警戒区域線 | |
| X | 警戒区域番号 | 自火報 |
| X | 表示番号 | 防火戸・シャッター |
| A | 同上 | ガス漏れ |
| | | |
| | 端子盤 | |
| | ジャンクションボックス | |
| | プルボックス | |
| | 配管配線 | 天井隠蔽 |
| | 配管配線 | 立上げ引下げ |

注 記

1．記入なき配管配線は下記とする

AE0．9－2C PF（16）

AE0．9－4C PF（16）

ガス漏れ

AE1．2－4C PF（16）

防排煙

H HP1．2－2C PF（16）

H HP1．2－3C PF（16）

H HP1．2－3P PF（22）

※二重天井内はケーブル転がしとする

2．受信機仕様

形 状・複合盤に組込

機 能・液晶（LCD）表示による火災発生箇所ガイダンス表示

・操作部および地区ベル鳴動 防排煙連動マトリクス設定・変更可能

・一斉試験により全回線火災試験 表示試験

蓄積時間測定が順次自動的に可能

回 線・自火報 25回線 22／25

・防排煙 10回線 8／10

・ガス漏れ 15回線 12／15

・警報 10回線 3／10

合計 60回線

※警報表示内訳

消火栓ポンプ起動 1回線

消火栓ポンプ故障 1回線

呼水槽減水 1回線

3．火災発生時非常放送アンプへ火災階信号、火災断定（発信機・第2発報回線）を移設する

※上記、改修の際の敷設ケーブルは同等のEMケーブルとする

| 配 線 リ ス ト | | | |
|---|---|---|---|
| 番号 | ケーブル | 電線管 | 備　考 |
| H 5 | HP1．2－5P | PF（22） | 自火報 |
| H 10 | HP1．2－10P | PF（28） | 自火報 |
| | | | |
| F 3 | HP1．2－3P | PF（22） | 防排煙 |
| F 5 | HP1．2－5P | PF（22） | 防排煙 |
| F 10 | HP1．2－10P | PF（28） | 防排煙 |
| | | | |
| G 3 | HP1．2－3P | PF（22） | ガス漏れ |
| G 5 | HP1．2－5P | PF（22） | ガス漏れ |
| G 10 | HP1．2－10P | PF（28） | ガス漏れ |
| | | | |
| | | | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　電気設備

自動火災報知設備　系統図

Scale　A1：－　A3：－

作図　令和 7 年 9 月

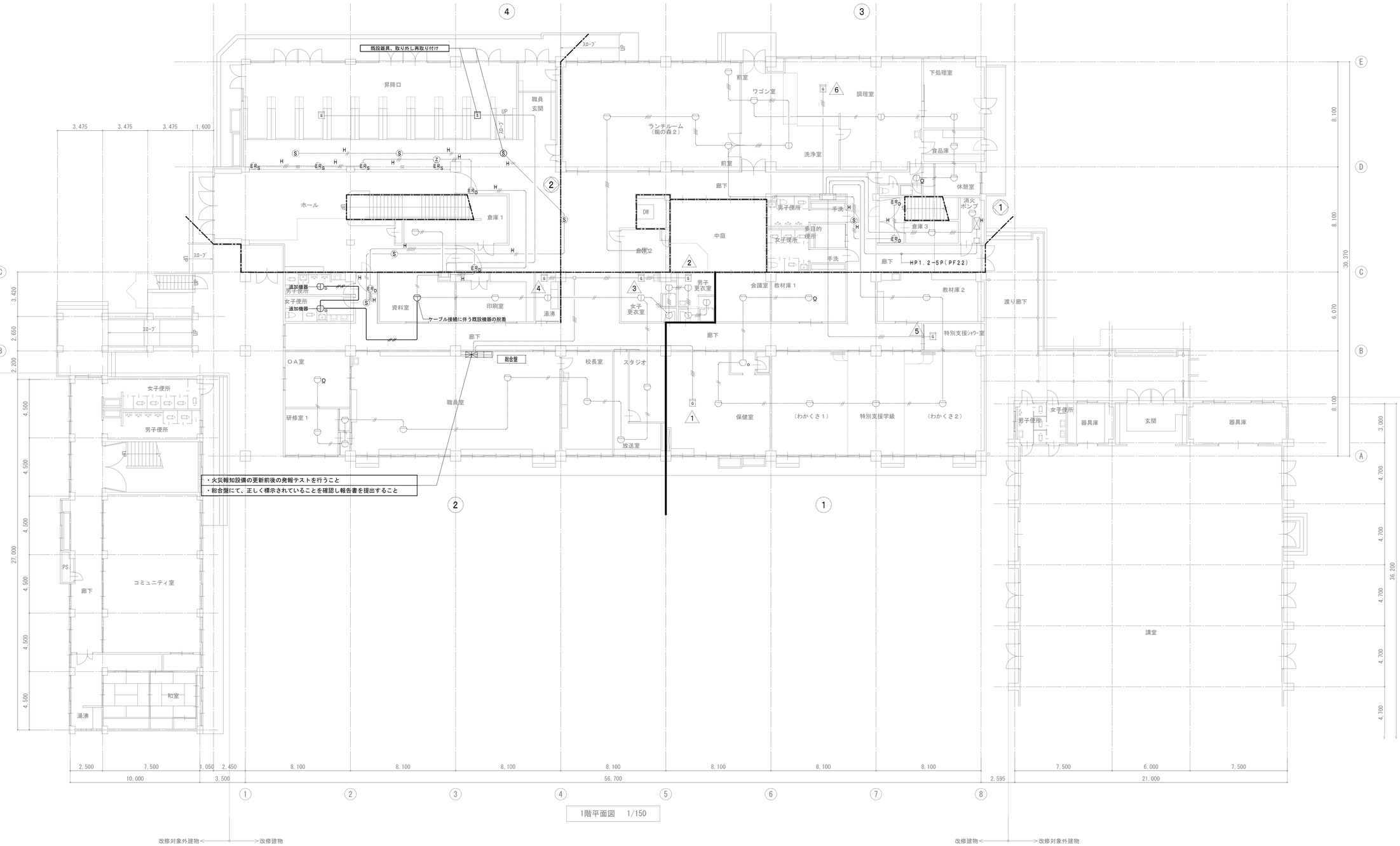
図面番号　E-24

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽 俊和

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




1階平面図　1/150

※注記

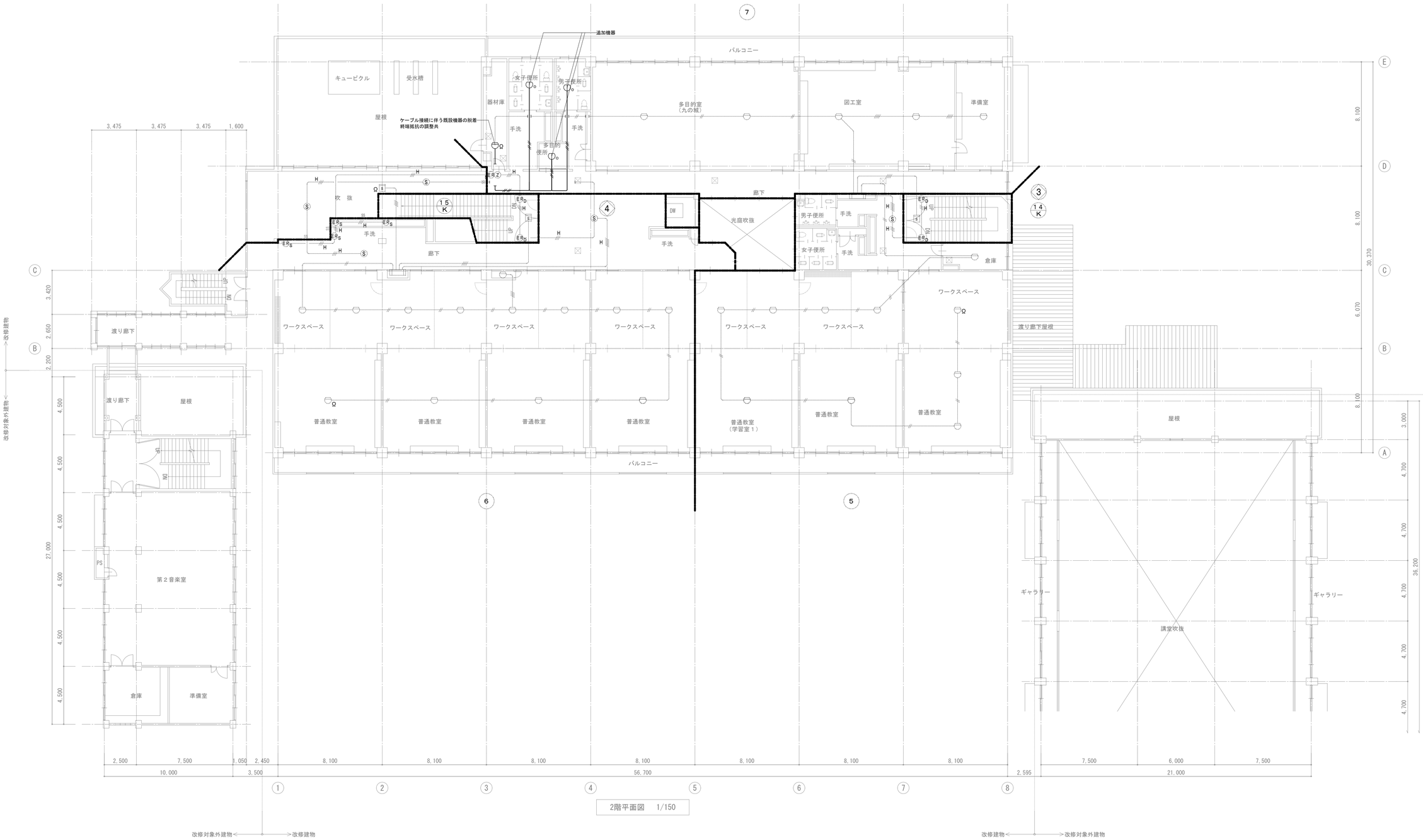
浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名　電気設備　自動火災報知設備　1階　平面図 | Scale　A1：1/150　A3：1/300 | 図面番号 |
| | 作図　令和　7　年 9　月 | E-25 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | |

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




2階平面図　1/150

※注記

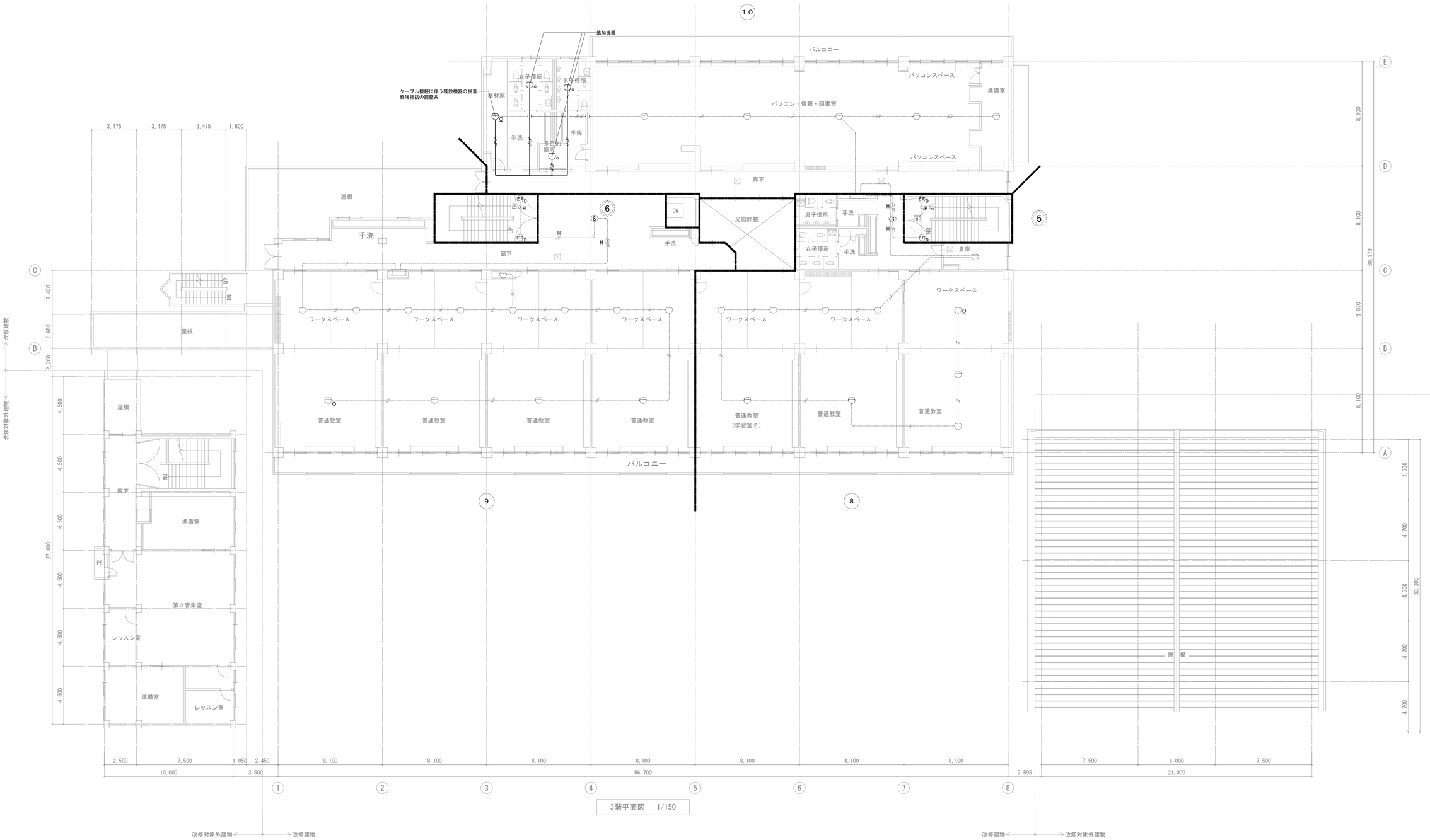
浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 電気設備<br>自動火災報知設備　2階　平面図 | Scale　A1：1/150　A3：1/300<br>作図　令和　7　年　9　月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号　E-26 |

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




3階平面図　1/150

※注記

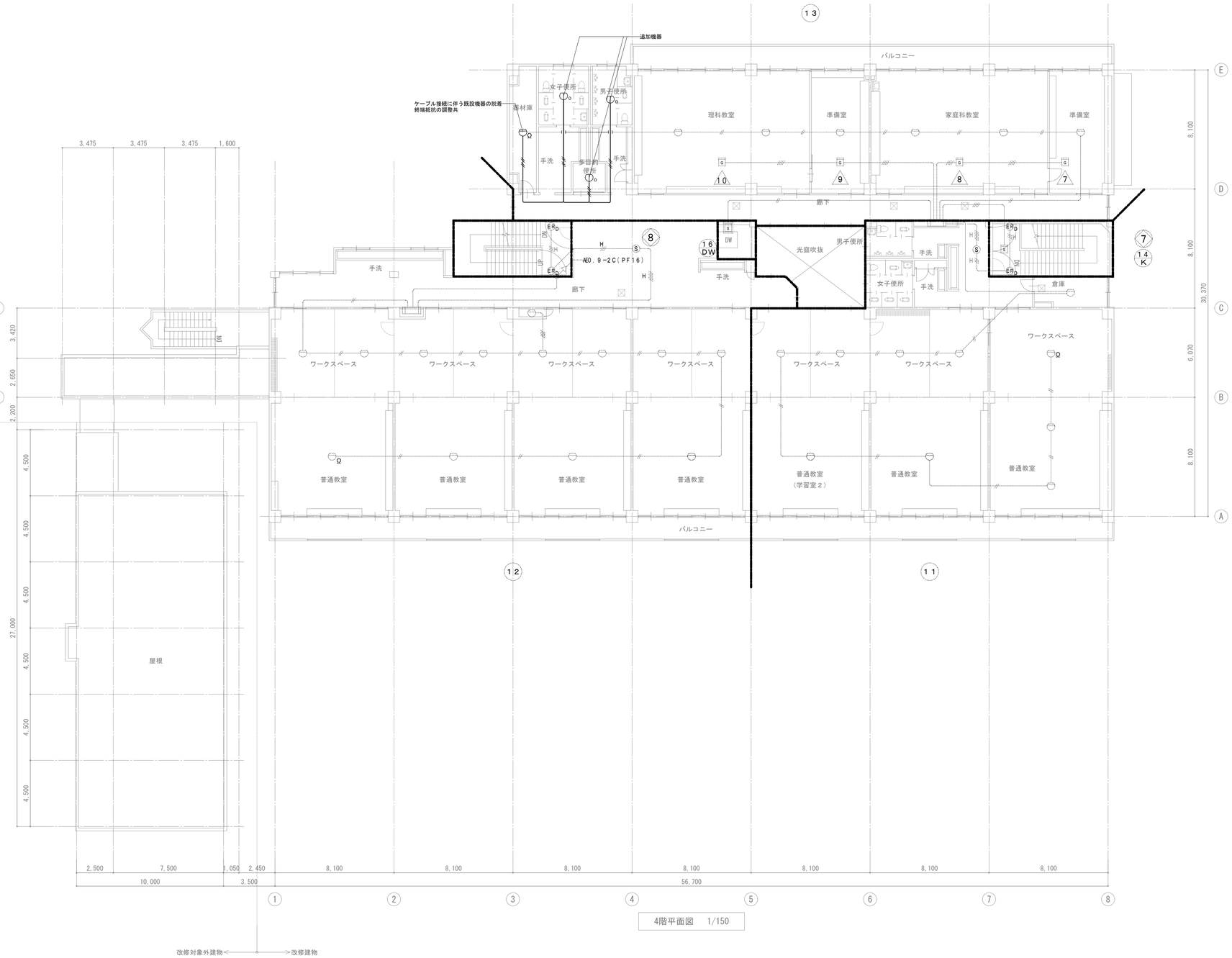
浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

| | | |
|---|---|---|
| 図面名 | 電気設備<br>自動火災報知設備　3階　平面図 | Scale　A1：1/150　A3：1/300<br>作図　令和　7 年 9 月 |
| 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | 図面番号　E-27 |

撤　去

改　修

・図中、濃線にて示した器具及び配管配線を撤去改修の対象とし薄線にて示したものを対象外とする




4階平面図　1/150

| | | | |
|---|---|---|---|
| ※注記 | 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事） | | |
| | 図面名　電気設備<br>自動火災報知設備　4階　平面図 | Scale　A1：1/150<br>A3：1/300 | 図面番号 |
| | | 作図　令和　7　年　9　月 | E-28 |
| | 株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和 | | |

# 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）　　設計図

## 仕様書

### Ⅰ．工事概要

１．工事場所　　四日市市　北浜田　地内

２．建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階数 | 建築基準法による延べ面積（㎡） | 消防法施行令別表第一 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| 管理教室棟 | RC造 | 地上４階、ＰＨ１階 | 5,638.00 | ７項 | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

３．工事種目（○印の付いたものを適用する）

| 建物別及び屋外 ＼ 工事種別 | 管理教室棟 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 工事種目 | | | | | | |
| ・ 空気調和設備 | | | | | | |
| ⊙ 換気設備 | 改修　一式 | | | | | |
| ・ 排煙設備 | | | | | | |
| ・ 自動制御設備 | | | | | | |
| ⊙ 衛生器具設備 | 改修　一式 | | | | | |
| ⊙ 給水設備 | 改修　一式 | | | | | |
| ⊙ 排水設備 | 改修　一式 | | | | | |
| ・ 給湯設備 | | | | | | |
| ・ 消火設備 | | | | | | |
| ・ 厨房設備 | | | | | | |
| ・ ガス設備 | | | | | | |
| ・ 雨水利用設備 | | | | | | |
| ・ 排水処理設備 | | | | | | |
| ・ し尿浄化槽設備 | | | | | | |
| ⊙ 撤去工事 | 改修　一式 | | | | | |

４．指定部分　　⊙ 無　・有（　部位：　　）
　　指定部分工期　令和　　年　　月　　日

### Ⅱ．工事仕様

１．共通仕様

（１）図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の下記仕様書等のうち、○印の付いたものによる。

⊙ 公共建築工事標準仕様書　（機械設備工事編）（　令和７年版　）（以下「標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）（　令和７年版　）（以下「改修標準仕様書」という。）
⊙ 公共建築設備工事標準図　（機械設備工事編）（　令和７年版　）（以下「標準図」という。）

２．特記仕様

章、項目及び特記事項は、○印の付いたものを適用する。なお、上位事項に○印がない下位事項は適用しない。

| 項目 | | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | １　適用区分 | 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。<br>・　風圧力<br>　風速　（V0=34m/s）<br>　地表面粗度区分（　・Ⅰ　・Ⅱ　・Ⅲ　・Ⅳ　）<br>・　積雪荷重<br>　垂直積雪量（　0.3m　） |
| | ２　他工事又は他工種との取合い | 工事区分表による。ただし、これにより難い場合は監督職員と協議する。 |
| | ３　週休2日制工事 | 「四日市市週休2日制工事実施要領（営繕工事）」（令和６年７月１９日改正適用）に基づく適用は下記による。<br>・　週休2日制工事対象<br>・　週休2日制工事(受注者希望型）対象<br>・　週休2日制対象外工事（　・工事の実働日数が30日未満の工事　・現場閉所困難な工事）<br>完全週休2日制工事(受注者希望型含む)の現場閉所日については下記による。<br>・土日閉所（ただし、　/　～　/　については土日作業とすること。）<br>・土日以外閉所<br>　土日以外閉所における現場閉所日は、着手前に監督職員と協議の上設定すること。<br>　なお、現場閉所日については、原則として毎週連続する同一の曜日とすること。 |
| | ④　施工条件 | 施工可能日　・土、日曜日、祝日施工有り　・指定無し<br>　⊙ その他（・M-03・E-03 ⊙ A-01, 52, 53 による）<br>施工可能時間帯　・指定無し　・指定有り（・M-03・E-03 ⊙ A-01, 52, 53による）<br>現場閉所日、祝日、夜間に作業を行う場合は、事前に「休日及び夜間工事承諾願」を提出し、監督職員の承諾を得ること。<br>高さ５mを超える箇所での作業を有する場合の墜落制止用器具はﾌﾙﾊｰﾈｽ型を使用する。<br>完成確認及び完成検査時等の給排水・ガス確保<br>機器の動作確認、運転確認できるように給排水・ガスを確保すること。<br>完成時の操作説明<br>空調設備、自動制御設備、ポンプ、ろ過機、浄化槽設備等、操作の必要な機器は、施設管理者へ使用開始前に操作説明を行うものとする。<br>操作説明にあたって、操作説明書、操作注意事項書を作成し、機側に備えること。<br>在来設備の一時停止に係る調整<br>機械設備の改修等のため、在来設備を一時停止させる必要のある場合は、予めその時期、停止の範囲及び工法等を施設管理者などの関係者と打ち合わせ、場合によっては停電、断水計画書等を提出し、承諾を得たうえで作業を行うものとし、施設の運営に支障を来たさないよう特に注意する。 |
| | ５　監督職員事務所 | 監督職員事務所を設けること。 |
| | ⑥　工事用電力・水・その他 | ・　工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて受注者の負担とする。<br>⊙ 市支給。ただし現場において既設設備より供給可能な範囲に限る。 |
| | ７　工事用仮設物 | 工事用仮設物を構内につくることができる。 |
| | ８　足場その他 | ・　別契約の関係受注者が定置したものは無償で使用できる。<br>・　本工事で設置する。<br>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙１「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。<br>・　内部足場等　（・　　）<br>・　外部足場等　（・くさび緊結式（手すり先行工法）　・　　） |
| | ９　交通安全管理 | 交通誘導員　・配置する　名以上（大型車の出入は必ず）　・配置しない<br>・　交通誘導警備員Ａ　・　交通誘導警備員Ｂ |
| | ⑩　施工調査 | ⊙ はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に走査式埋設物調査を行うこと。<br>・　既設埋設配管等を切断または接続する箇所は、事前に試掘調査を行うこと。 |

| 項目 | | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | 11　非破壊検査等 | 構造部等の機械はつり箇所は、非破壊検査等による埋設物の調査を行い、監督職員に報告書を提出する。 |
| | ⑫　既存躯体への穿孔 | 穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置等を用いて施工する。 |
| | ⑬　耐震安全性の分類と耐震施工 | 設備機器の固定は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針 2014 年版（独立行政法人建築研究所監修）による。⊙すべて　・（　　）以外　の100kg以上の機器を対象とする。<br>（１）設計用水平地震力は、機器の質量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量）に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。<br>設計用標準水平震度<br>（表：設置場所／機器種別／⊙特定の施設（重要機器・一般機器）／・一般の施設（重要機器・一般機器）<br>上層階・屋上及び塔屋／機器／2.0／1.5／1.5／1.0<br>上層階・屋上及び塔屋／防振支持の機器／2.0／2.0／2.0／1.5<br>上層階・屋上及び塔屋／水槽類／2.0／1.5／1.5／1.0<br>中間階／機器／1.5／1.0／1.0／0.6<br>中間階／防振支持の機器／1.5／1.5／1.5／1.0<br>中間階／水槽類／1.5／1.0／1.0／0.6<br>地階・１階／機器／1.0／0.6／0.6／0.4<br>地階・１階／防振支持の機器／1.0／1.0／1.0／0.6<br>地階・１階／水槽類／1.5／1.0／1.0／0.6）<br>上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。<br>中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの<br>重要機器は次による。<br>・　消火ポンプ　・充水槽　・受水槽　・高架水槽<br>・　揚水ポンプ　・その他（　　）<br>水槽類にはオイルタンクを含む。<br>（２）設計用粉雲地震力は、設計用水平地震力の１／２とする。 |
| | 14　建設発生土の処理 | ・　埋戻し後の建設発生土は、監督職員が指示する構内の場所に敷きならしとする。<br>・　構外搬出適切処理とする。<br>※建設発生土を搬出する場合は、事前に書面にて処分地の報告(位置図等)を行い、処分地での処理状況が分かる写真を提出すること。また、処分地が民有地の場合、土地所有者からの建設発生土受入承諾書の写しを提出すること。 |
| | 15　埋戻し土・盛土 | 地中埋設管まわりは山砂の類とし、図面に記載のない部分は掘削土の良質土で埋戻す。 |
| | ⑯　材料・機材の品質等 | （１）本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。<br>（２）別表－１に機材等名が記載された製造業者等は、次の①から⑥すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、製造業者等名が記載されているものは、証明となる資料等の提出を省略することができる。<br>①品質及び性能に関する試験データを整備していること。<br>②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。<br>③安定的な供給が可能であること。<br>④法令等で定めて許可、認可、認定又は免許を取得していること。<br>⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。<br>⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。<br>（３）「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目は判断の基準等を満足させるものとする。 |
| | ⑰　環境への配慮 | （１）建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。<br>①合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。<br>②接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。<br>③接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-ｎ-ブチル及びフタル酸ジ-２-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。<br>④①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。<br>（２）設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分において、「規制対象外」とは次の①又は②に該当する材料を指し、同区分「第三種」とは次の③又は④に該当する材料を指す。<br>①建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料<br>②建築基準法施行令第２０条の７第４項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料<br>③建築基準法施行令第２０条の７第１項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料<br>④建築基準法施行令第２０条の７第３項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 |
| | 18　資源有効利用促進 | ※本工事が資源の有効な利用の促進に関する法律（平成三年法律第四十八号）の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合（下記内容該当工事）は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。<br>・　建設副産物を搬出する際の計画<br>1. 土砂500m3以上　2. コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材の合計が200t以上<br>・　再生資材を利用する際の計画<br>1. 土砂500m3以上　2. 砕石500t以上　3. 加熱アスファルト200t以上 |
| | 19　工事の保険 | ・　建設工事保険（管理財物担保特約に加入）（保険証の写しを提出）<br>・　請負業者賠償責任保険　（保険証の写しを提出）<br>保険期間は工事期間を原則とする。（必要に応じて延長するものとする。） |
| | 20　建設共済等 | 下記の制度について加入すること。<br>・　法定外労災補償制度　（加入証明書の写しを提出）<br>・　建設業退職金共済制度　（掛金収納書を提出）<br>共済証紙購入額　請負額の0.5／1000以上<br>ただし、建設業退職金共済については請負額が500万円以上の場合とする。<br>※1 他の退職金制度に加入している等、共済証紙を購入する必要がない場合は理由書の提出をもって共済証紙の購入を不要とする。<br>※2 契約変更により工事価格が上昇した場合は、不足分を追加購入すること。 |
| | 21　工事実績情報登録 | 工事請負金額500万円以上の工事は、工事実績情報サービス（CORINS）に登録すること。 |
| | 22　施工体制台帳提出 | 公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律により、施工体制台帳の写しを提出すること。なお、下請契約締結後、速やかに提出すること。変更時も同様とする。 |
| | ㉓　資材購入及び下請業者の選定に際しての留意事項 | 資材購入及び工事の一部を下請業者にて施工する場合、業者の選定に際しては、できる限り市内業者を優先させること。 |

| 項目 | | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ㉔　工事記録 | 工事記録は以下のように行うこと。<br>○工事写真<br>工程写真（埋設部、隠ぺい部、施工、材料等）及び完成写真<br>Ａ４用紙に印刷し、提出すること。<br>撮影方法や写真サイズは国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「営繕工事写真撮影要領（令和５年版）」に従うこと。<br>○工事目報、納品伝票、出荷証明<br>工事目報、納品伝票、出荷証明の写しは監督職員が提出を求めた場合に提出すること。 |
| | ㉕　完成時の提出図書 | 下記のものを提出すること。<br>○工事完成図（竣工図（修正済みの設計図）＋施工図）※PDFデータを課内確認までに提出すること。<br>○完成図　（JW-CADデータ及びPDFデータ）　(DVD)　（１）枚<br>○完成図　（A1またはA2サイズで電気設備図と併せて二つ折り製本したもの）（１）部<br>○工事写真（紙、DVD）※DVDは原則として、完成図データと同一媒体とする。<br>○保全に関する資料等　（１）部<br>●監督職員の指示により提出するもの　・完成図（A4版に製本したもの）　・（　　） |
| | ㉖　施工図等の取扱い | 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。 |
| | 27　地中埋設標等 | （１）地中埋設標　・要（図示による。）　・不要<br>（２）埋設表示用テープ（２倍折込み）　・要（排水管を除く。）　・不要 |
| | ㉘　既設との取合い | 本工事に伴う既設の軽微な加工改造は本工事とする。 |
| | ㉙　電源周波数 | ６０Ｈｚとする。 |
| | ㉚　電気工作物の種類と電気保安技術者 | ⊙ 事業用電気工作物　・一般用電気工作物<br>電気工作物に係る工事は電気保安技術者を配置し、工事期間中の電気工作物の保安業務を行う。<br>電気主任技術者が選任されている施設においては、電気主任技術者に工事内容の説明を行い、工事の調整にあたる指導を受けるものとする。<br>電気保安技術者　事業用電気工作物：電気主任技術者　一般用電気工作物：電気工事士 |
| | ㉛　電線類 | 電気計装に使用する電線及びケーブルの規格は標準仕様書第４編 1.5.1 表4.1.11による。 |
| | 32　管油接部の検査 | 標準仕様書第２編 2.5.15.12　の溶接部の非破壊検査を行う。 |
| | ㉝　管の防食 | プラスチックテープ巻き 1/2 重ね１回巻きとする。（外面被覆ライニング鋼管及び排水管は除く） |
| | ㉞　吊り及び支持 | （⊙ 槽内　・土間）の吊り金物・支持金物類はステンレス鋼製（SUS304）とする。<br>屋内埋設配管についても、通常の配管支持方法に準じて行う。 |
| | 35　防振吊り金物及び防振支持金物 | 次の配管には、防振吊り金物（・シングル　・ダブル）または、防振支持金物を設ける。ただし、屋外及び地下ピットを除く。<br>・　口径 50A以上の配管（・冷温水　・冷却水　・揚水　・消火　・　　）<br>・　次に示す配管<br>露出機材の塗装仕上げは下記による。 |
| | ㊱　塗装、表示 | ・　屋外：・ドレン管　（・指定色塗装　・　　）<br>・金属電線管　（・内外面溶融亜鉛メッキ仕上げ　・指定色塗装）<br>・　屋内：・EPS、ピット階を除く露出配管、電線管類（・指定色塗装　・　　）<br>下記の保温を施さない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。<br>・　機械室　・倉庫　・電気室<br>機械室、PS内、水槽廻り、その他必要な箇所に配管種別（「給水」等）、流向（矢印）を表示すること。<br>弁には常開、常閉、調整　等の札表示を行うこと。<br>・系統図、機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を記載したアクリル樹脂製の板を機械室に設ける。説明板の大きさは、約　　m2とする。 |
| | 37　絶縁継手 | 特記なき取付け箇所及び仕様は標準仕様書第２編 2.2.12による。 |
| | 38　防振継手 | ・　合成ゴム製　・ベローズ形 |
| | 39　可撓継手 | ・　合成ゴム製　・ベローズ形 |
| | 40　鋳鉄製弁類 | ライニング弁類の使用範囲　・標準仕様書による　・使用しない |
| | 41　スリーブ | ・　亜鉛鉄板　・紙チューブ　・つば付鋼管　・塩化ビニル管 |
| | ㊷　容量等の表示 | （１）機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。<br>（２）電動機出力、燃料消費量、圧力損失等は、原則として表示された数値以下とする。 |
| | ㊸　試　験 | （１）各種配管の試験は、新設配管に適用する。<br>（２）新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。<br>給水管の水道用硬質塩化ビニル管はHIVPは0.75MPaでの耐圧試験とする。<br>給水、給湯用架橋ポリエチレン管はメーカー推奨圧力で行う。<br>上記（２）により難く、既設配管との接続の場合は、監督職員の承諾を得れば、漏れ、詰まりがない事を目視での確認で良いこととする。<br>既設配管は保温、埋設直前に、給水給湯系は24時間常圧耐圧確認、排水系は通水確認を行う。 |
| | 44　総合調整 | ・　本工事　・　別途<br>調整項目（測定箇所等は監督職員の指示による。）<br>・　風量調整　・　水量調整　・　室内外空気の温湿度の測定<br>・　室内気流及びじんあいの測定　・　騒音の測定<br>・　飲料水の水質の測定（水道法第４条の水質基準の規定に基づくこと）<br>・　検査項目は下記による<br>一般細菌、大腸菌、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物（全有機炭素(TOC)の量）、PH値、味、臭気、色度、濁度、遊離残留塩素<br>・　その他（・　項目　・遊離残留塩素　・図示　） |
| | 45　機材の承諾図 | 機械設備工事機材承諾図様式集（令和７年版）によるほか、監督職員の指示による。 |
| ⊙ 撤去工事 | ①　撤去内容 | ⊙ 図示による |
| | ②　支持金物等 | ダクト及び配管等の支持金物・吊りボルト等は本工事にて撤去する。 |
| | ③　冷媒の回収（フロン類） | 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は改修標準仕様書による。<br>冷媒の回収にあたっては、監督職員に次の書類を提出する。<br>（ア）第一種フロン類回収業者登録通知書の写し　（イ）フロン類回収証明書 |
| | ④　発生材の処理 | ・　引渡しを要するもの<br>・金属類（・機器　・ダクト　・配管　・その他の金物　）・ルームエアコン　・（　　）<br>⊙ 引渡しを要するもの以外<br>構外搬出適切処理とする。<br>廃棄物管理票（マニフェスト）確認表を作成し、監督職員にＡ票及びＤ票もしくはＥ票の確認を受けるものとする。<br>・　特別管理産業廃棄物<br>（ＰＣＢ使用機器：　　）<br>ＰＣＢ使用機器は、関係法令に従い適切に処置する。<br>・　再使用又は再資源化を図るもの |

| 項目 | | 特記事項 |
|---|---|---|
| 空気調和設備 | １　設計用温湿度 | 外気（地区名：津）：夏期　35.3℃　63.1%　冬期　1.9℃　53.6%<br>屋内：一般系統　夏期　28℃　50%　冬期　19℃　40%<br>屋内：0A系統　夏期　24℃　45%　冬期　24℃　45%<br>屋内：一般系統(ACP系統)　夏期　28℃(参考)　50%(参考)　冬期　19℃(参考)　40%(参考) |
| | ２　鋼板製煙道 | 伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 |
| | ３　ダクト | ・　低圧ダクトの工法は下記とする。<br>（・コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分）・アングルフランジ工法）<br>・　高圧１ダクトの適用範囲は図示による。<br>・　ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 |
| | ４　風量測定口 | 取付け箇所は図示による。 |
| | ５　チャンバー等 | （１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。<br>（２）空気調和機に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及び風道系で消音内貼りしたチャンバーには点検口を設け、大きさは図示による。<br>（３）外壁ガラリに直接取り付けるチャンバー類は雨水の滞留のないように施工する。<br>（４）空気調和機の吸い込み側及び吐出側に接続するチャンバーの板厚は、1.2mm 以上とする。<br>図示されたチャンバーには点検口を設ける。<br>寸法は図示されていない場合は（・400×500H・500×600H　）とする。<br>（５）内貼りを施すチャンバー等の表示寸法は、外形寸法とする。<br>（６）アネモ形吹出口接続用ボックスは、吹出口のネック径200mm以下は、400×400×250H、200mmを越えるものは、500×500×300Hとする。 |
| | ６　ダンパー | （１）防煙ダンパー　復帰方式（・遠隔・　　）<br>（２）ピストンダンパー　復帰方式（・遠隔・　　） |
| | ７　配管材料 | 配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。<br>（１）冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・塩ビライニング鋼管（HVA）<br>（２）冷却水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・塩ビライニング鋼管（VA）<br>（３）油管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）<br>（４）蒸気管　給気管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）<br>・圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）（・Sch40）<br>還　管　・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（・Sch80）<br>（５）高温水管　・ステンレス鋼管　・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>（６）膨張管　空気抜き管　・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>膨張タンクよりボイラー等への補給水管<br>（７）冷媒管　・断熱材被覆銅管<br>（８）ドレン管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・ビニル管（VP）<br>（屋外露出：VP　ｶﾗ-VP　屋内：保温付VP） |
| | ８　弁　類 | ＪＩＳ又はＪＶ（・５Ｋ・１０Ｋ（図示部分））<br>６５Ａ以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。<br>・　銅管用伸縮管継手の種類は図示による。<br>・　ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 |
| | ９　油面制御装置 | 油面制御盤には（・遠隔警報・電磁弁制御　・　　）の端子を設ける。<br>なお、フロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。 |
| | 10　配管施工 | ○ 冷媒管は、製造者の標準仕様による。ただし、断熱材被覆銅管の断熱材厚さは、液管を10mm以上、ガス管を20mm以上とする。<br>冷媒管の耐圧試験は24時間メーカー推奨圧力で行う。<br>冷媒管の立て管は、垂直方向に5m以上ある場合、ガス管、液管共に銅管から直接1箇所以上固定すること。この場合支持金物にも保温を行うこととし、保温は保温工事の項の冷媒管(成形用)に準ずる。<br>○ 冷水、ブライン及び冷温水配管の吊りバンド等の支持部は、合成樹脂製の支持受けを使用すること。<br>○ 冷媒管の支持受け材として保護プレートを断熱被覆銅管と吊り金物、支持金物、固定金物の間に設けること。 |
| | 11　ばい煙濃度計 | ・　設ける　・　設けない |
| | 12　ばいじん量測定口 | ・　設ける（口径８０φ以上）　・　設けない<br>・　本体は（・アスファルト　・モルタル　・エポキシ樹脂）により保護を行う。 |
| | 13　吹出口・吸込口 | ・　鋼製　・アルミニウム製　・木製 |
| | 14　瞬間流量計 | ・　設ける（検出部と指示部一体形）　・　設けない<br>取付箇所は、（・ユニット形空気調和機　・冷温水ポンプ　・ヘッダーの各送り管　・ヘッダーの各返り管）とする。<br>・　瞬間流量計を設けない場合は、ピト一管式流量計用タッピングのみを設ける。<br>取付箇所は前記による。 |
| | 15　圧力計・温度計 | 計器取付箇所（○印の箇所）<br>機器名：冷凍機　冷却水　機器入口側 圧力計○ 温度計○　機器出口側 圧力計○ 温度計○　温度計の種類 ガード付<br>冷凍機　冷水　○○○○　Ｌ形又は円形<br>直たき吸収式　冷却水　○○○○　ガード付<br>冷温水機　冷温水　○○○○　Ｌ形又は円形<br>パッケージ形空気調和機　冷却水　○○○○　ガード付<br>パッケージ形空気調和機　温水　○○○○　Ｌ形又は円形<br>パッケージ形空気調和機　チャンバ　○　○　ブルドン管式<br>パッケージ形空気調和機　冷温水　○○○○　Ｌ形又は円形<br>パッケージ形空気調和機　チャンバ　○　○　ブルドン管式<br>温風暖房機　チャンバ　○　○　ブルドン管式<br>温水ボイラ　温水　○　○　Ｌ形又は円形<br>管寄せ　○　Ｌ形又は円形 |
| | 16　機器基礎 | ポンプ　基礎施工要領（四）・標準基礎・防振基礎<br>遠心冷凍機　基礎施工要領（二）・標準基礎<br>往復動冷凍機　基礎施工要領（二）・標準基礎<br>パッケージ形空気調和機　基礎施工要領（三）・標準基礎・防振基礎・既製品基礎<br>ルームエアコン　基礎施工要領（三）・標準基礎・防振基礎・既製品基礎<br>ユニット形空気調和機　基礎施工要領（三）・標準基礎・防振基礎<br>遠心送風機　基礎施工要領（四）・標準基礎・防振基礎<br>・　防振基礎は市販の防振装置を使用してよい。 |
| | 17　形鋼振れ止め | ダクトに形鋼振れ止め支持を行う。図面に特記なき場合、支持部材選定表による。 |
| | 18　吊機器の振れ止め | 室内機器等の吊り用ボルトには、ダブルナットで固定し、ボルト長さが1000mm以上の場合には、振れ止めを施す。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 図面名 | 特記仕様書<br>建築機械設備１ | 縮尺 | 1:NO (A1) | 設計番号 | 工事名：浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）　設計図 |
| | | | | 作図 令和７年１１月 | 図面番号：M-01 |
| 四日市市都市整備部営繕工務課 | | | | １級建築士　登録第　　号<br>四日市市諏訪町１番５号 | 令和7年11月版 / |

| 項目 | | 特記事項 |
|---|---|---|
| ・ガス設備 | 1 ガス種別 | ・都市ガス<br>・液化石油ガス |
| | 2 配管材料 | ・都市ガス　ガス事業者の供給規定による。<br>・液化石油ガス　（１）一般：　・　配管用炭素鋼鋼管（白）※屋外露出部は指定色塗装<br>（２）地中：　・　ポリエチレン管　　・　外面被覆鋼管（ＶＬ） |
| | 3 充てん容器 | 別途（　・　５０ｋｇ　・　　）×　（４）本 |
| | 4 集合装置 | （４）本立て　　標準図（液化石油ガス容器廻り配管要領）による。 |
| | 5 転倒防止等 | 標準図（液化石油ガス容器転倒防止施工要領）の（　・　（ａ）　・　（ｂ））による。 |
| | 6 メーター | ・親メーター（貸与品）　（　・直読式　・パルス式（パルス発信器は　・　買い取り））<br>・子メーター（買い取り）（　・直読式　・パルス式） |
| | 7 ガス漏れ警報器 | ・本工事（図示による）　・　別途工事 |
| | 8 漏洩検知装置 | ・要　・不要 |
| | 9 電気防食 | ・要　・不要 |
| | 10 引込負担金等 | ・要　・不要 |
| ・雨水利用設備 | 1 仕様等 | 別図による。 |
| ・排水処理設備 | 1 仕様等 | 別図による。 |
| | 2 設備方式 | ・排水再利用　・厨房除害 |
| ・し尿浄化槽設備 | 1 処理種別及び構造 | ・合併処理（・接触ばっ気方式　・長時間ばっ気方式<br>・回転板接触方式　・　） |
| | 2 処理能力 | 処理対象人員　　人　容量　　㎥／日 |
| | 3 本体構造 | ・コンクリート製（・現場施工形　・ユニット形）　・ＦＲＰ製 |
| | 4 放流水質 | ＢＯＤ　　ｍｇ／Ｌ以下 |
| | 5 マンホールふた | ・製造者標準品　・ＭＨＡ　・ＭＨＢ |
| | 6 スラブ負荷重 | ・土圧のみ　・２００ｋｇｆ／ｍ²　・３５０ｋｇｆ／ｍ²　・８００ｋｇｆ／ｍ² |
| | 7 排水方式 | ・自然流下<br>・ポンプ排水<br>（ポンプ槽内（　　）ｍｍ．ＧＬよりの深さ（　　）ｍ以上<br>ただし深さが　１．２ｍ以上の場合はタラップ付とする。） |
| | 8 送風機室 | ・不要　・要（・別途工事　・本工事） |
| | 9 槽内にある鋼管類の防食 | ・独立設置形（・地上式　・地下式）　・槽と一体形<br>・タールエポキシ樹脂塗料３回塗りを行う。<br>・土中埋設の鋼管類に準じた防錆処理を行う。 |
| ・保温工事 | ①保温材 | 図面に記載のない保温工事は下記による。<br>保温材：ｸﾞﾗｽｳｰﾙ／ﾛｯｸｳｰﾙ／ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ／SUS製ﾗｯｷﾝｸﾞ／合成樹脂保温化粧ｶﾊﾞｰ／その他（ｶﾗｰ亜鉛鋼板）<br>外装材（露出部分）：ｹｰｽ |

| 保温対象 | | 保温材 | | | 外装材（露出部分） | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ｸﾞﾗｽｳｰﾙ | ﾛｯｸｳｰﾙ | ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ | SUS製ﾗｯｷﾝｸﾞ | 合成樹脂保温化粧ｶﾊﾞｰ | その他（ｶﾗｰ亜鉛鋼板） |
| 給水管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 排水管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| ドレン管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 消火管 | 屋内 | | | | | | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 給湯管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 温水管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 冷水管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 冷温水管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 蒸気管 | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 冷媒管（成形用） | 屋内 | ○ | | | | ○ | |
| | 屋外 | | | ○ | ○ | | ○ |
| 長方形ダクト | 屋内 | | | | | | |
| | 屋外 | | | | | | |
| スパイラルダクト | 屋内 | | | | | | |
| | 屋外 | | | | | | |
| ヘッダー（冷水、冷温水） | 屋内 | | | | | | |
| | 屋外 | | | | | | |
| タンク（冷水、冷温水） | 屋内 | | | | | | |
| | 屋外 | | | | | | |

機械室、書庫、倉庫の外装材は標準仕様書による。

原則として、蒸気管及び温水管等はフランジ等も保温を行うこと。

保温付架橋ポリエチレン管（保温厚10mm以上）を使用する場合は上記保温は不要。

サヤ管工法：架橋ポリエチレン・ポリブデン管を使用する場合は上記保温は不要。

屋外露出消火管の保温は、標準仕様書第２編3.1.5の給水管の項による。

※空調設備

建物内の空気抜き管の保温は標準仕様書第２編3.1.4の温水管の項による。

還気ダクト（保温範囲は、　・　図示による　・　　）

外気取り入れダクト（保温範囲は、　・　図示による　・　　）

空調機及びﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄのﾄﾞﾚﾝ管の保温は、標準仕様書第２編3.1.5の排水管の項による。

膨張タンク、ボイラ等間の補給水管の保温は標準仕様書第２編3.1.4の温水管の項による。

外気取り入れダクトのうち暖房室、浴室及び厨房内を通るダクトは保温を行う。

空調ダクトのフランジ部（補強含む）は厚さ25mmの保温材を重ね巻きするか

隠ぺい部の保温厚さをフランジ高さ＋10mm以上とする。

空調設備のドレン管は保温付VPを使用する場合は上記保温は不要。

※換気設備

外気取り入れダクトの保温は標準仕様書第２編3.1.4の一般ダクトの項による。

範囲は（・すべて　・　　）とする。

排気ダクトの保温は標準仕様書第２編3.1.4の一般ダクトの項による。

範囲は（・外壁から１ｍ　・　　）とする。

（　・　厨房　・　湯沸室　）用の隠ぺい部ダクト（仕様はｈ　・　（イ）　・　ⅨⅩ）とし範囲は図示による。

| 項目 | | 特記事項 |
|---|---|---|
| ・換気設備 | ① 風道種別 | ・長方形風道　・スパイラルダクト　・アルミフレキシブルダクト（接続部）<br>・ビニル管 |
| | 2 ダクト | ・低圧ダクトの工法は下記とする。<br>・コーナーボルト工法（長辺の長さが1500mm以下の部分）　・アングルフランジ工法<br>・高圧１ダクトの適用範囲は図示による。<br>・ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。<br>・厨房系統の長方形排気ダクトの板厚は、標準仕様書より１ランク厚いものを使用する。 |
| | 3 風量測定口 | 取り付け箇所は図示による。 |
| | 4 ダンパー | 空気調和設備の当該項目による。 |
| | 5 排気ダクトのシール | ・浴室（シャワー室、脱衣室を含む。）系統　　・（排気ガス）系統 |
| | 6 チャンバー | 空気調和設備の当該項目による。 |
| ・排煙設備 | 1 ダクト | ・亜鉛鉄板　・（　　） |
| | 2 排煙口の形式 | ・図示による。 |
| | 3 排煙口手動開放装置（開放及び復帰方式） | ・ワイヤー式　・電気式（遠隔操作　・不要　・要） |
| | 4 排煙風量測定 | （一財）日本建築設備・昇降機センター発行 建築設備定期検査業務基準書2023年版及び追補（令和7年7月1日改正） 排煙風量の検査方法に準ずる。 |
| ・自動制御設備 | 1 システム構成ほか | 別図による。 |
| | 2 電気計装用機材 | 使用する電線及びケーブルは、原則としてＥＭ電線又はＥＭケーブルとする。<br>屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。<br>天井内隠ぺいの配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。 |
| ・衛生器具設備 | ① 洗面器・手洗器 | 止水栓付とする。 |
| ・給水設備 | ① 配管材料 | 配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。<br>（１）給水引込管（水道直結部分）は水道事業者の指定による（　・水道配水用ポリエチレン管（HPPE））<br>（２）屋内地中埋設配管及びｺﾝｸﾘｰﾄ埋込　・塩ビライニング鋼管（VD）　・ビニル管（HIVP）<br>（３）屋外地中埋設配管　・塩ビライニング鋼管（VD）　・ビニル管（HIVP）<br>・水道配水用ポリエチレン管（HPPE）<br>（４）その他の一般配管（上水・加湿）　・ステンレス鋼管（SUS304）　・ビニル管（HIVP）<br>・給水用架橋ポリエチレン管<br>・塩ビライニング鋼管（VA）<br>（雑用水）　・塩ビライニング鋼管（VA） |
| | 2 水栓 | ・水抜栓を使用する場合、水栓は固定こまとする。 |
| | 3 量水器 | ・親メーター（貸与品）　（　・直読式　・パルス式　）<br>・子メーター（買い取り）（　・直読式　・パルス式　）遠隔表示器付 |
| | 4 量水器桝 | ・水道事業者指定品　（　・貸与品　・買い取り（材質：　）　・　標準図ＭＣ形　） |
| | 5 弁類 | JIS又はJV適合品　・直圧直結部分（・１０Ｋ　・　）・ポンプ加圧部分（・１０Ｋ　・　）<br>・その他の部分（・１０Ｋ　・５Ｋ） |
| | | 逆止弁の衝撃吸収ゴムはライニング不要とする。 |
| | | ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 |
| | 6 管の地中埋設深さ | 管の上端より原則として、一般敷地は（３０ｃｍ）構内道路は（６０ｃｍ）以上とする。 |
| | 7 水栓柱 | ・合成樹脂製　・人造石とぎ出し製　・不凍水栓　・ステンレス製 |
| | 8 建物導入部配管 | ・ポリエチレン配管の施工要領は図示による。 |
| | 9 引込納付金等 | ・要（別途） |
| ・排水設備 | ① 配管材料 | 配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。<br>（１）屋内　汚水管　・排水用塩ビライニング鋼管（・ビニル管(VP,露出部分はｶﾗｰ)　・耐火二層管<br>雑排水管　・排水用塩ビライニング鋼管（・ビニル管(VP,露出部分はｶﾗｰ)　・耐火二層管<br>・熱湯が流下する箇所は耐熱塩ビライニング鋼管、耐熱ビニル管(HTVP)とする。<br>通気管　・排水用炭素鋼鋼管（白）　（・ビニル管(VP,露出部分はｶﾗｰ)　・耐火二層管<br>ポンプアップ排水管　・排水用ノンタールエポキシ塗装鋼管<br>（２）屋外　第一桝まで　・排水用塩ビライニング鋼管　・ビニル管（VP,125A以上はVUでもよい）<br>桝間　・ビニル管（VP）　・リサイクルビニル管（RS－VU） |
| ・給湯設備 | 1 配管材料 | 配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。<br>・ステンレス鋼管　・塩ビライニング鋼管（HVA）　・給湯用架橋ポリエチレン管 |
| | 2 弁類 | ・ステンレス配管を使用する場合の材質は、ステンレス製とする。<br>JIS又はJV適合品（・１０Ｋ（図示部分）　・５Ｋ） |
| ・消火設備 | 1 配管材料 | 配管材料は原則下記とし、下記以外は図示による。<br>（１）屋内消火栓　一般　・ステンレス鋼管（SUS304）　・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>屋内地中　・ステンレス鋼管（SUS316）　・外面被覆鋼管（VS）<br>屋外地中　・ステンレス鋼管（SUS316）　・外面被覆鋼管（VS）<br>・水道配水用ポリエチレン管（HPPE）<br>（２）連結送水管　一般　・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40）<br>屋内地中　・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40）<br>屋外地中　・圧力配管用炭素鋼鋼管（白）（　・　Sch40）<br>・水道配水用ポリエチレン管（HPPE） |
| | 2 建物導入部配管 | ・標準図（建築物導入部の変位吸収配管要領）の　・（ａ）　・（ｂ）　・（ｃ）による。 |
| | 3 不活性ガス消火設備 | 別図による。 |
| | 4 泡消火設備 | 別図による。 |
| | 5 試験 | 施工前に既設屋内消火栓の放水試験を行うこと。<br>試験する箇所と個数は、・監督職員の指示　・Ｍ-03【施工条件】による。 |
| ・厨房設備 | 1 システム | ・ドライシステム |
| | 2 機器の機能等 | 図示による。 |

# アスベスト含有物の取扱い

公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）第９章

図面及び特記仕様に記載されてない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書（令和７年版）」（以下「改修標仕」という。）による。
特記事項に記載の［　．　］内表示番号は、改修標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。

① 一般事項
労働安全衛生法第28条第1項の規定に基づく技術上の指針（建築物等の解体等の作業及び労働者が石綿等にばく露するおそれがある建築物等における業務での労働者の石綿ばく露防止に関する記述上の指針）を遵守すること。
（・）アスベスト除去に伴う官公署等への届出申請を行うこと。
石綿障害予防規則及び大気汚染防止法の各規定に基づく官公署等への届出等を行うこと。
（・）石綿含有事前調査結果の都道府県知事及び労働基準監督署への報告を行うこと。
・アスベスト除去に伴う作業計画の作成を行うこと。
・アスベスト除去完了に伴う発注者への報告を書面にて行うこと。

② アスベスト含有建材の処理工事
アスベスト含有吹付け材の封じ込め処理　・行う　・行わない　[9.1.1]
アスベスト含有吹付け材の囲い込み処理　・行う　・行わない
アスベスト含有建材除去後の仕上げ　・行う　・行わない
施工箇所及び工法　※図示

③ アスベストの含有調査
事前調査（有資格者）　（・）行う　・　行わない　[9.1.2]
調査結果報告書等の貸与　（・）有　・　無
分析調査　・行う（対象箇所：　　）　（・）行わない
・定性分析　・定量分析
※分析調査は「建材中の石綿含有率の分析方法について（令和3年12月22日改正）」に基づき行う。
※現地調査を行い、事前調査結果報告書を作成し、提出する。
調査の結果、設計図書と異なる場合は、監督職員と協議する。

④ アスベスト含有吹付け材の除去
アスベスト含有吹付材の有無（・）有　・無　[9.1.3]
除去吹付材（　　図示による　　）含有場所（　　図示による　　）
吹付けアスベストの施工数量調査　※行う
アスベスト粉じん濃度測定　※行う

表9.1.1　アスベスト粉じん濃度測定

| 測定時期 | 測定名称 | 測定場所 | 測定点（各施工箇所ごと） | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 処理作業前 | 測定１ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | （注）１ |
| | 測定２ | 施行区画周辺又は、敷地境界 | 計２点 | 大気 |
| 処理作業中 | 測定３ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | （注）１ |
| | 測定４ | ｾｷｭﾘﾃｨｰﾌﾞｰﾝ入口 | １点 | 空気の流れを確認 |
| | 測定５ | 集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合） | １点 | （注）２ |
| | 測定６ | 施行区画周辺又は、敷地境界 | ４方向各１点 | － |
| 処理作業後（隔離ｼｰﾄ撤去前） | 測定７ | 処理作業室内 | 各２点又は３点 | （注）１ |
| | 測定８ | 施行区画周辺又は、敷地境界 | ４方向各１点 | 大気 |

（注）１．各施工箇所ごとの室面積が50㎡以下までは２点、300㎡以下までは３点とする。
300㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
（注）２．集じん・排気装置の性能確認

表9.1.2　アスベスト粉じん濃度測定方法

| | 測定３ | 測定１，２，４，６，７，８ | 測定５ |
|---|---|---|---|
| 計数機器 | 位相差顕微鏡 | | |
| メンブレンフィルタの直径 | 25mm | | 47mm |
| 試料の吸引流量 | 1l/min | 5l/min | 10l/min |
| 試料の吸引時間 | 5 min | 120 min | 210 min |
| 試料の透明化 | アセトンートリアセチン法又は、シュウ酸ジエチル法 | | |
| 計数条件 | 総アスベスト繊維数　200本又は視野数50視野 | | |
| 計数アスベスト | 直径3μm未満、長さ5μm以上、長さと直径比３：１以上 | | |
| 定量限界 | 50 f/l | 0.5 f/l | 0.3 f/l |

作業場の隔離　※行う
除去工法
※除去工法については、工法に関する資料を監督職員に提出し、承諾を得ること。
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑤ アスベスト含有保温材等の除去
アスベスト含有保温材の有無　・有　（・）無　[9.1.4]
除去保温材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑥ アスベスト含有成形板の除去
アスベスト含有成形板の有無（・）有　・無　[9.1.5]
除去成形板（　　図示による　　）含有場所（　　図示による　　）
作業場の区画　・行う　・行わない
処分方法
石綿含有石膏ボード
※管理型最終処分場で埋立処分する。
石綿含有石膏ボード以外
・埋立処分の場合は、石綿含有産業廃棄物として、安定型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う。

⑦ アスベスト含有仕上塗材の除去
アスベスト含有仕上塗材の除去（除去工法、養生、粉じん飛散防止措置、呼吸用保護具・保護衣等）ついては、「建築物の改修、解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針」による。　[9.1.6]
アスベスト含有仕上塗材の有無　・有　（・）無
除去仕上塗材（　　）含有場所（　　）
撤去の範囲　・全面撤去　・図示による
除去工法（原則湿潤化し、下記工法とする）
・水洗い工法　・手工具ケレン工法
・集じん装置付高圧水洗工法　・集じん装置付超高圧水洗工法　・超音波ケレン工法
・剥離材併用高圧水洗工法　・剥離材併用超高圧水洗工法　・剥離材併用手工具ケレン工法
・剥離材併用超音波ケレン工法　・集塵装置付ディスクグラインダーケレン工法
上記工法によらない場合は監督職員と協議の上、承諾を得ること。
除去工法の試験施工　・行う　※行わない
「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」による。
作業場の隔離及び養生
・隔離養生不要　・隔離養生必要（負圧不要）・その他（　　）
処分方法
・埋立処分の場合は、特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋立処分する。
・中間処理の場合は、都道府県知事等から処置許可を受けた溶融施設において溶融又は環境大臣の認定を受けた無害化処理施設において無害化処理を行う

⑧ アスベスト含有配管接続部シール材の除去
アスベスト含有シール材の有無　・有　（・）無
除去シール材（　　）含有場所（　　）
作業場の隔離　・行う　・行わない
除去工法
湿潤にて撤去を行い、適法に処分する事。
処分方法　・埋立処分
・アスベストの中間処理に適する溶融施設
・認定を受けた無害化処理施設

⑨ 特記事項
※本工事に配置管理させる者（有資格者）
※特定化学物質等作業主任者（H18.3.31以前の講習修了者）
又は石綿作業主任者（H18.4.1以降の講習修了者）

暴力団等不当介入に関する事項
１．契約の解除
四日市市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成20年四日市市告示第28号）第３条又は第４条の規定により、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止措置を受けたときは、契約を解除することがある。

２．暴力団等による不当介入を受けたときの義務
(1)　不当介入には、断固拒否するとともに、速やかに警察へ通報並びに業務発注所属へ報告し、警察への捜査協力を行うこと。
(2)　契約の履行において、不当介入を受けたことにより、業務遂行に支障が生じた、納期等に遅れが生じるおそれがあるときには、業務発注所属と協議を行うこと。
(3)　(1)(2)の義務を怠ったときは、四日市市建設工事等入札参加資格停止基準に基づく入札参加資格停止等の措置を講ずる。

＜喫煙に関する事項＞
学校敷地内はすべて禁煙とし、敷地周辺の路上等においても禁煙に努めること。
＜現場代理人に関する事項＞
工場製作期間中等に現場代理人の常駐を解除する場合は、その期間に応じた経費の減額変更を行う。
＜随時検査＞
設計金額3000万円以上の工事は、四日市市検査規程第８条第６項の規程により発注者が随時検査を求めた場合、監督職員の指示に従い受験すること。

個人情報の取り扱いに関する事項
（基本事項）
第１　この契約による工事の施工者（以下「乙」という。）は、この契約による工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱う際には、個人情報の保護の重要性を認識し、個人の権利利益を侵害することのないようにしなければならない。
（施工者の義務）
第２　乙及びこの契約による工事に従事している者又は従事していた者（以下「乙の従事者」という。）は、当該工事を施工するに当たり、個人情報を取り扱うときは、個人情報の保護に関する法律（平成１５年法律第５７号。以下「法」という。）第６７条に規定する義務を負う。
２　乙は、この契約による工事において個人情報が適正に取り扱われるようこの従事者を指揮監督しなければならない。
（秘密の保持）
第３　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するに当たって知り得た個人情報を当該工事を施工するために必要な範囲を超えて使用し、又は他人に知らせてはならない。
２　乙は、この従事者が在職中及び退職後においても、前項の規定を遵守するように必要な措置を講じなければならない。
３　前２項の規定は、この契約が終了し、又は解除された後においても同様とする。
（適正な管理）
第４　乙は、この契約による工事に係る個人情報の漏えい、滅失又は改ざんの防止その他の個人情報の適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。
２　乙は、個人情報の適正な管理のため、管理責任者を置くものとする。
３　管理責任者は、個人情報を取り扱う工事の従事者を必要な者に限定し、これらの従事者に対して、個人情報の管理方法等について適正な指導管理を行わなければならない。
４　四日市市（以下「甲」という。）は、必要があると認めたときは、個人情報の管理状況等に関し、乙に対して報告を求め、又は乙の作業場所を実地に調査することができるものとする。この場合において、甲は乙に必要な改善を指示することができるものとし、乙は、その指示に従わなければならない。
（収集の制限）
第５　乙及びこの従事者は、この契約による工事を施工するために、個人情報を収集するときは、当該工事を施工するために必要な範囲内で、適法かつ公正な手段により収集しなければならない。
（再提供の禁止）
第６　乙は、あらかじめ甲の承諾があった場合を除き、この契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供してはならない。
２　乙は、前項の承諾により再提供する場合は、再提供先における個人情報の適正な取り扱いのために必要な措置を講じなければならない。
３　前項の場合において、乙は、再提供先と本注意事項に準じた個人情報の取り扱いに関する契約を交わすものとする。
（複写、複製の禁止）
第７　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等（以下「資料等」という。）を複写し、又は複製してはならない。
（持ち出しの禁止）
第８　乙及びこの従事者は、あらかじめ甲の指示又は承諾があった場合を除き、資料等（複写又は複製したものを含む。第９において同じ。）を契約書に指定された作業場所から持ち出してはならない。
２　甲及びこは、この前項の指示又は承諾により持ち出す場合、その内容、期間、持ち出し先、輸送方法等を書面により確認するものとする。
３　前項の場合において、乙は、資料等に施錠又は暗号化等を施して関係者以外の者がアクセスできないようにするとともに、資料等を善良なる管理者の注意をもって保管又は管理し、漏えい、滅失及び毀損の防止その他適切な管理を行わなければならない。
（資料等の返還）
第９　乙は、この契約による工事を施工するに当たって、甲から提供された個人情報が記録された資料等を、当該工事の終了後速やかに甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により廃棄し、又は消去する場合を除く。
２　前項の廃棄又は消去は、次の各号に定めるほか、他に漏えいしないよう適切な方法により行うものとする。
(1)　紙媒体　　シュレッダーによる裁断
(2)　電子媒体　データ完全消去ツールによる無意味なデータの上書き、もしくは媒体の破砕
３　乙は、第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事に係る個人情報を第三者に再提供したときは、当該工事の終了後速やかに当該第三者から資料等を回収のうえ甲に返還し、又は引き渡さなければならない。ただし、甲の指示により、乙又は第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合を除く。
４　前項ただし書の規定により、第三者が資料等を廃棄し、又は消去する場合においては、乙は、当該資料等が廃棄、又は消去されたことを直接確認しなければならない。
（研修・教育の実施）
第10　乙は、乙の従事者に対し、個人情報の重要性についての認識を深めるとともに、この契約による工事における個人情報の適正な取り扱いに資するための研修・教育を行うものとする。
（苦情の処理）
第11　乙は、この契約による工事の施工に当たって、個人情報の取り扱いに関して苦情があったときは、適切かつ迅速な処理に努めるものとする。
（定期報告及び事故発生時における報告）
第12　乙は、甲から個人情報の取扱いの状況について報告を求められた場合は、直ちに報告しなければならない。
２　乙は、この個人情報取扱注意事項に違反する事故が生じ、又は生じるおそれがあることを知ったときは、速やかに甲に報告し、甲の指示に従うものとする。
（監査及び検査）
第13　甲は、この契約による工事に係る個人情報の取扱いについて、この契約の規定に基づき必要な措置が講じられていることを検証及び確認するため、乙及び第６の規定により甲の承諾を得てこの契約による工事を受託し、又は請け負った第三者に対して、監査又は検査を行うことができる。
２　甲は、前項の目的を達するため、乙に対して必要な情報を求め、又はこの契約による工事の処理に関して必要な指示をすることができる。
（契約解除及び損害賠償）
第14　甲は、乙又はこの従事者がこの個人情報取扱注意事項に違反していると認めたときは、契約の解除及び損害賠償の請求をすることができる。

障害者差別解消に関する事項
１．対応要領に沿った対応
（１）この契約による事務・事業の実施（以下「本業務」という。）の請負（委託）を受けた者（以下「受注者（受託者）」という。）は、本業務を履行するに当たり、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（平成２５年法律第６５号。以下「法」という。）に定めるもののほか、障害を理由とする差別の解消の推進に関する四日市市職員対応要領（平成２９年２月２８日策定。以下「対応要領」という。）に準じて、「障害を理由とする不当な差別的取扱いの禁止」及び「社会的障壁の除去のための合理的な配慮の提供」等、障害者に対する適切な対応を行うものとする。
（２）（１）に規定する適切な対応を行うに当たっては、対応要領に示されている障害種別の特性について十分に留意するものとする。
２．対応指針に沿った対応
上記１に定めるもののほか、受注者（受託者）は、本業務を履行するに当たり、本業務に係る対応指針（法第１１条の規定により主務大臣が定める指針をいう。）に則り、障害者に対して適切な対応を行うよう努めなければならない。

産業廃棄物税
本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が本工事により生じた産業廃棄物が、課税対象となった場合には、翌年度に産業廃棄物税納税証明書等を添付して、本工事により生じた産業廃棄物税相当分を請求することができる。

| 図面名 | 特記仕様書<br>建築機械設備２ | 縮尺 | 1:NO<br>(A1) | 設計番号 | 作図 令和７年１１月 | 工事名 | 浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）　設計図 | 図面番号 | M-02 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | 四日市市都市整備部営繕工務課 | １級建築士　登録第　　号<br>四日市市諏訪町１番５号 | | / |

令和7年11月版

## 衛 生 設 備 器 具 表

| 器具名称 | 参考品番 | | 仕様、付属品、備考<br>参考品番 | 電源、<br>参考消費電力 | 1期工事 | | | | | | | | | | | | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | 1階 | | | 2階 | | | 3階 | | | 4階 | | | |
| | | | | | 職員便所（男子） | 職員便所（女子） | 職員室／校長室 | 生徒用便所北（男子） | 生徒用便所北（女子） | 車椅子使用者便房北 | 生徒用便所北（男子） | 生徒用便所北（女子） | 車椅子使用者便房北 | 生徒用便所北（男子） | 生徒用便所北（女子） | 車椅子使用者便房北 | |
| 洋風大便器 | (TOTO) | CS597BS | 陶器製防露密結ロータンク蓋固定大便器(CS597BS、SH596BAYR）、貯湯式（ｳｫｼｭﾚｯﾄTCF587）、SUS棚付二連紙巻器（YH701）、他付属品一式 | AC100V、314W | 1 | 3 | | | | | | | | | | | 4 |
| （教師用）床給水 | (LIXIL) | BC-P20HU | 陶器製防露密結ロータンク蓋固定大便器(BC-P20HU、DT-PA250UCHTK）、貯湯式（ｼｬﾜｰﾄｲﾚCW-PB21-NE）、SUS製棚付二連紙巻器（CF-63HST）、他付属品一式 | AC100V、350W | | | | | | | | | | | | | |
| 洋風大便器 | (TOTO) | CS597BS | 陶器製防露密結ロータンク蓋固定大便器(CS597BS、SH596BAYR）、ウォームレット（TCF116）、紙巻器（YH117）、他付属品一式 | AC100V、52W | | | | 2 | 5 | | 2 | 5 | | 2 | 5 | | 21 |
| （生徒用）床給水 | (LIXIL) | BC-P20HU | 陶器製防露密結ロータンク蓋固定大便器(BC-P20HU、DT-PA250UCHTK）、暖房便座（CF-18ALP）、ワンタッチ式紙巻器（CF-32H）、他付属品一式 | AC100V、48W | | | | | | | | | | | | | |
| 洋風大便器 | (TOTO) | CS597BS | 陶器製防露密結ロータンク蓋固定大便器(CS597BS、SH596BAYR)、温水洗浄便座（瞬間式・蓋ナシ,ｴｺﾘﾓｺﾝ ﾀｯﾁｽｲｯﾁ付TCF5841AUP)、SUS棚付二連紙巻器(YH701)、背もたれ(EWC285CS＃NW1)ﾊｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ、他付属品一式 | AC100V、1260W | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 3 |
| （多目的用）床給水 | (LIXIL) | BC-P20HU | 陶器製防露密結ロータンク蓋固定大便器(BC-P20HU、DT-PA250UCHTK）、温水洗浄便座（瞬間式・蓋ナシ,ｴｺﾘﾓｺﾝ ﾀｯﾁｽｲｯﾁ付 *CW-PC12LQC-NECK-STG）、SUS製棚付二連紙巻器（CF-63HST）、背もたれ（KFC-277T1）、他付属品一式 | AC100V、1300W | | | | | | | | | | | | | |
| 壁掛け小便器 | (TOTO) | UFS900R | 自動洗浄型　低リップタイプ | AC100V | 2 | | | 4 | | | 4 | | | 4 | | | 14 |
| | (LIXIL) | U-A51AP | 他付属品一式 | | | | | | | | | | | | | | |
| 小便器用手すり | (TOTO) | T112CU22 | SUS製樹脂被覆タイプ　W600×H470×D550 | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | 1 | | | 4 |
| | (LIXIL) | KF-701AEJ | 他付属品一式 | | | | | | | | | | | | | | |
| L型手すり | (TOTO) | T112CL10 | SUS製樹脂被覆タイプ　W700×H700×D120 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 11 |
| | (LIXIL) | KF-920AE70D12J | 他付属品一式 | | | | | | | | | | | | | | |
| 腰掛便器用可動手すり | (TOTO) | T112HK7R | 可動式手すり はね上げ・ロック付　パブリック用手すりSUS製樹脂被覆タイプ | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 3 |
| はね上げタイプ | (LIXIL) | KF-471EH70JU | 700　　防汚コーティング・抗菌仕様　他付属品一式 | | | | | | | | | | | | | | |
| 洗面器(ﾎﾞｰﾙ・自動水栓) | (TOTO) | LS351CM | 台付自動水栓（TLE25SS1A）　　ボウルW560-L446　他付属品一式 | AC100V | 1 | 2 | | | | | | | | | | | 3 |
| [カウンター：建築工事] | (LIXIL) | L-2150FC | 台付自動水栓（AM-320CV1）　　ボウルW500-L480　他付属品一式 | | | | | | | | | | | | | | |
| 掃除用流し | (TOTO) | SK500 | レバー式横水栓　T200BSQ13C、T6PMR、TL220D　　他付属品一式 | | 1 | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 7 |
| | (LIXIL) | S-17 | レバー式横水栓　LF-7KRZ-13、SF-25PA、SF-10E　他付属品一式 | | | | | | | | | | | | | | |
| 壁掛手洗器 | (TOTO) | LSE870RNBSFR | 壁掛手洗器（L870A）、自動水栓、電気温水器、配管カバー　　他付属品一式 | AC100V | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 3 |
| | (LIXIL) | L-A74TWB | 壁掛手洗器（L-A74TWB）、自動水栓、電気温水器、配管カバー　　他付属品一式 | | | | | | | | | | | | | | |
| 自動水栓 | (TOTO) | TLE26SP1A | | AC100V | | | | 3 | 3 | | 3 | 3 | | 3 | 3 | | 18 |
| | (LIXIL) | AM-230CV1 | | | | | | | | | | | | | | | |
| レバー式横水栓 | (TOTO) | T23B13V109 | 泡沫式、クロムメッキ化粧管共 | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 6 |
| | (LIXIL) | LF-7KRZF-13 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鏡 | (TOTO) | YM3545FE | 寸法350W×450H（相当）、盗難防止型、耐食鏡 | | 1 | 2 | | 4 | 4 | | 4 | 4 | | 4 | 4 | | 27 |
| | (LIXIL) | KF-3545A | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鏡 | (TOTO) | YM4560FE（特注） | 寸法600W×900H（相当）、盗難防止型、耐食鏡 | | | | | | | 1 | | | 1 | | | 1 | 3 |
| 多目的トイレ | (LIXIL) | KF-6090A<br>＋＃A-669-3 | | | | | | | | | | | | | | | |
| （S･U･S製流し） | 建築工事 | | 目皿､排水トラップ共建築工事 | | | | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 1 | 1 | | 6 |
| （洗面化粧台） | 建築工事 | | 洗面化粧台、一面鏡(ﾊﾞｰｼｯｸLED電源ｺｰﾄﾞ付)、止水栓、自動水栓化(AC100V) | | | | 2 | | | | | | | | | | 2 |

## 換 気 設 備 器 具 表 工 事

| 記号 | 機器名称 | 形式 | 風量（m3/h） | 静圧（Pa） | 電気容量（W） | 電源（V） | 口径 | 台数 | 設置箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| EF-1 | 天井換気扇 | 低騒音 | 約 300 / 400 | 6 / 0 | 約 49 | 1φ×100 | φ150 | 2 | 職員トイレ男子・女子 | SUS深形ﾌｰﾄﾞｷﾞｬﾗﾘφ150（FD無）<br>AT-150FGS5 |
| EF-2 | 天井換気扇 | 低騒音 | 約 430 / 600 | 6 / 0 | 約 66 | 1φ×100 | φ150 | 6 | 生徒トイレ男子・女子（２～４階） | SUS深形ﾌｰﾄﾞｷﾞｬﾗﾘφ150（FD無）<br>AT-150FGS5 |
| EF-3 | 天井換気扇 | 低騒音 | 約 150 / 220 | 6 / 0 | 約 23 | 1φ×100 | φ100 | 3 | 多目的便所（２～４階） | SUS深形ﾌｰﾄﾞｷﾞｬﾗﾘφ100（FD無）<br>AT-100FGS5 |

| 記号 | 機器名称 | | 口径 | 台数 | 設置箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| VC-1 | 天井換気扇用ベントキャップ | SUS製深形ﾌｰﾄﾞｷﾞｬﾗﾘ | φ150 | 8 | 生徒トイレ男子・女子（１～４階） | SUS深形ﾌｰﾄﾞｷﾞｬﾗﾘφ150（FD無） |
| VC-2 | 天井換気扇用ベントキャップ | SUS製深形ﾌｰﾄﾞｷﾞｬﾗﾘ | φ100 | 1 | 多目的便所 | SUS深形ﾌｰﾄﾞｷﾞｬﾗﾘφ100（FD無） |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　管理特別教室棟
衛生器具表・換気機器表

Scale　A1：1/50
A3：1/100

作図　令和 7 年 9 月

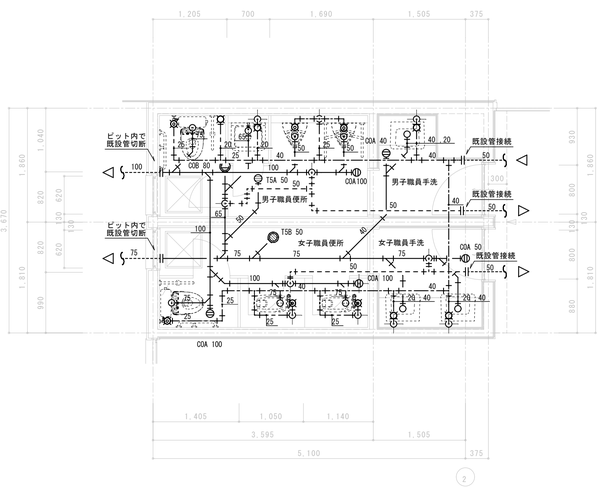
図面番号　M-03

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽 俊和

| （ 凡　例 ） | | |
|---|---|---|
| 記　　号 | 名　　称 | 備　　考 |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 点線既設使用 | |
| ―――――――― | 太線撤去 | |
| ――――‖・・・・・・・・ | 既設ダクト・配管切断箇所 | |
| | | |
| | | |

| （ 特記事項 ） | |
|---|---|
| 配管材質 ―― － ―― | ・給水管（一般）硬質塩化ビニルライニング鋼管（VA管） |
| ―――――― | ・排水管（ピット内）硬質ポリ塩化ビニル管（VP管） |
| - - - - - - - - - - | ・通気管（一般） 硬質ポリ塩化ビニル管（VP管） |

注記
1. 便所の既設和風便器の開口復旧は、建築工事とする。
2. 既設大便器・小便器・手洗器は、排水接続部の鉛管撤去も見込む。
3. 配管更新による既設躯体のコア抜きは設備工事とし、床・壁・天井復旧は建築工事とする。
4. 既設配管サイズ及びﾙｰﾄは参考とする。



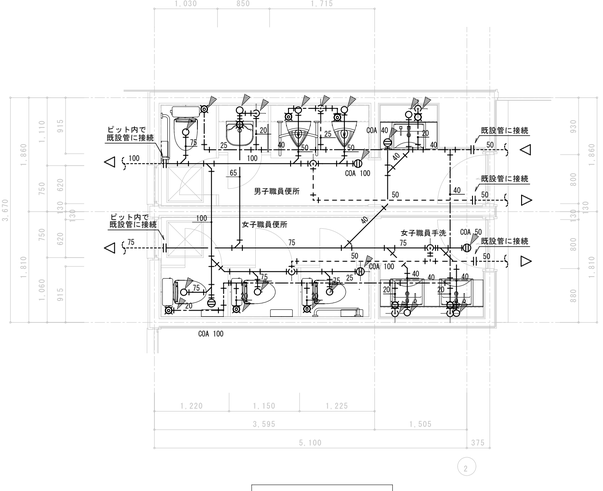

平面詳細図（改修前）　1/50

撤去

| １階 | | |
|---|---|---|
| 洋風大便器　タンク式　紙巻器 | | 2 |
| | | |
| 和風大便器　紙巻器 | | 2 |
| 掃除用流し | | 1 |
| 手洗い器（ボウル） | | 3 |
| 化粧鏡 | | 3 |
| 小便器 | | 2 |
| 小便器手すり | | 1 |
| 大便器手すり　L型、P型 | | 4 |
| | | |
| カウンター手洗い | 建築工事 | 2 |

| （ 凡　例 ） | | |
|---|---|---|
| 記　　号 | 名　　称 | 備　　考 |
| ―――――――― | 細線表示配管は、既設を示す。 | |
| ―――――――― | 太線表示配管は、新設を示す。 | |
| ――――‖・・・・・・・・ | 既設配管接続箇所を示す。 | |
| ◢ | コア抜き | |

保温の種別：暗渠内（ピット内を含む。）は、着色アルミガラス仕上げとする。




平面詳細図（改修後）　1/50

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事　１期工事

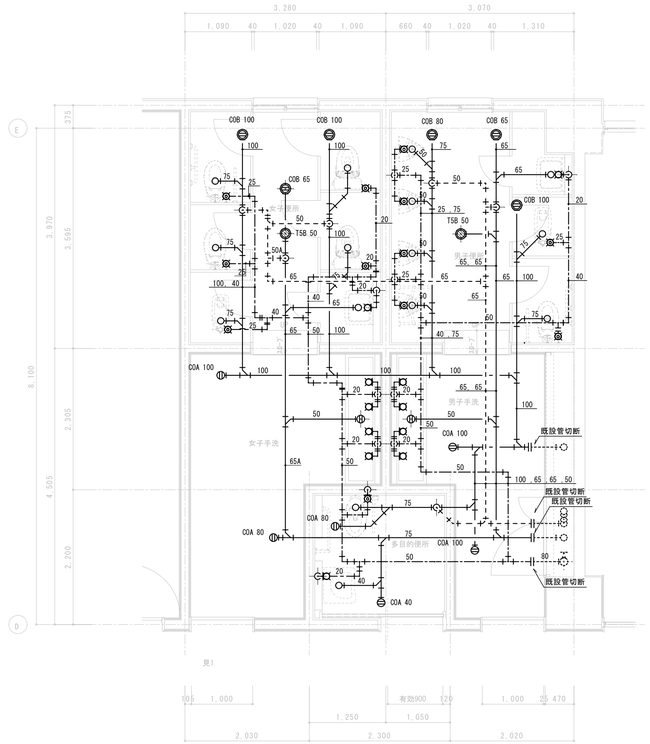
図面名　管理特別教室棟　１階職員用便所
衛生設備　平面詳細図（改修前・改修後）

Scale　A1：1/50　A3：1/100

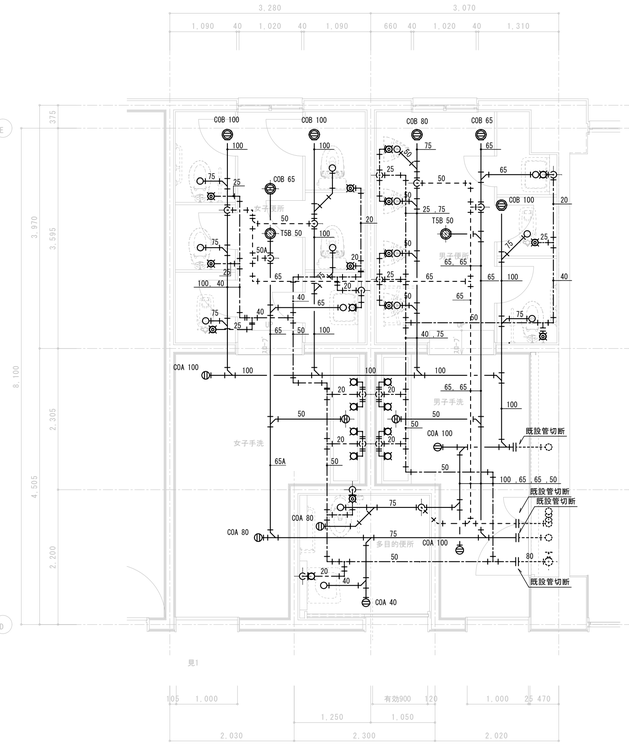
作図　令和　7　年　9　月

図面番号　M-04

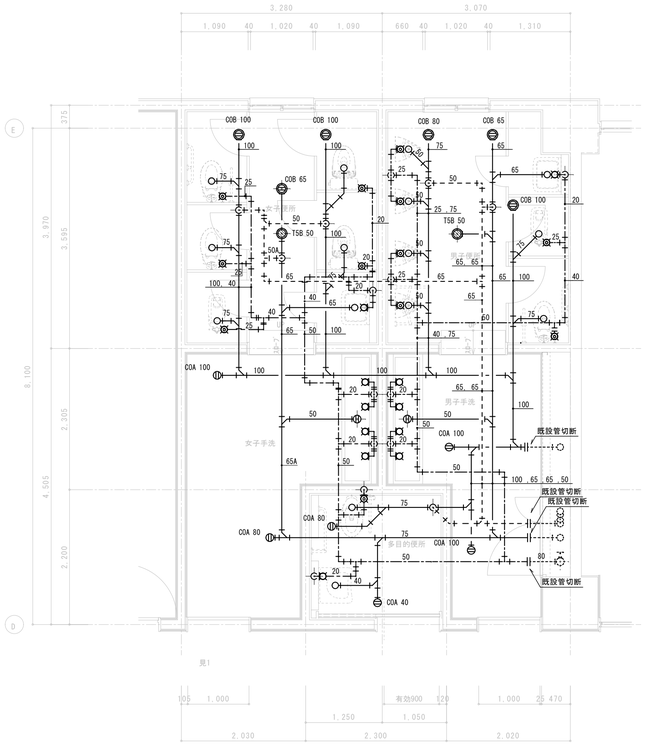
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和




２階平面詳細図　改修前　1/50




３階平面詳細図　改修前　1/50




４階平面詳細図　改修前　1/50

撤去

| ２～４階 | | |
|---|---|---|
| 洋風大便器　タンク式　紙巻器 | | 2 |
| 洋風大便器　洗浄弁式　紙巻器 | | 4 |
| 和風大便器　紙巻器 | | 2 |
| 掃除用流し | | 2 |
| 壁掛け手洗い器 | | 2 |
| 化粧鏡（ミラーライト含む） | | 9 |
| 小便器 | | 4 |
| 小便器手すり | | 1 |
| 大便器手すり　L型、P型、多目的用 | | 6 |
| 水栓 | | 8 |
| SUS製手洗い | 建築工事 | 2 |

（凡例）

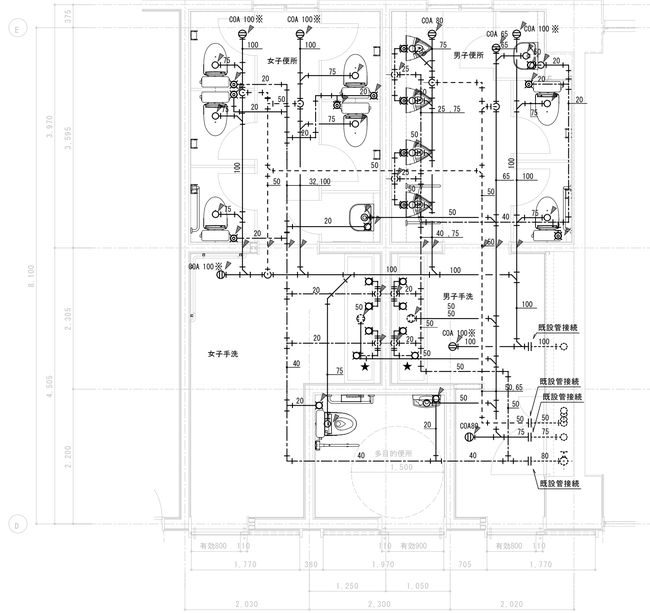
| 記号 | 名称 | 備考 |
|---|---|---|
| ---------- | 点線既設使用 | |
| ———— | 太線撤去 | |
| ————‖---------- | 既設ダクト・配管切断箇所 | |
| | | |
| | | |

（特記事項）

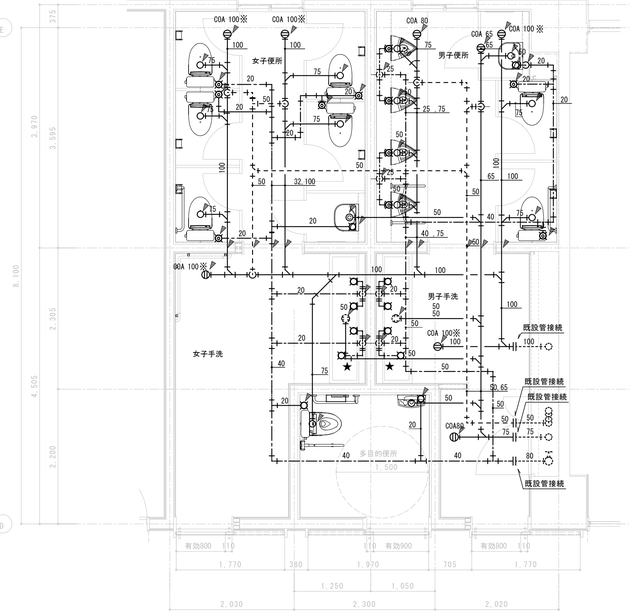
配管材質　—— – ——　・給水管（一般）硬質塩化ビニルライニング鋼管（VA管）
————　・排水管（天井内）硬質塩化ビニル管（VP管）
– – – – – –　・通気管（一般）硬質塩化ビニル管（VP管）

注記
1. 便所の既設和風便器の開口復旧は、建築工事とする。
2. 既設大便器・小便器・手洗器は、排水接続部の鉛管撤去も見込む。
3. 配管更新による既設躯体のコア抜きは設備工事とし、床・壁・天井復旧は建築工事とする。
4. 既設配管サイズ及びﾙｰﾄは参考とする。

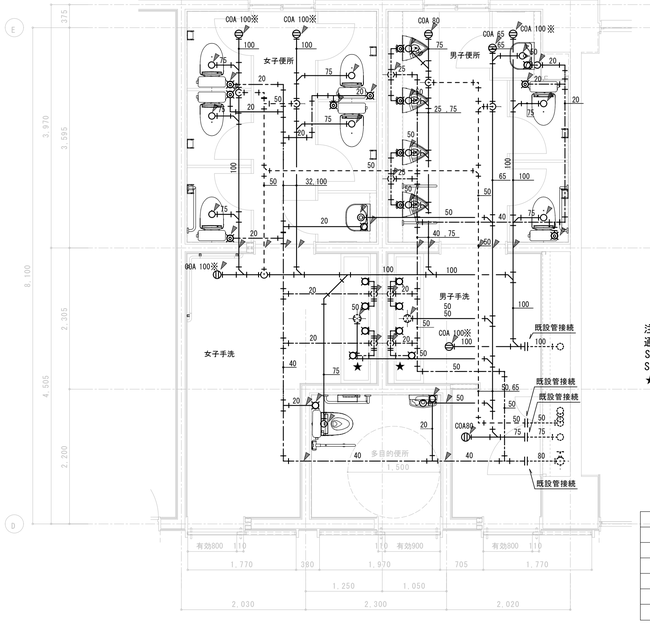
２階平面詳細図　改修後　1/50




３階平面詳細図　改修後　1/50




４階平面詳細図　改修後　1/50




注記
通気管の保温は、保温された排水管の分岐点より100mm以上保温のこと。
SUS流しは、目皿、排水ﾄﾗｯﾌﾟ共建築工事とする。
SUS流し排水トラップ以降の排水管及び排水管保温は、本工事とする。
★印は、レバー式横水栓泡沫式（クロムメッキ化粧管共）　取付位置

（凡例）

| 記号 | 名称 | 備考 |
|---|---|---|
| ———— | 細線表示配管は、既設を示す。 | |
| ———— | 太線表示配管は、新設を示す。 | |
| ————‖---------- | 既設配管接続箇所を示す。 | |
| ◤ | はつり補修 | |
| ※ | 防火区画貫通処理 | |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　２～４階生徒用便所
衛生設備　平面詳細図（改修前・改修後）

Scale　A1：1/50　A3：1/100

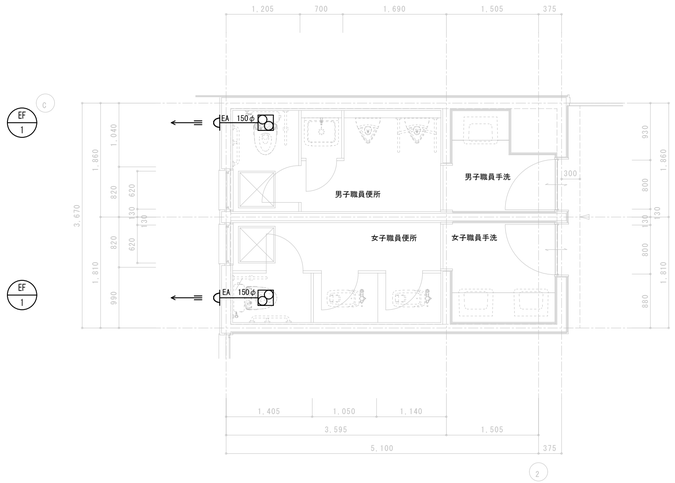
作図　令和　7　年　9　月

図面番号　M-05

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

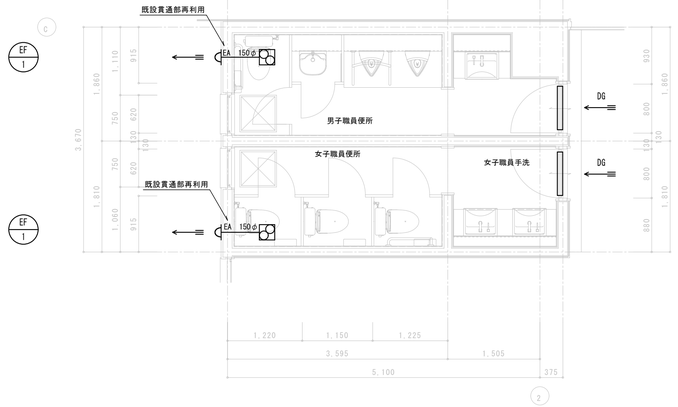
| （ 凡　例 ） | | |
|---|---|---|
| 記　　号 | 名　　称 | 備　　考 |
| ・・・・・・・・・・・・・・・・ | 点線既設使用 | |
| ―――――――― | 太線撤去 | |
| ――‖・・・・・・・・ | 既設ダクト切断箇所 | |
| | | |
| | | |

| （ 特記事項 ） |
|---|
| ダクト材質 ―――― ・EAダクト　亜鉛鉄板ダクト（スパイラルダクト） |
| 外壁1.0m保温 |
| |




平面詳細図（改修前）1/50

| （ 凡　例 ） | | |
|---|---|---|
| 記　　号 | 名　　称 | 備　　考 |
| ―――――――― | 細線表示配管は、既設を示す。 | |
| ―――――――― | 太線表示配管は、新設を示す。 | |
| ――‖・・・・・・・・ | 既設配管接続箇所を示す。 | |
| ◢ | コア抜き | |




平面詳細図（改修後）　1/50

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

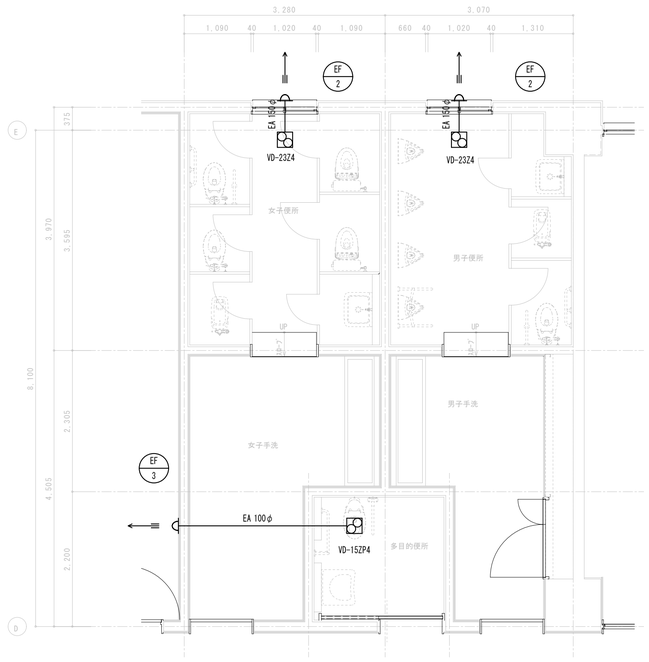
図面名　管理特別教室棟　　１階職員用便所
換気設備　平面詳細図（改修前・改修後）

Scale　A1：1/50
A3：1/100

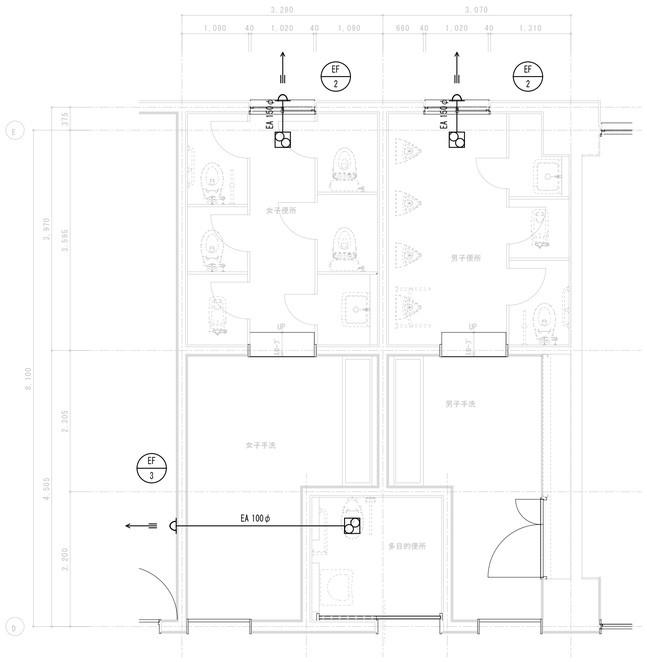
作図　令和　7　年　9　月

図面番号　M-06

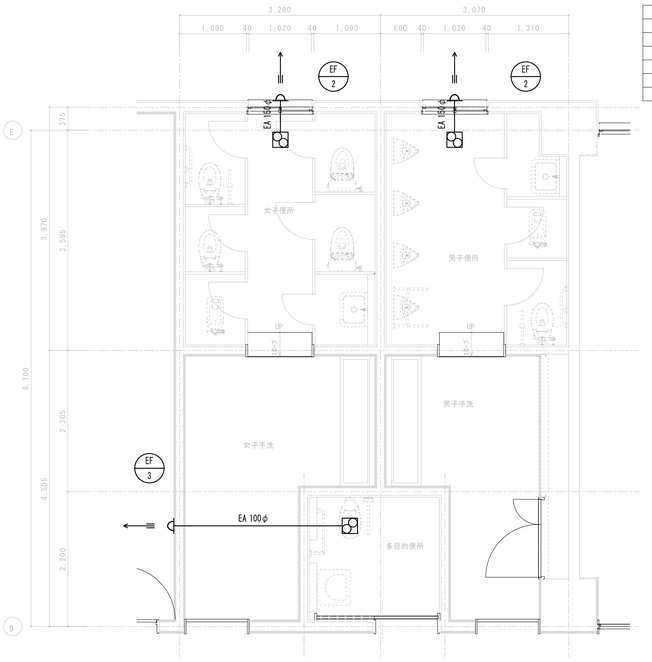
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和




2階平面詳細図　改修前　1/50



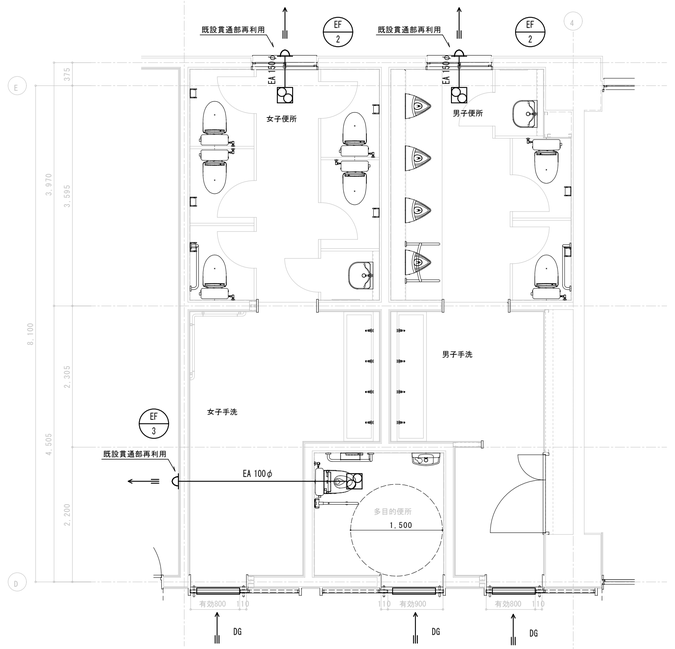

3階平面詳細図　改修前　1/50



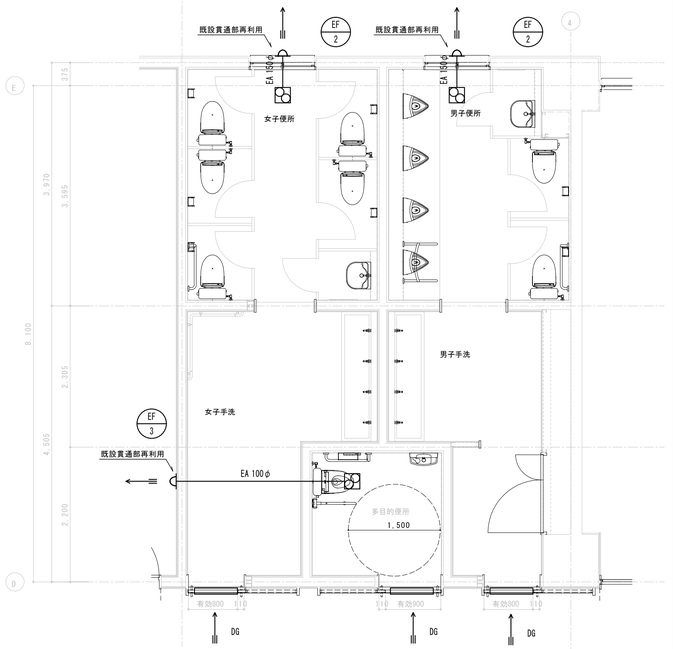

4階平面詳細図　改修前　1/50

（凡　例）

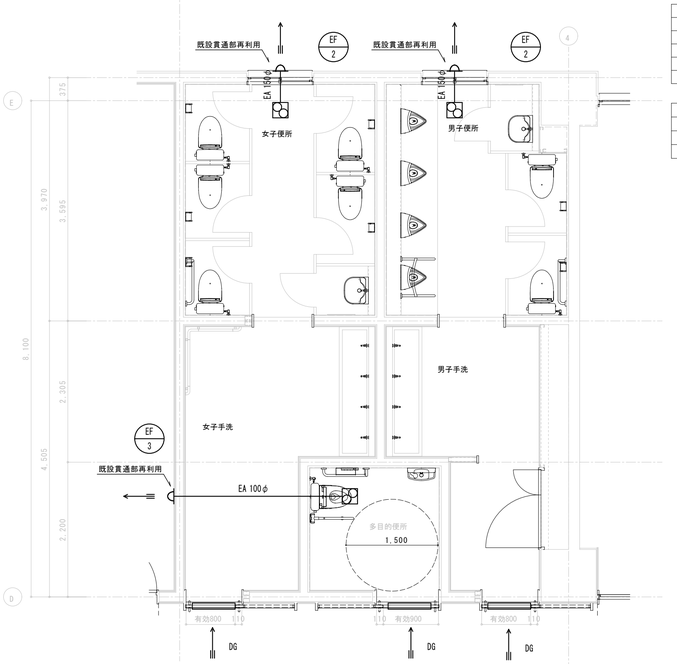
| 記　号 | 名　称 | 備　考 |
|---|---|---|
| ---------- | 点線既設使用 | |
| ———— | 太線撤去 | |
| ————‖---- | 既設ダクト・配管切断箇所 | |
| | | |
| | | |




2階平面詳細図　改修後　1/50




3階平面詳細図　改修後　1/50




4階平面詳細図　改修後　1/50

（凡　例）

| 記　号 | 名　称 | 備　考 |
|---|---|---|
| ———— | 細線表示配管は、既設を示す。 | |
| ———— | 太線表示配管は、新設を示す。 | |
| ————‖---- | 既設配管接続箇所を示す。 | |
| | コア抜き | |

（特記事項）

| |
|---|
| ダクト材質 ———— ・EAダクト　亜鉛鉄板ダクト（スパイラルダクト） |
| 外壁t.0m保温 |
| |

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　２～４階生徒用便所
換気設備　平面詳細図（改修前・改修後）

Scale　A1：1/50　A3：1/100

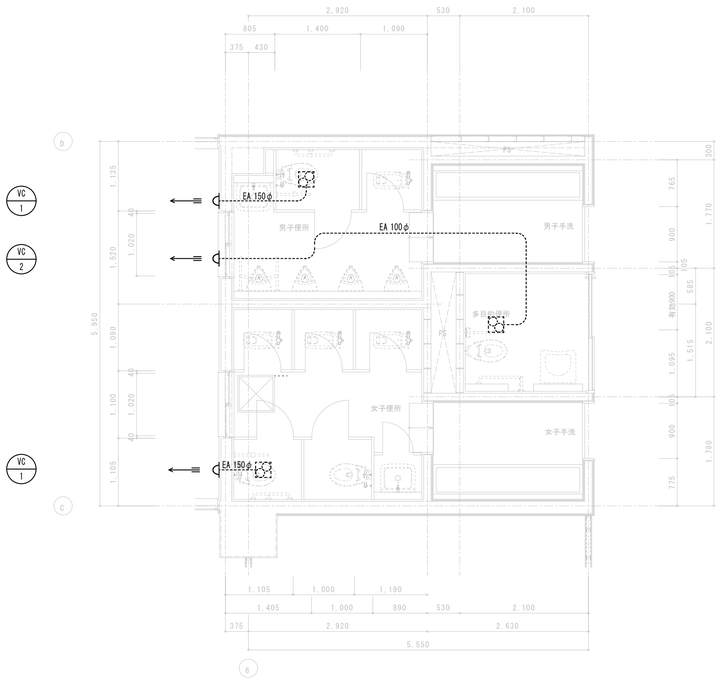
作図　令和　7　年　9　月

図面番号　M-07

株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号　管理技術者　大嶽　俊和

| （ 凡　例 ） | | |
|---|---|---|
| 記　　号 | 名　　称 | 備　　考 |
| ┈┈┈┈┈┈ | 点線既設使用 | |
| ――― | 太線撤去 | |
| ―――‖┈┈┈ | 既設ダクト切断箇所 | |
| | | |
| | | |

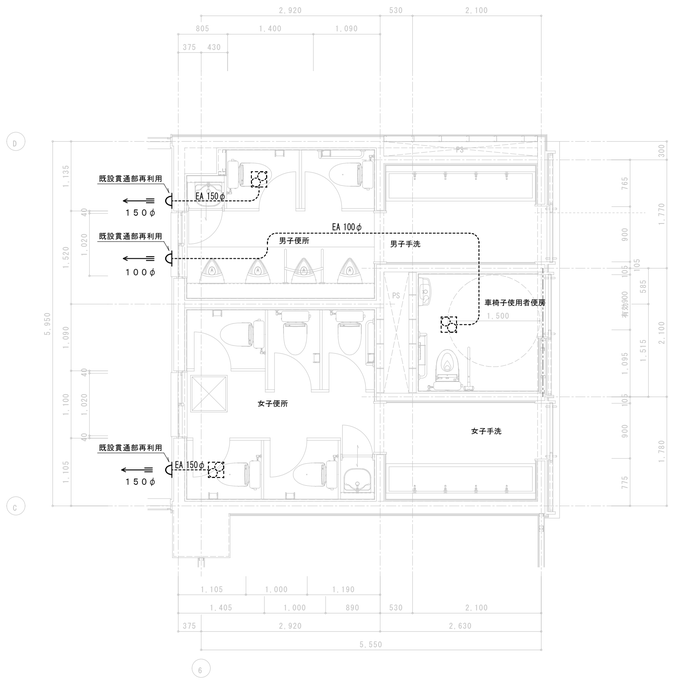
| （ 特記事項 ） |
|---|
| ダクト材質 ――― ・EAダクト　亜鉛鉄板ダクト（スパイラルダクト） |
| 外壁1.0m保温 |
| |




平面詳細図　改修前　1/50

| （ 凡　例 ） | | |
|---|---|---|
| 記　　号 | 名　　称 | 備　　考 |
| ――― | 細線表示配管は、既設を示す。 | |
| ――― | 太線表示配管は、新設を示す。 | |
| ―――‖┈┈┈ | 既設配管接続箇所を示す。 | |
| ◢ | コア抜き | |

※１期工事　ベンドキャップのみ交換




平面詳細図　改修後　1/50

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

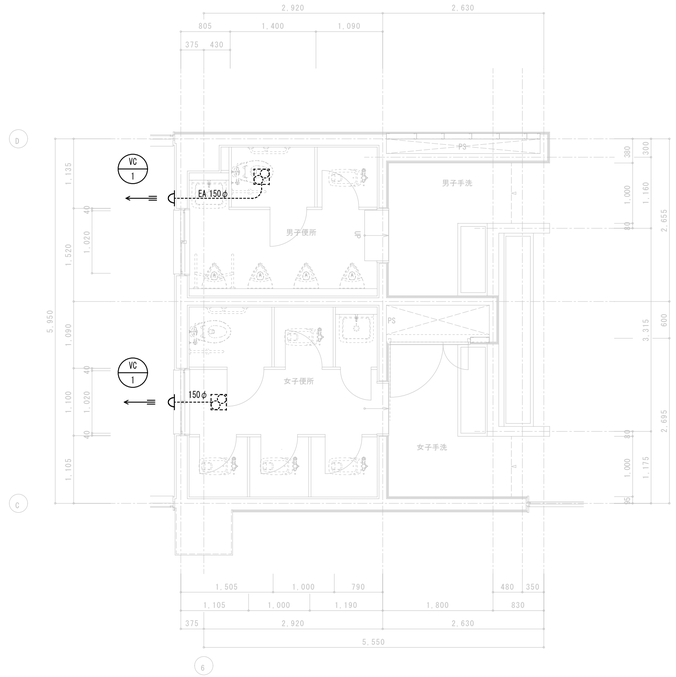
図面名　管理特別教室棟　１階生徒用便所・多目的便所
換気設備　平面詳細図（改修前・改修後）
ベンドキャップ取替工事

Scale　A1：1/50
A3：1/100

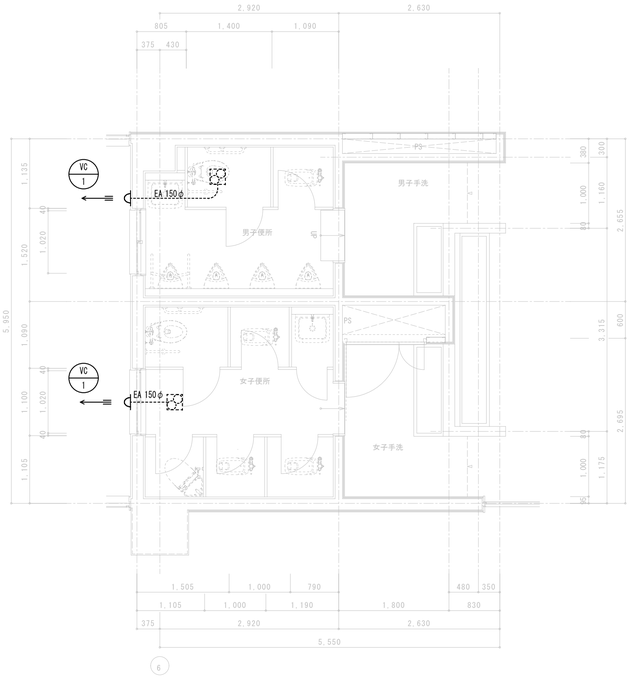
作図　令和　7　年　9　月

図面番号　M-08

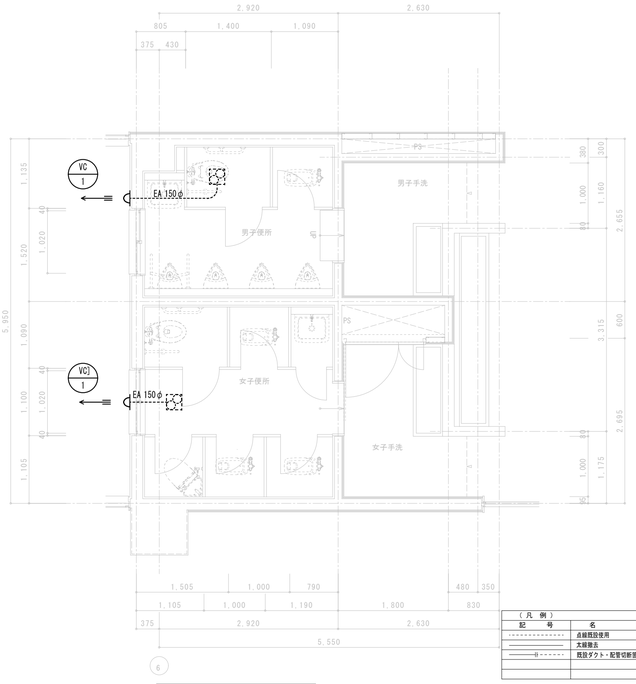
株式会社　山田建築事務所　一級建築士７７８９０号管理技術者　大嶽　俊和




２階平面詳細図　（改修前）　1/50




３階平面詳細図　（改修前）　1/50



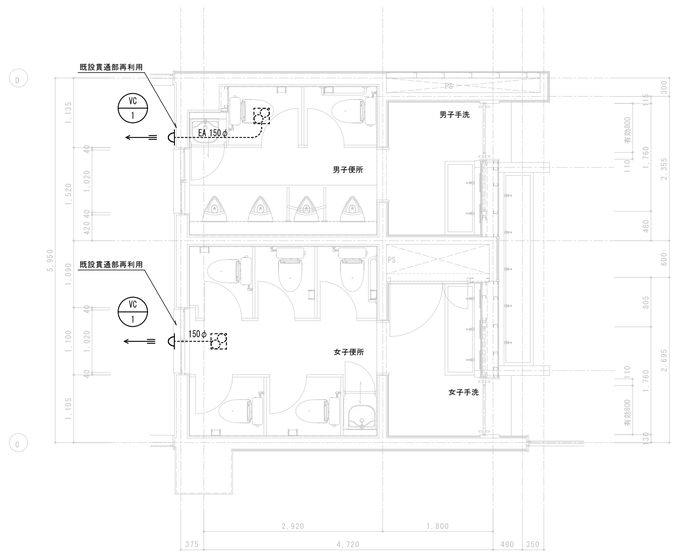

４階平面詳細図　（改修前）　1/50

（凡　例）

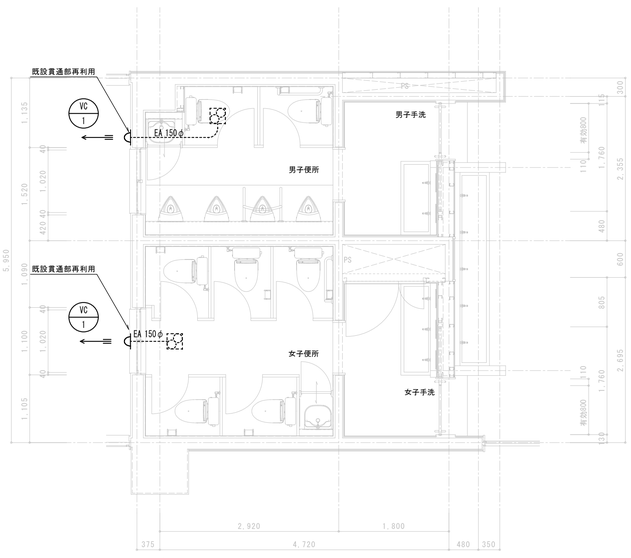
| 記　号 | 名　称 | 備　考 |
|---|---|---|
| ---------- | 点線既設使用 | |
| ———— | 支線撤去 | |
| ——//—— | 既設ダクト・配管切断箇所 | |
| | | |
| | | |

（特記事項）

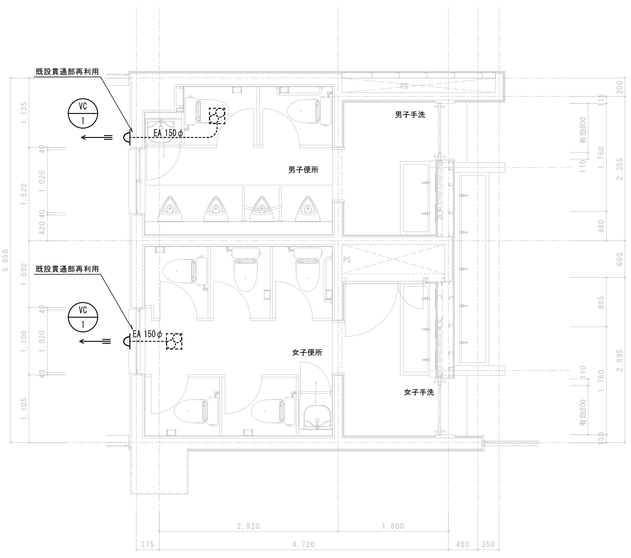
ダクト材質 ———— ・ロダクト　亜鉛鋼板ダクト（スパイラルダクト）
外壁1.0m保温
※1期工事　ベンドキャップのみ交換




２階平面詳細図（改修後）　1/50




３階平面詳細図（改修後）　1/50




４階平面詳細図（改修後）　1/50

（凡　例）

| 記　号 | 名　称 | 備　考 |
|---|---|---|
| ———— | 細線表示配管は、既設を示す。 | |
| ———— | 太線表示配管は、新設を示す。 | |
| ——//···· | 既設配管撤線箇所を示す。 | |
| ▶ | コア抜き | |

※1期工事　ベンドキャップのみ交換

※注記

浜田小学校管理教室棟保全改修工事（１期工事）

図面名　管理特別教室棟　　２～４階生徒用便所
換気設備　平面詳細図（改修前・改修後）
ベンドキャップ取替工事

Scale　A1：1/50
A3：1/100

作図　令和　7　年　9　月

図面番号　M-09

株式会社　山田建築事務所　　一級建築士７７８９０号管理技術者　大嶽　俊和